

平成29年度

学生による授業評価実施報告書

平成31年3月

鳴門教育大学 学校教育学部

巻頭言

授業は大学教育の根幹である。各教員が、みずから授業内容を分析・検討し、その改善に努めることは、本学全体の教育の質を高める上で不可欠である。そこでこの「学生の授業評価アンケート」は、教員が授業について自己点検するための重要な資料である。

本学において平成12年度から「学生による授業評価アンケート」は実施され、「学生による授業評価専門部会」でアンケートの対象となる授業や評価項目について毎年検討され、現在では、原則すべての授業で実施されるに至っている。

今回の学習指導要領の改訂では、知識及び技能の習得にあわせて、思考力・判断力・表現力等の育成、学びあう力や人間性を培うことに重点が置かれ、授業形態として「主体的・対話的で深い学び」が重視された。そのような授業が実践できる指導力の高い教員を養成するために、本学では、アクティブ・ラーニングを授業に積極的に取り入れ、学生の主体的な学びの促進に努めた。授業ごとにシラバスで実施するアクティブ・ラーニングの形態を受講生に示し、「学生の授業評価アンケート」にもアクティブ・ラーニングに関する項目を設けた。

平成29年度の「学生の授業評価アンケート」では、「教養基礎科目」「教育実践コア科目」「教職共通科目」「専修専門科目」のすべての科目群において総合評価が4.3を超え、受講生から本学の授業に対して肯定的な評価を得た。また、ほとんどの授業でアクティブ・ラーニングが採用されたことも明確となった。

この「学生の授業評価アンケート」が、授業改善のPDCAサイクルに活用され、さらに学生にとって満足度の高い授業へと高められることを期待する。

(平成31年3月 理事・副学長(教育・研究担当) 大石雅章)

目 次

巻頭言

I 学生による授業評価の意義	1
II 学生による授業評価の結果と考察	3
1. 調査の方法と種類別回答数	3
2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴	5
3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴	7
4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴	9
5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴	11
6. アンケート様式	17
III 学部授業評価の結果報告書	19

あとがき

I

学 生 に よ る
授 業 評 価 の 意 義

I 学生による授業評価の意義

鳴門教育大学は、豊かな人間性及び高度な専門性と実践力を備えた専門職としての教員を養成することを最大の目的としている。その成果を各学校や社会に還元するためには、常に学生の学修成果の評価と、それをふまえた教育評価（カリキュラム・授業評価）に取り組んでいかねばならない。

この目的を達成するために本学においては「アドミッション・ポリシー」、「カリキュラム・ポリシー」、「ディプロマ・ポリシー」の3ポリシーを策定し、教育大学としての教育課程の方針を明確化するとともに、学長直轄の「学部・大学院ファカルティ・ディベロップメント（FD）委員会」の下で「特別公開授業」、「公開授業週間」、「FD 講演会及びシンポジウム」等の全学的なFD推進事業を実施している。その中でも重要な役割を担っているのが学生による授業評価であり、全授業を対象として「学生による授業評価アンケート」に基づいた自己点検・評価を行って、毎年度、授業や指導の改善を図っている。

「学生による授業評価アンケート」は、個々の教員がみずからの教育の質向上に資するためのひとつの方法である。同アンケートの利用方法と意義は、その調査結果を教員にフィードバックし、教員による授業分析と自発的授業改善につなげるとともに、授業の種類別に評価結果の概要と特徴を分析して報告書を作成し、社会に公表することにある。

本報告書は、平成29年度の「学生による授業評価アンケート」の授業評価実施報告書である。分析結果を基に、授業の実施内容・方法を点検・評価し、授業の現状と課題を明確にすることで、教育の質の一層の向上を図ろうとするものである。各教員が客観的な評価観点に基づいた学生による授業評価を参照し、授業の実施方法と内容についてみずから検証と省察を繰り返し、その結果をよりよい教育を行うための授業改善につなげることが重要であろう。

II

学生による授業評価の 結果と考察

Ⅱ 学生による授業評価の結果と考察

1. 調査の方法と種類別回答数

アンケート調査は、原則として、開講している全ての授業科目（嘱託講師が担当している授業科目を含む）について、実施することとした。ただし、受講生が3人以下の授業科目と実地教育科目及び卒業研究は対象外することとした。実地教育科目（「ふれあい実習」を含む）を対象外とした理由は、これらの科目については、実地教育専門部会で別途アンケート調査を行うためである。

最終回の授業を担当する教員がアンケート用紙を配布し、記入後、ただちに受講生が回収及び教務企画課へ提出するものとした。また、アンケート調査は「無記名」で実施した。アンケート調査の内容は、3つの大項目の下に3または5つ（昨年度までの4質問項目に、新たな質問項目「授業では、アクティブ・ラーニングが実施されていた」が加えられ5質問項目となった）の下位の質問項目を設定し、教育実践コア科目についてのみさらに1つの大項目と3つの質問項目を設定した。各教員は授業の内容・方法に合わせて、質問項目をあらかじめ削除することや、独自の設問を設定することができるものとした。なお、アンケートの集計においては、学生自身の授業への取り組みについて問う大項目3を除いた、大項目1, 2, 4, 5の平均値を総合評価とした。

大項目1から5の内容は次のとおりである。

- 1 授業の計画と内容について（質問項目：5）
- 2 授業の進め方について（質問項目：3）
- 3 あなたの授業への取り組みについて（質問項目：3）
- 4 教育実践コア科目について（コア科目のみ回答）（質問項目：3）
- 5 授業に対する総合的評価（質問項目：4）

各質問項目の回答は、「5 そう思う」、「4 ややそう思う」、「3 どちらとも言えない」、「2 あまりそう思わない」、「1 そう思わない」の5つの選択肢から1つを選ぶ形式とした。

有効回答数、実施授業科目数は次の頁のとおりである。

表1 学生による授業評価の授業の種類別有効回答数

	有効回答数
教養基礎科目	1,052
教育実践コア科目	450
教職共通科目	3,442
専修専門科目	4,217
合 計	9,161

表2 学生による授業評価の授業の種類別実施授業科目数

	授業科目数
教養基礎科目	35
教育実践コア科目	44
教職共通科目	73
専修専門科目	229
合 計	381

2. 教養基礎科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

平成 29 年度に実施された教養基礎科目に対する授業評価の実施授業科目数は 35(昨年度 30) 科目, 有効回答人数は 1052 (同 979) 人と増加している。評価結果については, 13 頁の図 1 に示している。この図では, 全ての質問項目を「1 授業の計画と内容について」, 「2 授業の進め方について」, 「3 あなたの授業への取り組みについて」, 「5 授業に対する総合的評価」の 4 つの大項目に区分した。各質問項目は 5 段階評価に分類して回答を求め, その実数と割合を帯グラフで表示している。これらの図と質問項目ごとの平均値をもとに以下に調査結果の概要を述べる。なお, 平成 29 年度からは, 大項目「1 授業の計画と内容について」の 3 番目に新たな質問項目「授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた」が加わっている。

教養基礎科目の授業に対する「3 あなたの授業への取り組みについて」の 3 項目を除き, 新たにアクティブ・ラーニングに関する質問を加えた, 9 項目全体の評価の総合平均値は「4.3 (昨年度 4.4)」で昨年度から少し下がっている。ところが各大項目では, 「1 授業の計画と内容について」からアクティブ・ラーニングに関する質問を除いた 4 つの質問項目の平均値は「4.4 (同 4.4)」, 「2 授業の進め方について」の 3 つの質問項目の平均値は「4.3 (同 4.3)」であった。「3 あなたの授業への取り組みについて」の 3 つの質問項目の平均値は「4.3 (同 4.3)」, そして「5 授業に対する総合的評価」の項目の平均値は「4.4 (同 4.4)」と, 全く変わっていない。それにもかかわらず総合平均値が下がったのは, 新たに加わった質問項目(アクティブ・ラーニング)「4.3」のために小数点第 2 位以下がごくわずかに押し下げられたためである。

昨年度に引き続き, 今年度も全項目を通して評価平均値が 4 以上であり, 教養基礎科目に関して学生の満足度や評価が高いことがわかる。

2) 評価結果の特徴

質問項目ごとの特徴をみると以下のようなになる。

「1 授業の計画と内容について」の「シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画, 課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した」では, 「どちらとも言えない」を含めると 11% (昨年度 10%) の学生が否定的な回答をよせている。また, 「授業内容は, シラバス等によって示された授業計画や課題に沿っていた」

では12% (同10%), 「授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった」では14% (同13%), 「シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された」では15% (同13%) の学生が否定的な回答をよせている。いずれの項目も昨年度より否定的な回答の割合が増えているが、個々の授業の質の低下によるものか、あるいは実施授業科目数が増えたためなのかは分からない。なお、新たな質問項目「授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた」における否定的な回答は17%と、他の質問項目より高い数字となっている。ただ、1052人全員が回答しているので、もともとアクティブ・ラーニングを実施するつもりがなかった授業についても回答の中に含まれている可能性や、何をアクティブ・ラーニングと見なすのか、授業者と学生との間で理解の違いがあることも考えられる。授業によってはアンケートの質問項目からはずしたり、授業中のどの活動をアクティブ・ラーニングと見なしているかを授業者が学生に伝えたりする必要があると思われる。

「2 授業の進め方について」では、「教員の授業に取り組む姿勢は適切なものだった」についてでは87% (同88%) の学生が教員の姿勢は適切であったと回答している(「あまりそう思わない」と「そう思わない」は合計3%)。「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」においては83%(同84%)が肯定的に回答し(否定的な回答は3%),そして「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた」においては83%(同84%)の学生が肯定的な回答をしている。わずかではあるが、すべての項目において数字の低下が見られる。今後さらなる授業改善の努力が求められよう。

「3 あなたの授業への取り組みについて」では、「授業によく出席し、積極的に取り組んだ」学生は89%(同89%)となり、昨年度と同じである。一方で「授業内容をよく理解するために予習・復習を行った」学生は71%(同76%)と5ポイントも下がっている。「授業内容をよく理解するために、教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした」学生は74%(同76%)も2ポイント低下、「予習・復習」を行わなかった(「あまりそう思わない」と「そう思わない」の合計)学生も9%(同6%)と増えているので、学生が授業へ取り組む姿勢は改善されているとはいいがたい。

今年度の基礎教養科目は授業の内容や進め方、学生の授業への取り組みいずれの面においても、昨年度とくらべると残念ながらやや良くない結果となってしまった。他の科目の結果とも比較する必要はあるが、教養基礎科目は、学識を深め、幅広く教養を身につけることを目的とする非常に大切な基礎的科目である。したがって、今後も学生が自ら学ぶ意識を高めることができるように、それぞれの授業者が工夫し、進めていく必要があるだろう。

3. 教育実践コア科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

平成 29 年度に実施された、教育実践コア科目に対する授業評価の実施授業科目数は 44 科目であり、有効回答人数は 450 人であった。14 頁の図 2 は、教育実践コア科目に対する評価結果を表す。

図 2 から、5 つの大項目の下に設けられた 15 の質問項目の全てで、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が 80%以上であったことが分かる。大項目「5 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価してこの授業が満足できるものであった」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数はそれぞれ、292 人、115 人であり、有効回答人数の約 95%であることが分かる。その他、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が高い質問項目には、「学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容であった」、「授業の内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった」、「目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった」、「教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。」等がある。回答結果から、学生は教育実践コア科目の履修を通して、教育実践の基盤として必要な専門的知識、教育理論、教育実践をつなげることができたと感じていることが分かる。「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が最も低い質問項目は、「授業内容をよく理解するために予習・復習をした」であり、その割合は約 83%である。「そう思わない」と回答した学生は 3 人、「あまりそう思わない」と回答した学生が 15 人おり、その割合は約 4%である。また同様に「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。」についても、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合は低く、「そう思わない」と回答した学生は 0 人だが、「あまりそう思わない」と回答した学生が 12 人おり、その割合は約 3%である。他の質問項目で「あまりそう思わない」と回答した学生は 0～7 人で、その割合が 0～2%であることと比べると、授業で学生の主体的な学習を一層促す工夫が大切だと考えられる。

評価平均値は、大項目「1 授業の計画と内容について」の 4 つの質問項目においては 4.5～4.6、「2 授業の進め方について」の 3 つの質問項目においては 4.5～4.6、「3 あなたの授業への取り組みについて」の 3 つの質問項目においては 4.3～4.6、「4 教育実践コア科目について」の 3 つの質問項目は 4.6、「5 授業に対する総合的評価」の 1 つの質問項

目においては4.6、総合評価は4.5である。

これらのことは、学生の大多数は教職実践コア科目の授業内容、授業方法、自己の取り組み方を概ね肯定的に捉えていること、授業に満足していることを示していると考えられる。

2) 評価結果の特徴

教職実践コア科目では、評価平均値は最も低い質問項目で4.3であり、全ての質問項目の評価は高い。その理由として、教科の成り立ちの理解と人間理解を通したあるべき教師像の形成や教師として必要な実践的指導力の育成等を目的とする科目であるため、授業で実施されている内容・方法と指導者としての資質・能力の向上との関連を捉えやすいことがあり、受講する学生が自己の将来像に照らして授業の意義を実感できたことが考えられる。

大項目「4 教育実践コア科目について」では、3つの質問項目とも94、95人の無回答者がいる。他の大項目の質問項目では無回答者は0人から16人である。平成27年度以降毎年同様の傾向があることから、何故、大項目4の質問項目だけ無回答者が特に多いのか、原因を探る必要がある。

4. 教職共通科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

平成 29 年度に実施された教職共通科目に対する授業評価実施授業科目数は 73 科目であり、有効回答人数は 3442 人であった。これは、平成 28 年度の実施授業科目 58 科目、有効回答人数 3187 人に比べて大幅に増加している。この原因については、アクティブ・ラーニング実施に関する項目の追加や授業評価実施が教員の業績評価の対象となっていること等により、授業評価に対する教員の意識が高まっていることが推測される。15 頁の図 3 は、教職共通科目に対する評価結果を表している。平成 28 年度と比較すると、図 3 が示す各質問項目の評価はほとんど変わらない傾向が見て取れる。総合評価も 4.3 と同数値である。

ただ、プラスの評価である「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が 80%以上の項目が 11 項目中 9 項目であり、高評価を維持している。

11 項目うち最も「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が少なかったのは、大項目「3 あなたの授業への取り組みについて」の 2 項目である。質問は、「授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。」と「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。」である。これは他の科目の評価においても見られる傾向である。

全体的には、授業出席を含めて本学学生の授業における真摯な学習態度が見て取れる。しかし、予習・復習、読書の習慣が身につけていない学生数も無視できない。これは、それぞれの授業者の努力によって改善されるべき問題であるが、学生自身による学生生活全般についての改善、改革が必要な問題でもあろう。

大項目「5 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数はそれぞれ 1723 人、1131 人であり、回答数の 85%を上回る。繰り返しになるが、本質問項目の総合評価は昨年度と同じ 4.3 であり、高評価を維持していると言えよう。

2) 評価結果の特徴

教職共通科目では、評価平均値が最も低い質問項目は、4.1 が 2 項目について、4.2 が 1 項目についてあったが、全ての質問項目の評価平均値について、他の授業科目に比べて特に評価が低いという数値ではない。その結果から、昨年度の報告「専修・コース別の入学試験により教師になることを目指して入学した学生にとって、教育実践コア科目や専修専門科目に比べ、教職共通科目に目的意識を持ちにくかったことが想定される」は、平成 29

年度の評価においては不安要素とはならないと言えよう。ただ、いずれの質問項目についても、教育実践コア科目のように4.5前後の高い評価になるよう工夫が望まれる。

平成28年度の評価では、教職教養科目の評価平均値が他の授業科目に比べて低かったことが報告されたが、平成29年度は結果的に改善されていることが認められる。それでも、予習・復習、読書生活を十分に行っていない学生が多いことは相変わらず問題である。なかでも、将来教員を目指している学生が、授業や専門に関する文献を含め、読書を習慣化していない実態がある。昨年度の報告書にあったように、それぞれの授業における参考文献等の指導にとどまらず、全学的に学生の読書生活を充実したものにするための取り組みを行う必要がある。

5. 専修専門科目に関する結果の概要と特徴

1) 評価結果の概要

平成 29 年度に実施された専修専門科目に対する授業評価科目数は 226 科目（昨年度 210 科目）、有効回答人数は 4,217 人（同 3,920 人）であった。16 頁の図 4 は、専修専門科目の評価結果である。総合評価の平均は 4.4（同 4.4）で、「授業に対する満足度」の評価平均も 4.4（同 4.4）であり、3 点台の項目は昨年度同様に一つもなく、良好な評価を得ていると思われる。

個別の評価項目での評価も全体的に高い。大項目 1「授業の計画と内容について」の 4 つの質問項目の平均値はいずれも昨年度と同じく 4.4、大項目 2「授業の進め方について」の 3 つの質問項目の平均値は 4.4（同 4.5）、4.4（同 4.3）、4.4（同 4.4）であり、3 つ目の「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配布・活用や教育機器の利用等を含む）」ではわずかながら改善がみられる。大項目 3「あなたの授業への取り組みについて」の 3 つの質問項目の平均値は 4.5（同 4.5）、4.2（同 4.1）、4.2（同 4.2）と昨年度と同水準である。

全体としては、専修専門科目に関しては昨年度に引き続き、今年度も高い評価が得られたと結論づけられる。

2) 評価結果の特徴

評価結果を大項目別に検討する。大項目 1「授業の計画と内容について」は上述のとおりいずれの質問項目も評価平均は 4.4 である。ただし、有効回答人数に含まれない N.A、無回答の割合に着目すると「シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された」かどうかを問う項目で、他の質問項目よりも N.A.が多い。この傾向は、他の「教養基礎科目」、「教育実践コア科目」、「教職共通科目」いずれにも見られる。確かに受講生にとってみれば実際に成績が出て、なおかつ他の受講生の成績と比較しなければ判断できないことであることが一因と考えられる。この設問を「シラバスには評価方法が明確に示されていた」等に変更するなど検討する必要がある。

大項目 2「授業の進め方について」においては、質問項目 1「教員の授業に取り組む姿勢は適切なものだった」「授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた」について評価平均 4.4 と高かった。質問項目 2「私語等の学生の学習態度への指導…」が 4.3 とやや低い。教員が自身の授業に熱心に取り組むことと比べると、学生に対する授業時間中の規律の維持への関心や不満を感じ取り対応をしてゆくことには、教員側に改善の余地があるといえる。

大項目 3「あなたの授業への取り組みについて」では高い評価を得たのが昨年同様「授業によく出席した」4.5 であり、全質問中最低の評価だったのが、これも昨年同様「予習・復習をした」の 4.2 である。平成 21 年度から指摘されているように、学生は授業によく出

席し、積極的に取り組むが、授業外での予習や復習などを行わない傾向が強い。3つ目の「教員に質問したり、他の学生と話し合ったりする」も 4.2 と高くない。29 年度以降アクティブ・ラーニングの導入がシラバスにも明記されたので、予習・復習などの自主学習をせざるを得ないような授業や、主体的・対話的な学習活動を一層取り入れた授業を行ってゆくことが求められよう。

N.A.が目立って多いのが最後の「総合的に判断して、この授業は満足できるものであった」である。他の科目を見渡しても、基礎教養科目 1052 人中 24 人 (2.3%)、教育実践コア科目 450 人中 23 人 (5.1%)、教職共通科目 3442 人中 108 人 (3.1%)、専修専門科目 4217 人中 103 (2.4%) と、その傾向は一定している。一見答えやすい質問において N.A.が多い理由は分からないが、途中で該当者のみ回答すればよい項目が挟まれるという質問票の形式により見落としてしまっていることも考えられる。全員が回答する項目であることを明記するなど、質問票を改善する必要があるのではないだろうか。

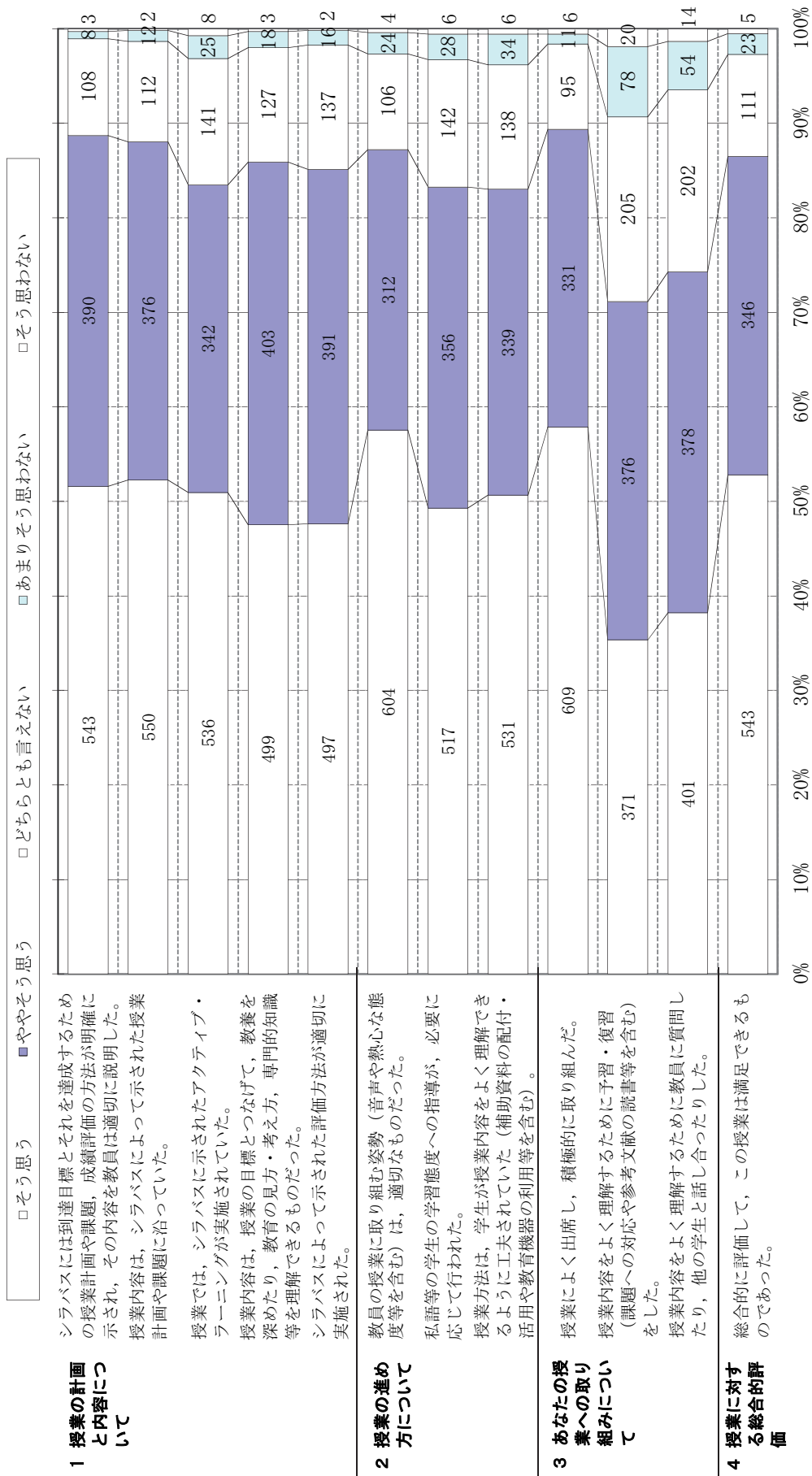


図1 教養基礎科目に対する評価結果

そう思う
 ややそう思う
 どちらとも言えない
 あまりそう思わない
 そう思わない

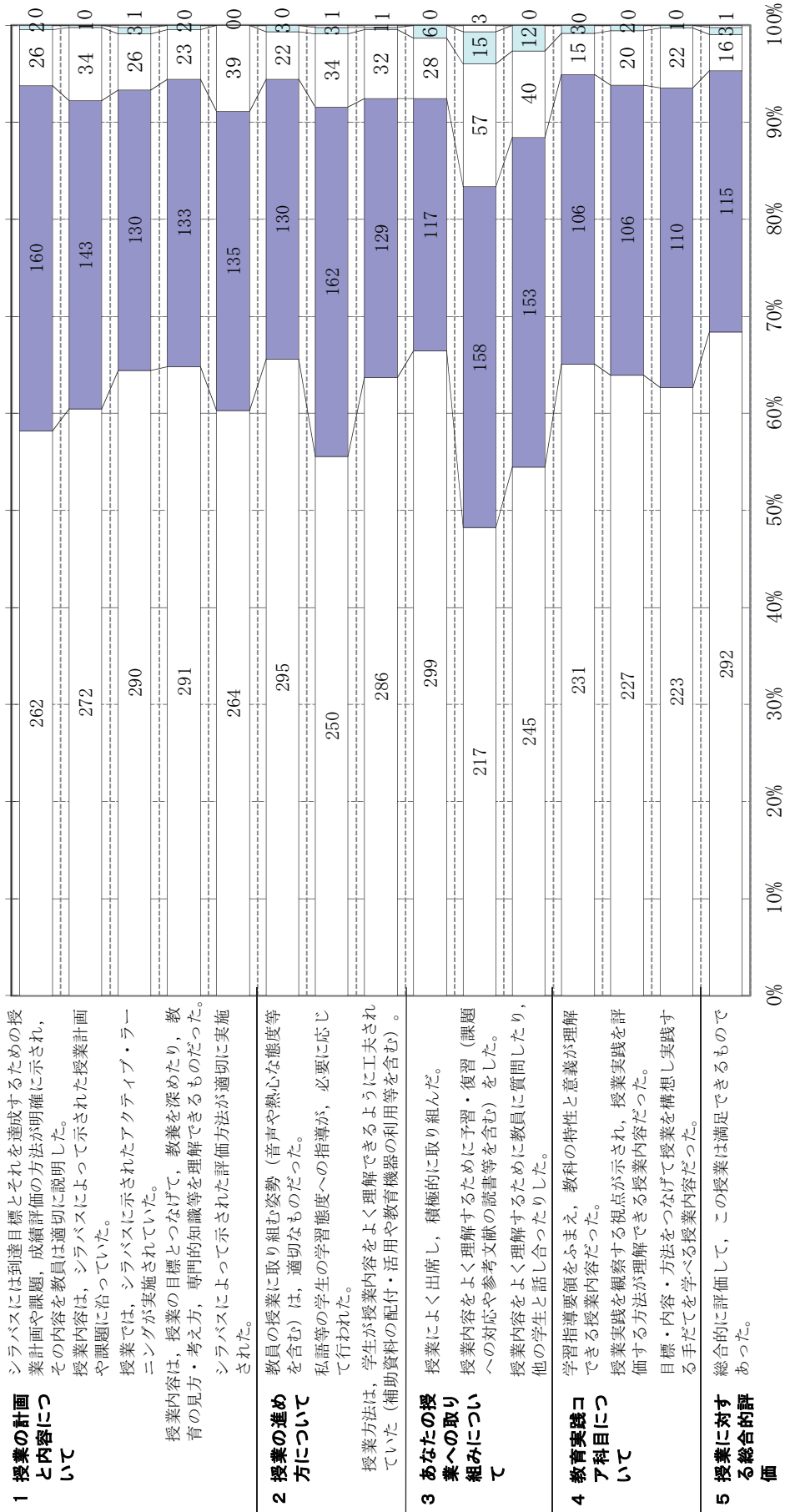


図2 教育実践コア科目に対する評価結果

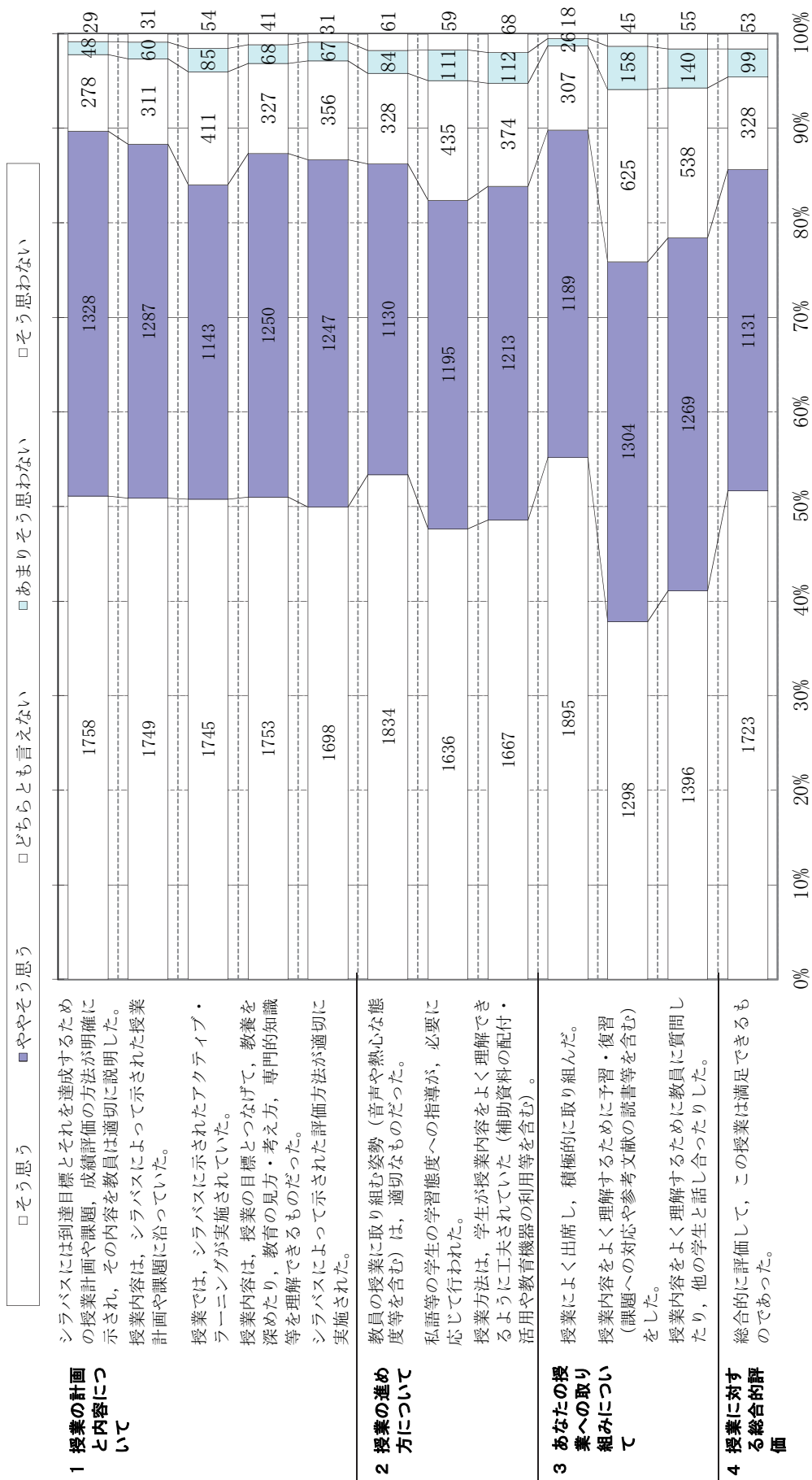


図3 教職共通科目に対する評価結果

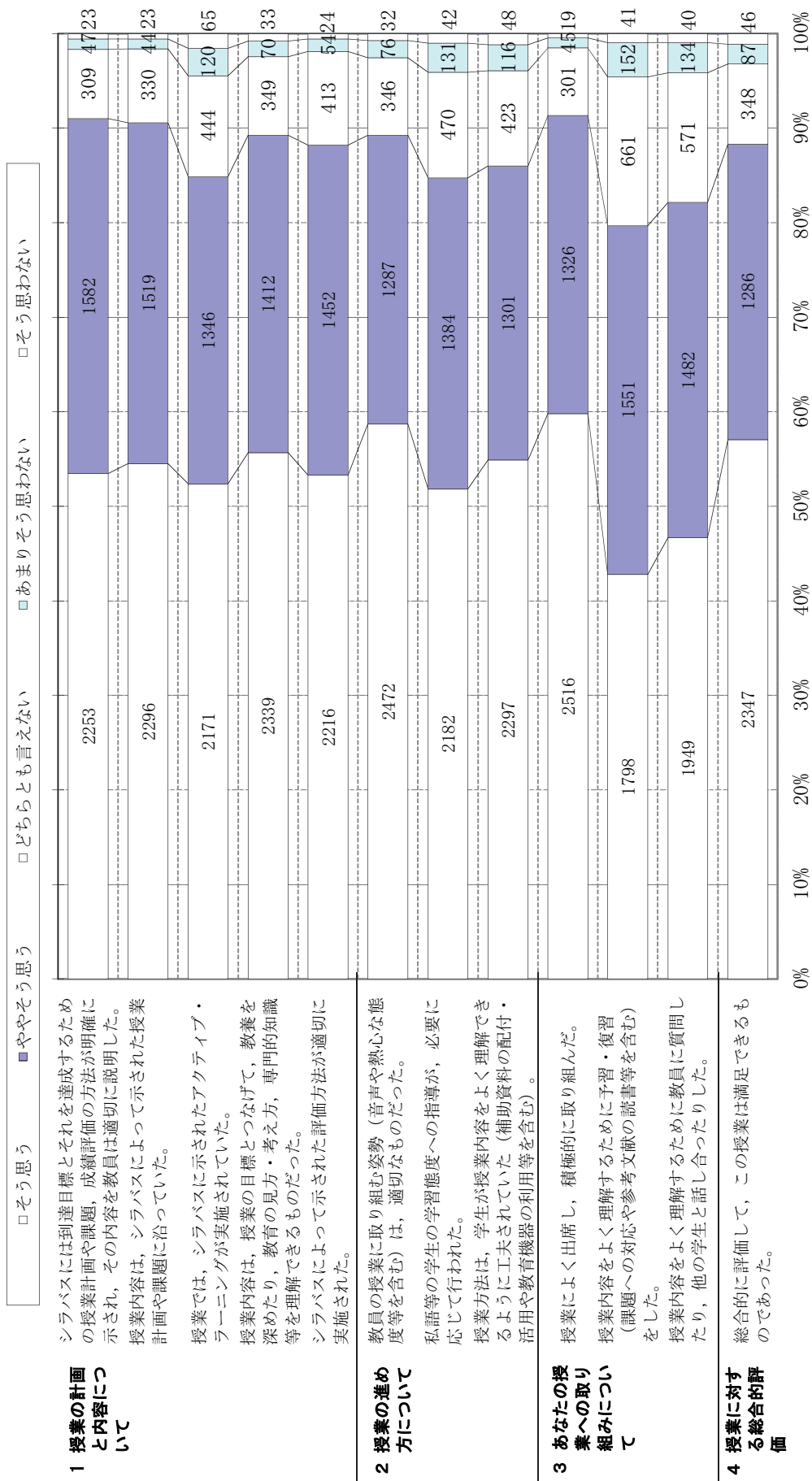


図4 専修専門科目に対する評価結果

様式（共通）

平成 29 年度 学部 授業評価アンケート調査

評価実施日 _____ 年 _____ 月 _____ 日

前期 ・ 後期 _____ 曜日 _____ 時限

授業科目名 _____

授業区分 1. 教養基礎科目 2. 教育実践コア科目 3. 教職共通科目

4. 専修専門科目

担当教員名 _____

受講者数 _____ 名

このアンケート調査は、今後の学部の授業の改善に役立てることを目的として行うものです。
 以下の各項目について、次の5段階で回答し、その該当する番号をマークしてください。なお、アンケート回収後にコンピュータ処理を行いますので、下記の「マークのしかた（良い例）」のとおりマークしてください。
 このアンケートの結果が皆さんの成績などに影響することはありませんので、率直に回答してください。

5. そう思う 4. ややそう思う 3. どちらとも言えない 2. あまりそう思わない 1. そう思わない

マークのしかた
 良い例 悪い例


1 授業の計画と内容について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| (1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

2 授業の進め方について

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| (6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

3 あなたの授業への取り組みについて

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| (9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

4 教育実践コア科目について（コア科目以外の場合は(15)へ）

- | | | | | | |
|--|---|---|---|---|---|
| (12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

5 授業に対する総合的評価

- | | | | | | |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|
| (15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。 | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
|---------------------------------|---|---|---|---|---|

6 先の1から5の項目以外で、本授業で設定する項目（※独自の設問を設定できます。）

- | | | | | | |
|-----|---|---|---|---|---|
| (1) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |
| (2) | ⑤ | ④ | ③ | ② | ① |

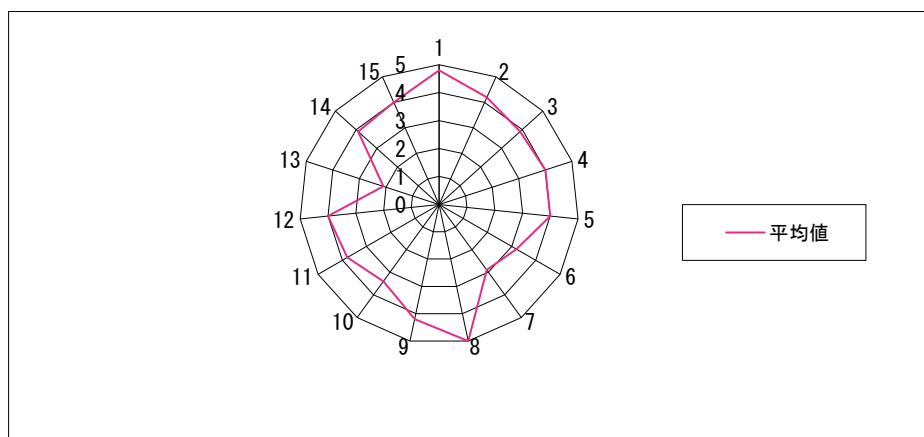
あなたの満足度に対する理由と授業改善にむけての提言

【ご協力ありがとうございました。】

授業科目名 ○○○○教育論
 評価実施日 平成 年 月 日
 担当教員名 ○○ ○○

回答者数 ○○名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						3.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						2.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。						3.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)～)	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						2.1
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						3.9
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.0



総合評価
 ※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

III

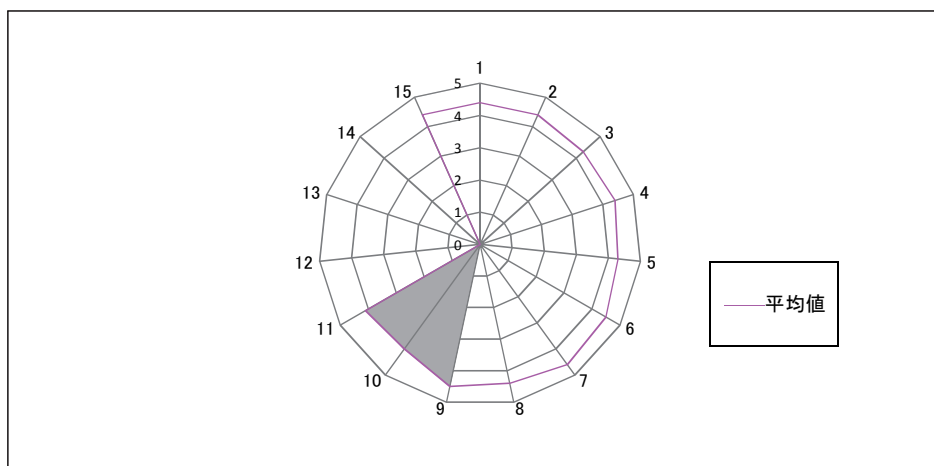
学部授業評価の 結果報告書

教 養 基 礎 科 目

授業科目名 日本国憲法
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 133名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	69	48	14	1	1	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	68	45	18	1	1	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	60	47	21	3	2	0	4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	70	42	18	2	1	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	59	50	21	1	1	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	83	34	14	1	1	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	94	25	12	1	1	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	68	42	18	3	1	1	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	83	35	11	1	3	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	37	57	30	4	3	2	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	51	49	22	8	3	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	72	37	17	3	1	3	4.4



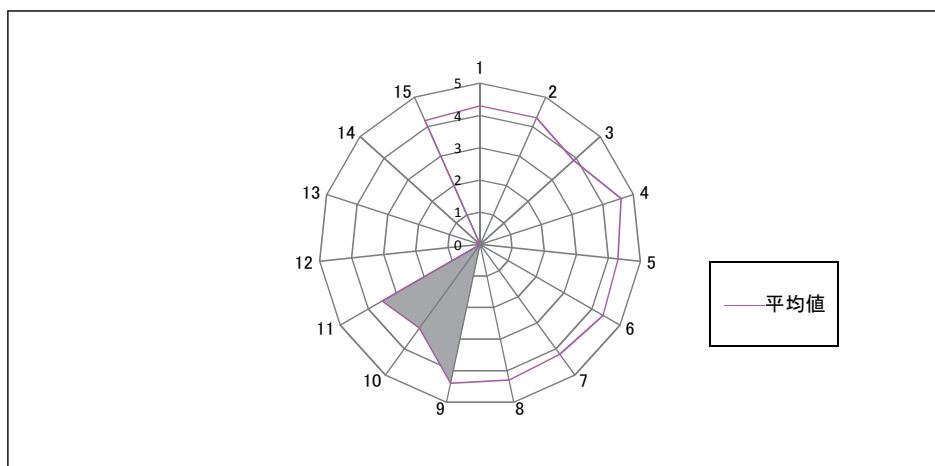
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 科学と環境
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 武田 清, 工藤 慎一, 田村 和之

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						3.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



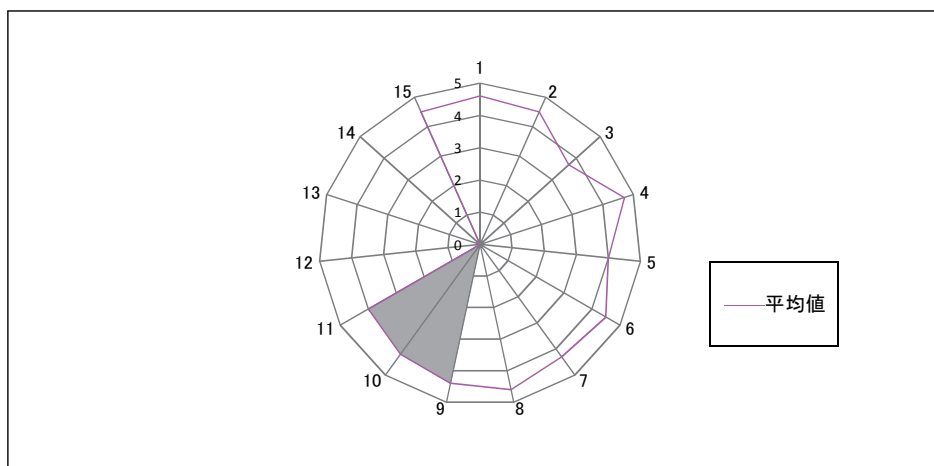
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 紛争と平和
 評価実施日 平成30年2月5日
 担当教員名 麻生 多聞, 立岡 裕士, 原田 昌博

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



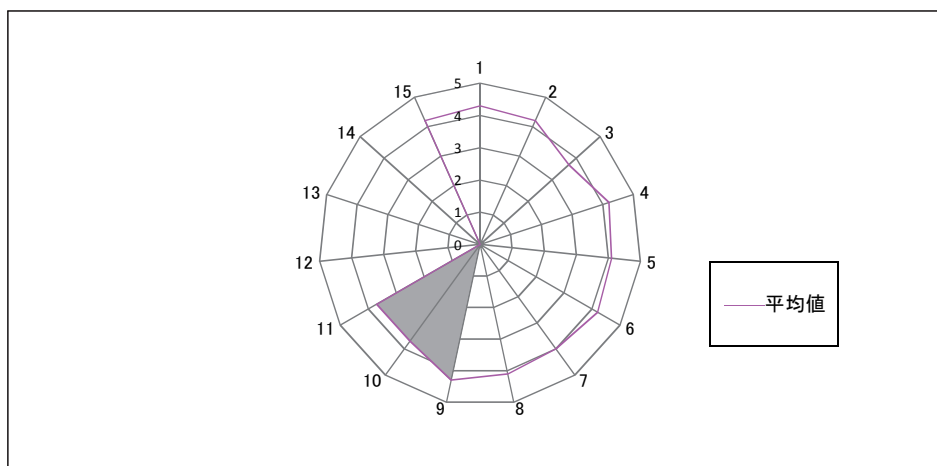
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 生体メカニズムと生命倫理
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 田中 淳一, 乾 信之, 古川 洋和

回答者数 82名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	31	43	8	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	27	43	11	1	0	0	4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	26	28	6	2	0	3.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	25	43	12	2	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	24	42	12	3	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	30	34	16	2	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	24	31	22	5	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	30	33	16	3	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	33	38	10	1	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	20	30	18	14	0	0	3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	20	25	27	9	1	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	29	35	14	0	1	3	4.2



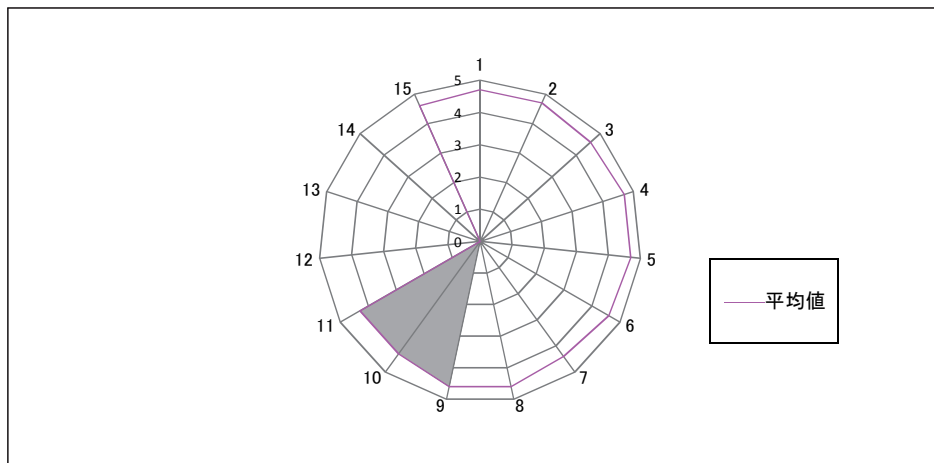
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 西洋の文化研究
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 小川 勝, 吉川 エリザベス, 山田 啓明

回答者数 38名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	12	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	13	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	23	13	2	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	24	13	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	24	13	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	23	14	0	1	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	17	3	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	13	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	23	13	2	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	20	2	2	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	19	5	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	21	13	0	1	0	3	4.6



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

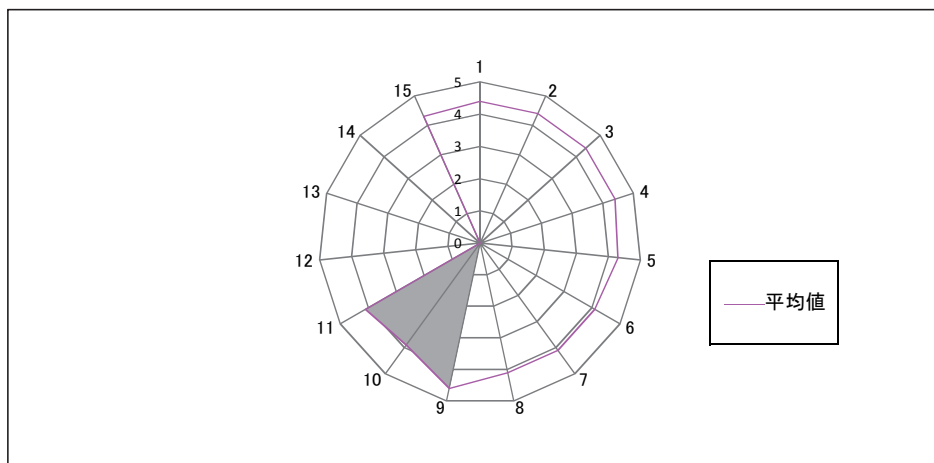
授業科目名 阿波学(地域文化研究)

評価実施日 平成29年10月4日

担当教員名 内藤 隆, 皆川 直凡, 中津 郁子, 久米 禎子, 小倉 正義, 田村 隆宏, 立岡 裕士, 畠山 輝雄, 町田 哲, 山本 準, 栗原 慶, 山根 秀憲, 木原 資裕, 南 隆尚, 宮下 晃一, 栗原 慶

回答者数 79名

質問項目	評価選択人数					平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.1
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.3



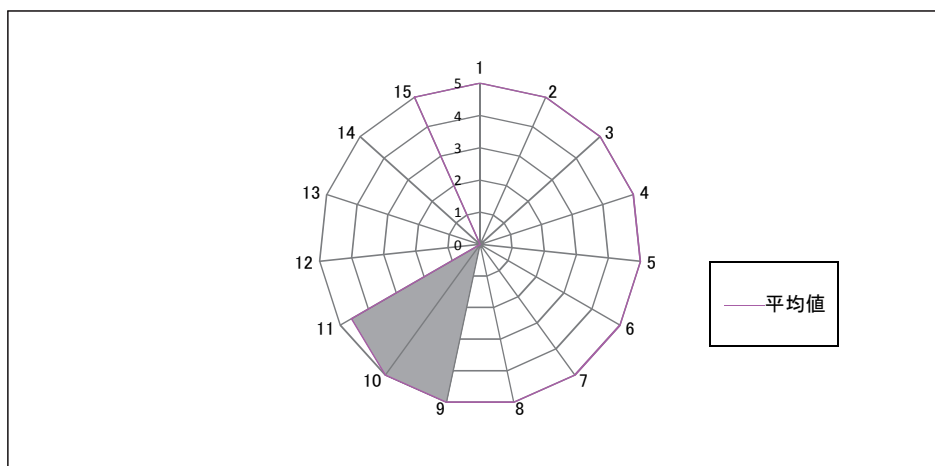
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 日本事情・日本文化
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 田中 大輝

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



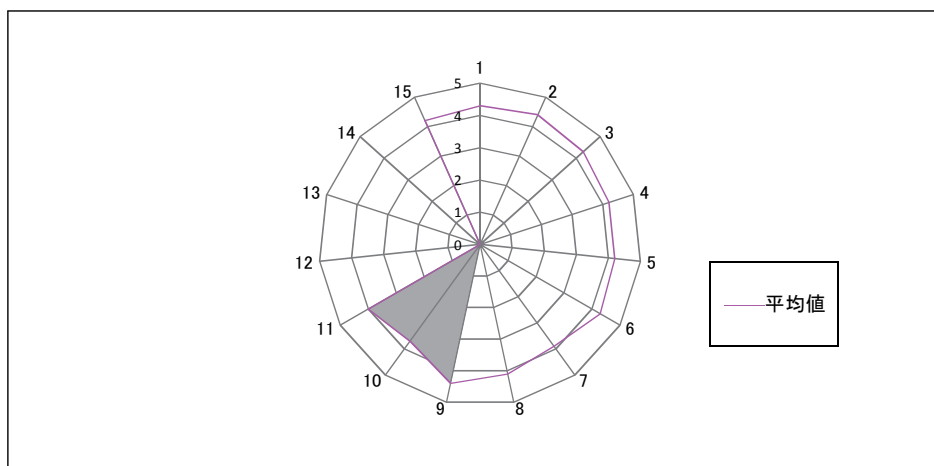
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎情報教育A・B
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 曾根 直人, 長瀬 大, 大野 将樹

回答者数 97名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



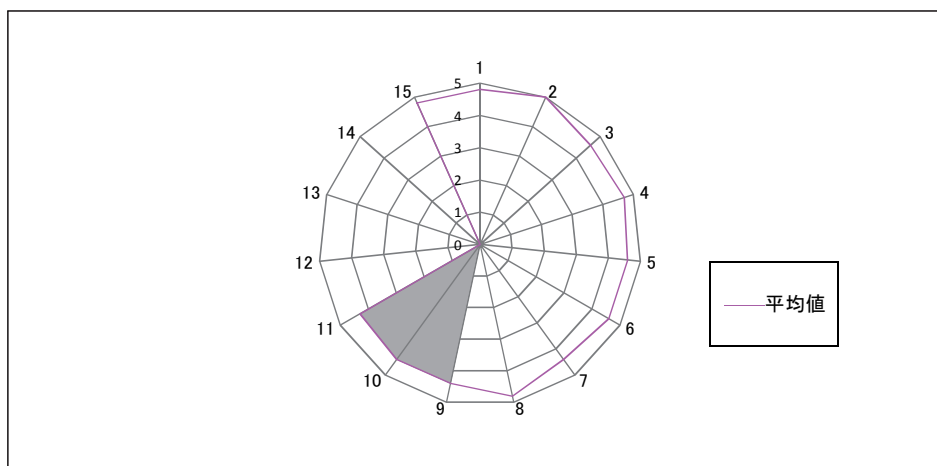
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 実践情報教育 I A
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	7	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	1	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	1	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	5	0	0	1	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	2	2	0	1	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	7	0	0	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	2	1	0	0	1	4.8



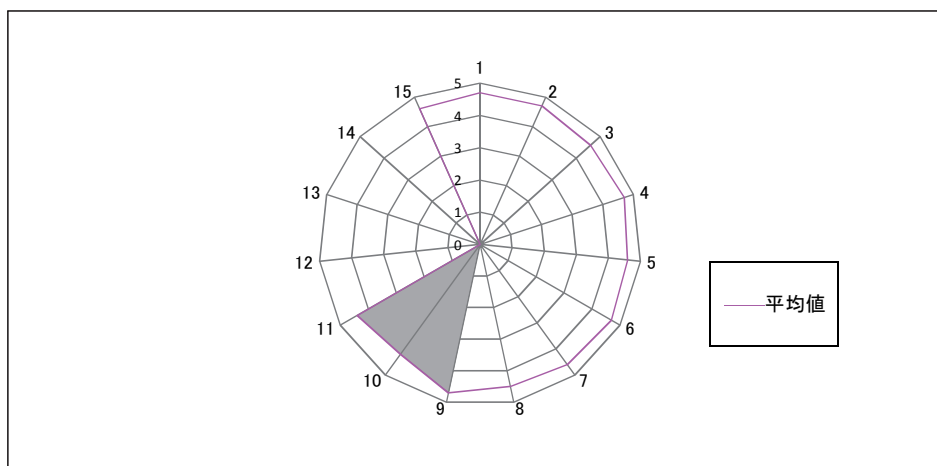
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育 I B
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 大野 将樹

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



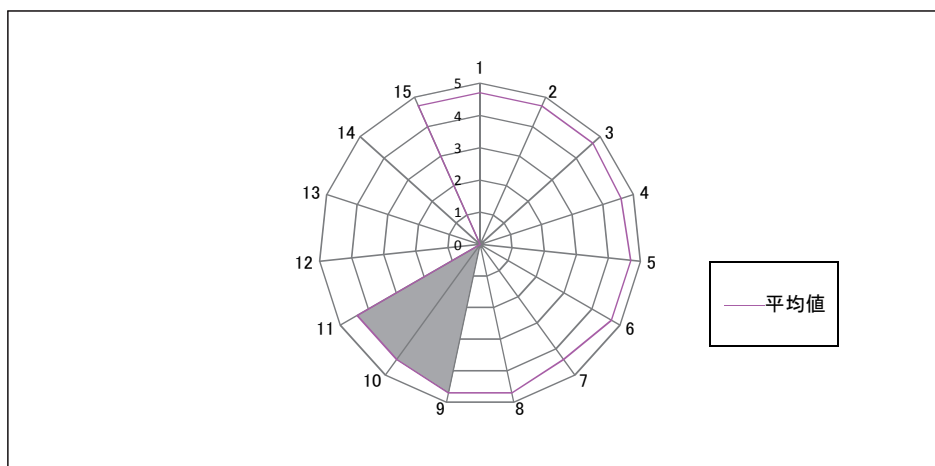
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡA
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	7	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	7	0	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	8	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	10	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	15	7	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	8	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	8	1	0	1	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	7	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	5	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	8	4	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	8	3	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	7	0	0	0	0	4.7



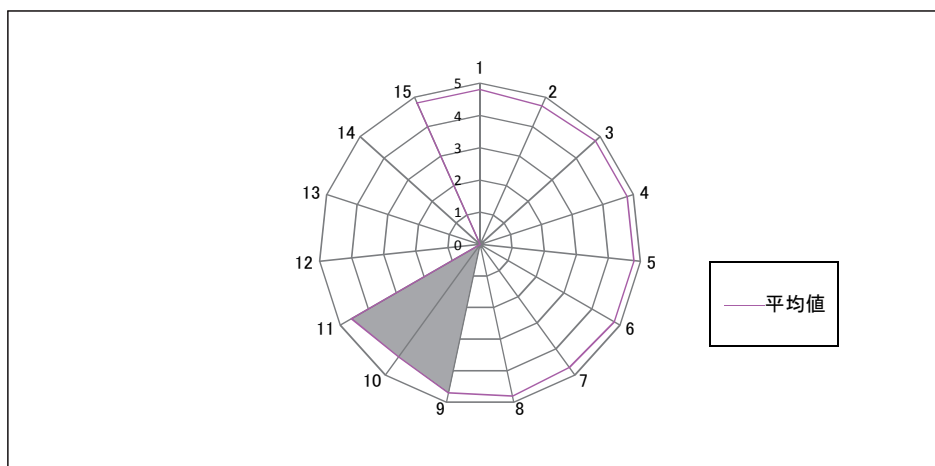
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育ⅡB
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1 N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	20	7	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	7	1	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	7	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	21	6	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	20	5	1	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	6	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	9	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	6	1	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	8	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	16	4	4	3	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	6	1	1	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	20	7	0	0	0	4.8



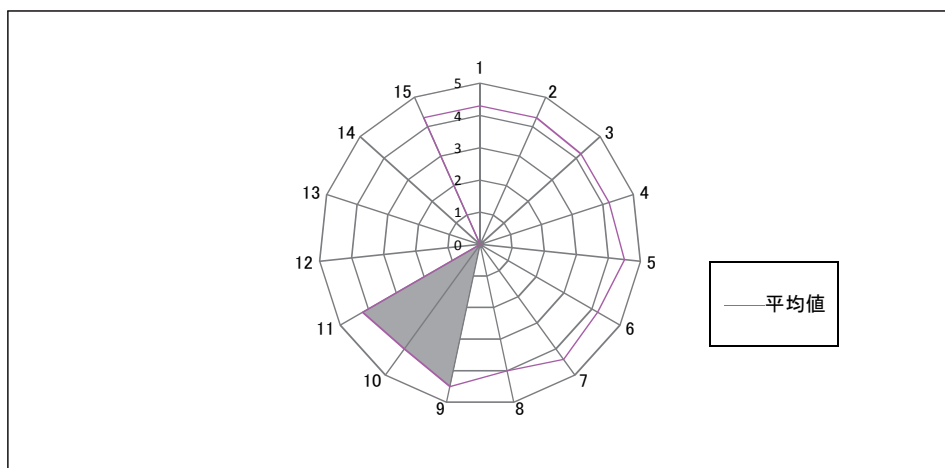
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 実践情報教育Ⅲ
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 戸川 聡

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



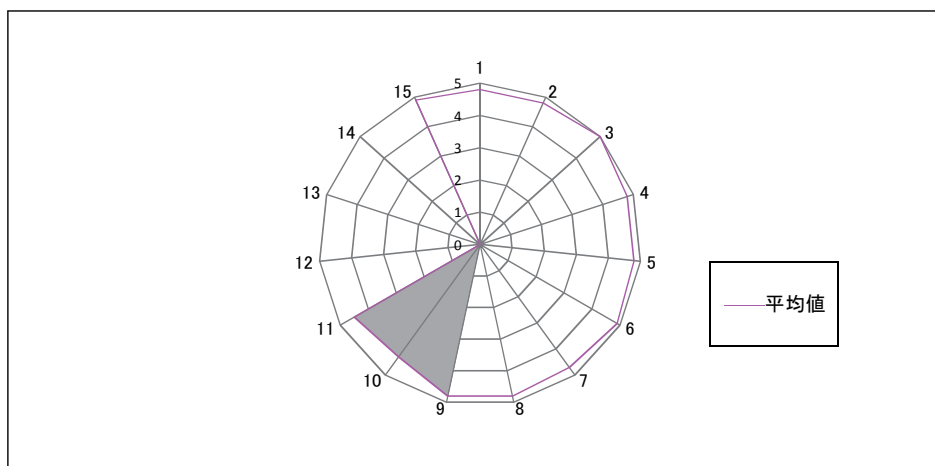
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I A
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 鎌田・スザン・リン

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	6	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	6	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	22	2	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	17	7	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	6	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	20	4	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	16	8	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	5	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	6	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	8	2	2	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	8	0	0	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	21	3	0	0	0	0	4.9



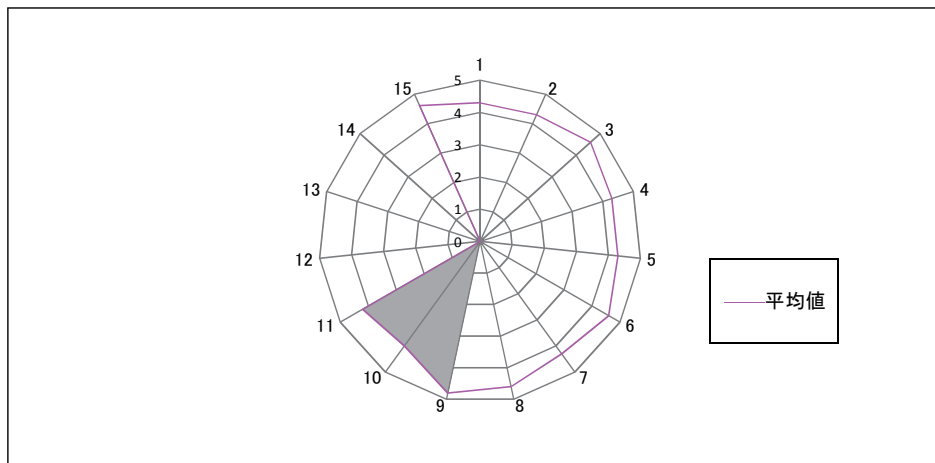
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I B
 評価実施日 平成29年7月11日
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.6



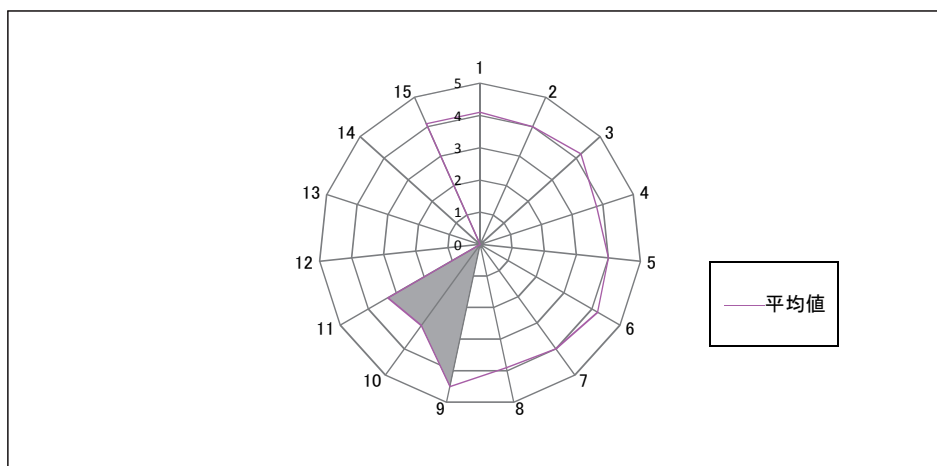
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I C
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	8	6	1	0	0	4.1
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	10	6	1	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	9	4	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	13	7	1	0	0	3.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	11	6	1	0	1	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	9	4	0	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	11	7	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	10	6	2	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	5	3	1	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	10	4	5	4	0	3.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	5	11	4	1	0	3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	9	4	2	0	0	4.1



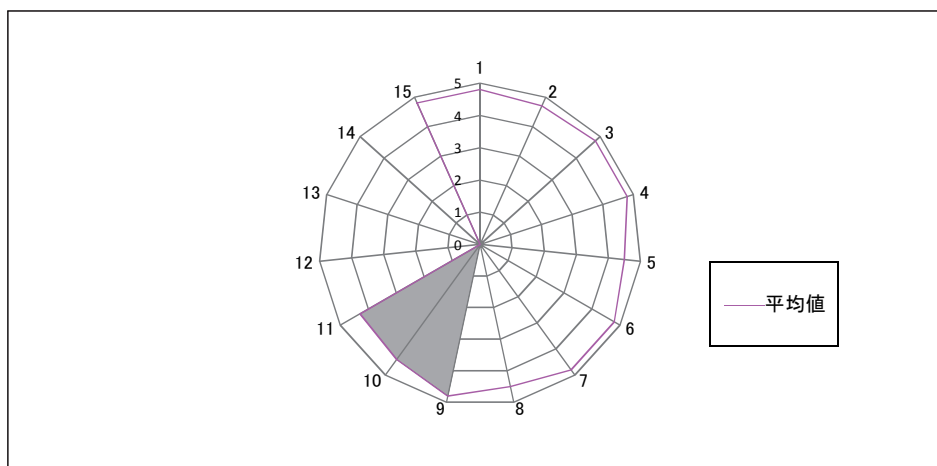
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I D
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 ノリー・マシュー・マドックス

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	15	6	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	6	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	2	2	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	6	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	5	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	15	6	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	3	4	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	5	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	8	3	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	9	3	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	17	2	0	1	0	1	4.8



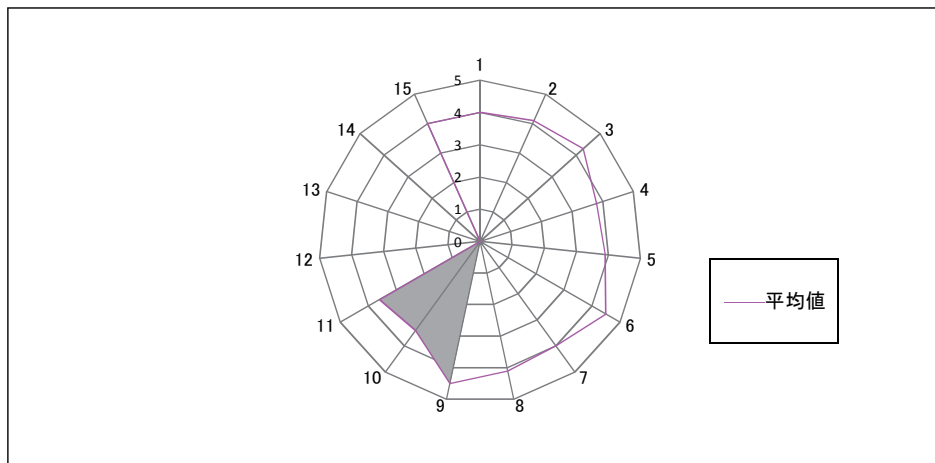
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーション I E
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	10	6	1	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	11	5	0	0	0	4.1
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	6	6	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	9	6	2	0	1	3.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	7	9	0	0	1	3.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	12	9	2	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	11	3	2	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	10	3	2	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	13	7	3	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	5	9	5	0	0	3.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	9	6	4	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	10	5	1	0	0	4.0



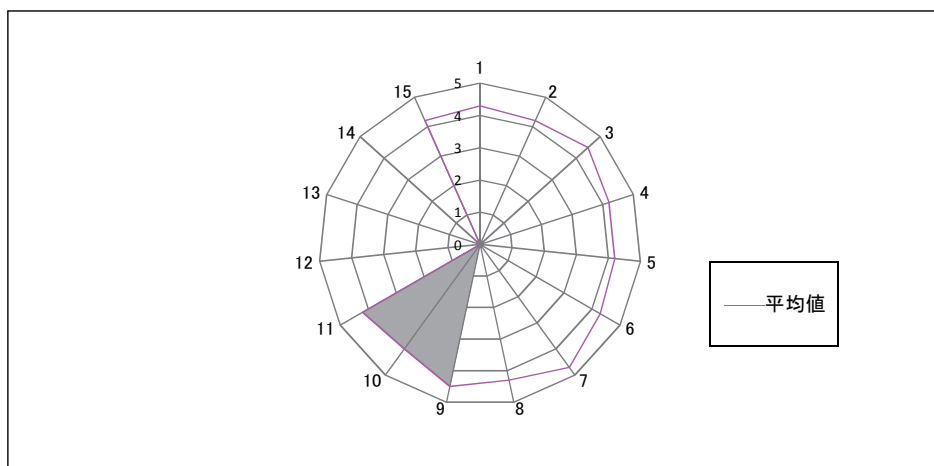
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡB
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 23名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	11	2	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	11	4	0	0	0	4.2
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	11	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	11	3	1	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	11	4	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	9	1	2	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	14	9	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	7	4	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	9	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	13	4	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	14	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	9	3	1	0	1	4.2



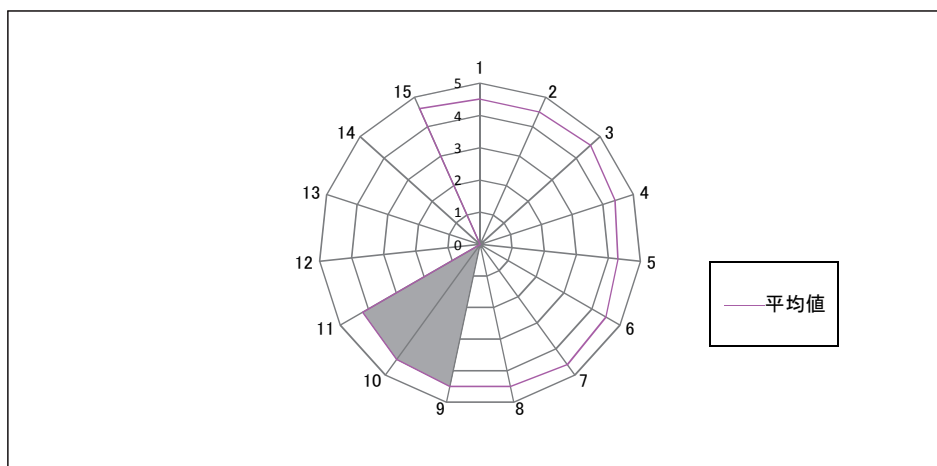
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅡC
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 ノリー・マシュー・マドックス

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	6	3	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	8	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	8	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	13	5	5	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	8	3	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	15	3	5	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	13	9	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	5	4	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	8	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	9	1	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	8	4	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	14	6	2	0	0	1	4.6



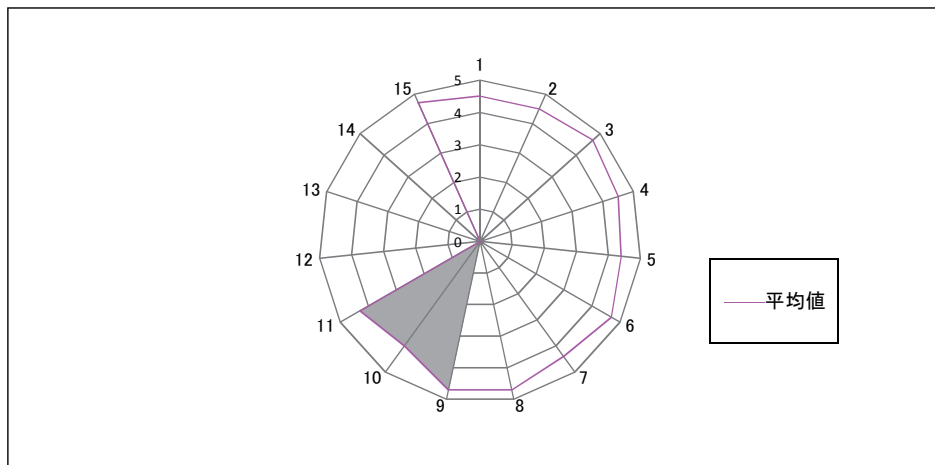
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢA
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1 N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	8	2	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	7	2	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	16	5	1	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	7	3	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	7	2	1	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	16	4	2	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	13	5	3	1	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	2	1	1	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	17	3	2	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	8	6	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	8	3	1	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	15	3	2	0	0	4.7



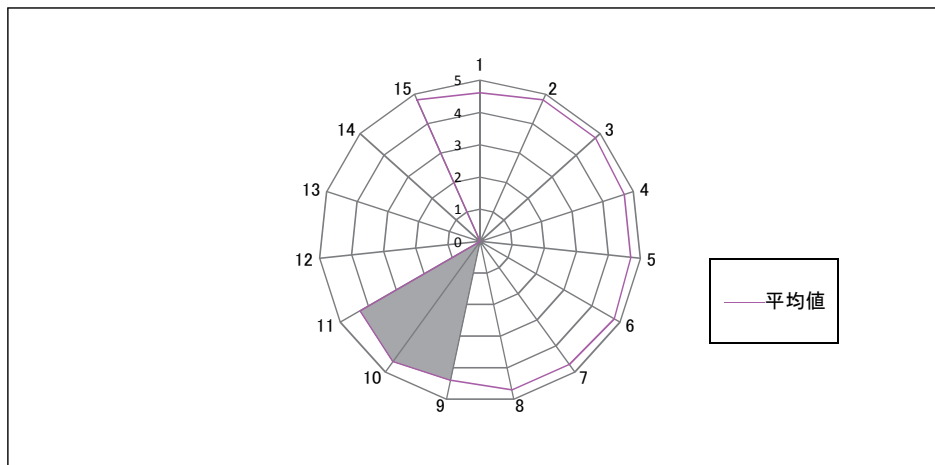
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢB
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 ノリー・マシュー・マドックス

回答者数 25名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	8	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	7	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	20	5	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	9	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	8	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	20	5	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	7	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	4	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	11	2	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	10	1	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	11	4	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	20	5	0	0	0	0	4.8



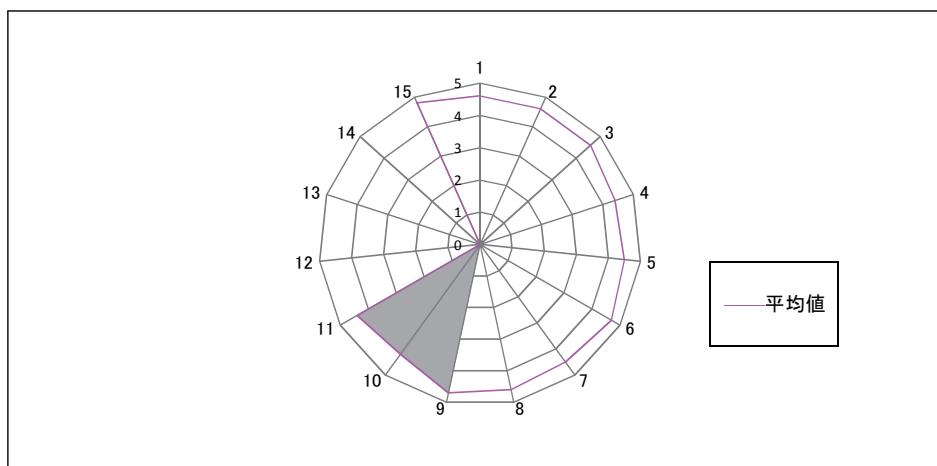
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢC
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 鎌田・スザン・リン

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	14	7	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	5	2	0	0	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	16	4	1	1	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	9	1	1	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	7	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	5	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	8	1	1	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	4	1	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	5	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	8	2	1	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	14	4	3	0	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	3	1	0	0	0	4.8



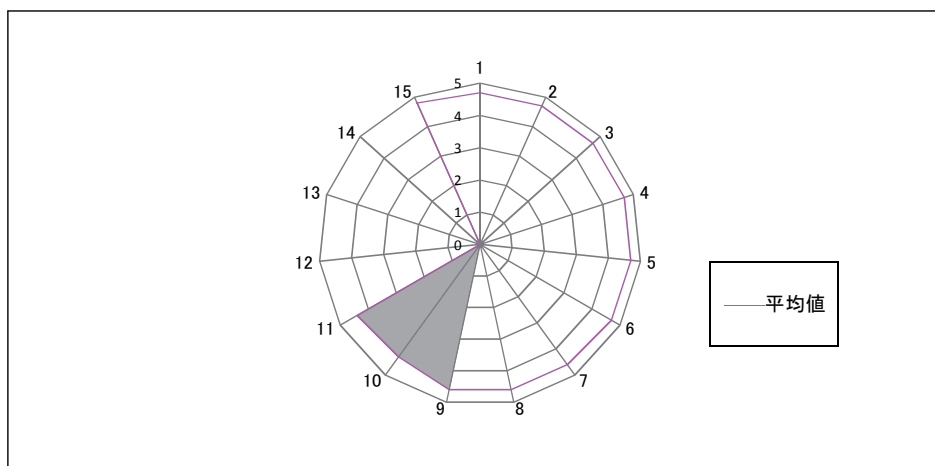
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢD
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



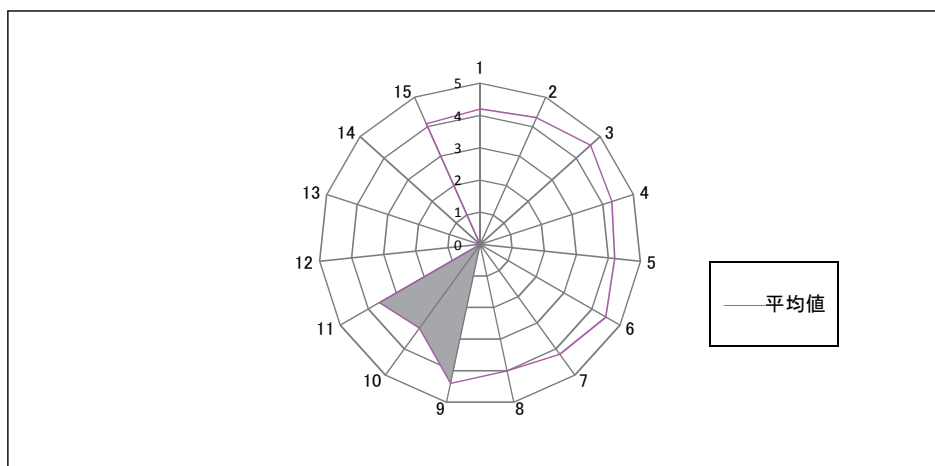
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅢE
 評価実施日 平成29年7月17日
 担当教員名 ジェラード マーシェン

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	12	2	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	11	2	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	7	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	13	1	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	10	1	1	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	7	0	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	6	5	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	6	7	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	10	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	5	5	7	0	0	3.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	6	5	4	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	8	2	2	0	0	4.1



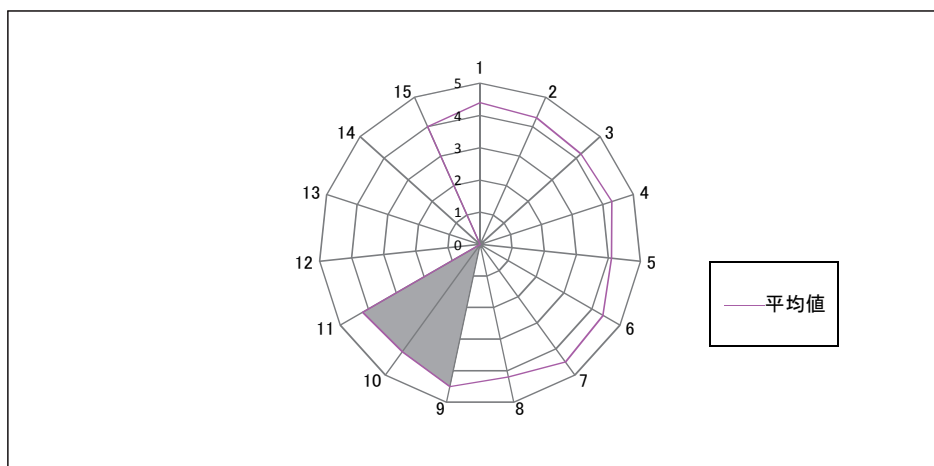
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションIVD
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 アーレン ニムチャック

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.0



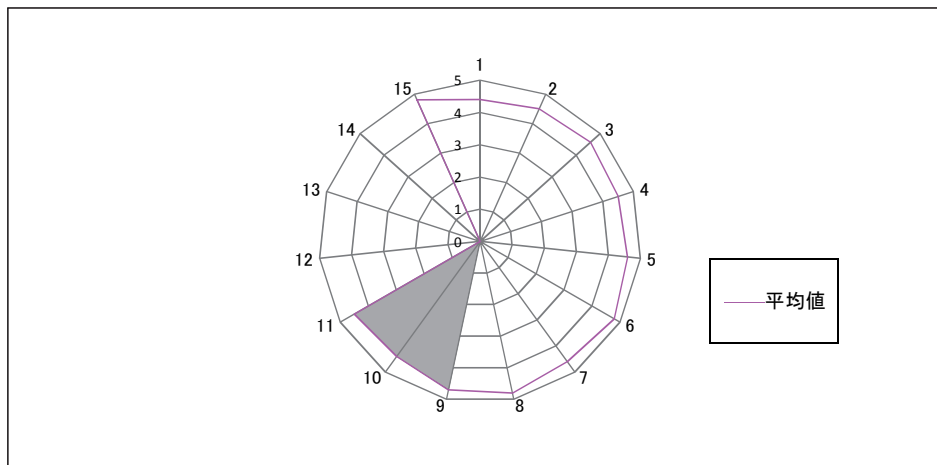
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語コミュニケーションⅣE
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 ノリー・マシュー・マドックス

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	10	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	8	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	6	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	10	8	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	9	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	11	8	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	5	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	7	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	10	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	10	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	15	4	0	0	0	0	4.8



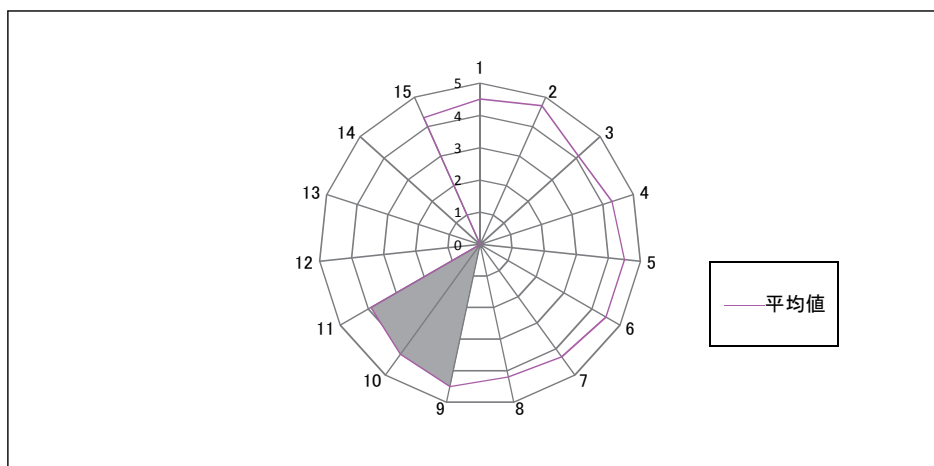
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I A
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 西 嵐 俊彦

回答者数 39名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	21	16	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	13	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	17	7	2	0	0	4.1
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	18	6	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	21	15	3	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	24	10	4	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	16	18	4	1	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	15	7	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	22	12	5	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	14	18	7	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	11	14	11	3	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	20	2	1	0	3	4.3



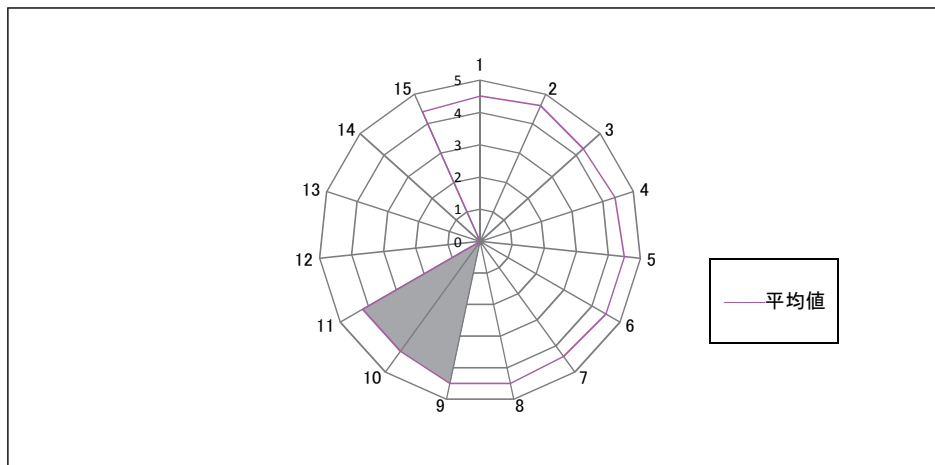
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディング I C
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.4



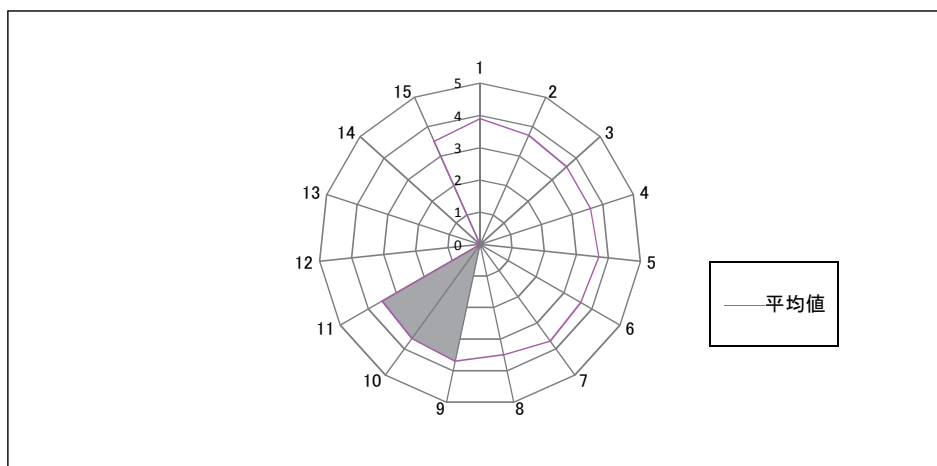
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡA
 評価実施日 平成30年2月16日
 担当教員名 石濱 博之

回答者数 36名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	11	9	3	1	0	3.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	9	11	5	1	0	3.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	8	11	5	2	0	3.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	10	10	5	2	0	3.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	11	11	4	1	0	3.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	13	11	4	1	0	3.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	13	11	3	1	0	3.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	12	9	5	3	0	3.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	17	5	4	2	0	3.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	9	7	7	2	0	3.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	12	8	5	3	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	10	8	8	1	1	3.5



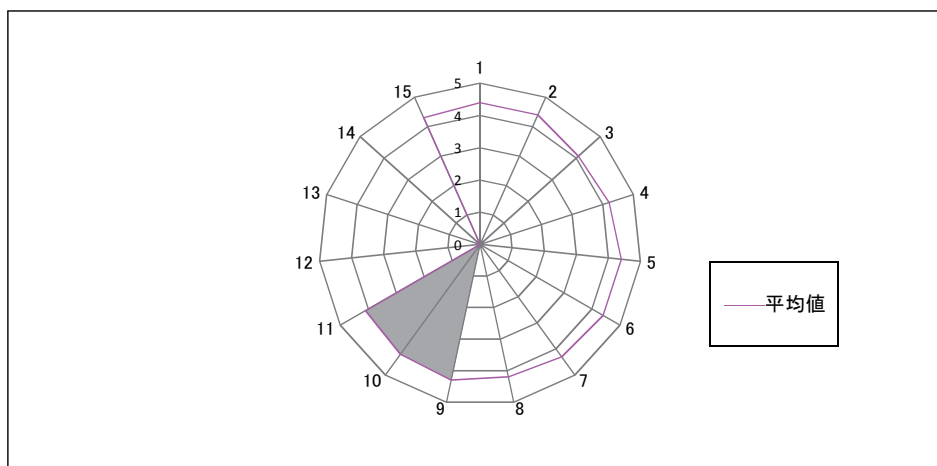
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅡB
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 西 嵐 俊彦

回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



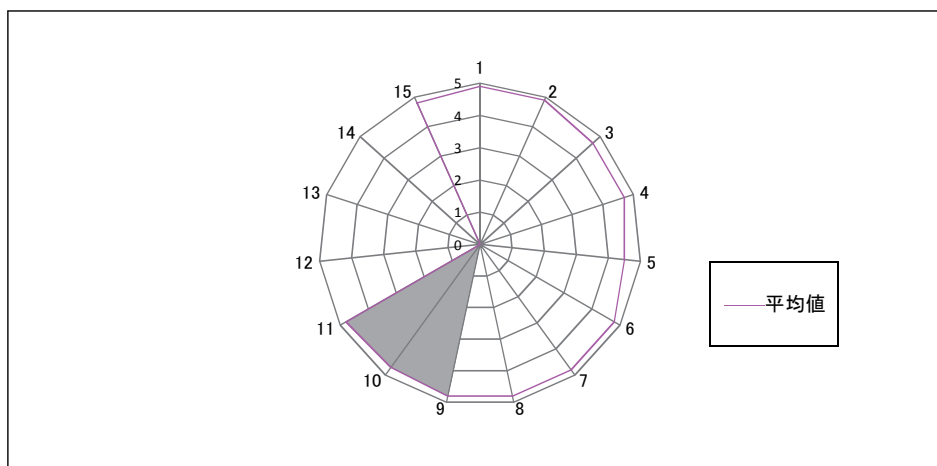
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語リーディングⅢ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	0	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	0	1	0	0	0	4.8



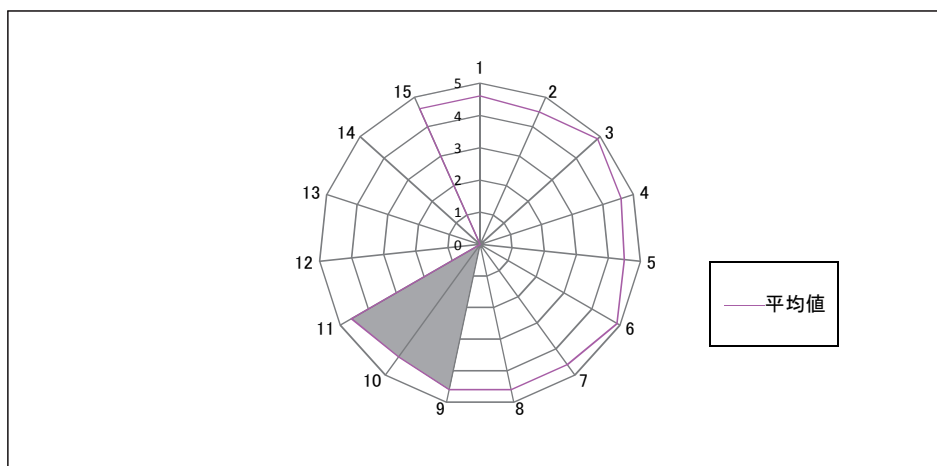
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語 I
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 シートゲス・オラフ

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	1	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	3	0	0	0	0	4.6



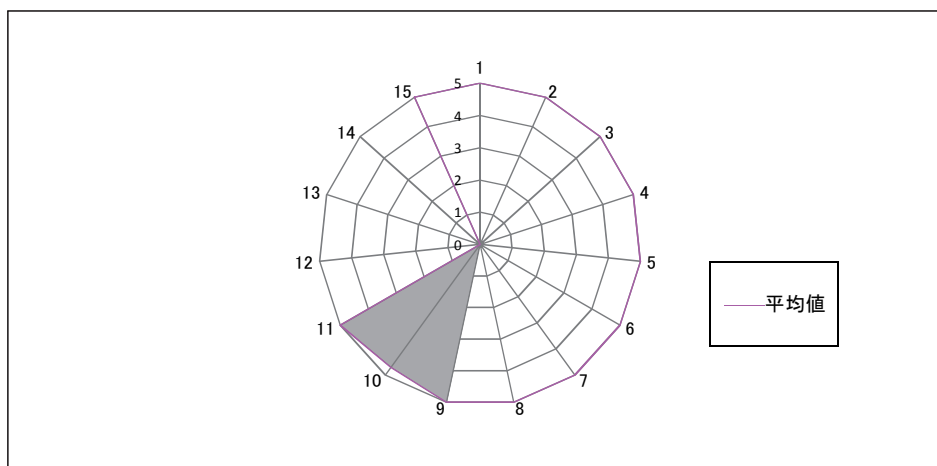
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ドイツ語Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 シートゲス・オラフ

回答者数 3名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



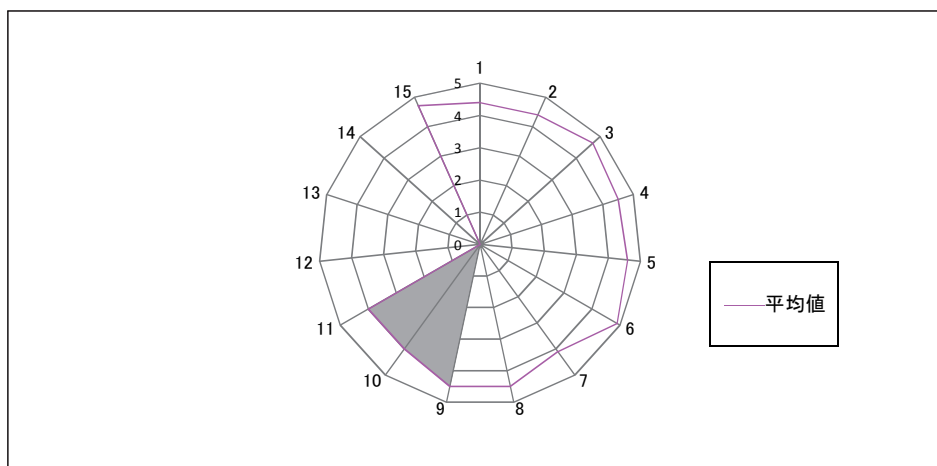
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中国語 I
 評価実施日 平成30年1月31日
 担当教員名 金 英傑

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	10	2	0	0	0	1	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	3	4	0	0	1	4.1
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	6	0	0	0	1	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	9	2	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	6	2	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	5	0	0	0	0	4.7



総合評価 4.5

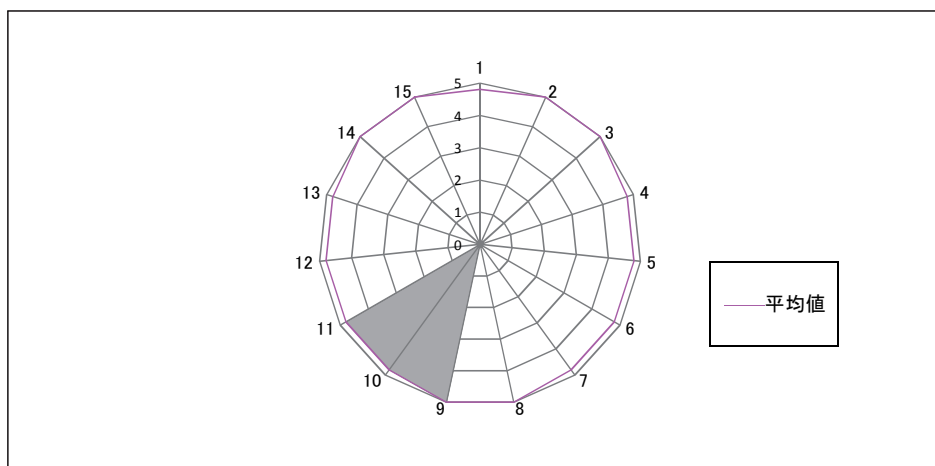
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

教育実践コア科目

授業科目名 幼児教育実践基礎演習
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹, 塩路 晶子, 木村 直子, 湯口 雅史

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



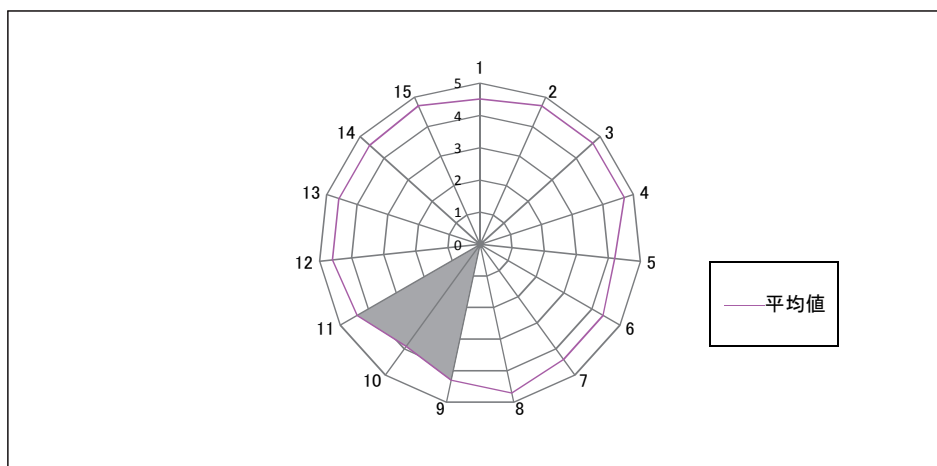
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校教育実践Ⅴ(生徒指導)
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 葛上 秀文, 阿形 恒秀, 小坂 浩嗣, 末内 佳代, 藤原 伸彦

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	2	0	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	5	0	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	3	0	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	3	0	2	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	3	0	0	0	1	4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	3	0	0	0	1	4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	3	0	0	0	1	4.6
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.7



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

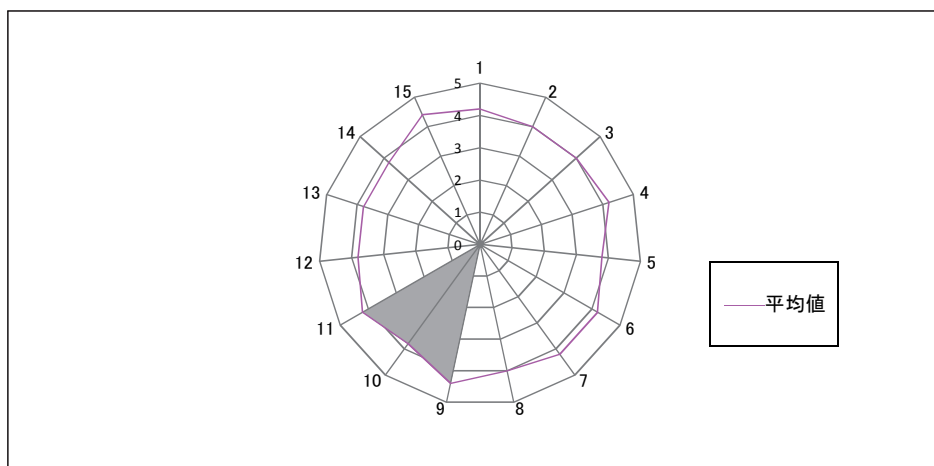
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(学校教育実践)

評価実施日 平成29年7月26日

担当教員名 川上 綾子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	2	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	4	0	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	3	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	0	1	0	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	0	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	3	1	0	0	1	3.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	3	1	0	0	1	3.8
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	3	1	0	0	1	3.8
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	0	0	0	0	4.4



総合評価 4.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(国語)

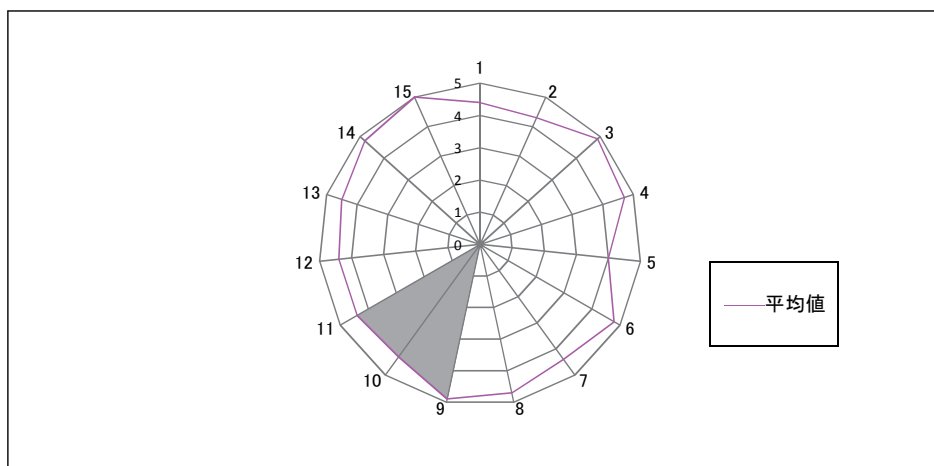
評価実施日 平成29年7月26日

担当教員名 村井 万里子, 田中 大輝, 黒田 俊太郎, 小島 明子, 原 卓志, 小野 由美子, 湯口 雅史

回答者数

13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	3	0	0	0	4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	2	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	0	0	0	1	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	5	4	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	10	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	7	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	5	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	12	0	1	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	6	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	6	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	4	1	0	0	4	4.4
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	5	0	0	0	4	4.5
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	2	0	0	0	4	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	1	5.0



総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

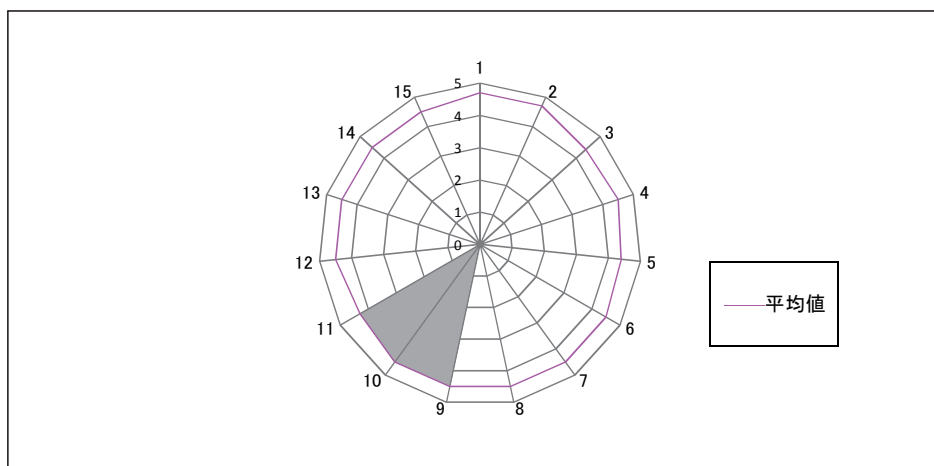
授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(英語)

評価実施日 平成29年7月26日

担当教員名 前田 一平, 山森 直人, 眞野 美穂, 湯口 雅史

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	4	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	2	1	0	0	1	4.5
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	2	1	0	0	1	4.5
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	2	1	0	0	1	4.5
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	4	0	0	0	0	4.5



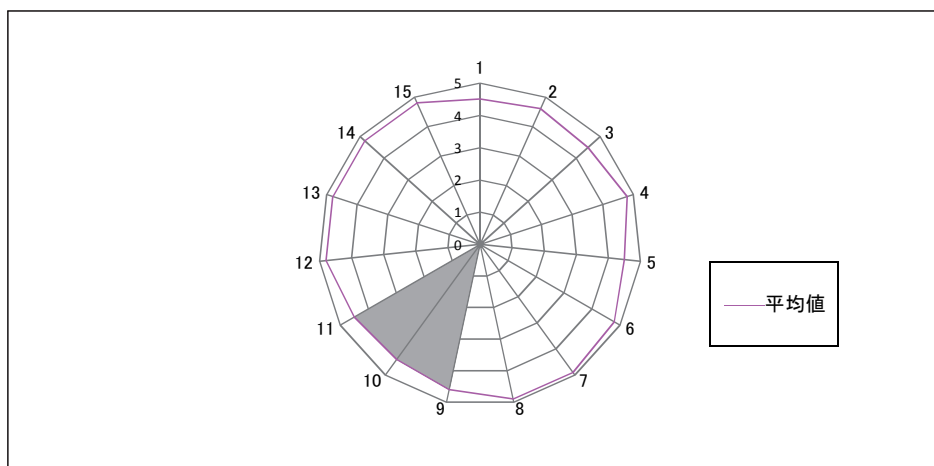
総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(社会)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 原田 昌博, 伊藤 直之, 山本 準, 湯口 雅史

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	6	5	0	1	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	5	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	4	4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	4	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	0	0	0	4	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	3	4.8



総合評価 4.7

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(算数・数学)

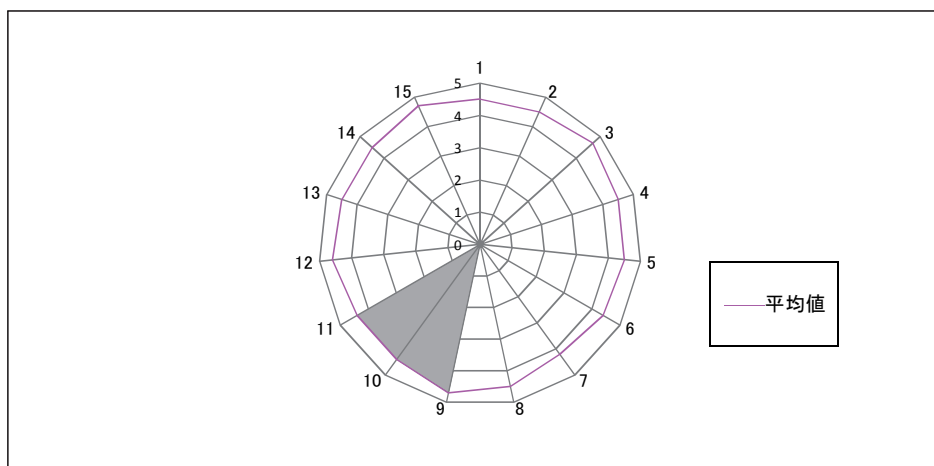
評価実施日 平成29年7月26日

担当教員名 宮口 智成, 湯口 雅史

回答者数

16名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	6	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	8	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	6	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	8	1	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	8	3	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	7	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	11	4	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	8	6	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	10	0	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	6	0	0	0	2	4.6
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	6	1	0	0	2	4.5
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	8	0	0	0	2	4.5
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	5	0	0	0	1	4.7



総合評価 4.5

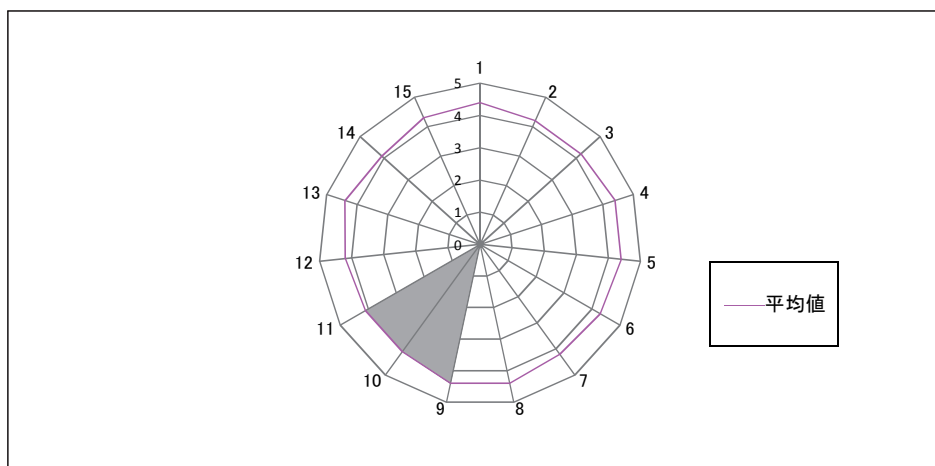
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(理科)

評価実施日 平成29年7月26日

担当教員名 寺島 幸生, 工藤 慎一, 早藤 幸隆, 村田 守, 湯口 雅史 回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	3	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	5	0	0	0	4.2
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	4	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	4	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	3	4	0	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	4	4	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	2	4	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	3	3	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	6	4	0	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	5	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	3	3	0	0	4	4.2
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	3	2	0	0	4	4.4
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	4	3	0	0	4	4.1
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	3	3	0	0	3	4.3



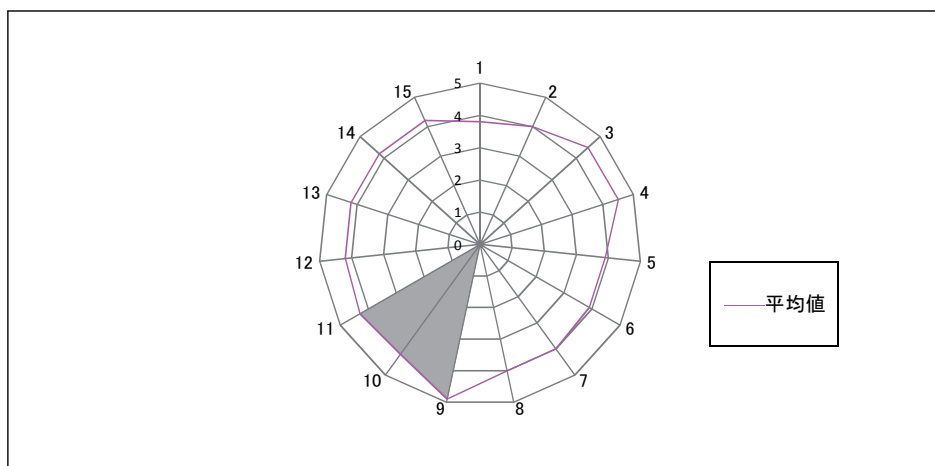
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(音楽)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 山田 啓明, 小山 英恵, 湯口 雅史

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	5	2	0	0	0	3.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	5	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	4	2	0	0	0	3.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	4	2	0	0	0	3.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	2	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	5	1	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	2	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	5	0	0	0	1	4.2
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	5	0	0	0	1	4.2
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	3	1	0	0	1	4.2
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	4	1	0	0	0	4.2



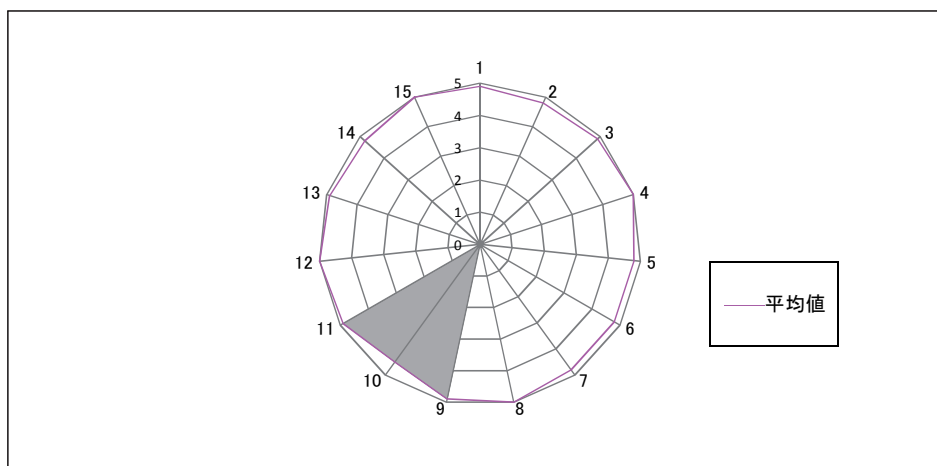
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(図工・美術)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 山木 朝彦, 湯口 雅史

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	0	0	0	0	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(体育・保体)

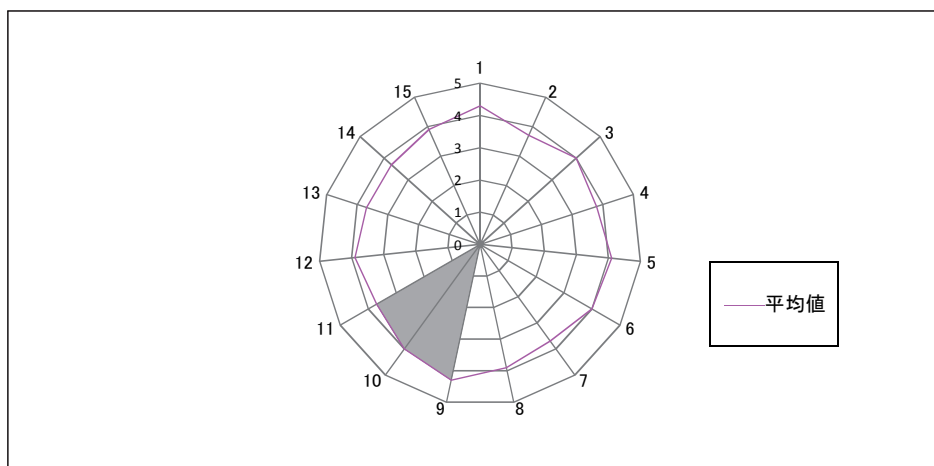
評価実施日 平成29年7月26日

担当教員名 梅野 圭史, 藤田 雅文, 湯口 雅史

回答者数

11名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	8	0	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	4	1	0	0	3.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	4	2	0	1	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	3	2	0	0	3.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	2	0	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	6	1	1	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	4	4	1	0	0	3.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	3	5	0	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	5	3	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	5	2	2	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	4	2	1	0	1	3.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	5	4	0	0	1	3.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	3	5	0	0	1	3.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	5	3	0	0	1	3.9



総合評価 3.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(技術)

評価実施日 平成29年7月26日

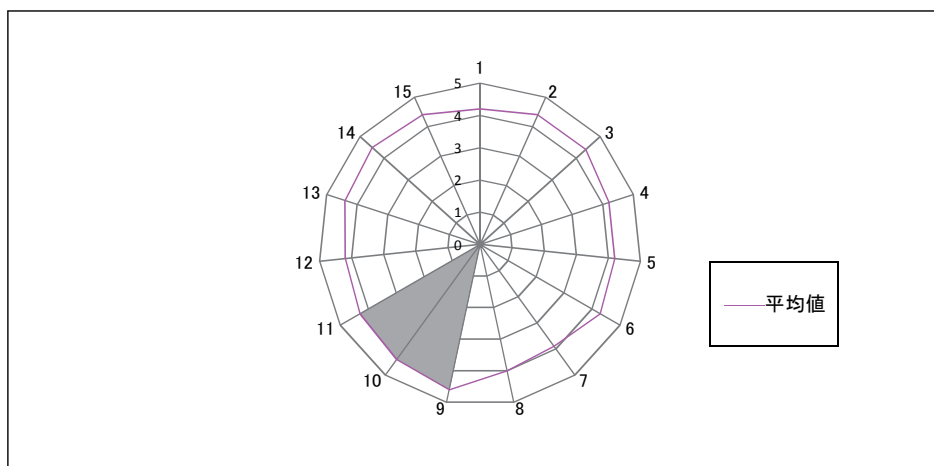
担当教員名

尾崎 士郎, 伊藤 陽介, 菊地 章, 宮下 晃一, 宮本 賢治, 米延 仁志, 湯口 雅史

回答者数

9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	4	2	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	4	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	6	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	6	1	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	5	1	0	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	5	1	1	0	0	3.9
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	5	2	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	4	4	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	7	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	3	1	0	0	3	4.2
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	1	1	0	0	4	4.4
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	3	0	0	0	3	4.5
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	4	1	0	0	0	4.4



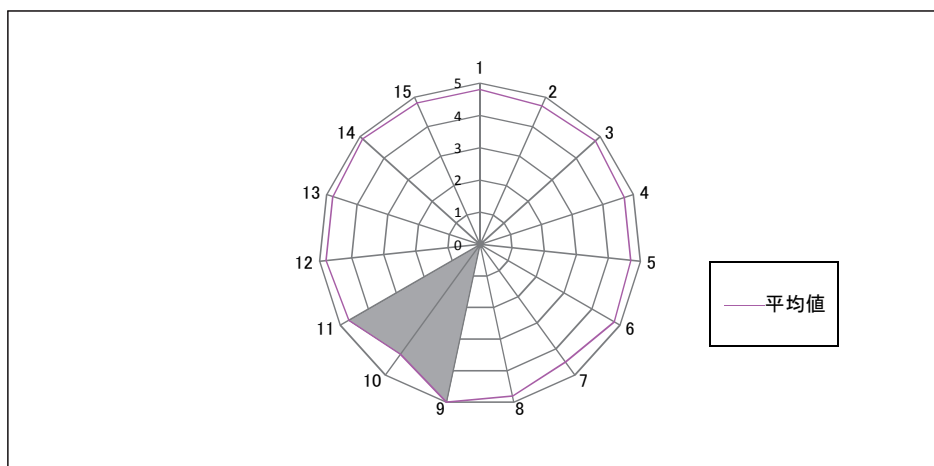
総合評価 4.3

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教育実践基礎演習(家庭)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 金 貞均, 黒川 衣代, 西川 和孝, 湯口 雅史

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.8
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



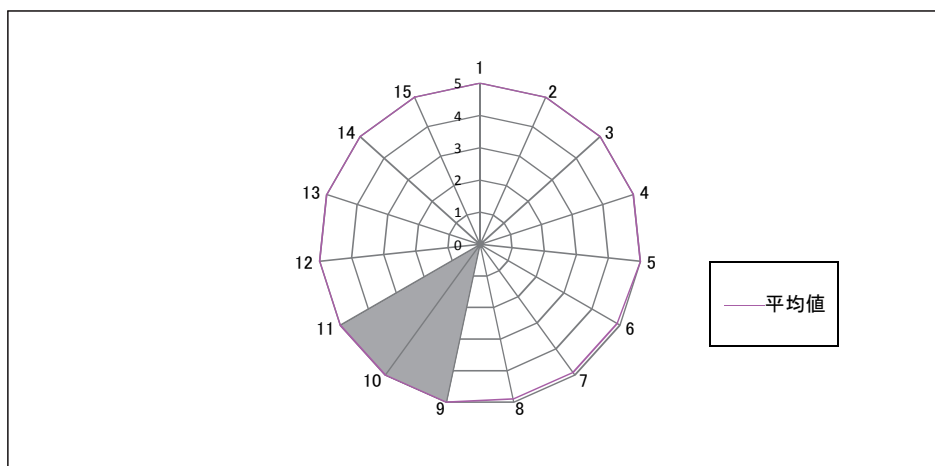
総合評価 4.8

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 学校教育実践Ⅳ(子ども・学級理解)
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 泰山 裕

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	6	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	6	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	6	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



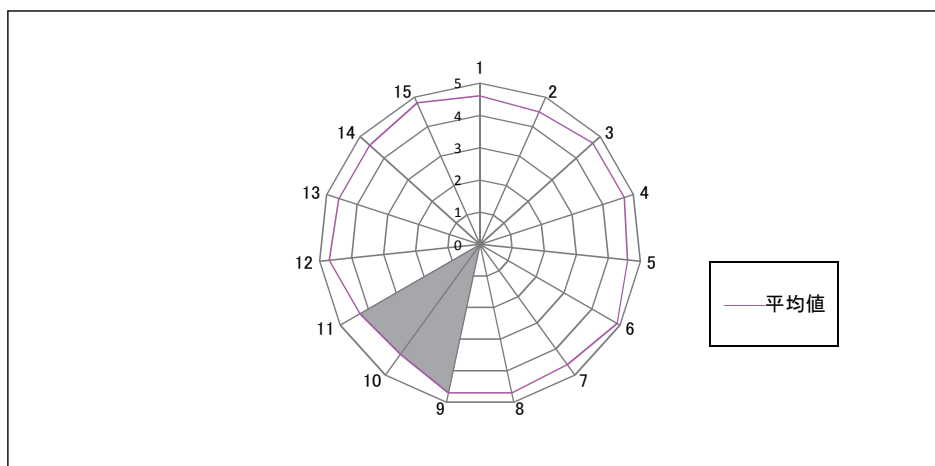
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (国語)
 評価実施日 平成30年1月24日
 担当教員名 余郷 裕次, 原 卓志, 湯地 宏樹

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.6
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.6
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.8



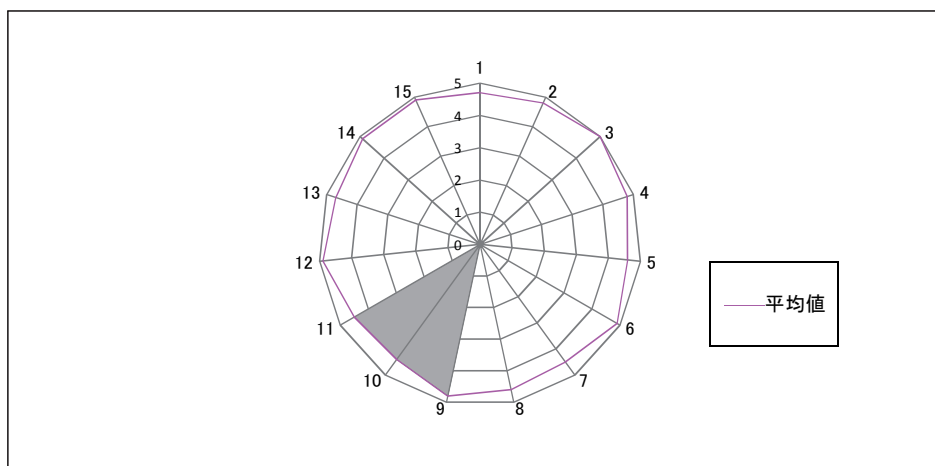
総合評価 4.7

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (社会)
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 伊藤 直之, 青葉 暢子, 立岡 裕士, 湯地 宏樹

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	4	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	3	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	1	0	0	0	1	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	3	0	0	0	1	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	8	1	0	0	0	1	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	1	4.9



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (算数・数学)

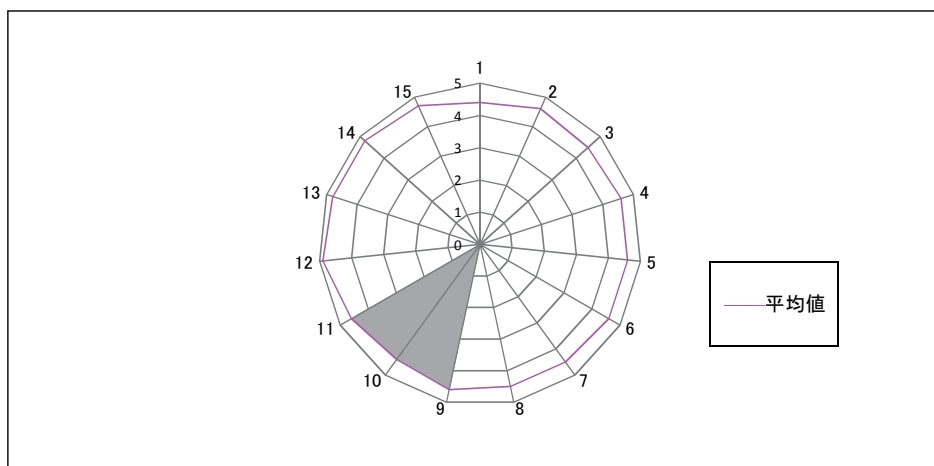
評価実施日 平成30年2月7日

担当教員名 成川 公昭, 早田 透, 湯地 宏樹

回答者数

15名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	7	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	5	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	6	0	0	0	2	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	6	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	6	9	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	5	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	8	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	2	0	0	0	8	4.8
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	2	0	0	0	8	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	5	0	0	0	1	4.7



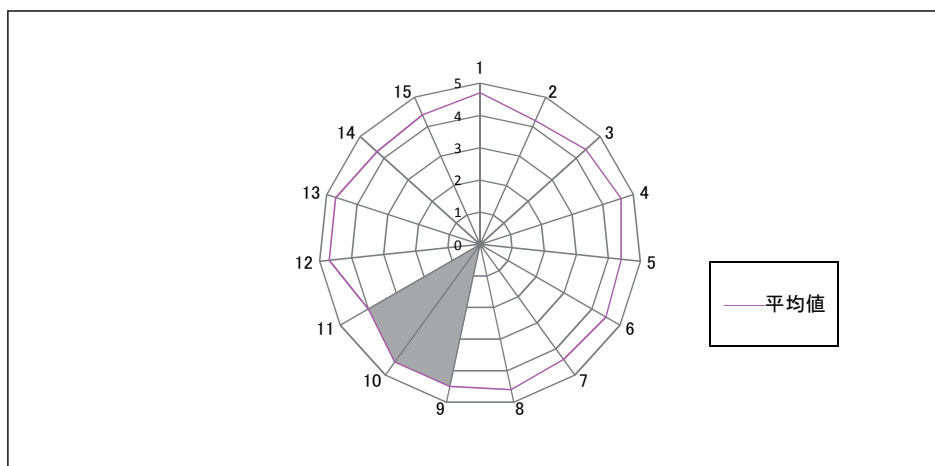
総合評価 4.6

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (理科)
 評価実施日 平成30年1月29日
 担当教員名 武田 清, 工藤 慎一, 村田 守, 本田 亮, 早藤 幸隆, 湯地 宏樹

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	7	1	0	0	0	4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	1	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	3	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	9	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	3	0	0	0	2	4.7
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	3	0	0	0	2	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	7	0	0	0	2	4.3
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	4	1	0	0	1	4.4



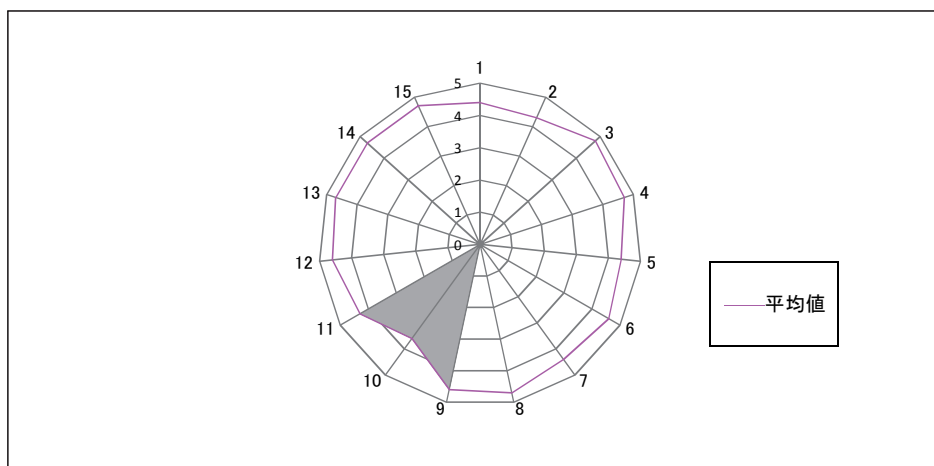
総合評価 4.5

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (音楽)
 評価実施日 平成30年1月17日
 担当教員名 頃安 利秀, 湯地 宏樹

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。						3.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.6
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

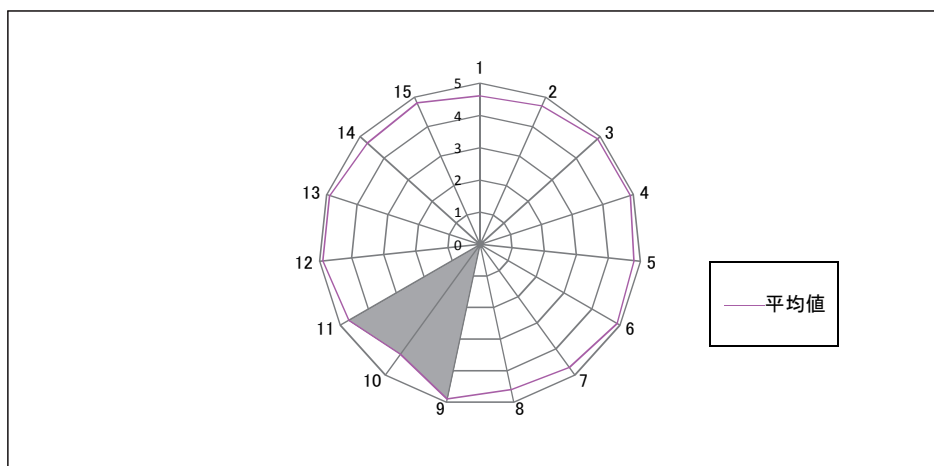
授業科目名 初等中等教科教育実践 I (図工・美術)

評価実施日 平成30年1月31日

担当教員名 小川 勝, 山田 芳明, 湯地 宏樹

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	2	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	4	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	8	1	1	0	0	0	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



総合評価 4.8

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (体育・保体)

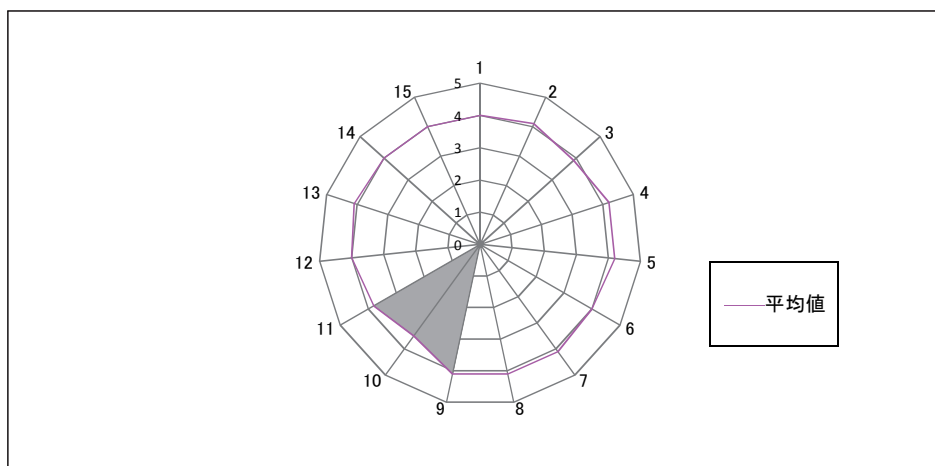
評価実施日 平成30年2月21日

担当教員名 木原 資裕, 綿引 勝美, 湯地 宏樹

回答者数

14名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	8	2	1	0	0	4.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	7	3	0	0	0	4.1
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	6	2	2	0	0	3.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	8	2	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	6	3	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	3	8	3	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	9	2	0	0	0	4.1
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	5	4	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	7	3	0	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	2	6	4	1	1	0	3.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	7	1	3	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	10	1	0	0	2	4.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	6	3	0	0	1	4.1
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	7	3	0	0	1	4.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	10	0	1	0	1	4.0



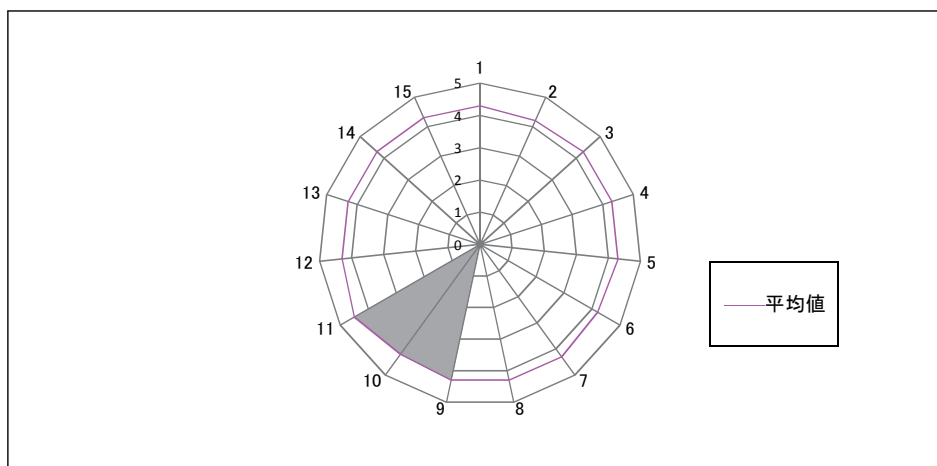
総合評価 4.1

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (技術)
 評価実施日 平成30年2月21日
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志, 湯地 宏樹

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。						4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.3
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.3
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.3



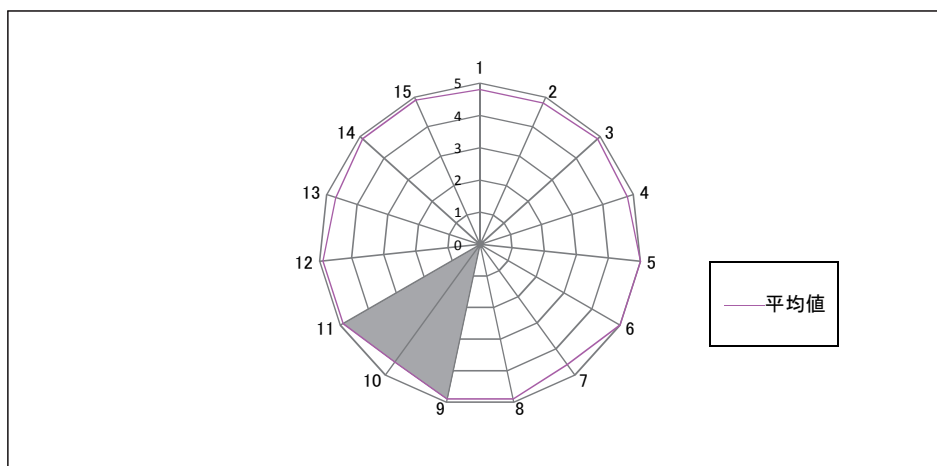
総合評価 4.3

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践 I (家庭)
 評価実施日 平成30年1月24日
 担当教員名 金 貞均, 速水 多佳子, 西川 和孝, 坂本 有芳, 湯地 宏樹

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	1	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	1	0	0	0	1	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	2	0	0	0	1	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	0	0	0	1	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	1	4.9



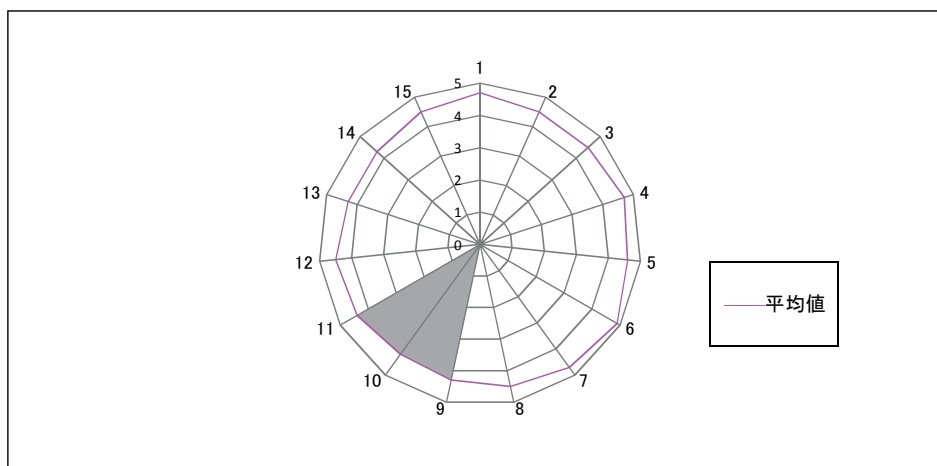
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(国語)
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 村井 万里子, 小島 明子

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	5	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	5	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	2	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	2	1	0	0	3	4.5
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	3	1	0	0	3	4.3
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	3	1	0	0	3	4.3
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	4	0	0	0	2	4.5



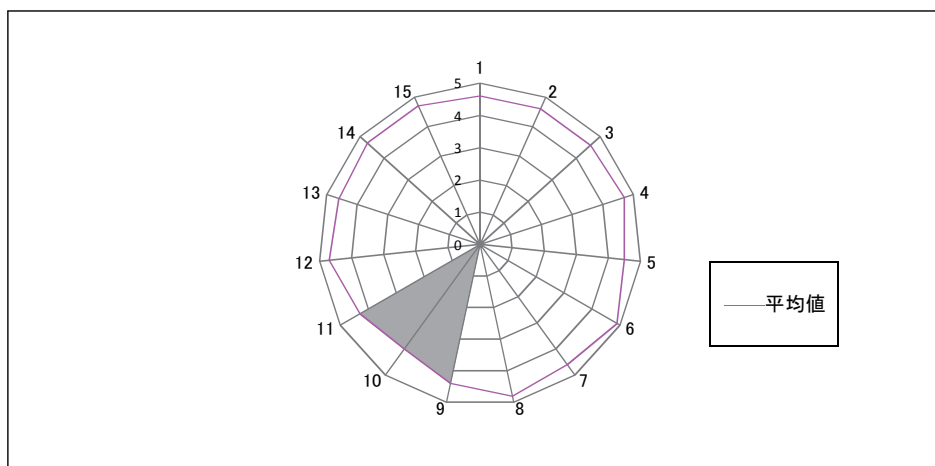
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(英語)
 評価実施日 平成30年1月30日
 担当教員名 喜多 容子, 眞野 美穂

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	6	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	6	1	0	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	13	2	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	2	2	1	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	6	3	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	4	2	1	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	4	0	0	0	4	4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	5	0	0	0	4	4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	4	0	0	0	4	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	3	1	0	0	0	4.7



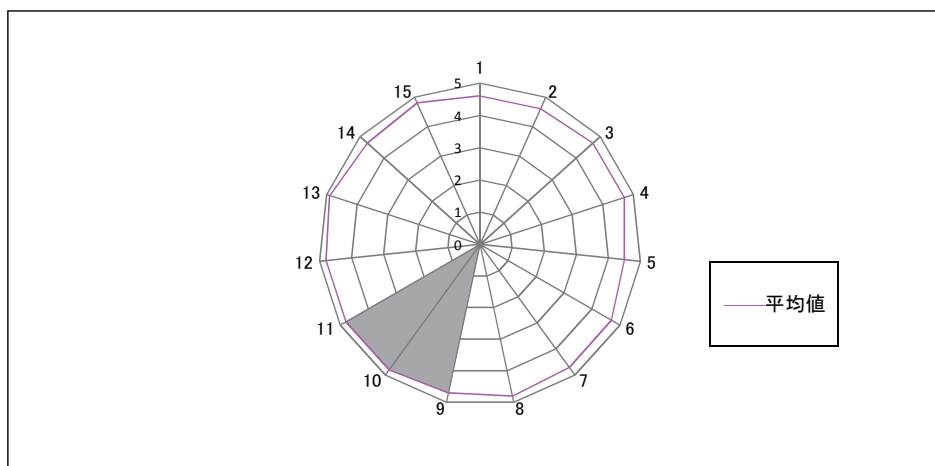
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(社会)
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 梅津 正美, 町田 哲

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	0	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	1	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	1	4.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	1	4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	3	0	0	0	1	4.7
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

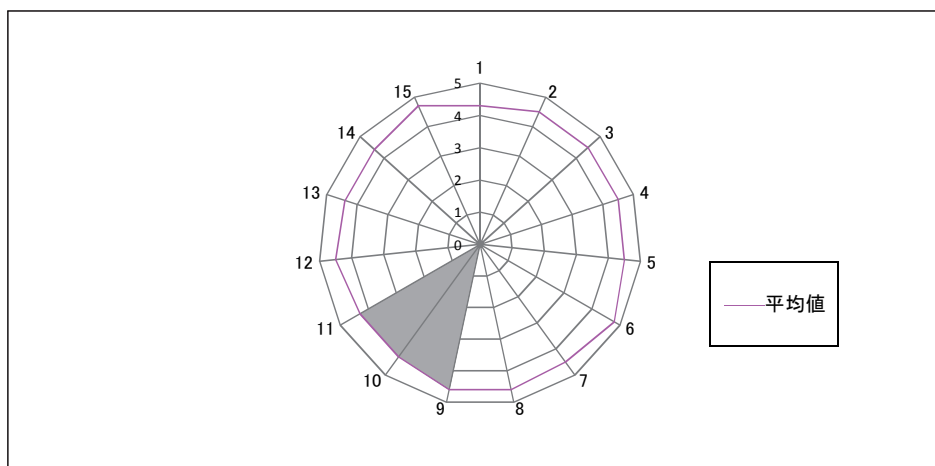
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(算数・数学)

評価実施日 平成30年2月6日

担当教員名 松岡 隆, 早田 透

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.5
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.4
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.7



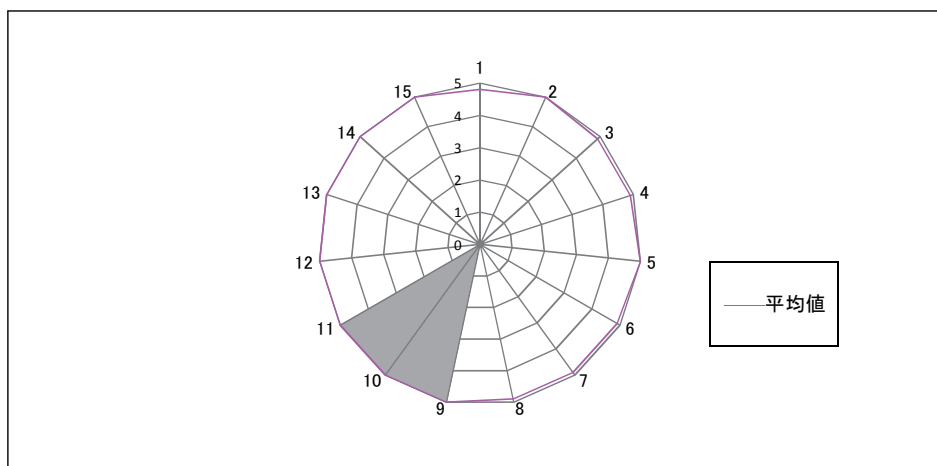
総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(音楽)
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 森 正, 山田 啓明

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	3	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	3	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	0	0	0	3	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

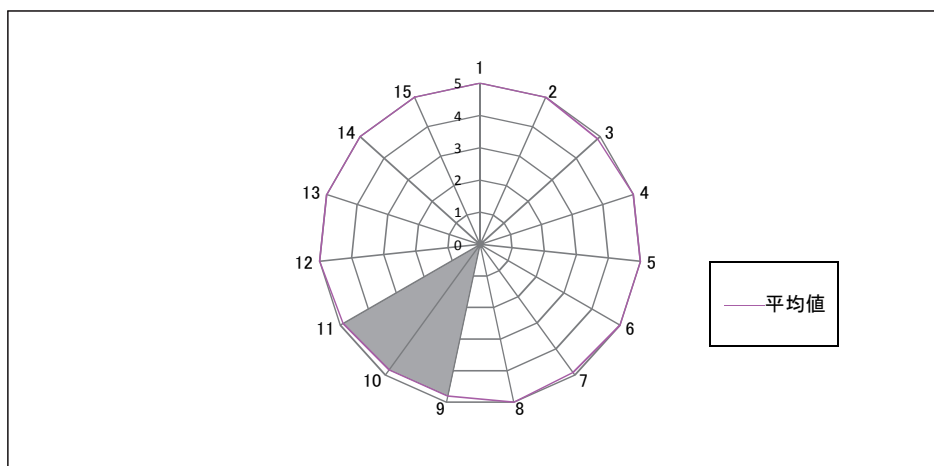
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(図工・美術)

評価実施日 平成30年2月6日

担当教員名 山田 芳明, 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	0	0	0	0	1	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	0	0	0	0	1	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	0	0	0	0	1	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	1	5.0



総合評価 5.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

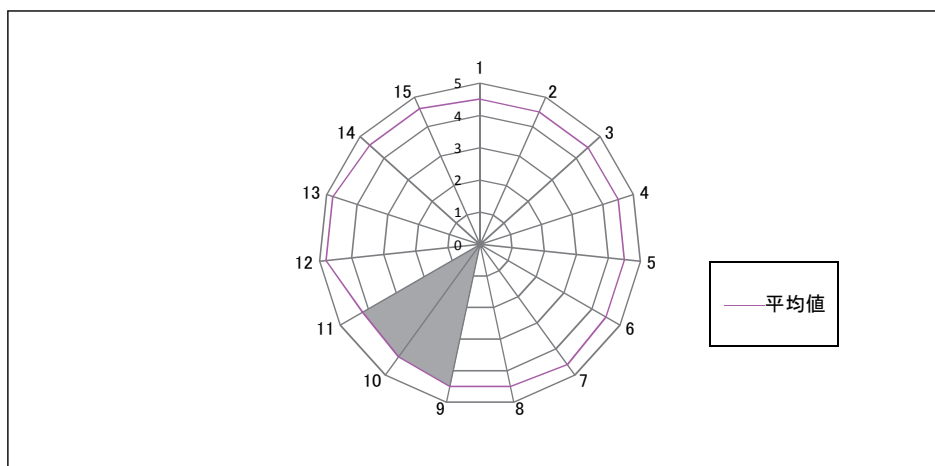
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(体育・保体)

評価実施日 平成30年2月13日

担当教員名 梅野 圭史, 藤田 雅文

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	6	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	4	1	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	5	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	4	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	6	6	2	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	5	2	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	11	2	1	0	0	0	4.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	12	1	1	0	0	0	4.8
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	9	4	1	0	0	0	4.6
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	4	1	0	0	0	4.6



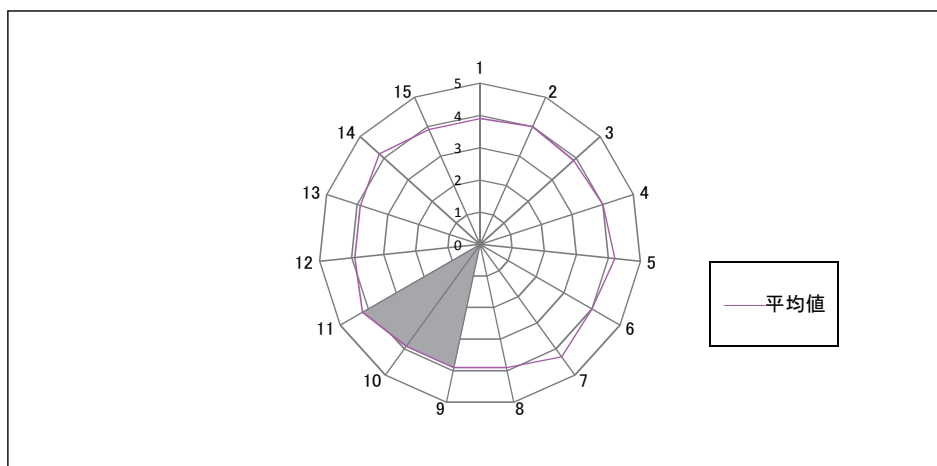
総合評価 4.6

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(技術)
 評価実施日 平成30年1月30日
 担当教員名 宮下 晃一, 宮本 賢治, 尾崎 士郎

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	2	0	0	0	4.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	2	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	1	0	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	4	0	1	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	5	0	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	4	0	0	1	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	4	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	4	1	0	0	0	4.2
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	4	0	0	1	0	3.9



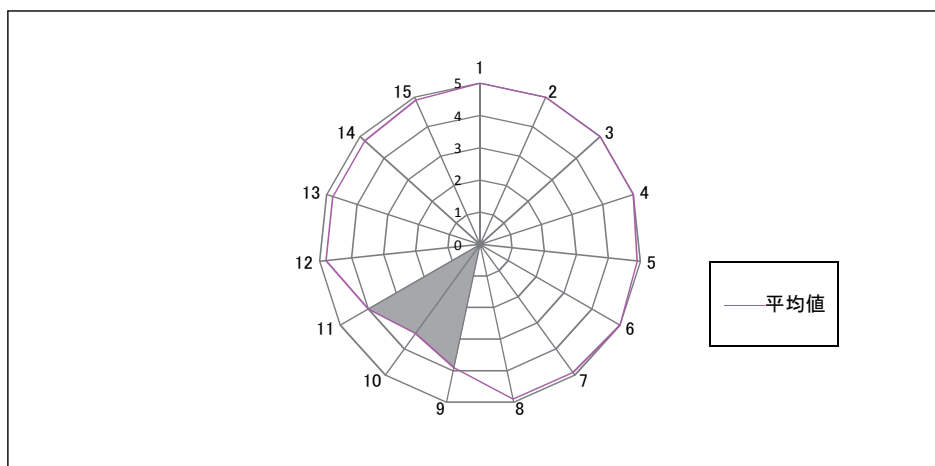
総合評価 4.0

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅱ(家庭)
 評価実施日 平成30年1月30日
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子, 坂本 有芳

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	1	1	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	2	0	1	0	3.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	1	0	0	0	2	4.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	1	0	0	0	2	4.8
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	0	0	0	2	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



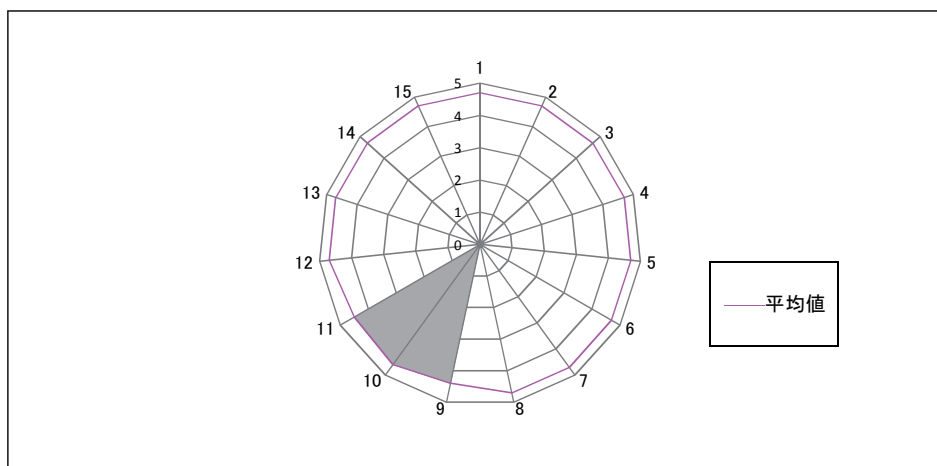
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(国語)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 幾田 伸司, 黒田 俊太郎

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.7



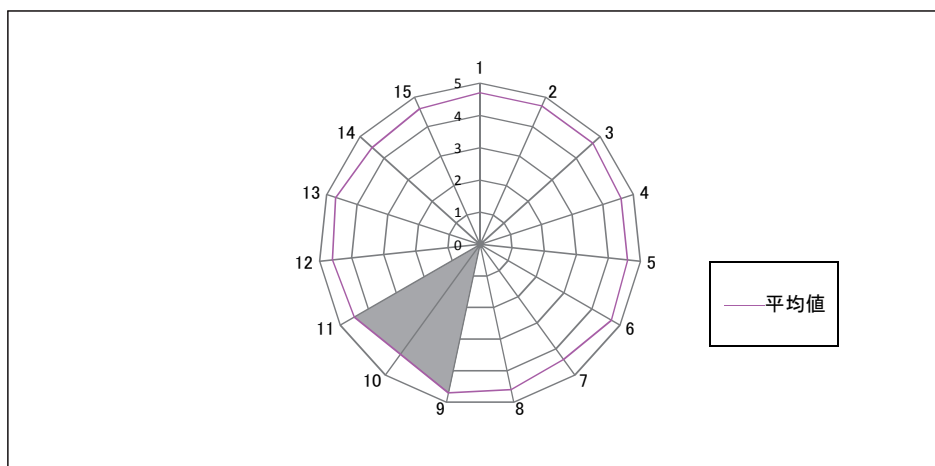
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(英語)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 山森 直人, 喜多 容子

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	7	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	3	0	1	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	5	1	0	1	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	2	1	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	12	3	0	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	3	2	2	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	3	3	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	4	0	0	0	6	4.6
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	3	0	0	0	6	4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	3	1	0	0	6	4.5
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	5	1	0	0	0	4.6



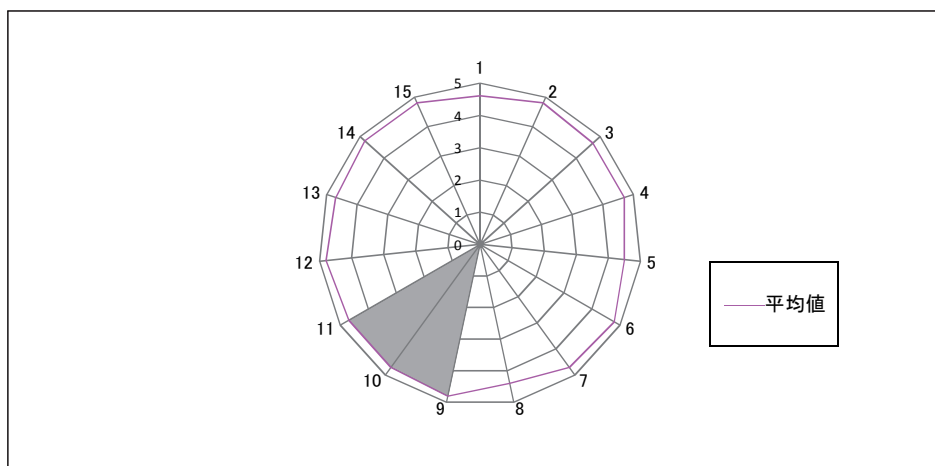
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(社会)
 評価実施日 平成29年8月3日
 担当教員名 井上 奈穂, 麻生 多聞

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	5	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	2	0	0	0	3	4.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	1	1	0	0	3	4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	2	0	0	0	3	4.8
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	3	0	0	0	0	4.8



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(算数・数学)

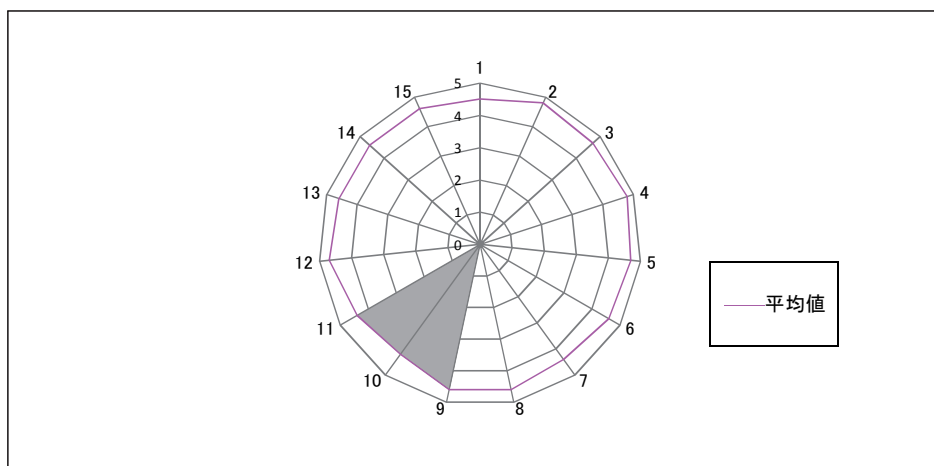
評価実施日 平成29年7月27日

担当教員名 松岡 隆, 早田 透

回答者数

15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	0	0	0	2	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	5	1	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	1	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	4	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	4	1	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	4	3	1	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	5	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	8	5	0	0	0	2	4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	4	1	0	0	2	4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	8	4	1	0	0	2	4.6
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	4	1	0	0	1	4.6



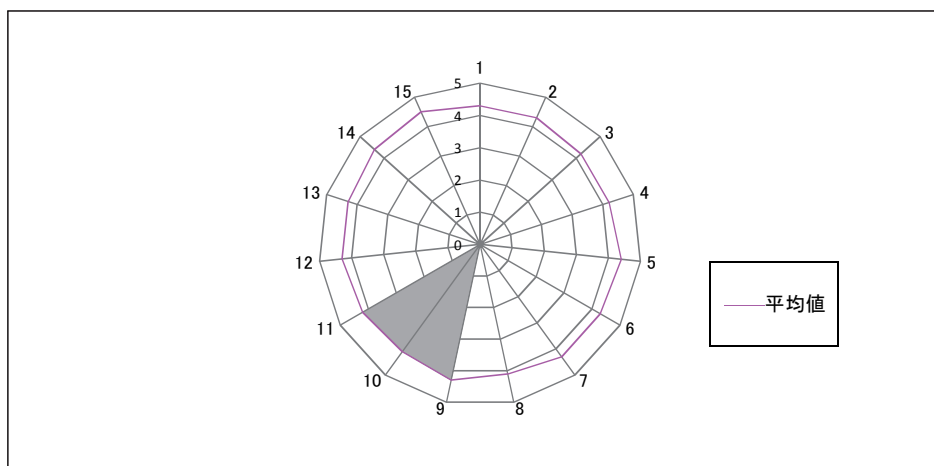
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(理科)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 武田 清, 本田 亮, 佐藤 勝幸, 工藤 慎一, 村田 守, 早藤 幸隆, 寺島 幸生

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.3
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.3
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.4
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



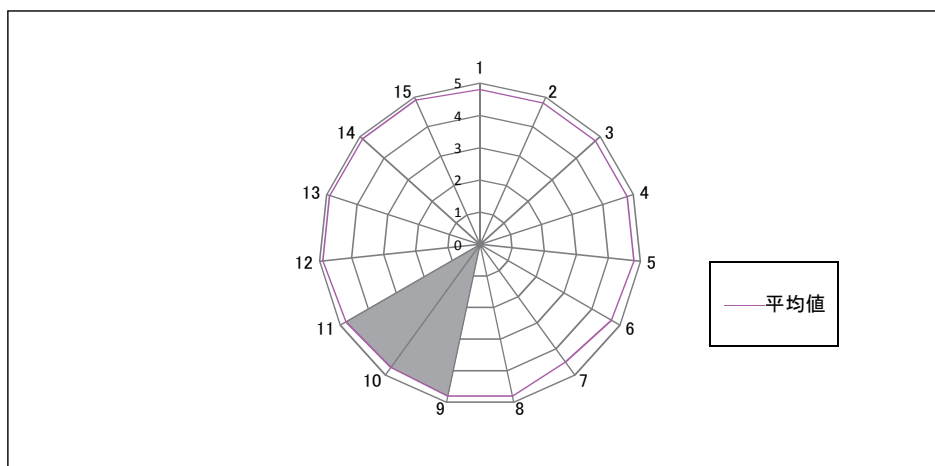
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(音楽)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 小山 英恵, 松岡 貴史

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

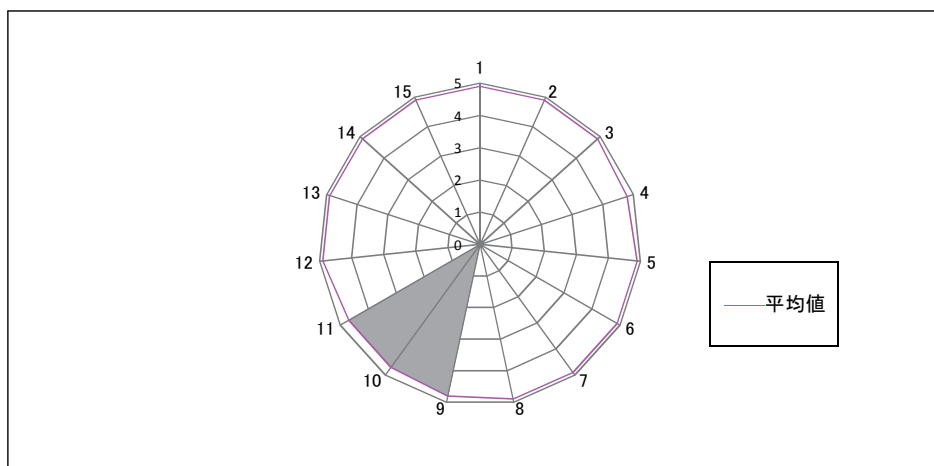
授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(図工・美術)

評価実施日 平成29年7月20日

担当教員名 小川 勝, 野崎 窮, 内藤 隼

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.9
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.9



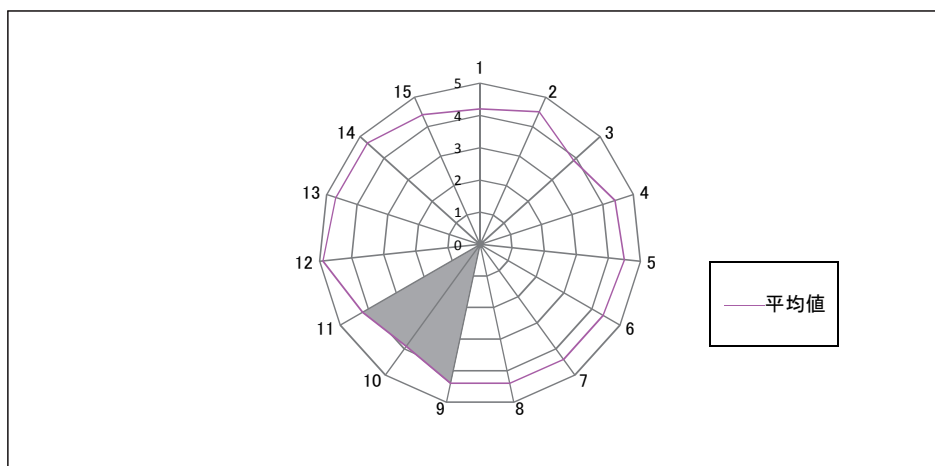
総合評価 4.9

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(技術)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 伊藤 陽介, 菊地 章

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.9
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						4.7
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						4.7
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



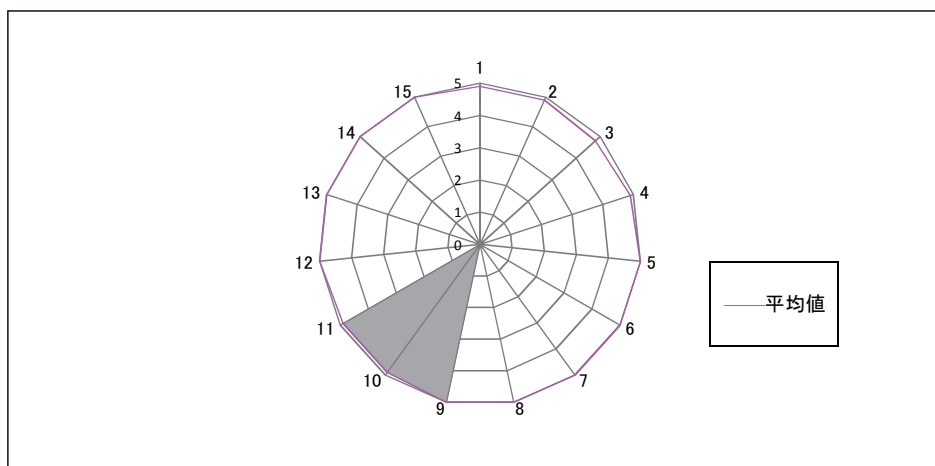
総合評価 4.5

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 初等中等教科教育実践Ⅲ(家庭)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 速水 多佳子, 西川 和孝, 金 貞均

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	0	0	0	0	2	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	0	0	0	0	2	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	0	0	0	0	2	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0



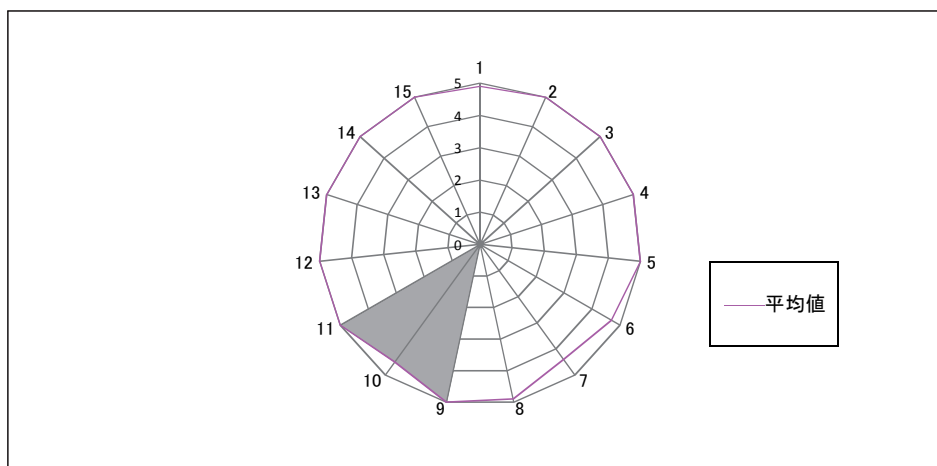
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別支援教育実践基礎演習
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 高原 光恵, 田中 淳一, 大谷 博俊, 井上 とも子, 高橋 眞琴, 湯口 雅史

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	2	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	2	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	0	0	0	0	2	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0

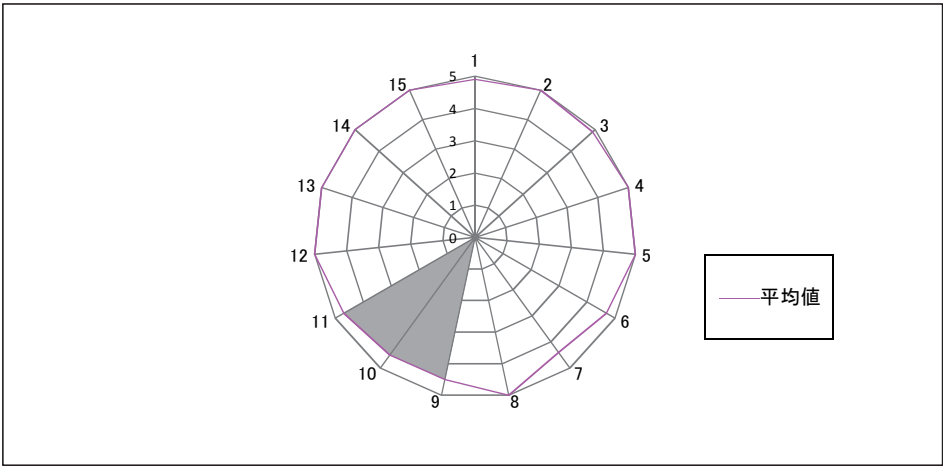


総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 特別支援教育実践 I
 評価実施日 平成29年7月5日
 担当教員名 高原 光恵, 田中 淳一, 大谷 博俊, 井上 とも子, 高橋 眞琴 回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	0	0	0	0	0	5.0
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0

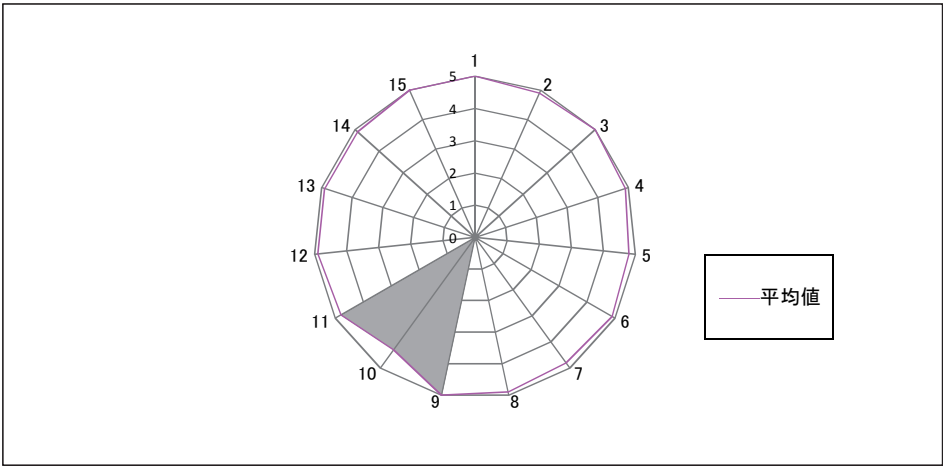


総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別支援教育実践Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月13日
 担当教員名 大谷 博俊, 高橋 眞琴, 井上 とも子, 高原 光恵, 田中 淳一 回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	0	4.9
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	1	5.0



総合評価 **4.9**

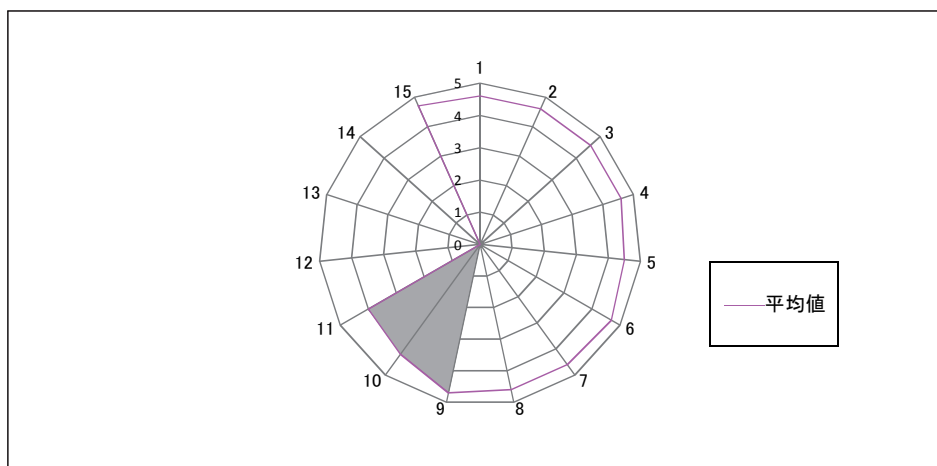
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

教 職 共 通 科 目

授業科目名 教職論
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 阪根 健二, 湯地 宏樹

回答者数 133名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	79	50	4	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	79	46	7	1	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	88	36	8	1	0	0	4.6
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	82	45	5	1	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	67	53	9	0	0	4	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	98	26	8	1	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	84	36	11	2	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	80	44	6	2	1	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	94	34	5	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	53	57	18	3	2	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	44	53	23	11	2	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	98	28	6	0	0	1	4.7



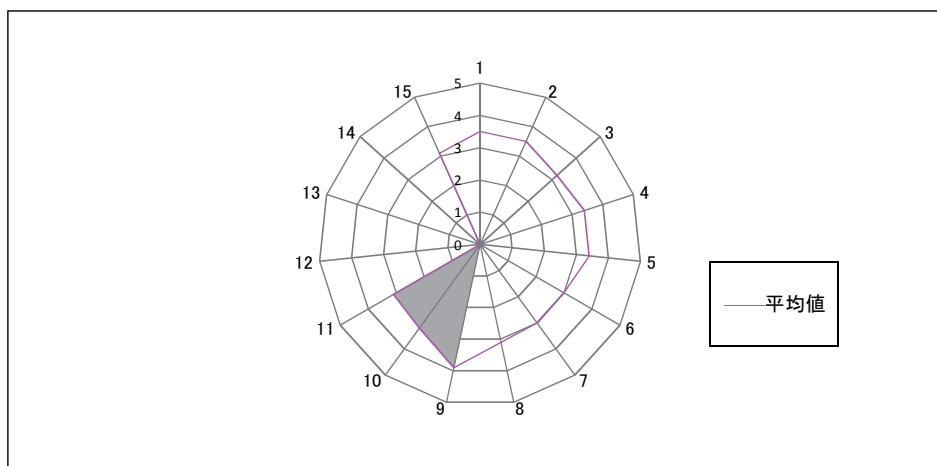
総合評価 4.6

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 人間形成原論
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 木内 陽一

回答者数 183名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	34	69	41	23	16	0	3.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	72	40	24	14	1	3.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	28	50	49	27	29	0	3.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	31	65	37	30	20	0	3.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	31	62	48	25	15	2	3.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	27	46	40	39	31	0	3.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	26	41	45	37	34	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	58	35	31	35	0	3.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	55	73	37	7	11	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	23	45	63	35	17	0	3.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	22	46	52	40	23	0	3.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	27	50	43	32	29	2	3.1



総合評価 **3.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 発達心理学

評価実施日 平成30年2月22日

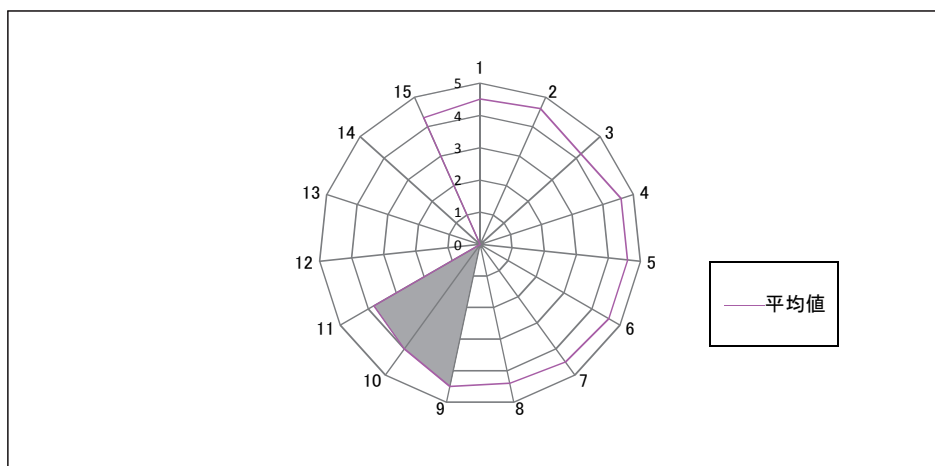
担当教員名

田村 隆宏, 浜崎 隆司, 皆川 直凡, 山崎 勝之, 高原 光恵, 小倉 正義

回答者数

29名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	16	11	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	10	2	0	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	12	6	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	18	9	2	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	9	2	0	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	17	10	2	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	17	8	4	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	16	9	2	2	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	15	12	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	8	14	6	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	8	9	10	0	2	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	15	2	0	0	2	4.3



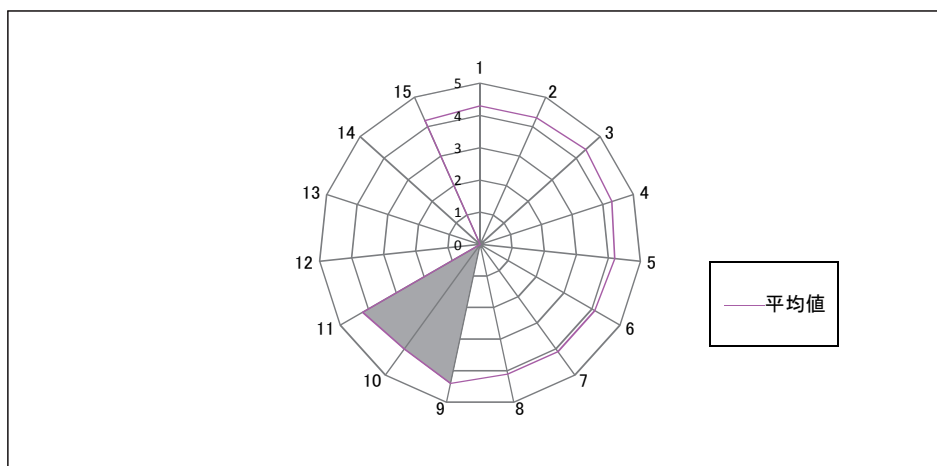
総合評価 4.5

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 教育心理学
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 皆川 直凡

回答者数 101名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	42	47	9	1	2	0	4.3
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	46	42	11	0	2	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	48	41	9	1	2	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	42	44	12	1	2	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	41	42	15	0	2	1	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	39	39	15	4	4	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	38	39	17	5	2	0	4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	39	35	19	6	2	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	53	33	14	0	1	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	33	43	16	8	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	43	35	19	3	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	40	41	13	5	2	0	4.2



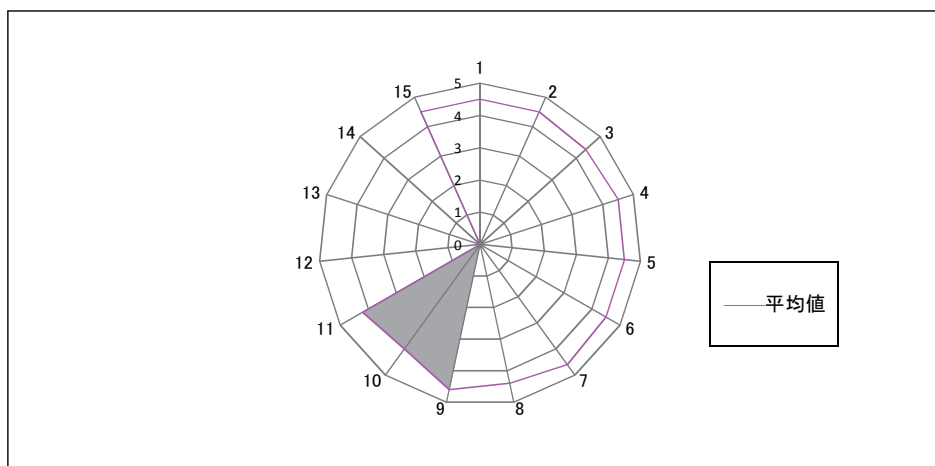
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育制度・経営論
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 石村 雅雄

回答者数 97名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



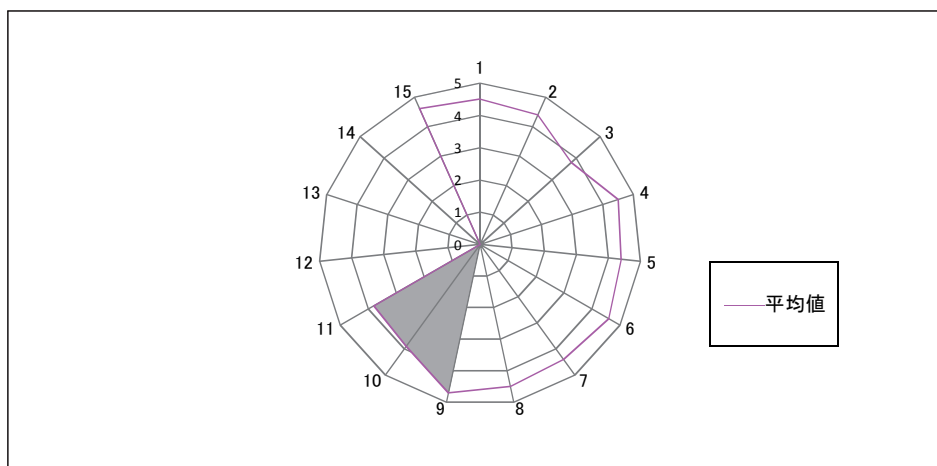
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育社会学
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 山本 晃輔

回答者数 38名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	18	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	17	2	1	0	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	13	7	5	1	0	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	21	15	2	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	17	1	2	0	2	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	14	2	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	17	3	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	16	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	26	11	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	14	8	4	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	14	9	3	1	1	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	22	12	2	0	0	2	4.6



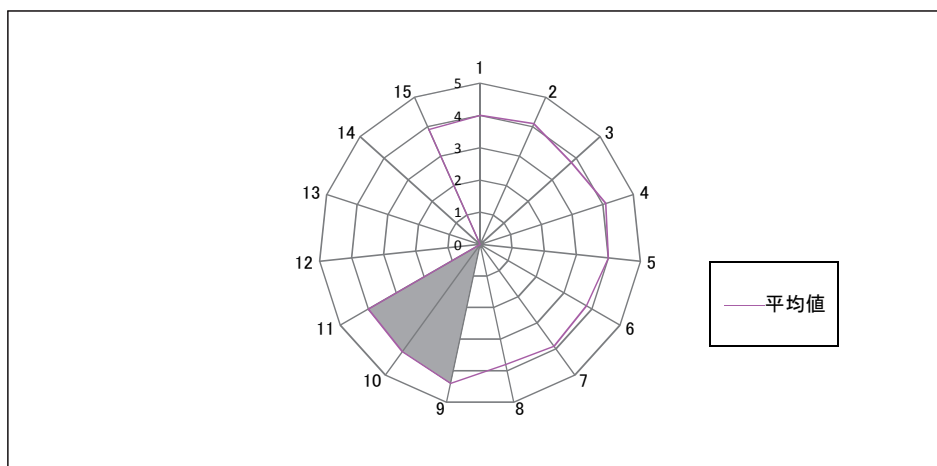
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 発達障害教育論A
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 服部 英昭, 笠井 新一郎

回答者数 92名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						3.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						3.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						3.9



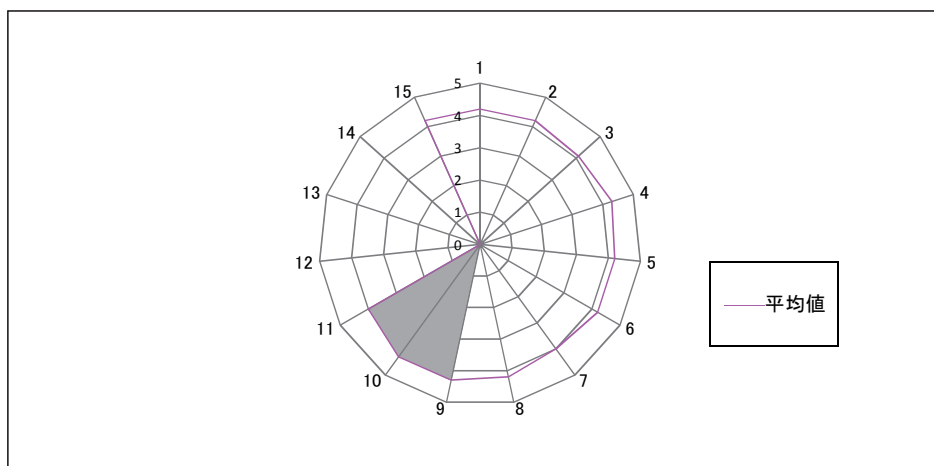
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 発達障害教育論B
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 服部 英昭, 笠井 新一郎

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	5	2	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	3	0	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	5	1	1	0	0	4.1
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	2	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	1	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	5	2	0	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	6	1	1	0	0	4.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	4	1	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	4	3	0	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	6	1	0	0	1	4.2

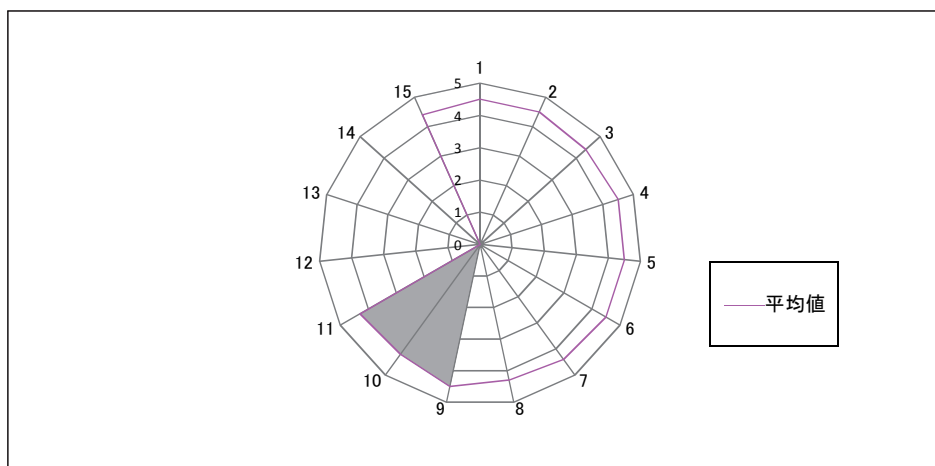


総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育課程論
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 前田 洋一, 幾田 伸司, 井上 奈穂, 山田 芳明, 秋田 美代 回答者数 120名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	65	46	9	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	64	48	8	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	63	43	12	2	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	63	45	11	1	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	67	42	8	1	0	2	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	67	43	8	2	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	57	50	12	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	53	51	13	3	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	65	45	10	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	52	43	22	3	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	57	42	18	3	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	59	43	13	2	0	3	4.4



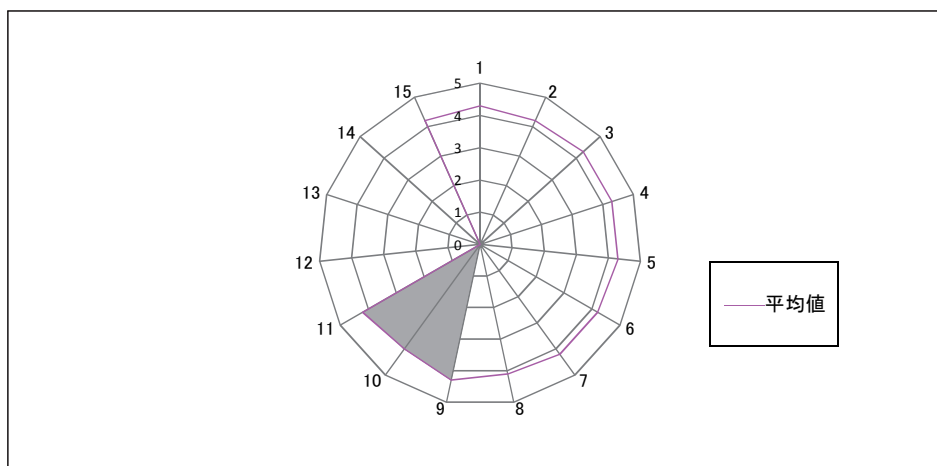
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教科教授学習論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 泰山 裕

回答者数 47名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



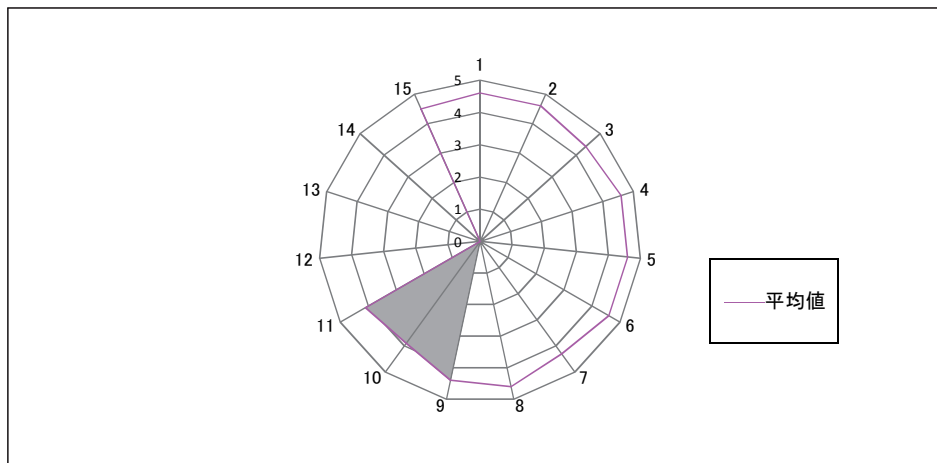
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論A
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 92名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	51	40	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	52	40	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	45	39	4	4	0	0	4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	53	37	2	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	49	40	2	0	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	56	35	0	0	1	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	43	33	13	3	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	60	29	1	2	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	46	37	8	1	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	28	37	18	7	2	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	31	41	14	4	1	1	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	50	36	3	1	0	2	4.5



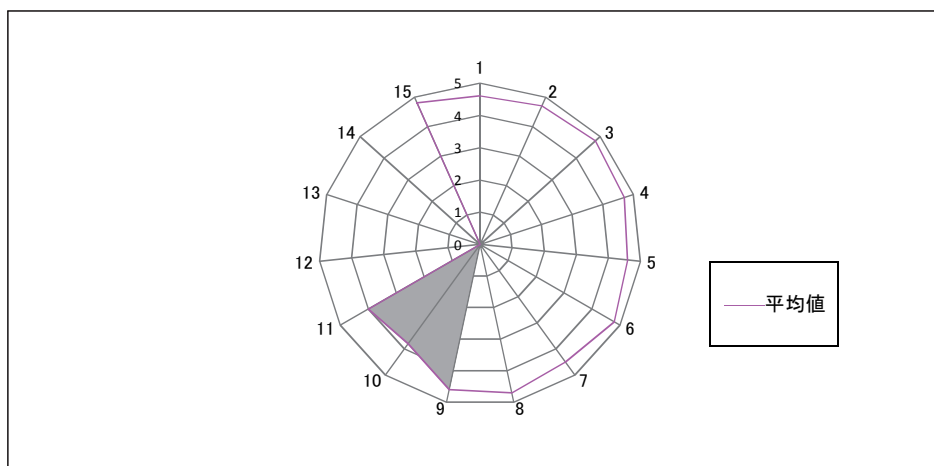
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語科教育論B
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 47名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	28	18	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	12	3	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	37	9	1	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	33	11	3	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	28	15	4	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	37	8	2	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	30	11	5	1	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	32	13	1	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	29	14	3	1	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	17	12	6	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	18	13	11	5	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	35	10	2	0	0	0	4.8



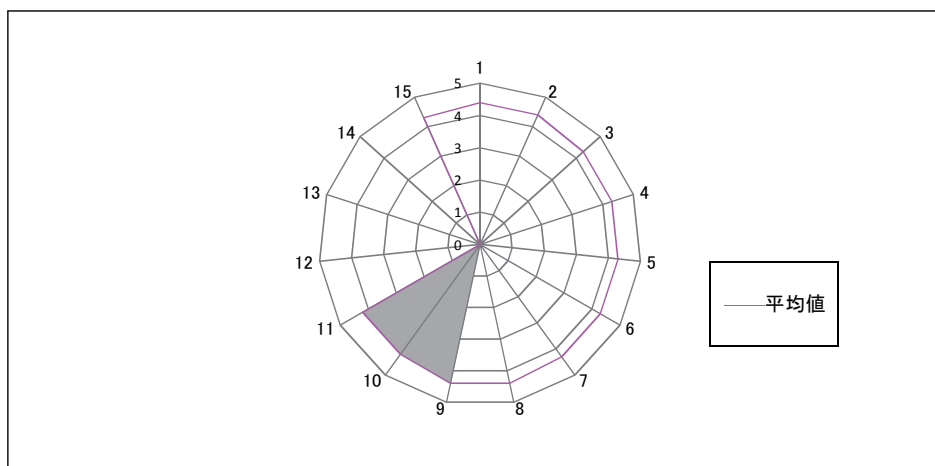
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論A
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 伊藤 直之

回答者数 105名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



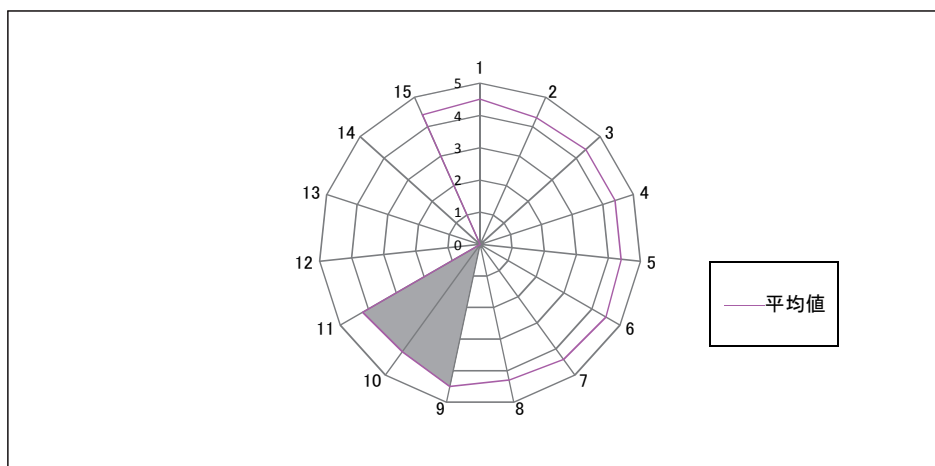
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会科教育論B
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



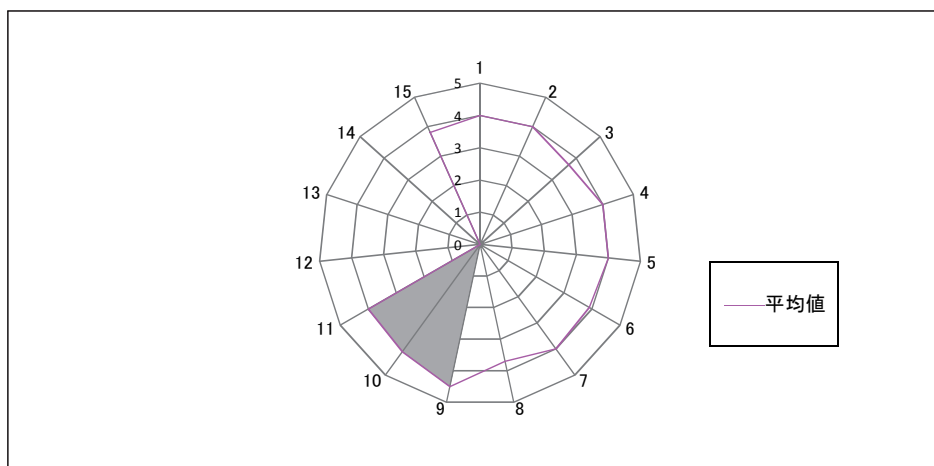
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論A
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 早田 透

回答者数 96名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	33	44	9	5	5	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	35	38	12	5	6	0	4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	28	29	27	6	6	0	3.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	39	33	14	5	5	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	35	35	13	8	5	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	39	31	11	4	11	0	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	39	31	12	6	8	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	31	32	12	14	7	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	53	31	10	0	1	1	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	32	43	14	5	1	1	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	31	41	15	5	3	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	29	37	10	10	6	4	3.8



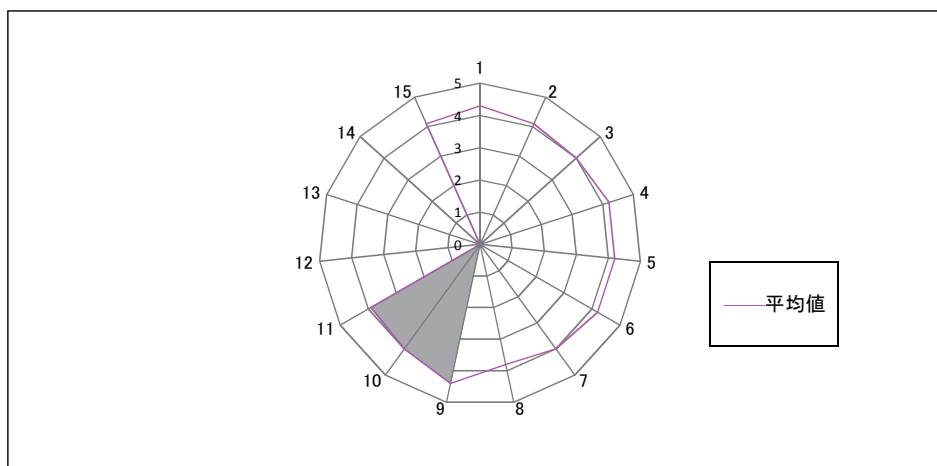
総合評価 3.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数科教育論B
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 早田 透

回答者数 43名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1

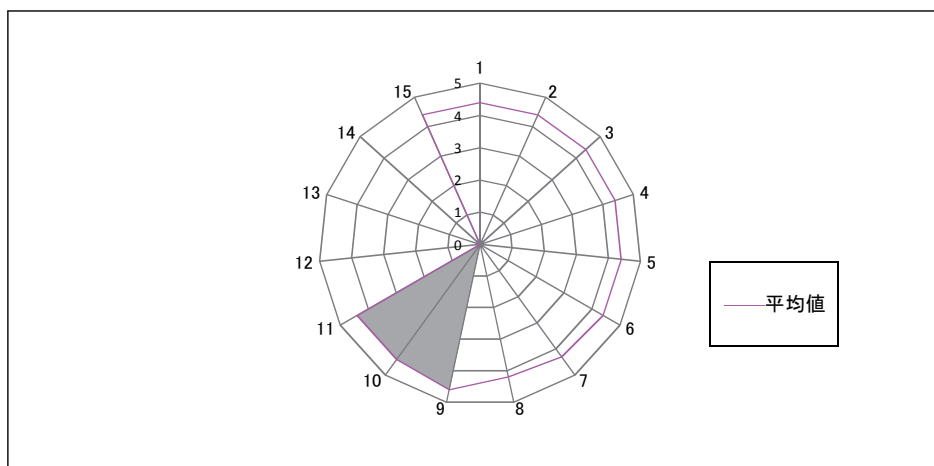


総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科教育論
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 本田 亮, 香西 武, 佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 森 繁, 寺島 幸生 回答者数 146名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	73	61	9	3	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	70	61	11	3	1	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	78	50	15	2	1	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	74	55	13	3	1	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	70	52	20	1	1	2	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	69	58	16	3	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	62	60	17	6	1	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	52	73	14	5	2	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	88	48	8	2	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	70	53	21	2	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	72	56	14	4	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	62	59	12	4	0	9	4.4



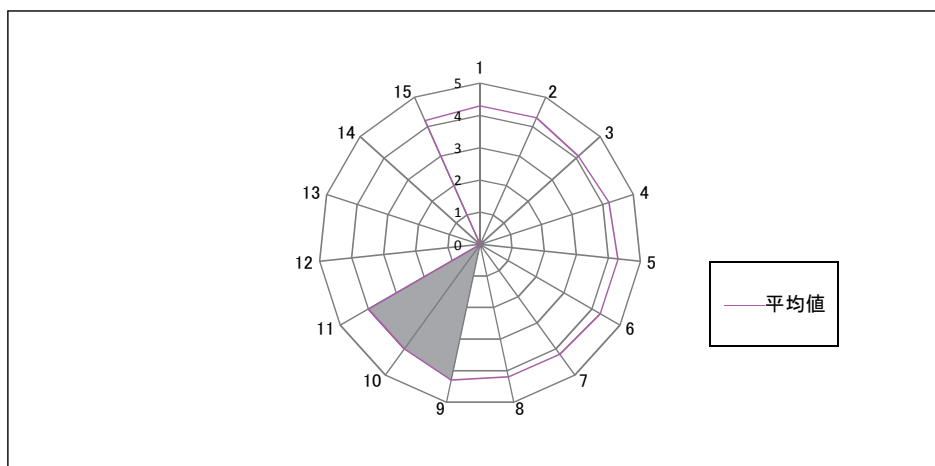
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活科教育論
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 金野 誠志

回答者数 127名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



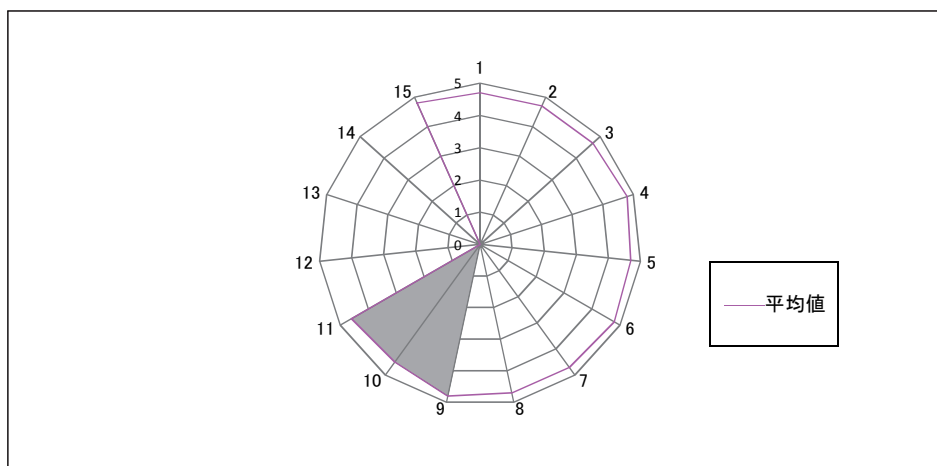
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論A
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 川内 由子

回答者数 104名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	70	32	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	72	29	3	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	75	24	5	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	76	26	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	74	27	3	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	79	22	3	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	73	27	3	0	1	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	76	24	3	1	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	77	24	3	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	60	33	9	2	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	66	28	8	2	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	81	20	3	0	0	0	4.8



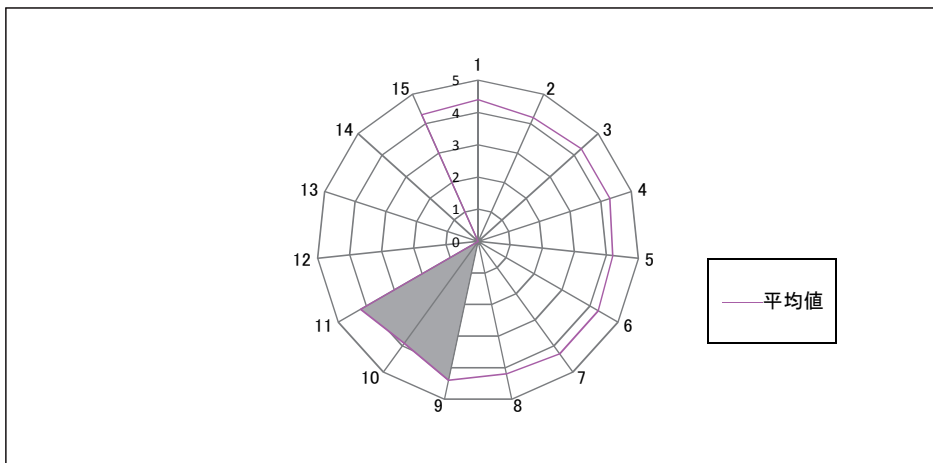
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽科教育論B
 評価実施日 平成30年2月16日
 担当教員名 川内 由子

回答者数 38名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



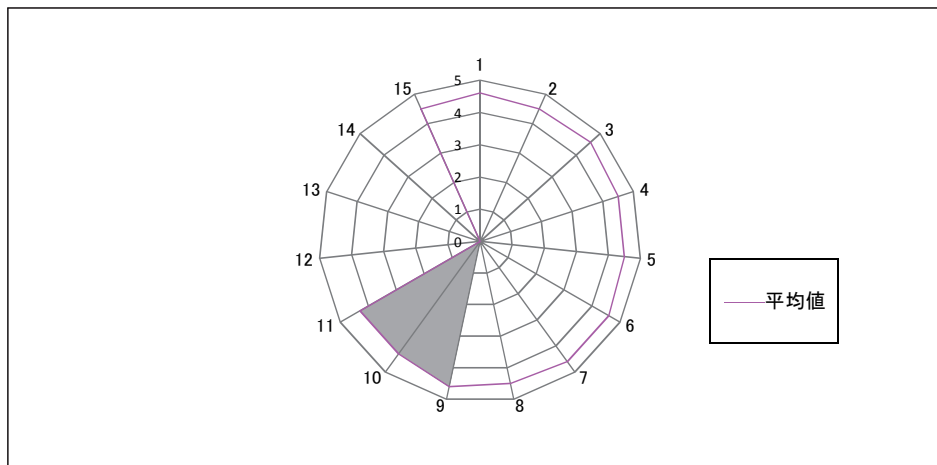
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作科教育論A
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 67名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



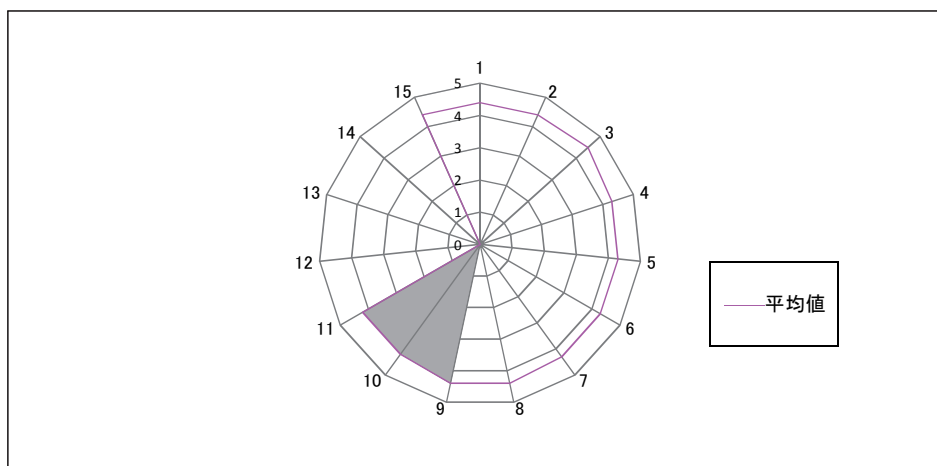
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作科教育論B
 評価実施日 平成30年2月27日
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 49名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	20	25	4	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	20	7	0	0	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	26	17	6	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	20	23	6	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	22	19	6	1	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	22	20	6	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	22	18	8	1	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	19	6	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	25	18	6	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	16	25	8	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	17	20	9	1	0	2	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	25	17	5	1	1	0	4.4



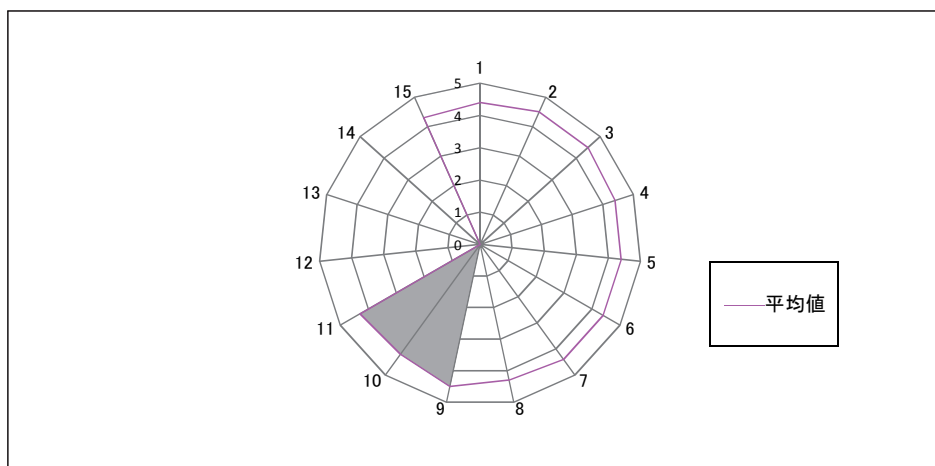
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭科教育論
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 福井 典代, 速水 多佳子

回答者数 143名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.3



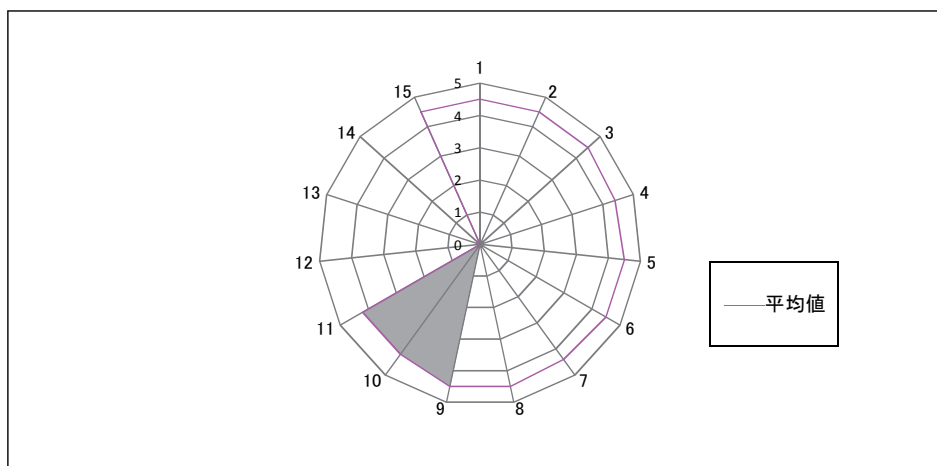
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 道徳教育指導論
 評価実施日 平成30年2月20日
 担当教員名 池田 誠喜

回答者数 140名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	72	56	11	1	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	75	51	11	3	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	74	52	11	3	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	72	50	16	2	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	73	51	13	2	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	78	50	11	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	69	55	14	2	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	75	52	12	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	79	45	12	4	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	53	57	23	5	1	1	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	59	55	18	4	2	2	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	71	54	10	2	0	3	4.5



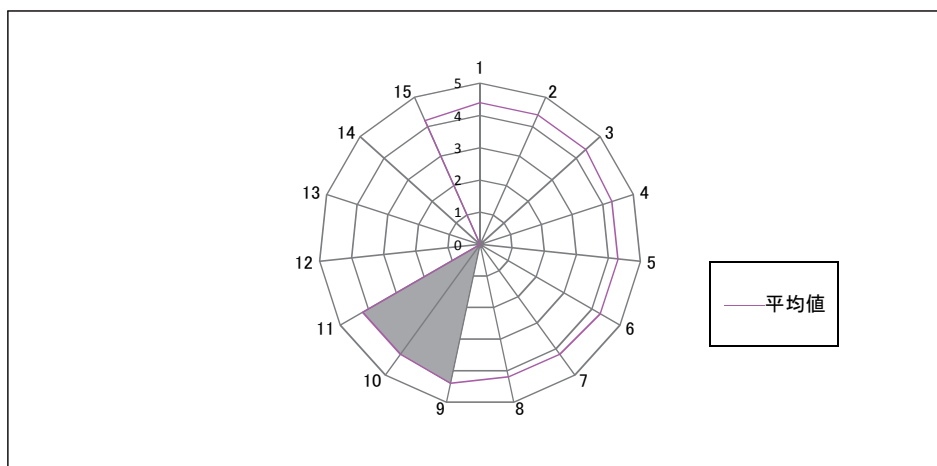
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論A
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 葛上 秀文

回答者数 108名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



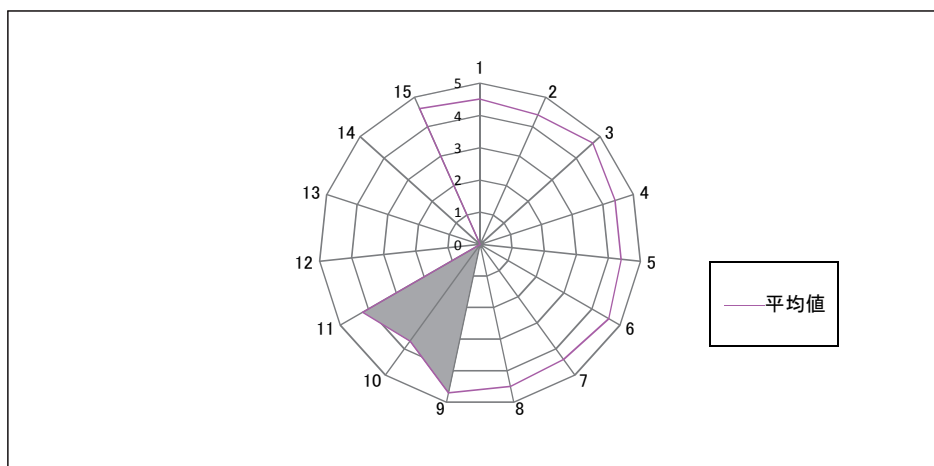
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 特別活動指導論B
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 森 康彦

回答者数 56名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



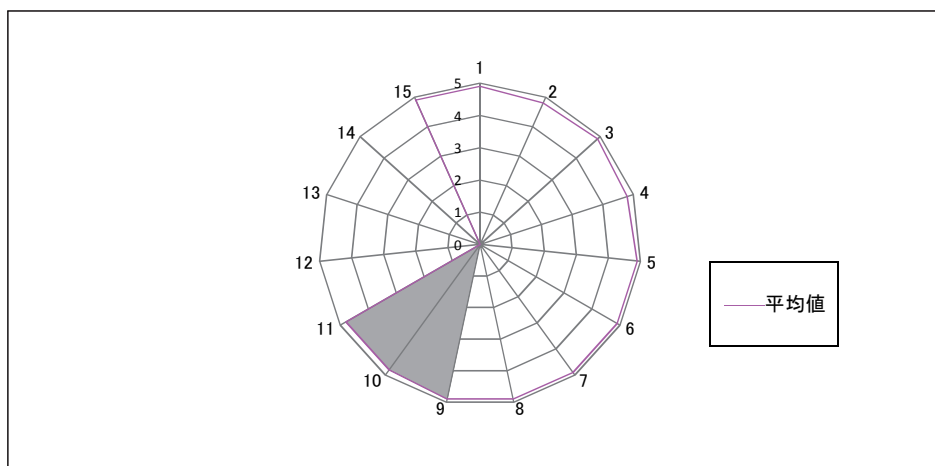
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幼児教育課程論
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.9



総合評価 **4.9**

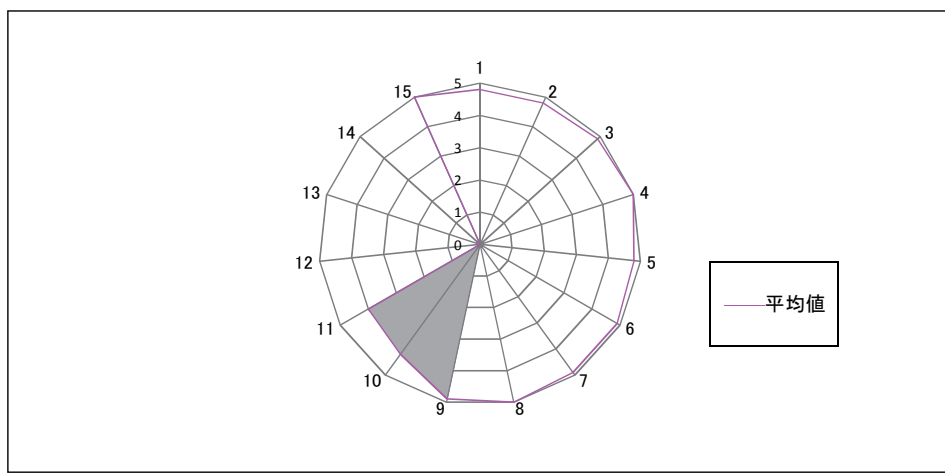
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容総論

評価実施日 平成29年7月27日

担当教員名 塩路 晶子, 田村 隆宏, 浜崎 隆司, 湯地 宏樹 回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	2	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	4	1	0	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



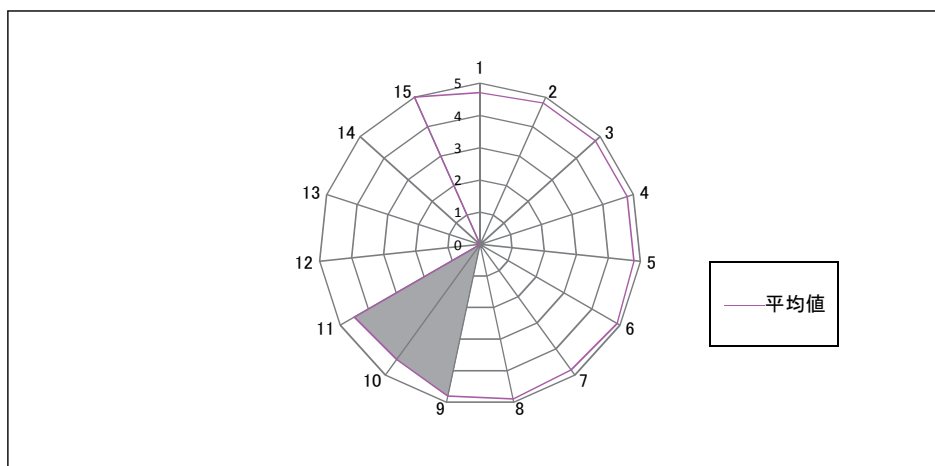
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(人間関係)
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 浜崎 隆司

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	4	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	21	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	5	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	20	3	1	0	0	1	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	3	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	19	5	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	22	2	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	20	5	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	15	6	3	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	5	2	1	0	1	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	2	0	0	0	4	5.0



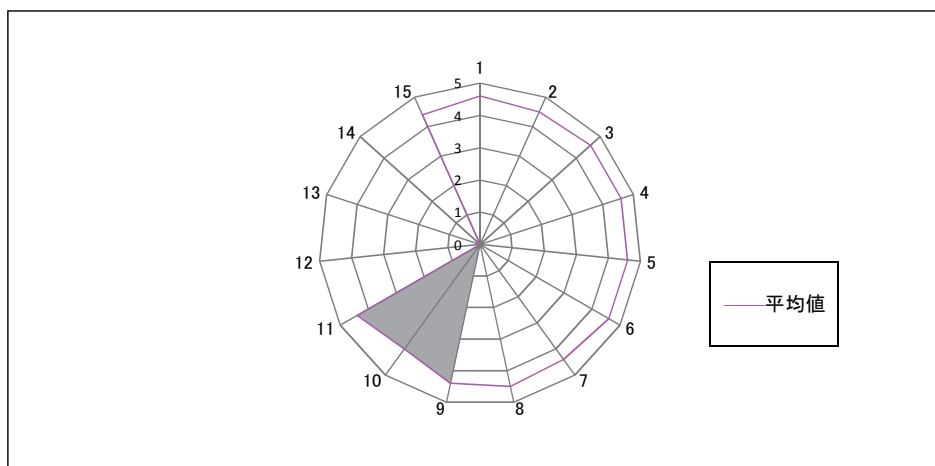
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(環境)
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 33名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	12	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	13	2	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	13	1	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	12	1	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	13	1	0	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	10	2	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	14	4	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	8	3	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	16	14	3	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	10	6	3	1	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	14	2	0	1	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	9	3	1	0	4	4.4



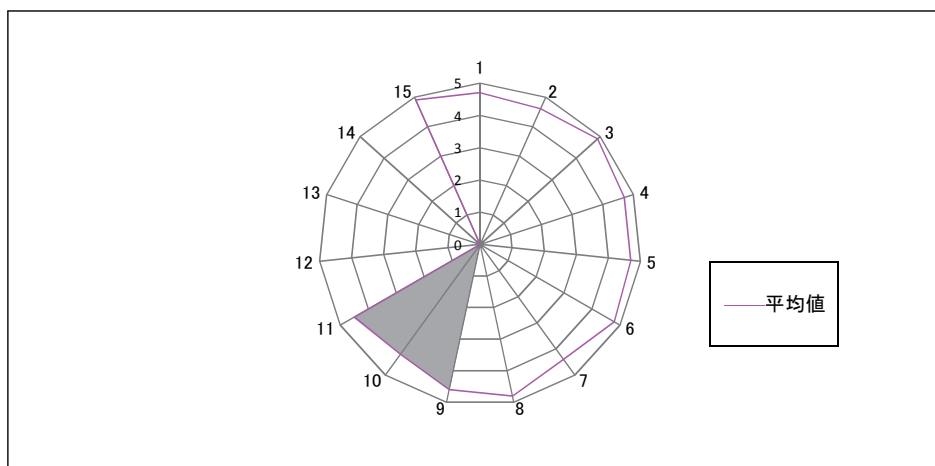
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(言葉)
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 近藤 慶子

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



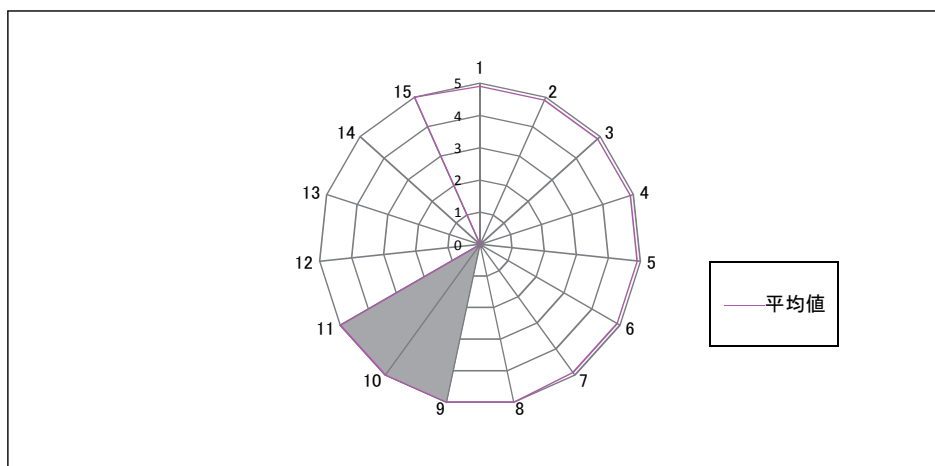
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現I)A
 評価実施日 平成29年8月4日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0



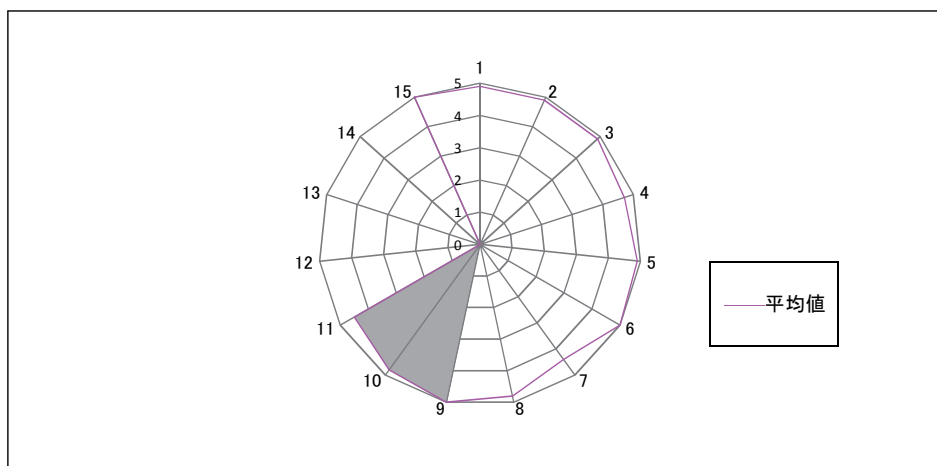
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現I)B
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	2	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	4	1	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	0	5.0



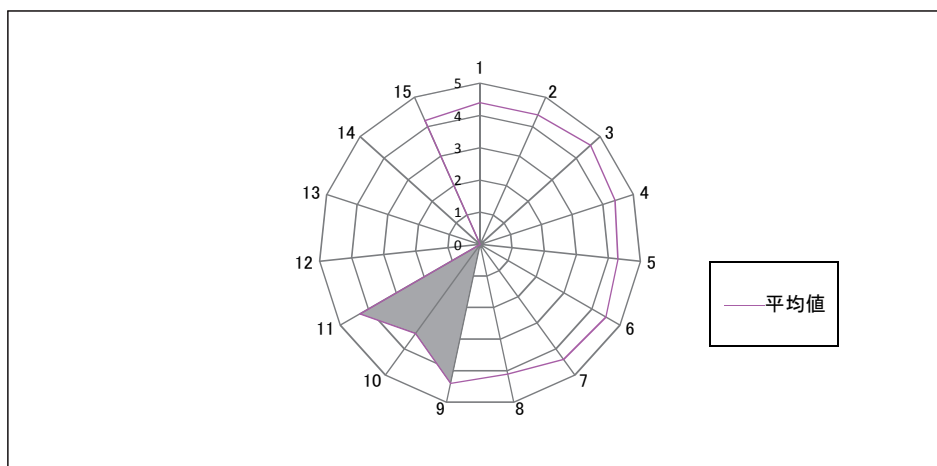
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(表現Ⅱ)
 評価実施日 平成30年2月16日
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	7	1	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	6	2	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	6	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	6	3	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	9	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	5	1	1	0	3.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	6	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	6	1	1	0	0	4.2



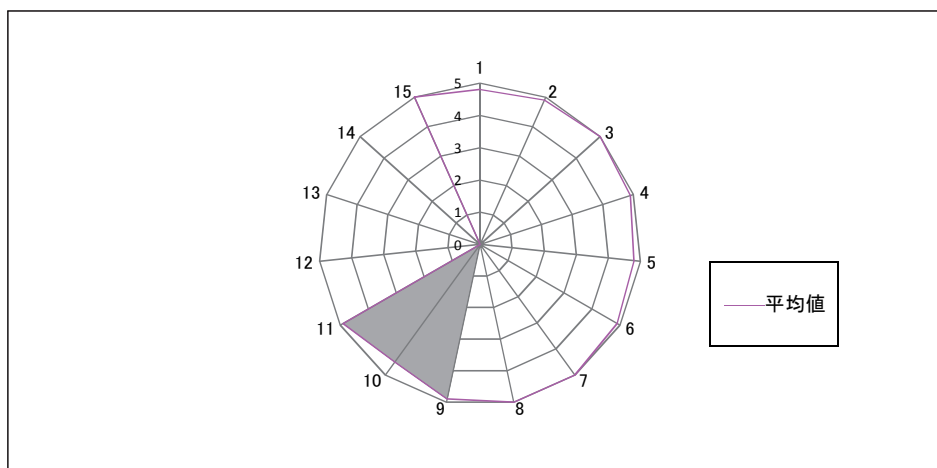
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育内容(健康)
 評価実施日 平成29年8月31日
 担当教員名 林 修

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



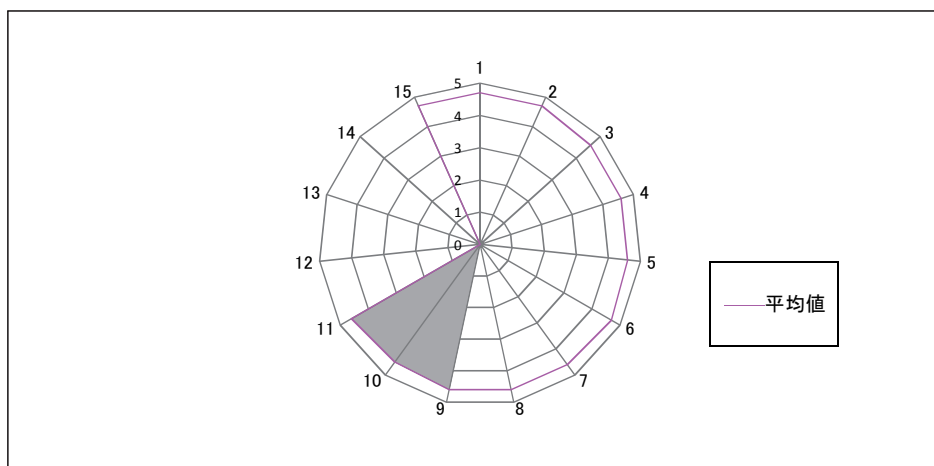
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 授業研究論
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 泰山 裕

回答者数 40名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)						
	5	4	3	2	1	N.A							
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						26	13	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						26	13	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						25	14	1	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						25	14	1	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						25	13	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						27	12	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						24	14	2	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						24	15	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						24	14	2	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						21	16	3	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						24	12	3	0	0	1	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。												
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。												
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。												
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						24	15	0	0	0	1	4.7



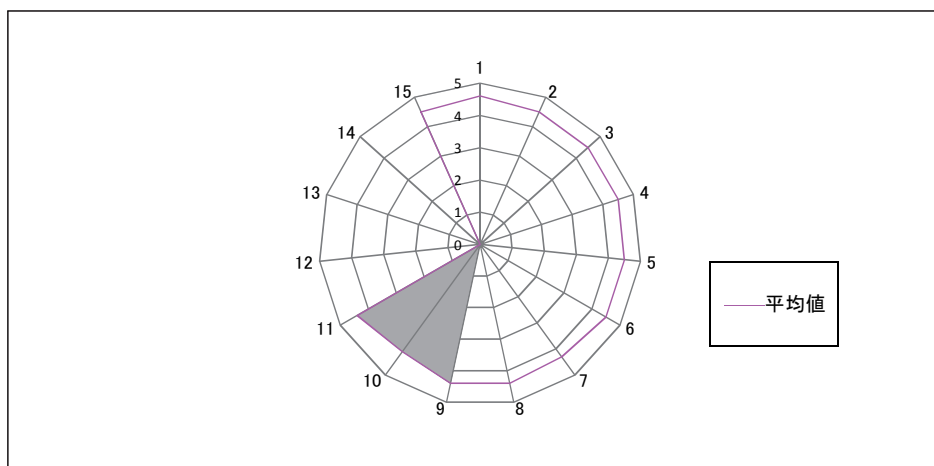
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育評価論
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 前田 洋一, 川上 綾子, 金児 正史

回答者数 108名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.5



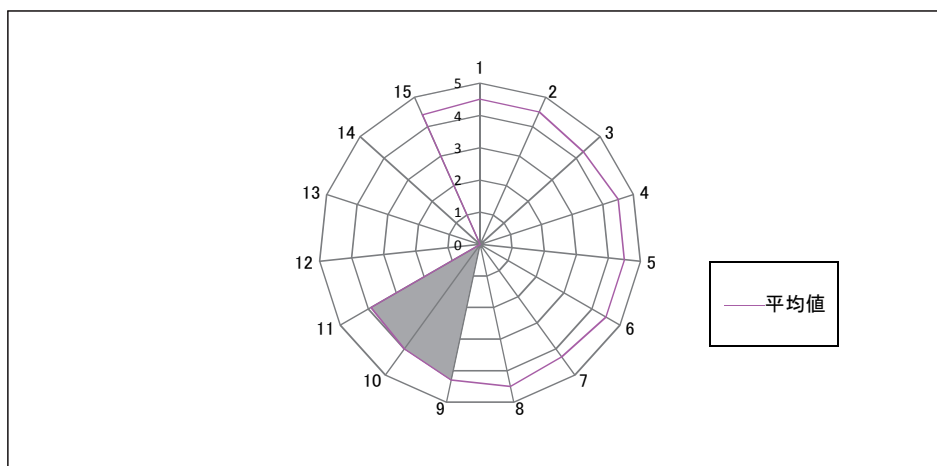
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教育工学
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 川上 綾子

回答者数 44名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



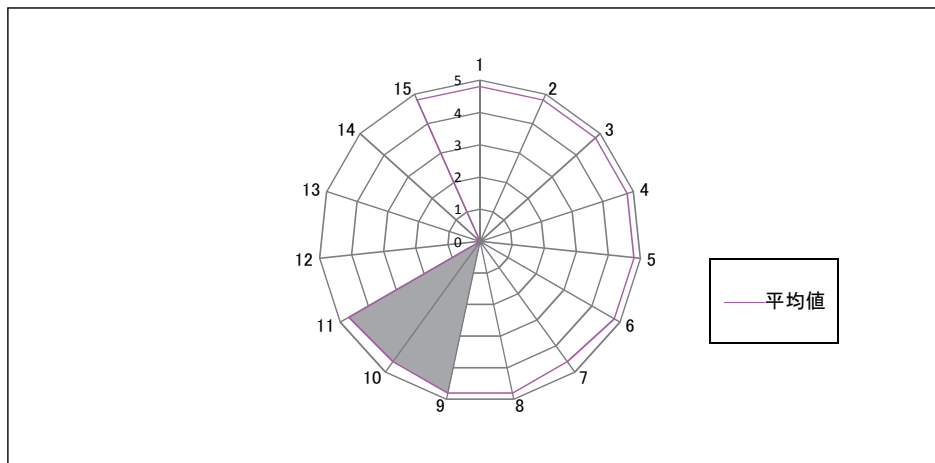
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳幼児心理学
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 田村 隆宏

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 4.8

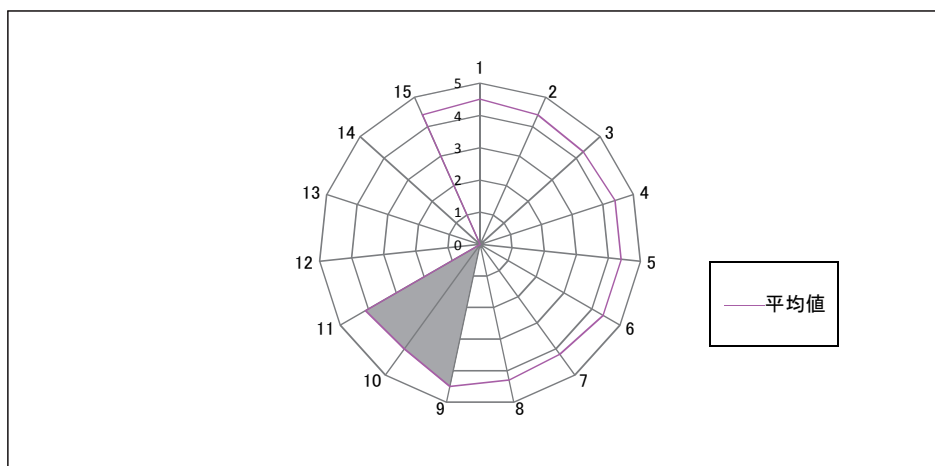
※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生徒指導論(進路指導を含む。)

評価実施日 平成30年2月13日

担当教員名 阿形 恒秀, 葛上 秀文, 吉井 健治, 小倉 正義, 小坂 浩嗣 回答者数 167名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	83	70	14	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	86	64	13	4	0	0	4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	77	62	23	5	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	86	63	14	3	1	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	81	69	14	1	1	1	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	81	70	15	0	1	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	67	73	19	7	1	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	70	78	16	2	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	86	66	12	2	0	1	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	52	70	34	7	3	1	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	57	71	26	8	2	3	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	76	64	18	1	1	7	4.4



総合評価 4.4

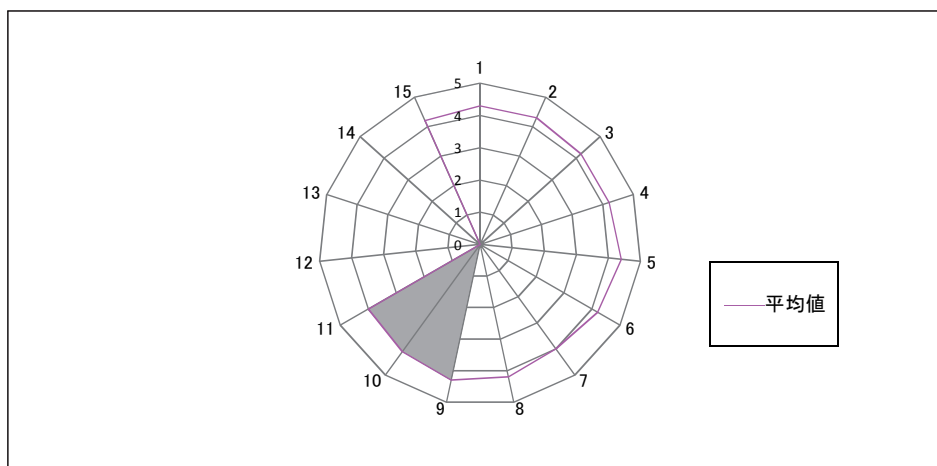
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育相談論A

評価実施日 平成29年8月4日

担当教員名 小倉 正義, 久米 禎子, 吉井 健治, 栗飯原 良造 回答者数 114名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.2



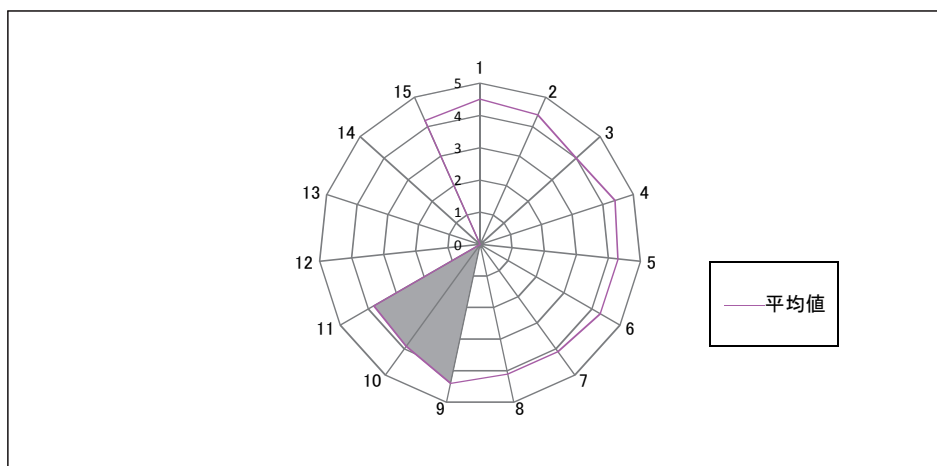
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 教育相談論B
 評価実施日 平成29年8月4日
 担当教員名 吉井 健治, 久米 禎子, 小倉 正義, 栗飯原 良造

回答者数 61名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	33	21	7	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	23	6	1	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	23	16	16	5	0	1	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	31	21	6	3	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	29	16	14	1	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	29	24	4	3	1	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	25	21	11	2	2	0	4.1
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	24	23	9	4	1	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	31	22	6	1	0	1	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	20	16	18	6	0	1	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	17	19	19	5	0	1	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	21	22	9	1	1	7	4.2



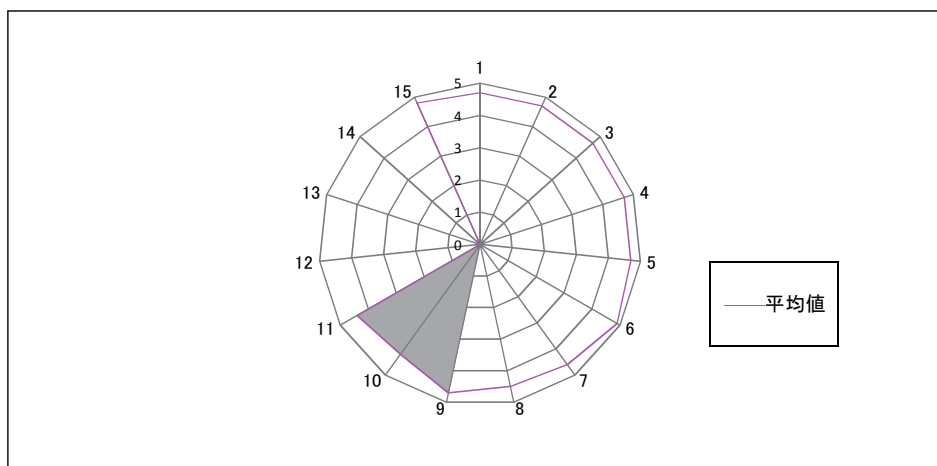
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 中等国語科教材論
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 26名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	18	8	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	7	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	6	1	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	18	6	2	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	19	5	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	22	4	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	17	7	2	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	10	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	19	6	0	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	11	5	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	11	12	3	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	18	7	0	0	0	1	4.8



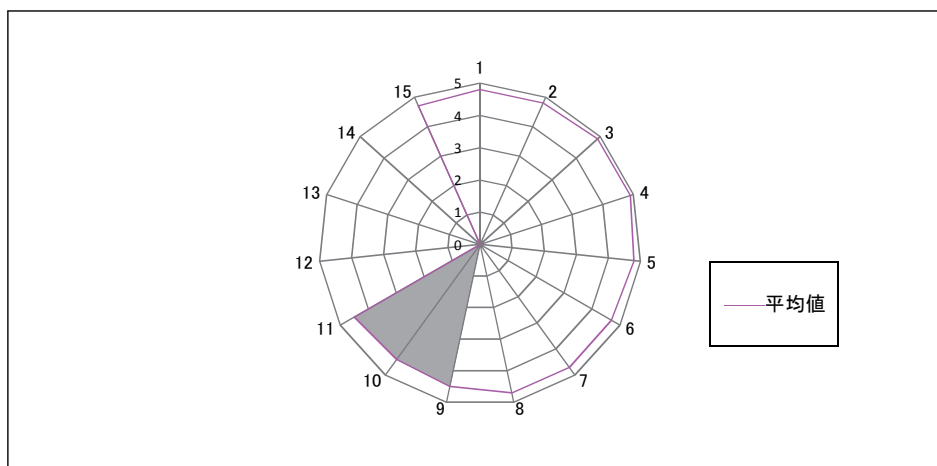
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科教育論
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 原 卓志, 村井 万里子

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



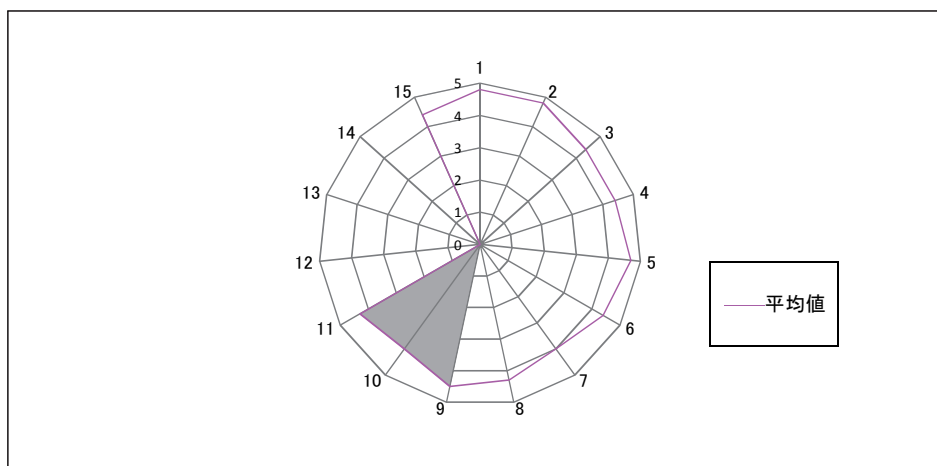
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等国語科授業論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 幾田 伸司

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



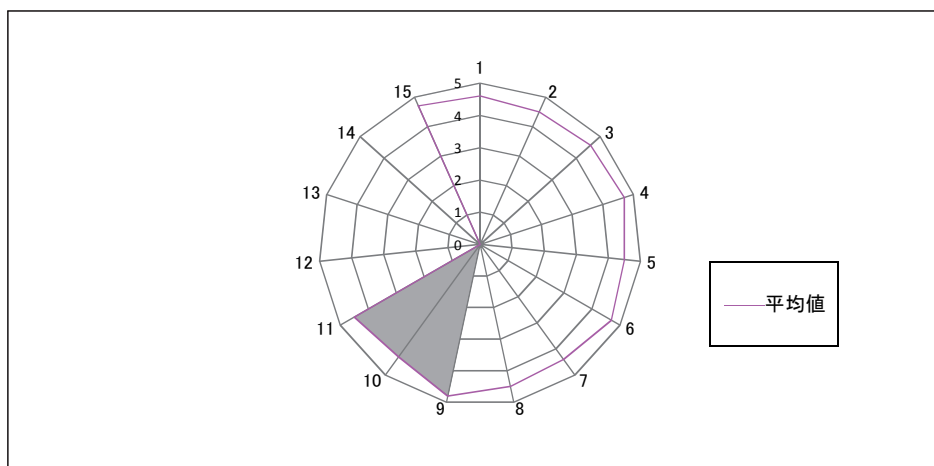
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論 I
 評価実施日 平成29年8月2日
 担当教員名 山森 直人

回答者数 45名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



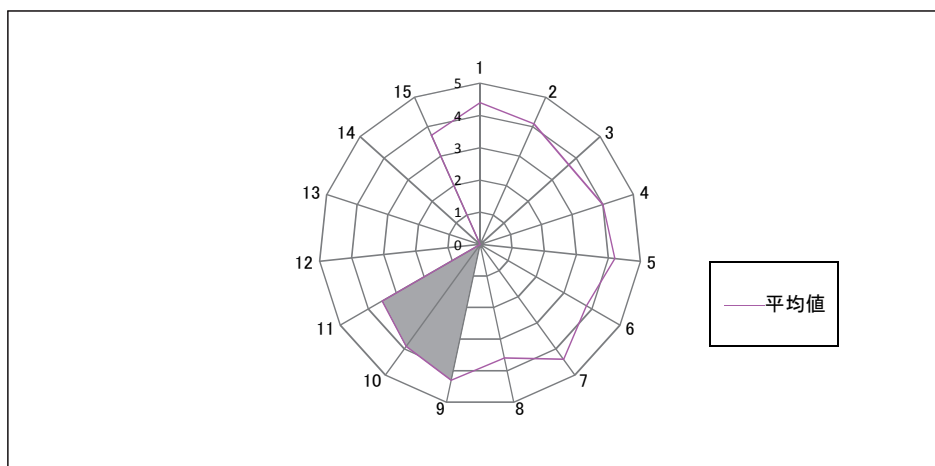
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月16日
 担当教員名 石濱 博之

回答者数 32名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	15	1	0	1	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	17	4	0	1	0	4.1
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	14	7	2	2	0	3.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	17	4	0	2	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	14	5	0	1	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	13	8	1	2	0	3.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	10	4	0	1	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	15	7	0	4	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	12	4	0	1	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	21	4	1	1	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	13	7	3	3	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	18	5	2	2	0	3.7



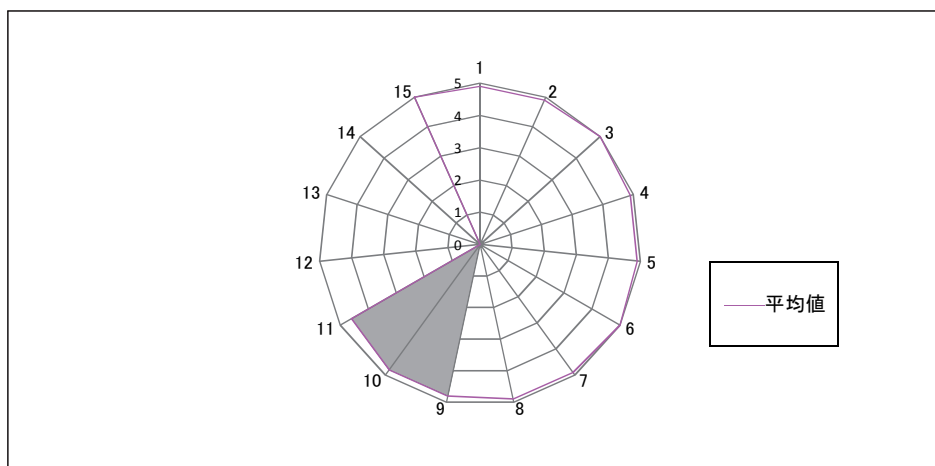
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語科教育論Ⅲ
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 山森 直人

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	2	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	1	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



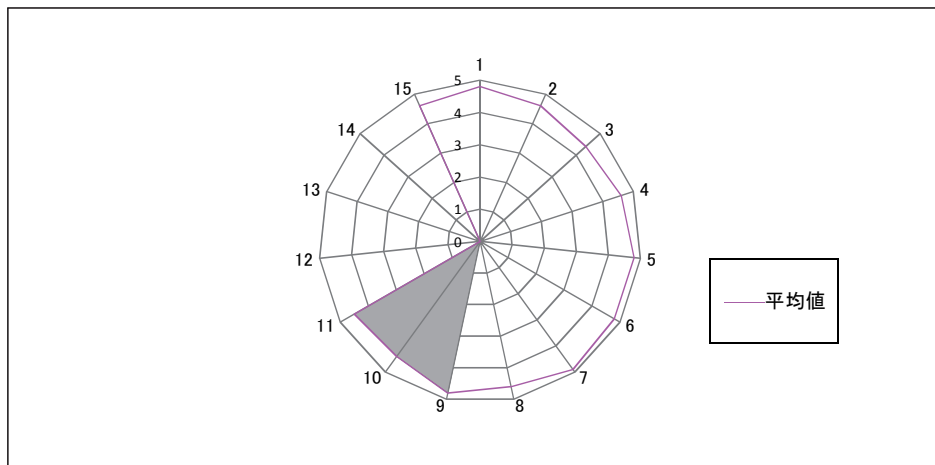
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科教育論
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 梅津 正美

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



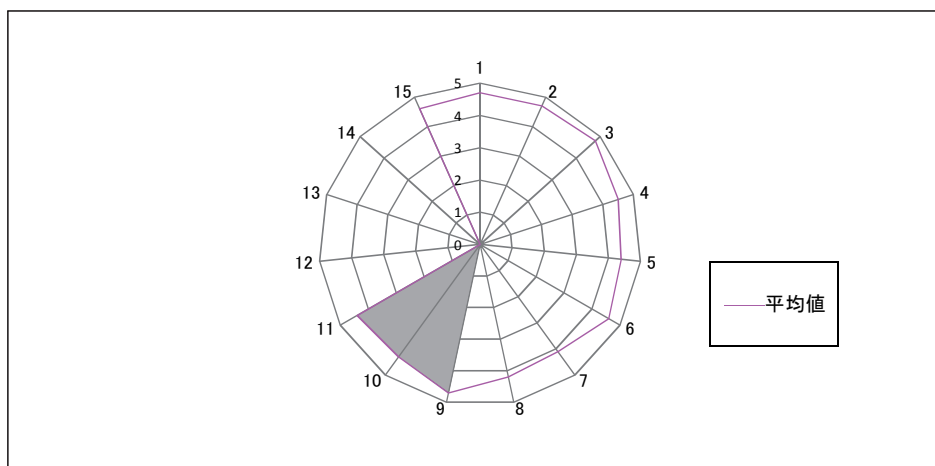
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等社会科授業論
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



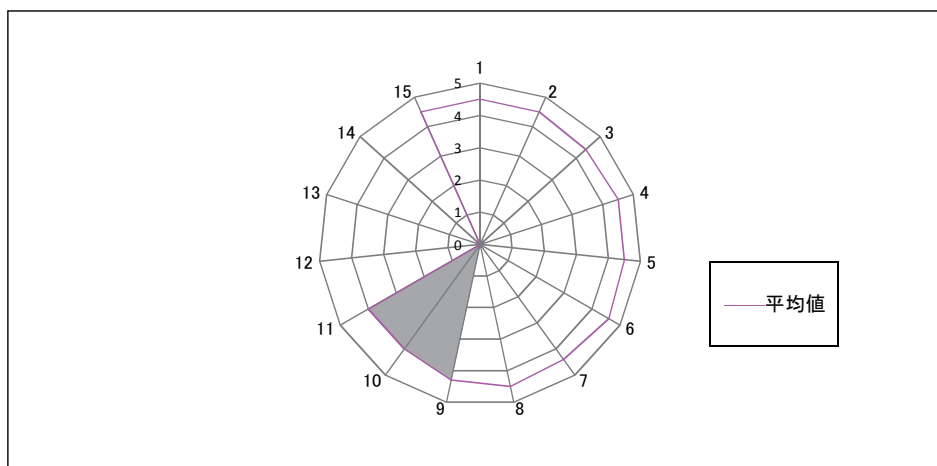
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理歴史科教育論
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 梅津 正美, 伊藤 直之

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.5



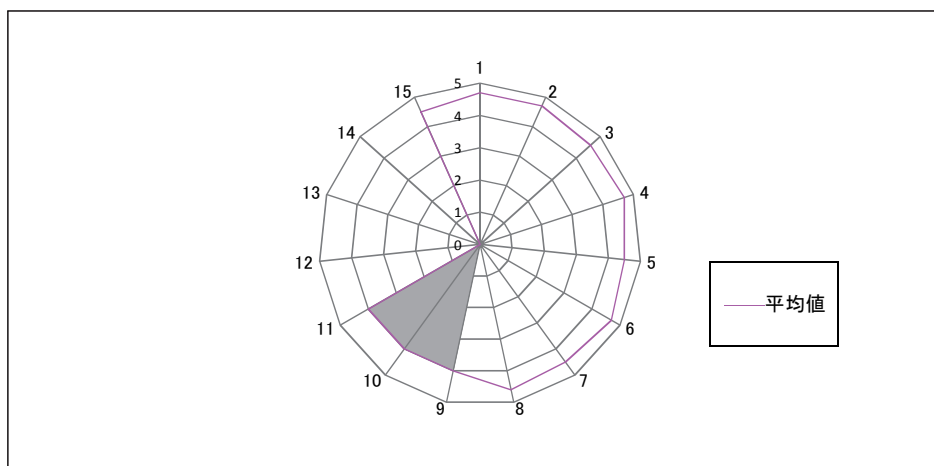
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 公民科教育論
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	3	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	1	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	4	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	7	3	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	8	3	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	8	3	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	3	2	0	0	0	4.5



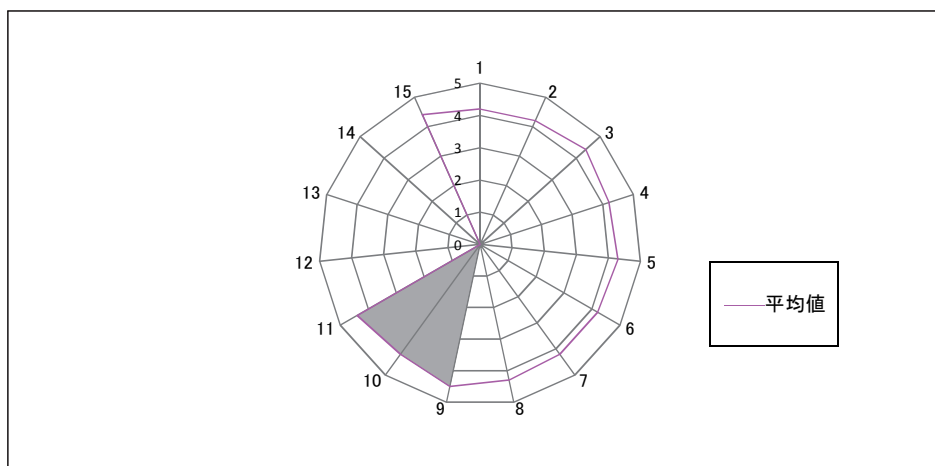
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会科・公民科教材論
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 井上 奈穂

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	7	0	1	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	5	1	1	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	5	1	1	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	6	0	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	6	0	0	1	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	1	1	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	6	0	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	7	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	6	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	2	0	0	0	4.4



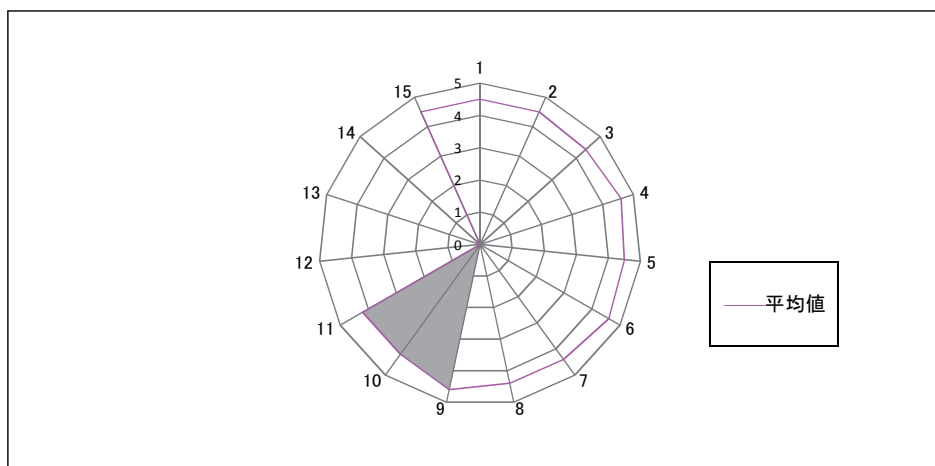
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育論
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 早田 透

回答者数 32名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.5



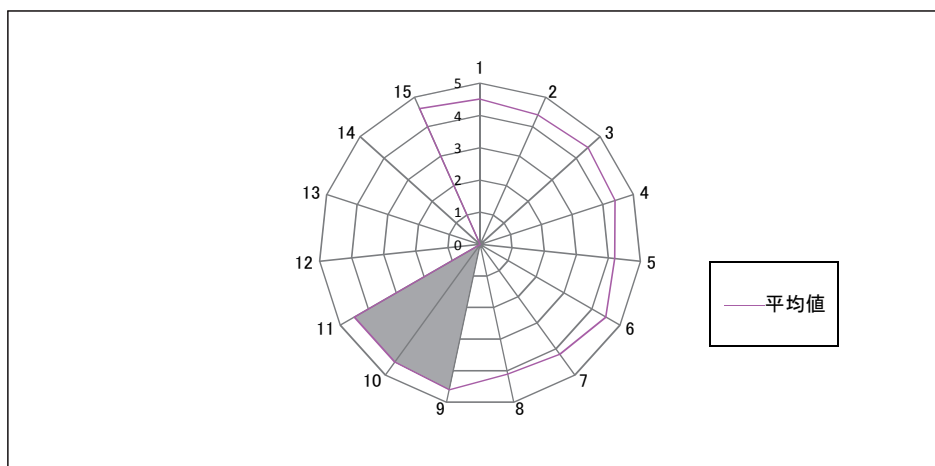
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教材論
 評価実施日 平成29年7月11日
 担当教員名 早田 透

回答者数 31名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



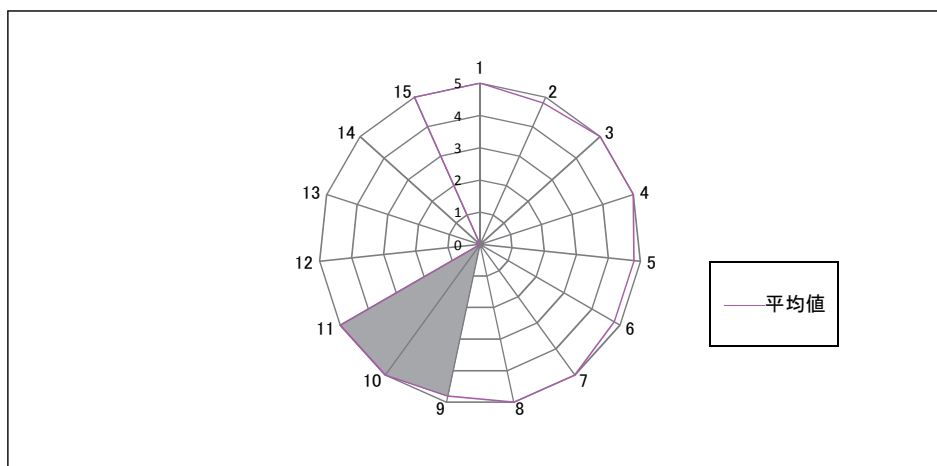
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 数学科教育学特論
 評価実施日 平成29年7月8日
 担当教員名 秋田 美代

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



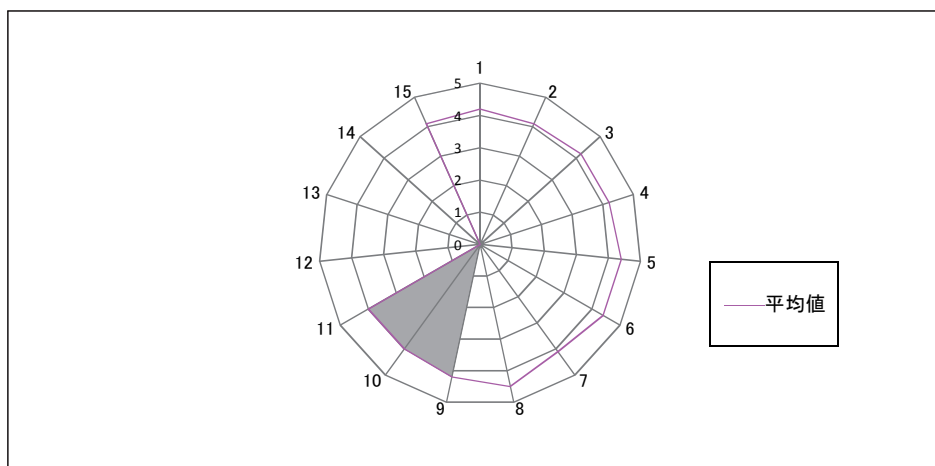
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 粟田 高明, 早藤 幸隆

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	2	4	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	3	1	0	0	4.1
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	4	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	3	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	4	2	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	3	4	0	0	0	4.1
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	2	0	0	1	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	4	3	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	6	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	3	5	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	3	4	0	0	0	4.1



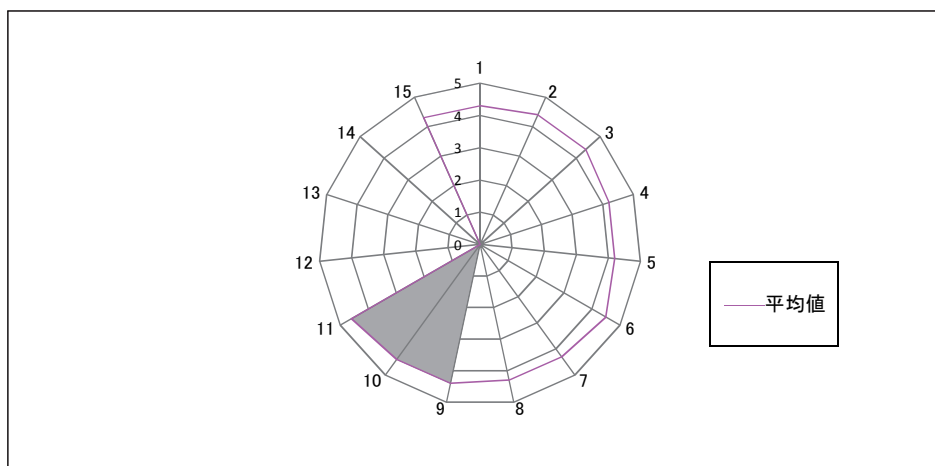
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等音楽科教育論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 川内 由子

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	8	0	1	0	0	4.3
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	6	0	0	1	0	4.4
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	6	0	1	0	0	4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	8	0	0	1	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	8	0	0	1	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	5	0	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	7	0	1	0	1	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	7	0	0	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	8	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	6	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	5	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	6	0	0	1	1	4.3



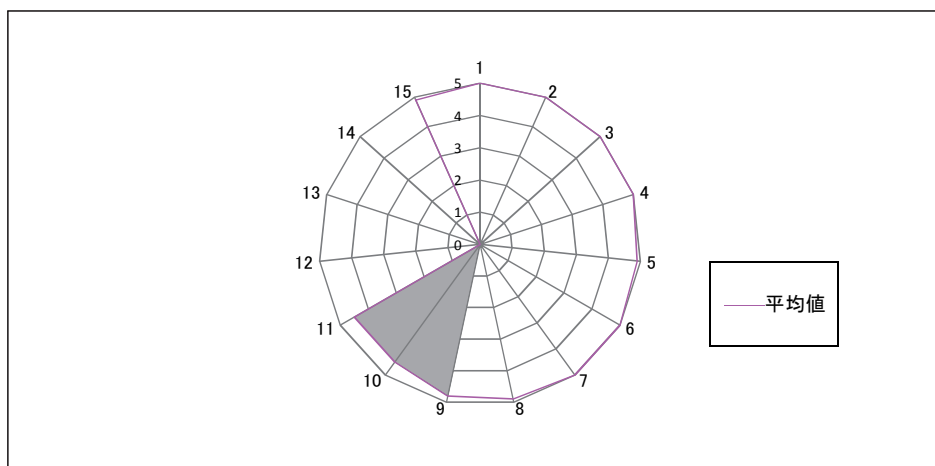
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教育論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	1	0	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	1	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



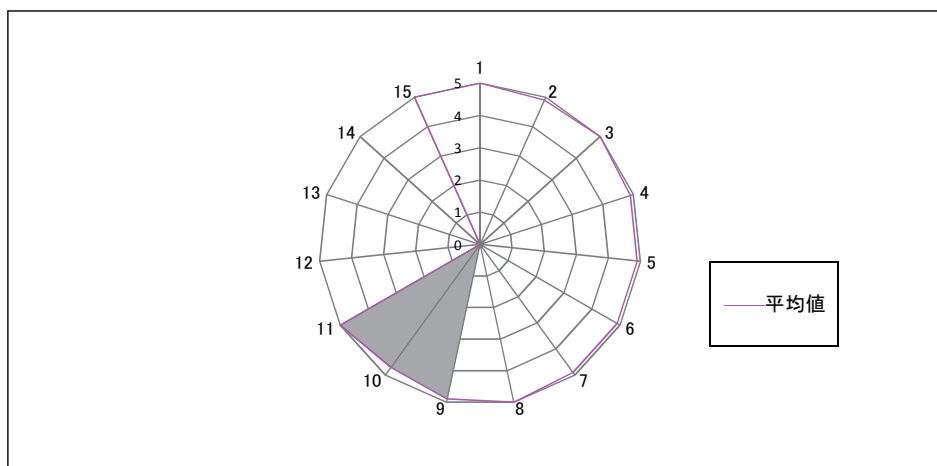
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科授業論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 山木 朝彦

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



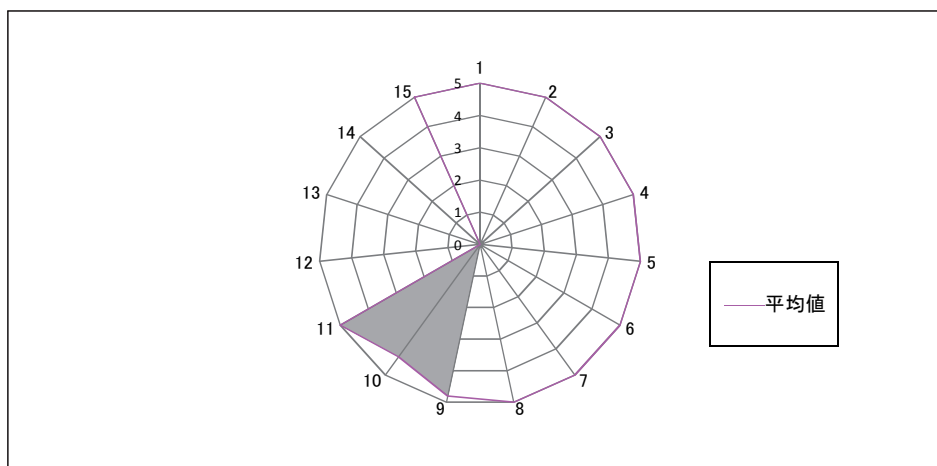
総合評価	4.9
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術科教材論
 評価実施日 平成30年2月2日
 担当教員名 山田 芳明

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



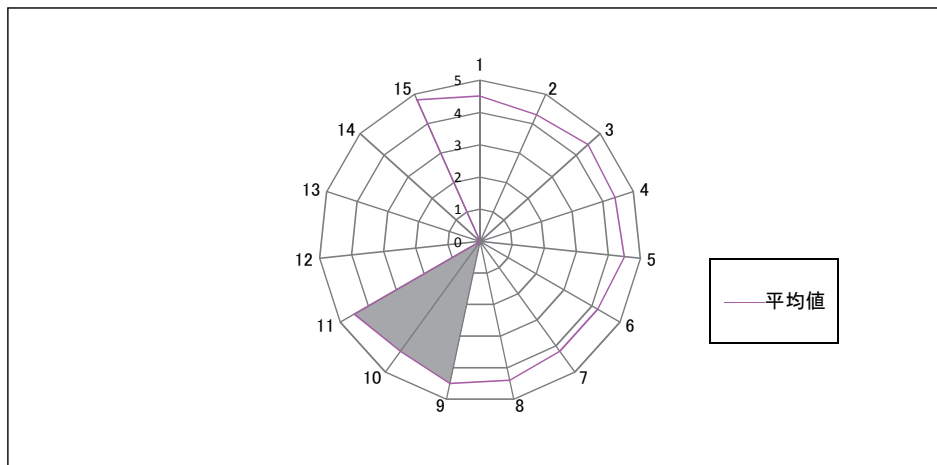
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 湯口 雅史

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	9	1	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	7	1	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	8	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	6	3	0	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	7	3	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	3	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	6	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	8	2	0	0	1	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	6	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	3	0	0	0	1	4.8



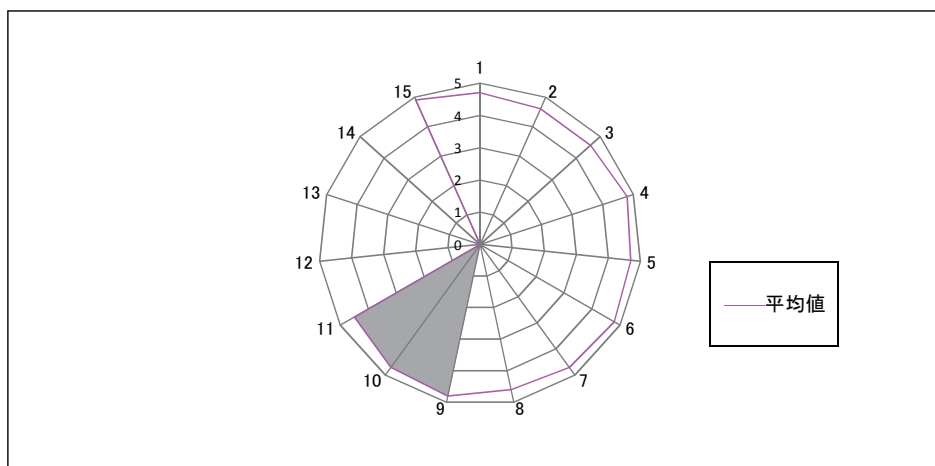
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保健体育科教育論Ⅲ
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 南 隆尚

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



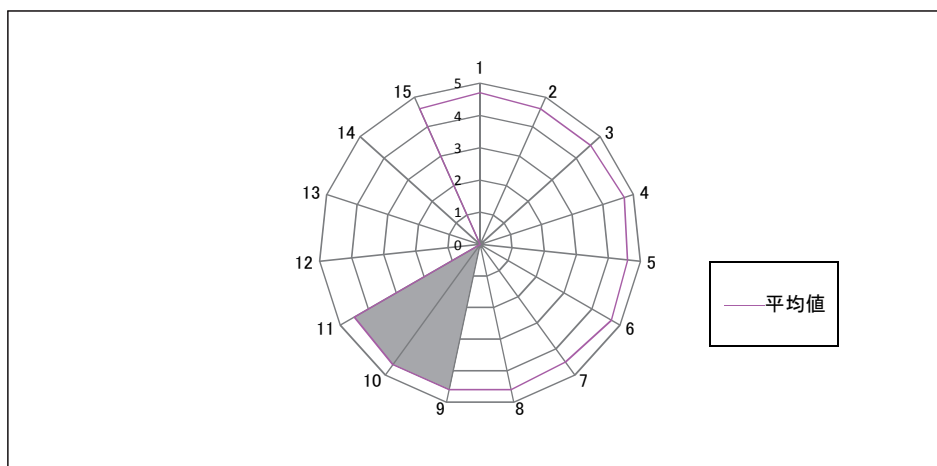
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 技術科教育論 I
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 尾崎 士郎

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



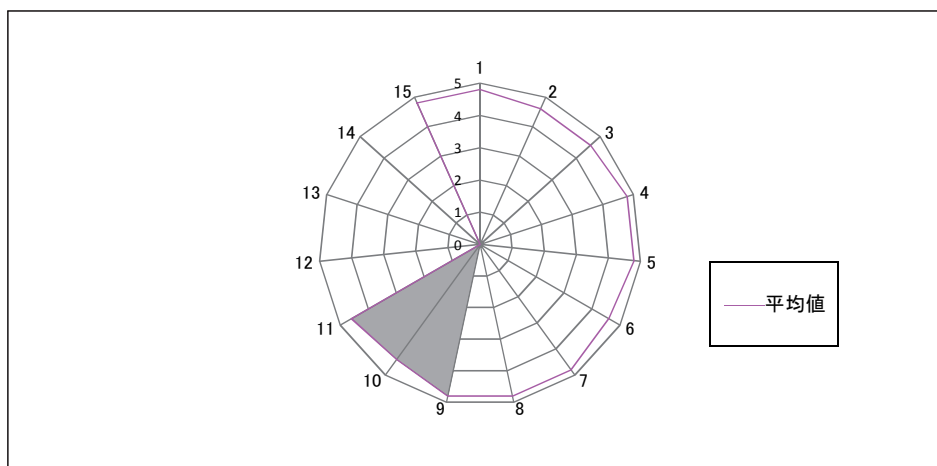
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 技術科教育論Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月20日
 担当教員名 尾崎 士郎, 宮下 晃一

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1 N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	4.8



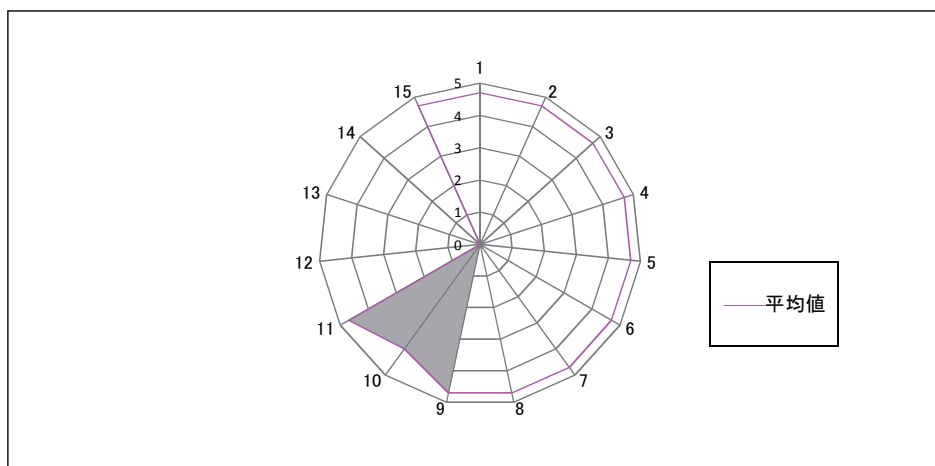
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業科教育論 I
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.7



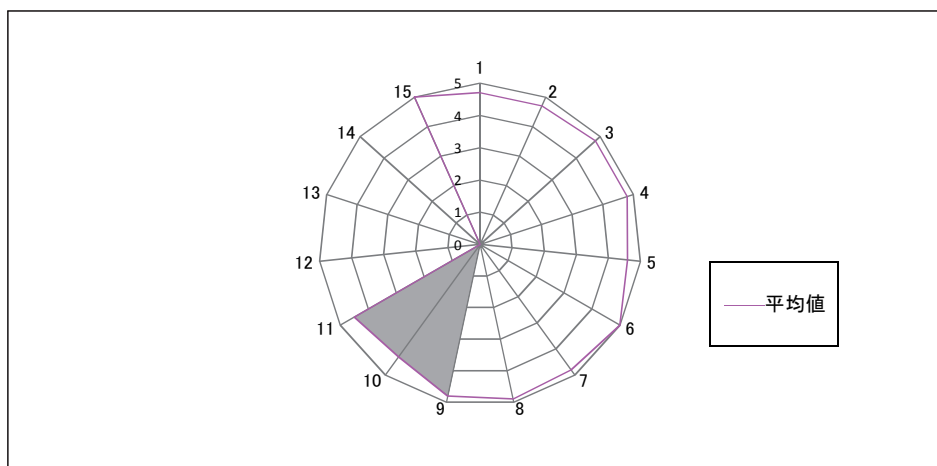
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報科教育論 I
 評価実施日 平成29年12月21日
 担当教員名 森山 潤

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	5	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	5	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	6	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	1	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	4	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	5	3	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	5	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	1	0	0	0	0	5.0



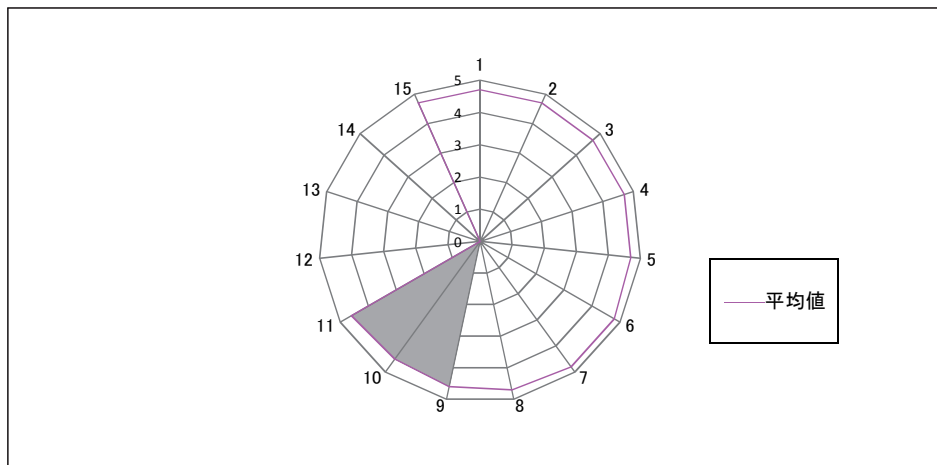
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教育論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	1	1	0	0	0	4.7



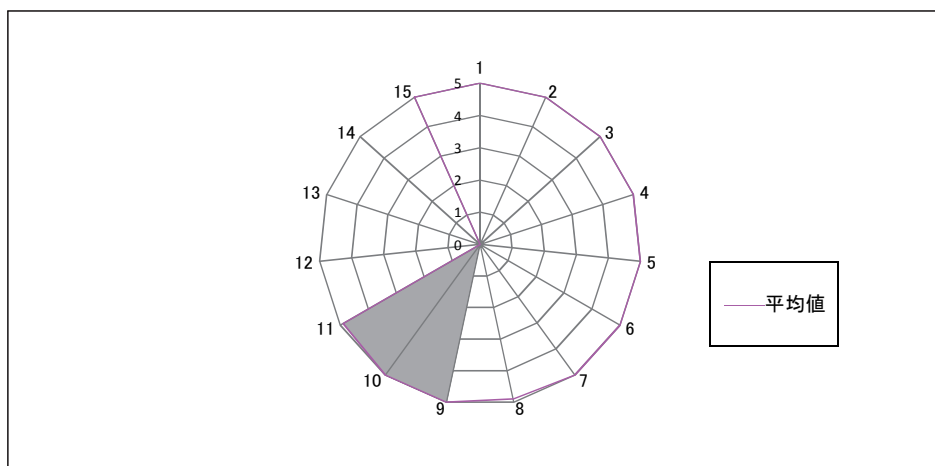
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科授業論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 速水 多佳子

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	0	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	1	5.0



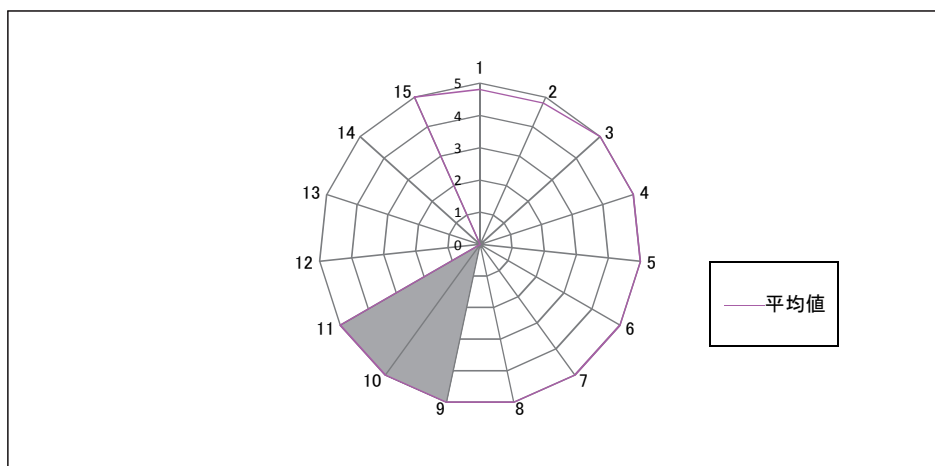
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等家庭科教材論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 西川 和孝, 金 貞均, 坂本 有芳

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



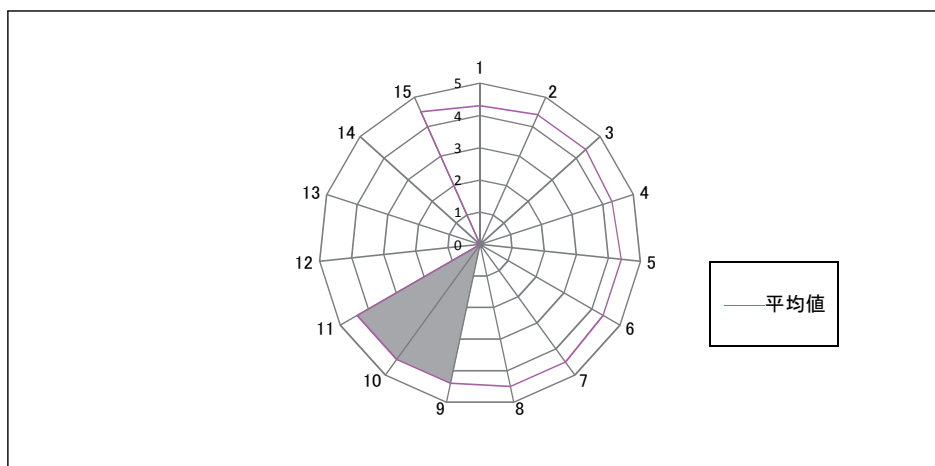
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(理科)
 評価実施日 平成29年12月11日
 担当教員名 寺島 幸生

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

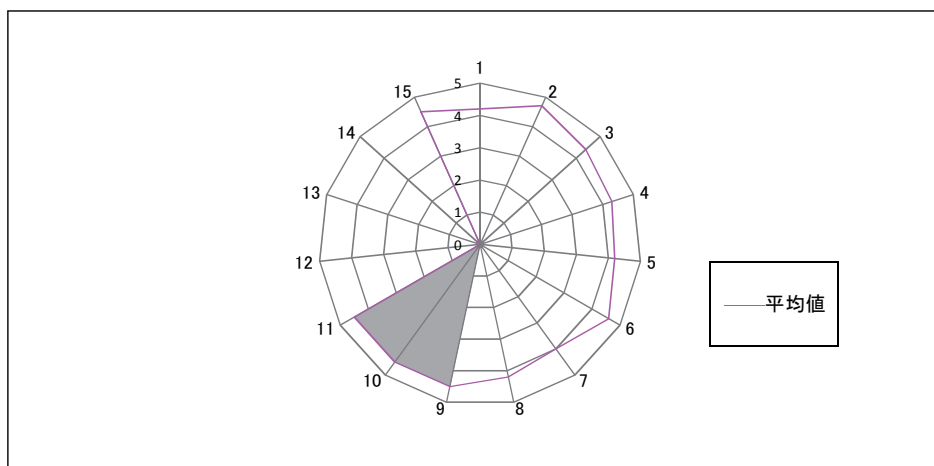
授業科目名 教職実践演習(幼・小・中・高)(特別支援教育)

評価実施日 平成30年2月8日

担当教員名 田中 淳一, 井上 とも子

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	3	1	1	0	0	4.2
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	1	0	1	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	1	1	0	0	4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	1	0	2	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	1	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	4	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	2	1	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	6	1	2	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	1	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	2	0	0	0	4.5



総合評価 4.3

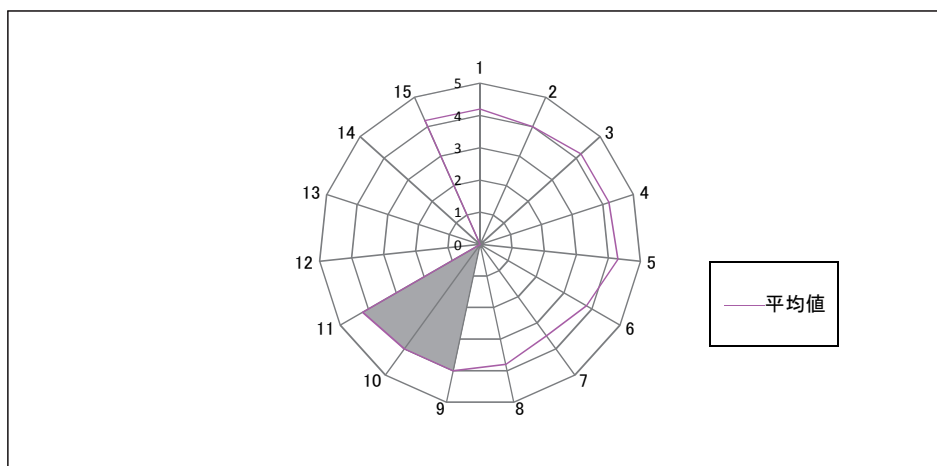
※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

專 修 專 門 科 目

授業科目名 学校と人間形成
 評価実施日 平成30年2月5日
 担当教員名 木内 陽一

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	3	2	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	5	1	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	5	1	0	0	0	4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	3	2	1	0	0	3.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	1	1	1	0	3.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	2	1	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	1	1	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	2	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	2	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	5	1	0	0	0	4.2



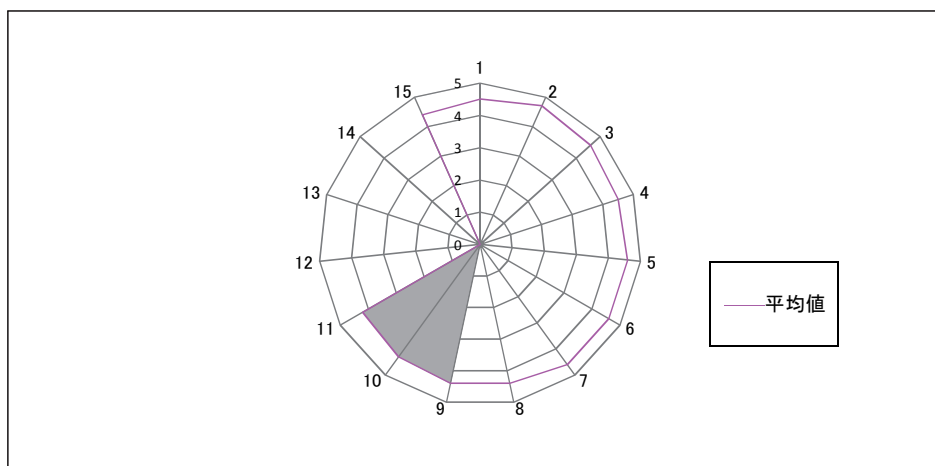
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校制度と教育法規
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 石村 雅雄, 大林 正史

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.4



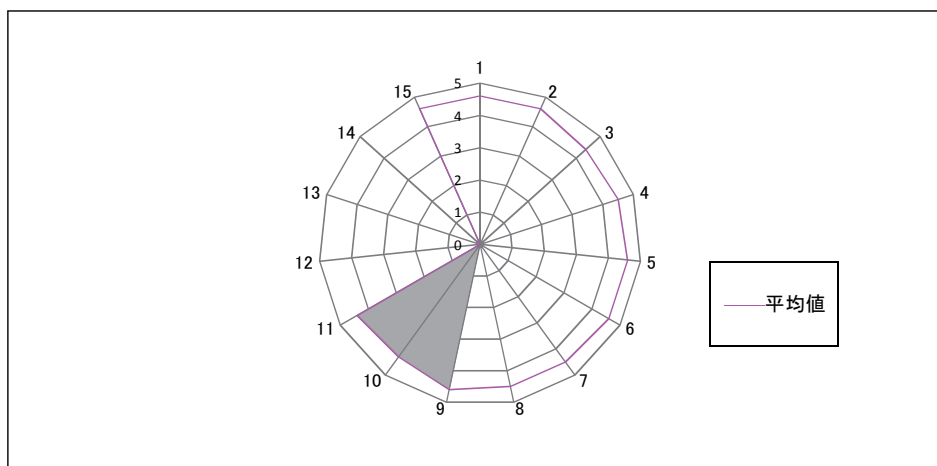
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校の組織と集団
 評価実施日 平成29年7月29日
 担当教員名 芝山 明義, 久我 直人

回答者数 41名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	24	15	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	14	3	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	23	12	5	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	23	14	4	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	25	13	2	0	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	26	12	3	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	26	10	4	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	13	4	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	23	16	2	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	21	11	8	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	22	12	6	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	24	11	4	0	0	2	4.6



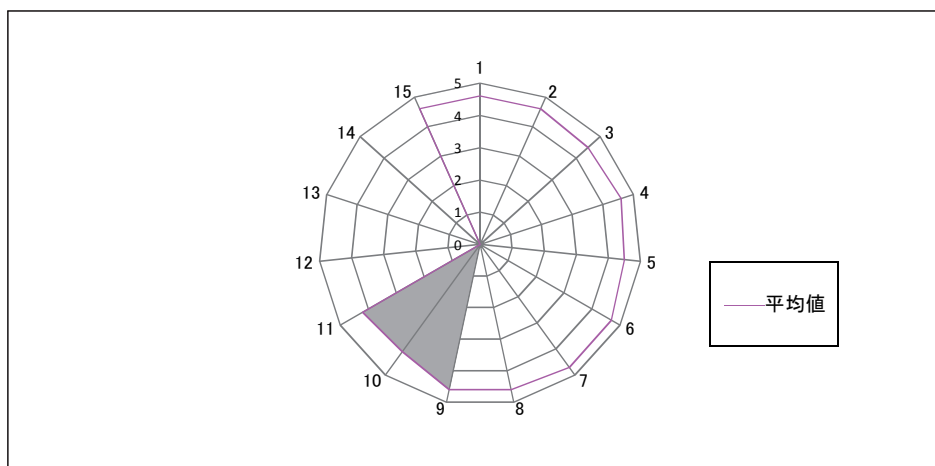
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校の危機管理
 評価実施日 平成30年1月29日
 担当教員名 阪根 健二

回答者数 81名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	48	32	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	48	32	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	47	27	6	1	0	0	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	47	30	4	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	42	34	3	0	0	2	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	56	24	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	57	22	2	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	47	30	3	0	0	1	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	49	31	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	27	34	15	3	1	1	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	31	39	8	2	1	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	51	26	2	1	0	1	4.6



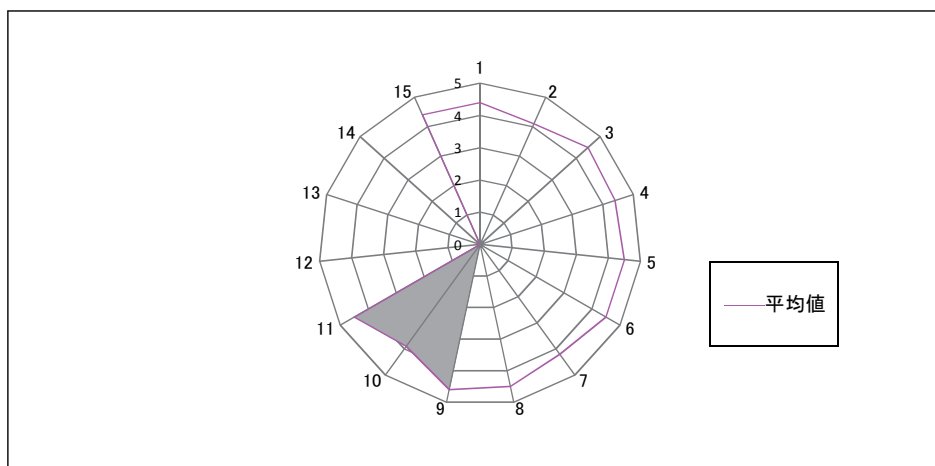
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 総合学習論
 評価実施日 平成29年12月25日
 担当教員名 村川 雅弘

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



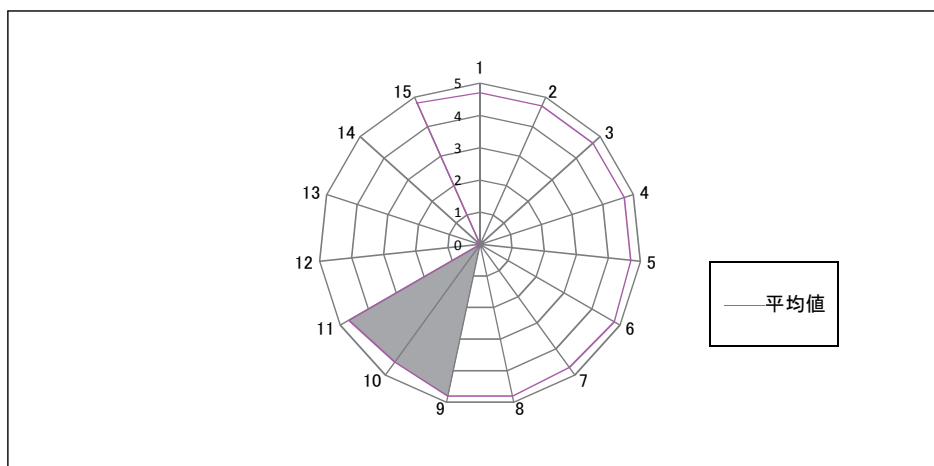
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語A
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 94名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	65	26	3	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	66	25	2	0	0	1	4.7
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	69	21	4	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	68	23	3	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	63	27	4	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	73	18	3	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	64	24	6	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	70	21	3	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	67	26	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	57	25	9	3	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	64	24	5	1	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	72	14	3	0	0	5	4.8



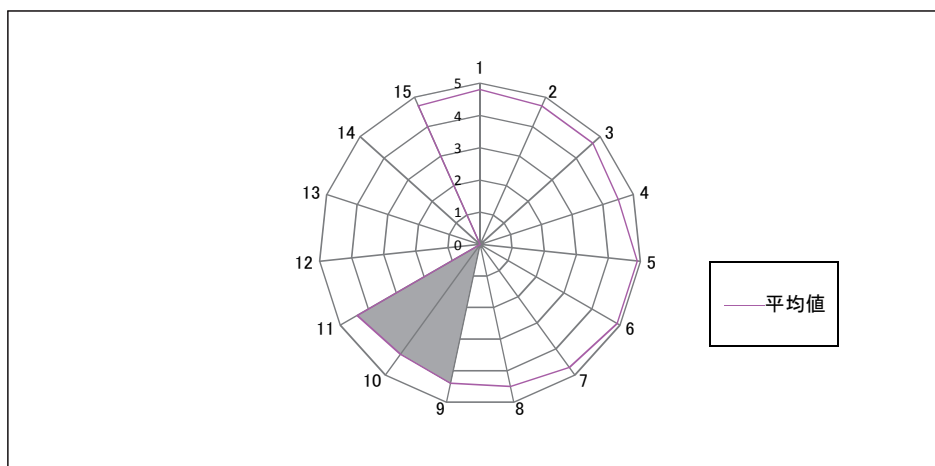
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等国語B
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 村井 万里子

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



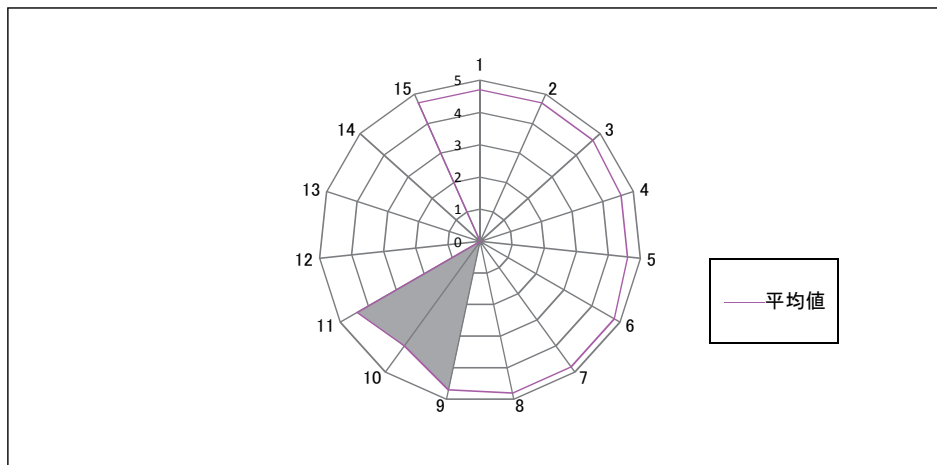
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 予防教育科学と学校教育
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 内田 香奈子

回答者数 35名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	23	11	1	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	23	11	1	0	0	0	4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	25	9	1	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	22	11	2	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	21	13	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	27	6	2	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	28	6	1	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	26	8	1	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	26	6	2	1	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	9	13	1	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	17	13	4	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	26	7	2	0	0	0	4.7



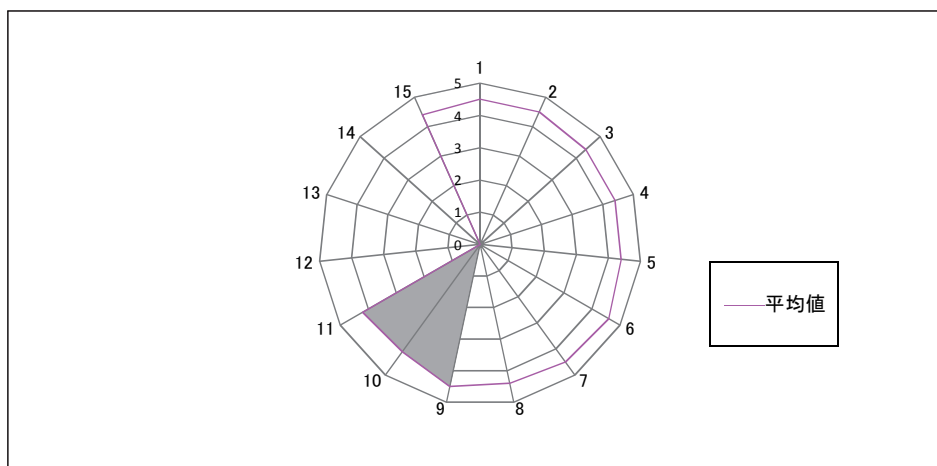
総合評価 4.7

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等社会
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 坂田 大輔

回答者数 84名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



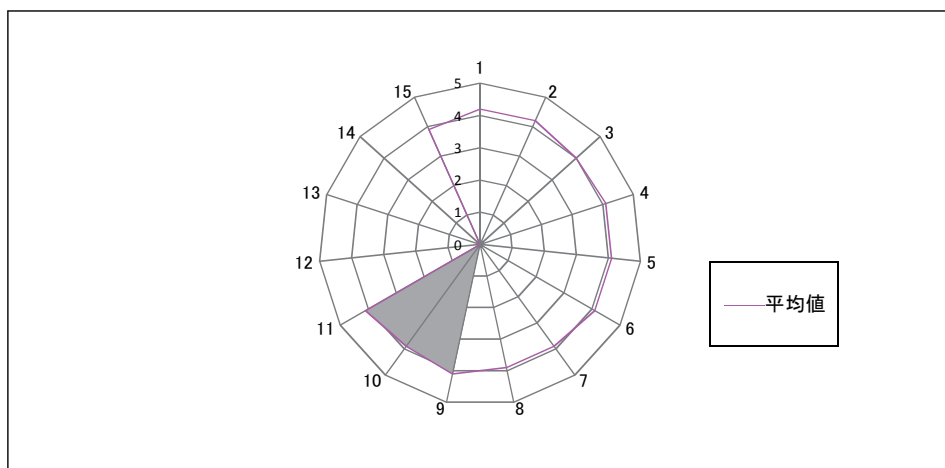
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等理科
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 本田 亮, 武田 清, 村田 守, 佐藤 勝幸

回答者数 83名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	29	38	14	2	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	36	14	1	0	1	4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	26	36	15	4	2	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	27	34	19	3	0	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	26	35	16	3	1	2	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	28	34	18	3	0	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	26	29	20	8	0	0	3.9
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	28	27	21	5	2	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	26	40	15	2	0	0	4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	24	34	18	6	1	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	30	30	18	4	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	23	31	19	5	3	2	3.9

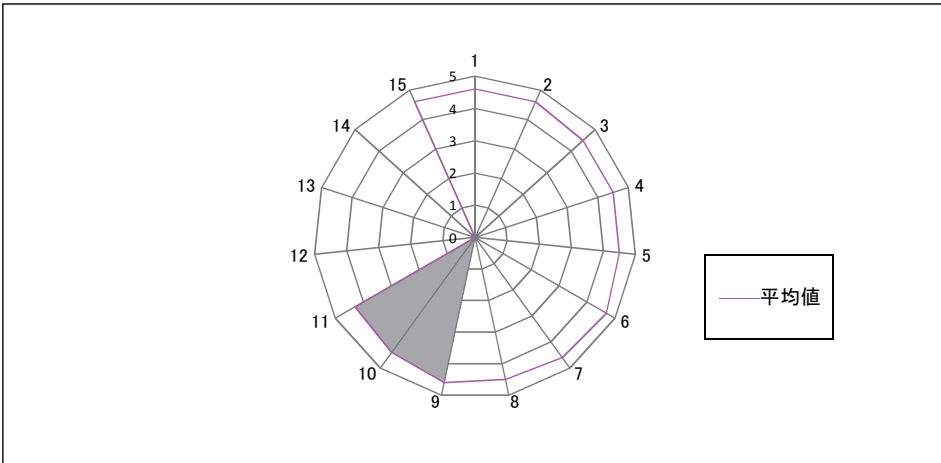


総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 初等音楽 I
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 真鍋 美恵, 朝香 友貴 回答者数 80名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	48	27	4	0	1	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	50	25	4	0	1	0	4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	46	27	5	0	1	1	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	48	25	6	0	1	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	45	29	5	0	1	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	54	24	1	0	1	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	50	27	2	0	1	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	48	24	7	0	1	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	52	23	3	1	1	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	43	26	9	2	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	38	25	12	3	1	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	46	26	4	1	0	3	4.6



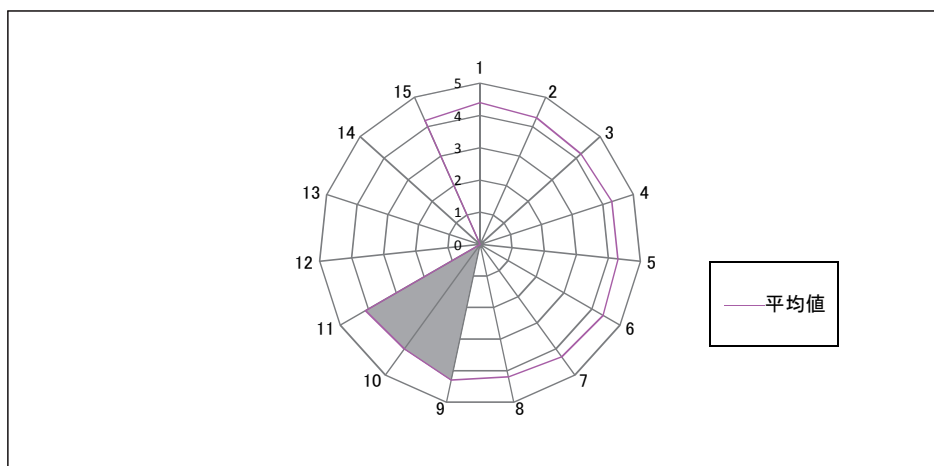
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数A
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 54名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	24	5	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	27	6	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	28	8	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	24	23	6	1	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	22	24	6	2	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	24	24	5	1	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	25	22	4	2	1	0	4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	19	6	5	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	27	19	6	1	1	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	22	17	9	5	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	22	8	3	1	1	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	24	19	8	2	1	0	4.2



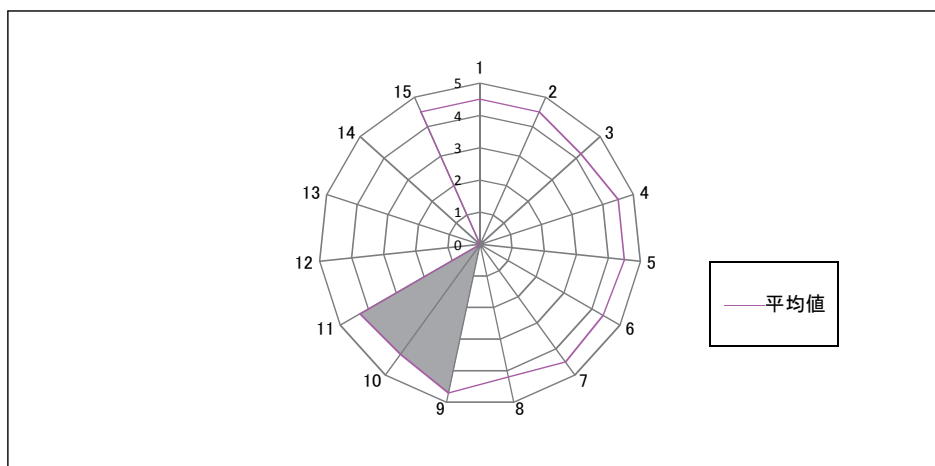
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 算数B
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 佐伯 昭彦

回答者数 31名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



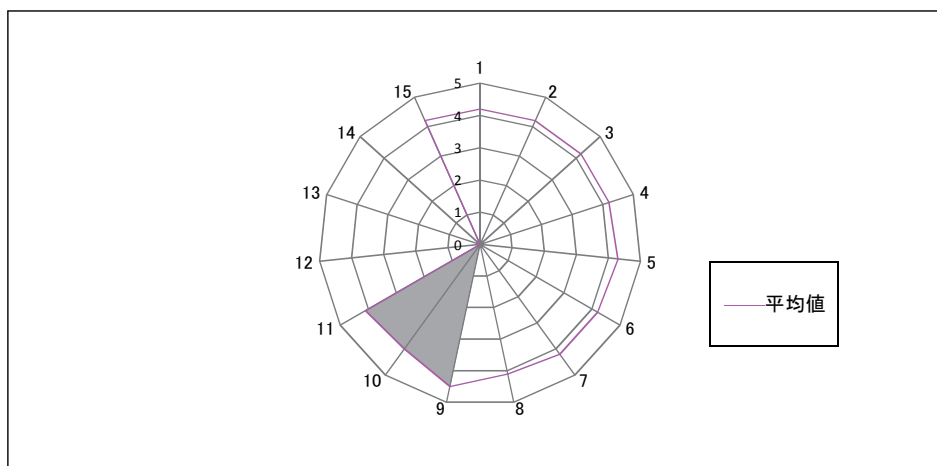
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活A
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 109名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2

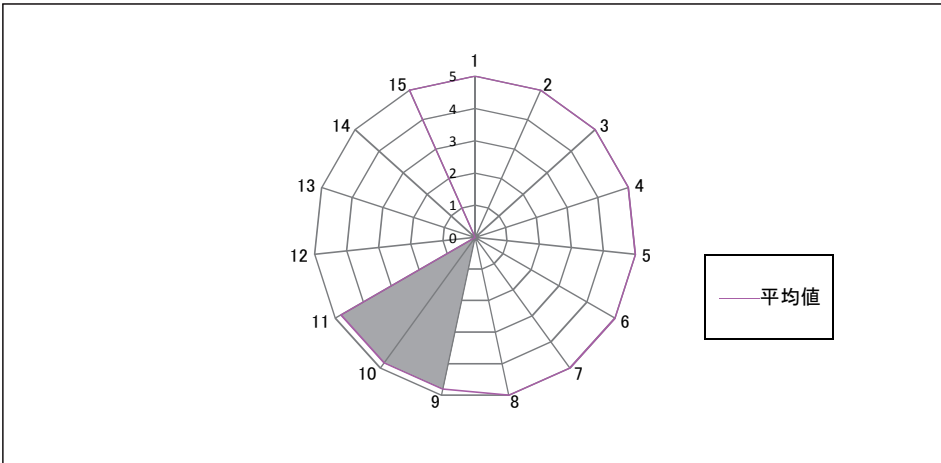


総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等音楽Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 山田 啓明, 増田 篤志, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲 回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



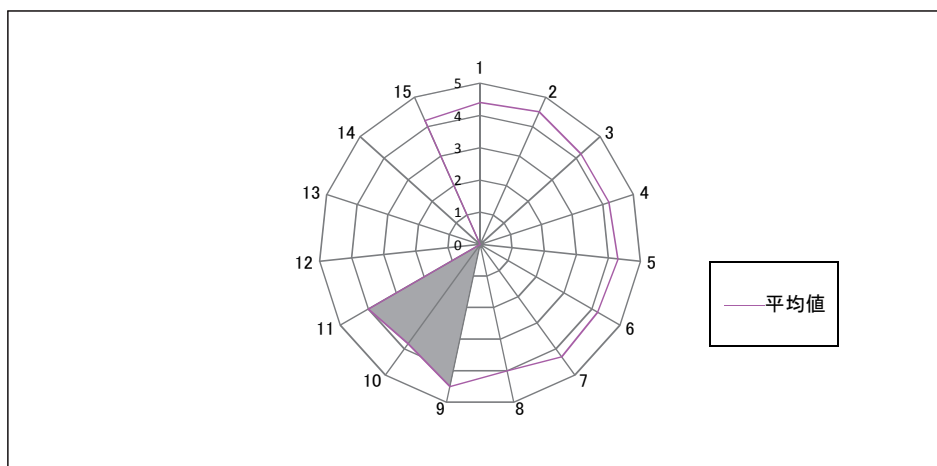
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生活B
 評価実施日 平成29年7月31日
 担当教員名 檜 幸正

回答者数 32名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	16	10	6	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	18	10	3	1	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	6	7	1	1	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	14	11	6	1	0	0	4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	8	5	2	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	9	4	3	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	17	8	5	2	0	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	11	8	1	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	17	11	4	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	9	10	2	1	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	12	9	9	1	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	8	8	1	0	0	4.2



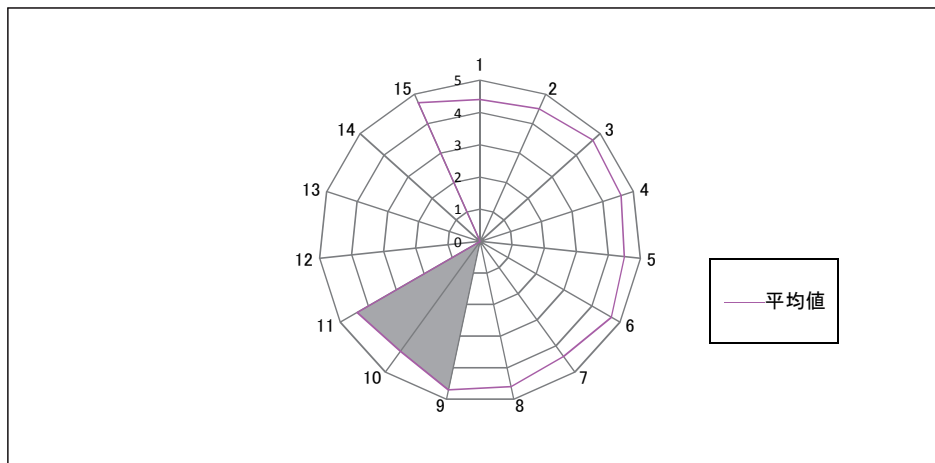
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I A
 評価実施日 平成29年8月4日
 担当教員名 鈴木 久人, 栗原 慶

回答者数 53名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	25	24	4	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	26	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	37	14	2	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	33	18	2	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	28	21	4	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	34	17	2	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	26	21	5	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	34	15	4	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	36	14	3	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	23	18	10	1	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	26	20	7	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	33	16	1	0	0	3	4.7



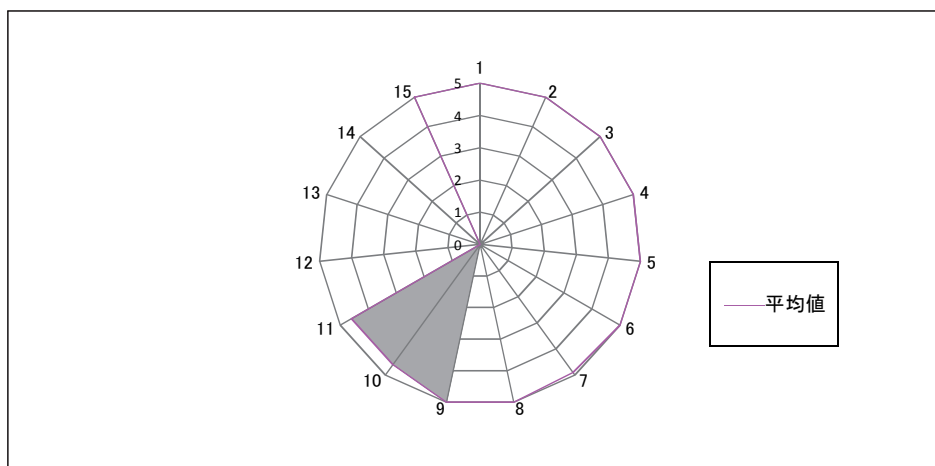
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 野崎 窮, 内藤 隆

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



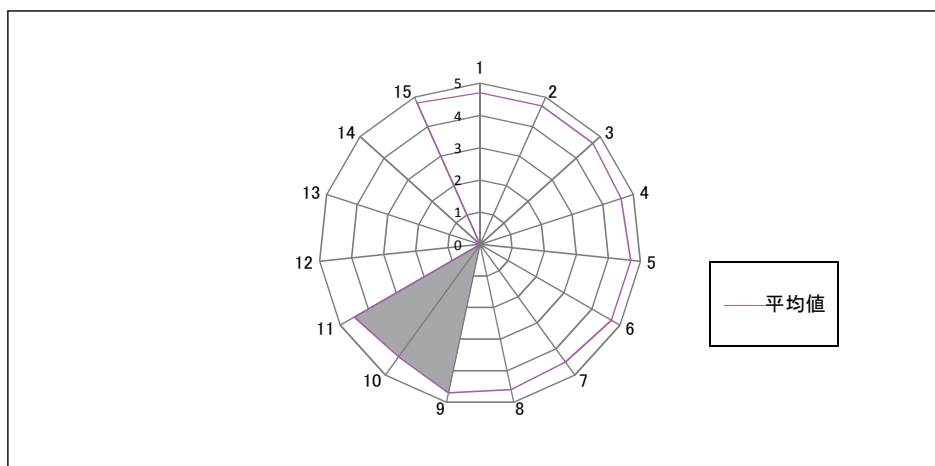
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I B
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 内藤 隆, 野崎 窮

回答者数 53名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



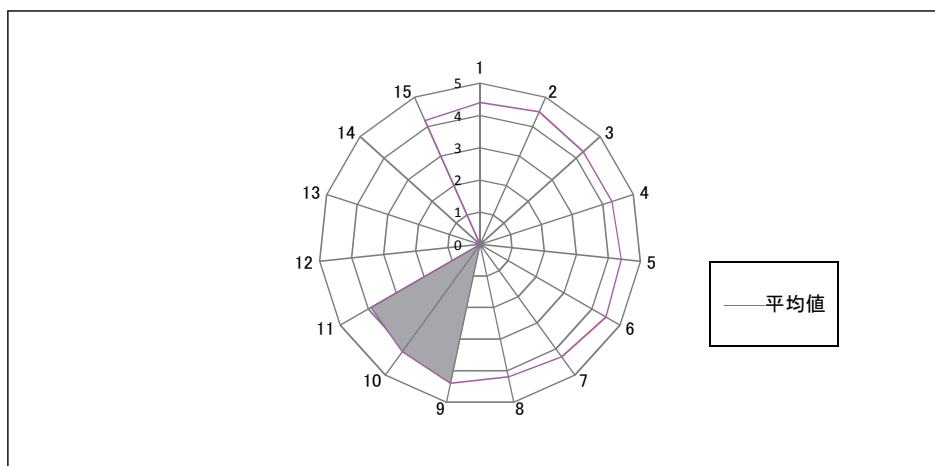
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I C
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 手塚てる子

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.2



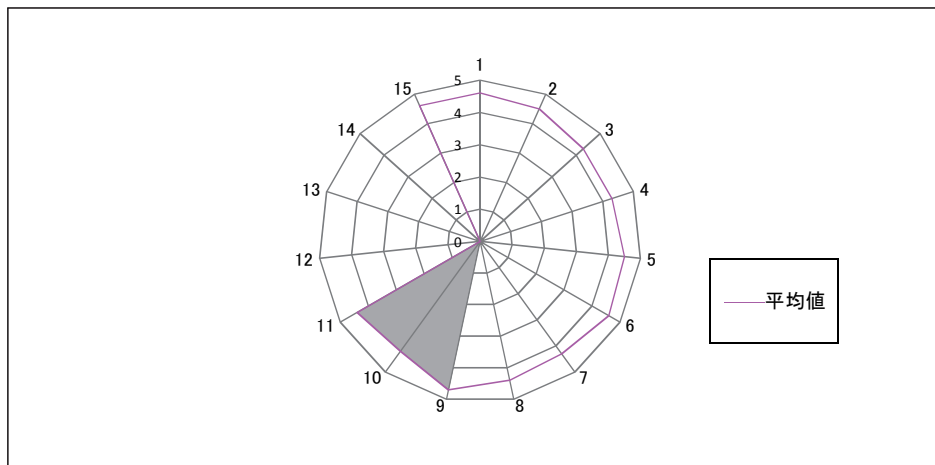
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 図画工作 I D
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 釜床育子

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6

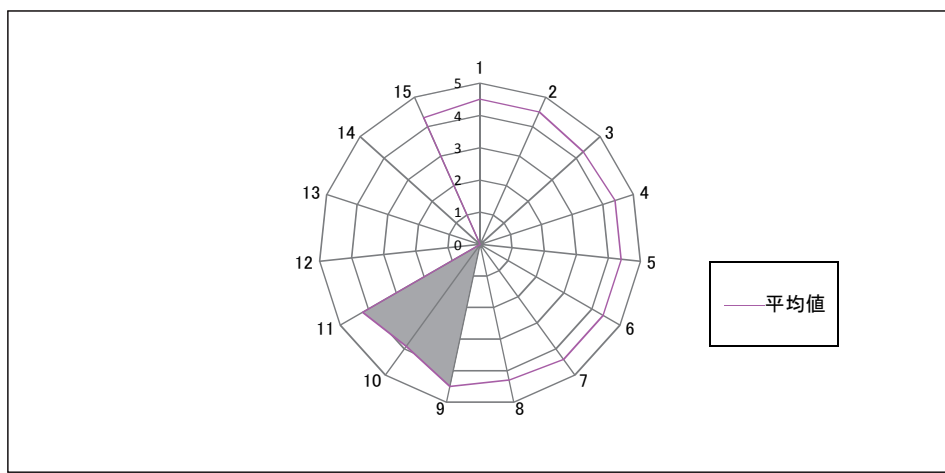


総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 初等家庭
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 福井 典代, 金 貞均, 西川 和孝, 黒川 衣代, 坂本 有芳 回答者数 94名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.3

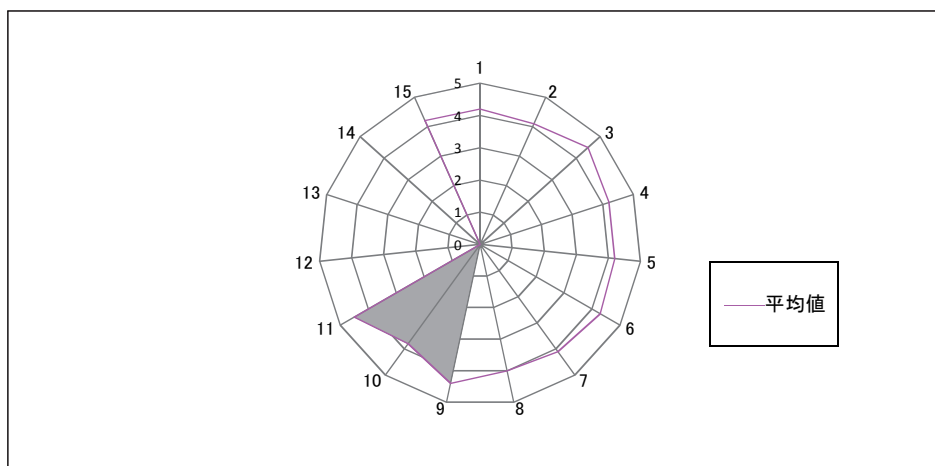


総合評価 4.4
 ※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学 I
 評価実施日 平成29年12月25日
 担当教員名 齊藤 学

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



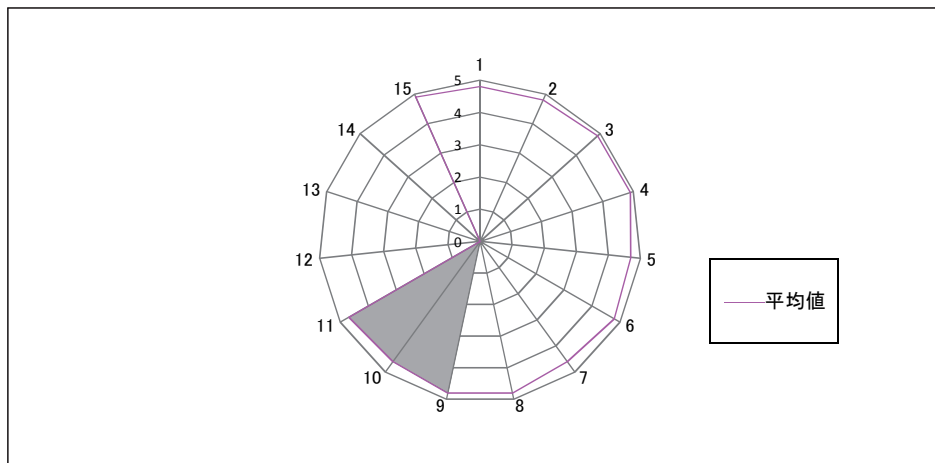
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論 I
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 原 卓志

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	15	3	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	3	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	16	3	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	5	1	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	15	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	11	8	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	5	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	2	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	12	5	2	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	14	4	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	16	3	0	0	0	0	4.9



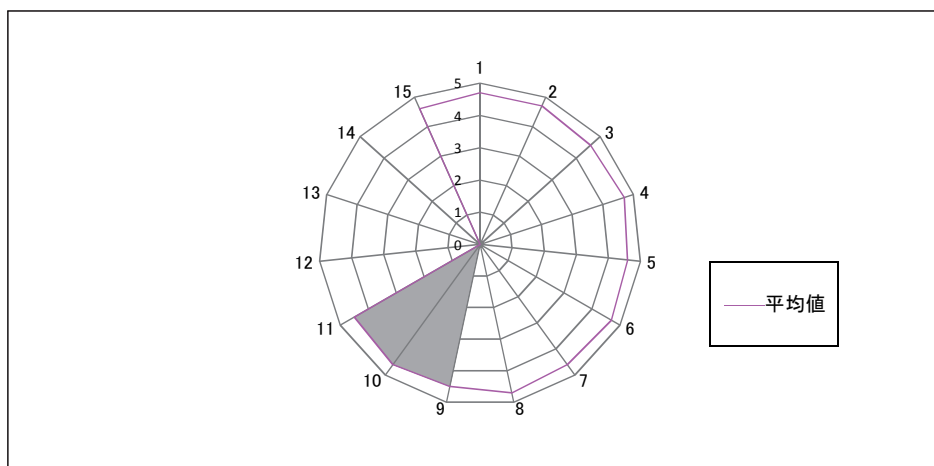
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学概論(国文学史を含む。)
 評価実施日 平成30年2月27日
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1 N.A	(項目別)	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	19	7	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	8	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	6	3	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	7	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	18	8	2	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	5	2	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	19	6	3	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	5	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	15	11	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	20	4	4	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	19	4	5	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	18	7	2	0	0	1	4.6



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学概論(音声言語・文章表現を含む。)

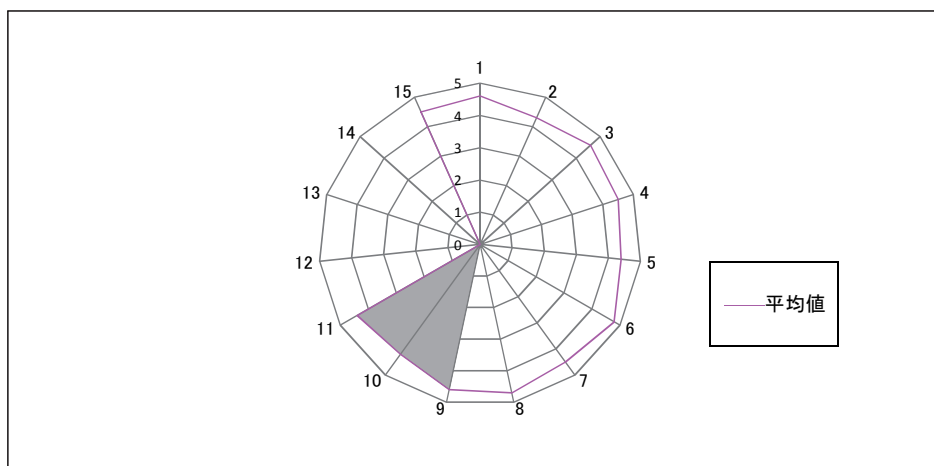
評価実施日 平成29年8月31日

担当教員名 刀田 絵美子

回答者数

27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



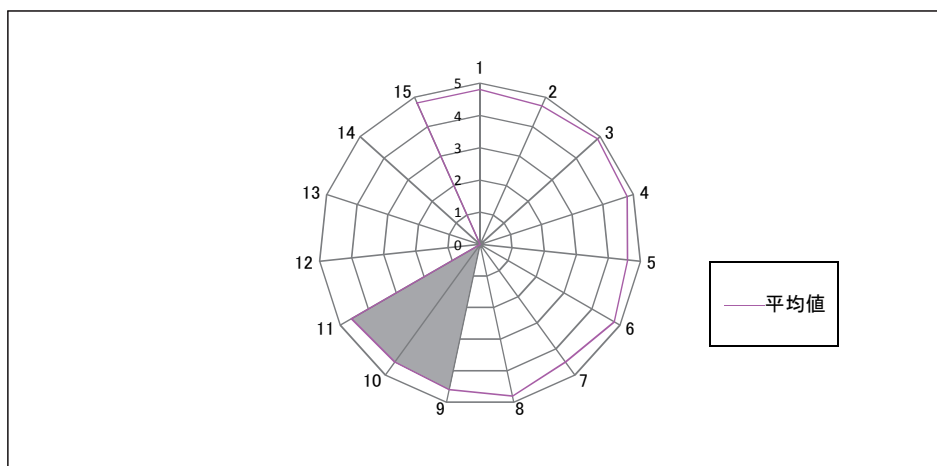
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 原 卓志

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



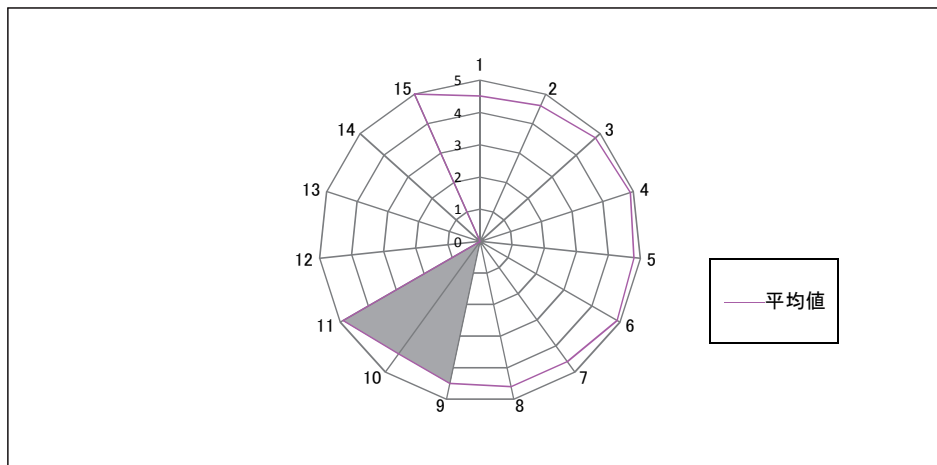
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国語学特論Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 原 卓志

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	1	0	1	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	1	5.0



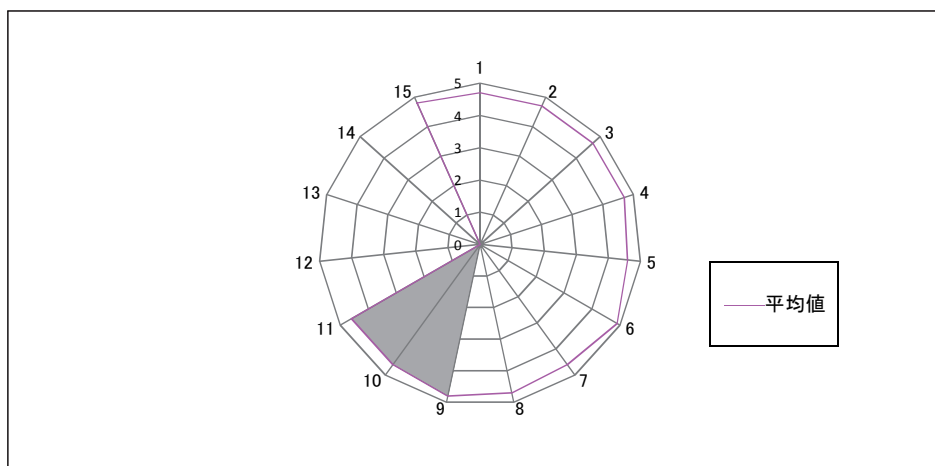
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論 I
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 黒田 俊太郎

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



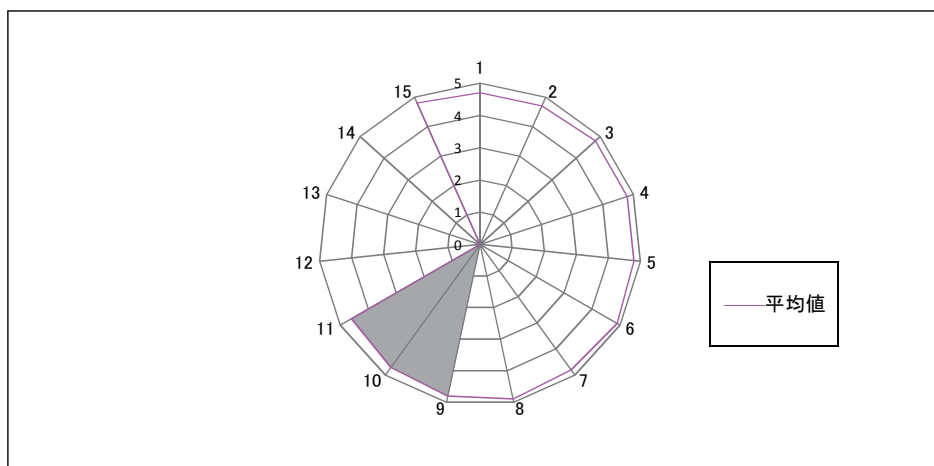
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅰ(国語学)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 原 卓志

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



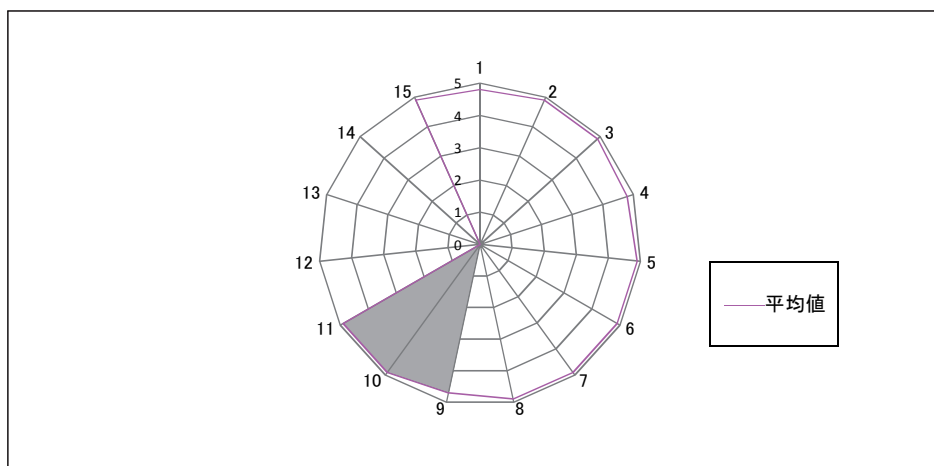
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅱ(国文学)
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 小島 明子, 黒田 俊太郎

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



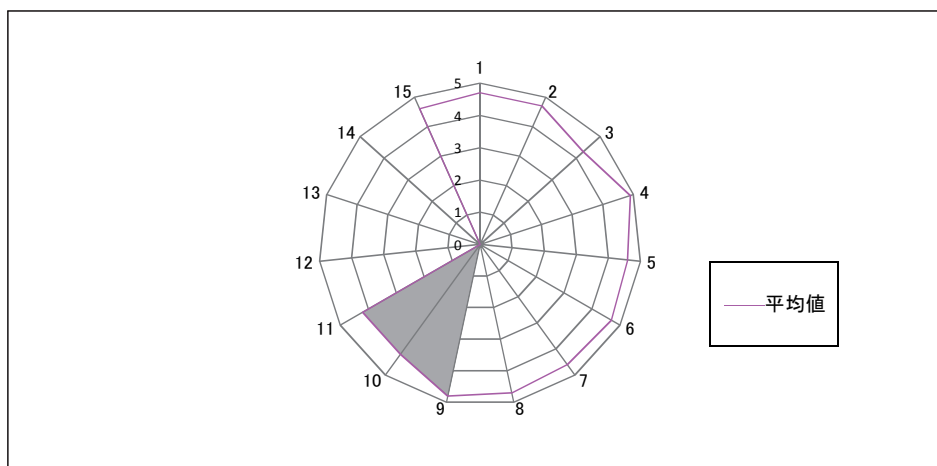
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学Ⅱ
 評価実施日 平成29年8月3日
 担当教員名 小島 明子

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.6



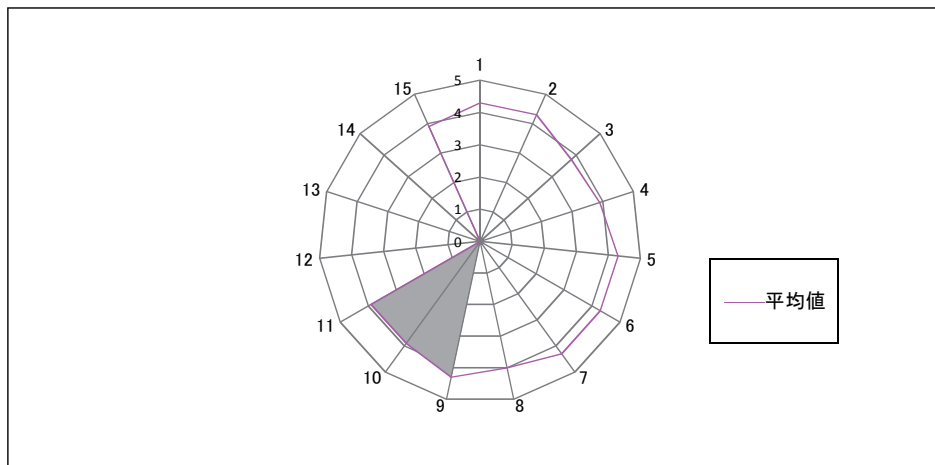
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 漢文学概論
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 佐伯 雅宣

回答者数 30名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	11	3	2	0	0	4.3
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	10	4	0	1	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	8	6	3	2	0	3.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	7	8	2	1	0	3.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	11	5	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	11	4	1	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	15	11	1	3	0	0	4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	6	8	2	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	13	11	3	2	0	1	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	11	7	8	4	0	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	8	5	4	1	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	8	9	2	0	2	3.9



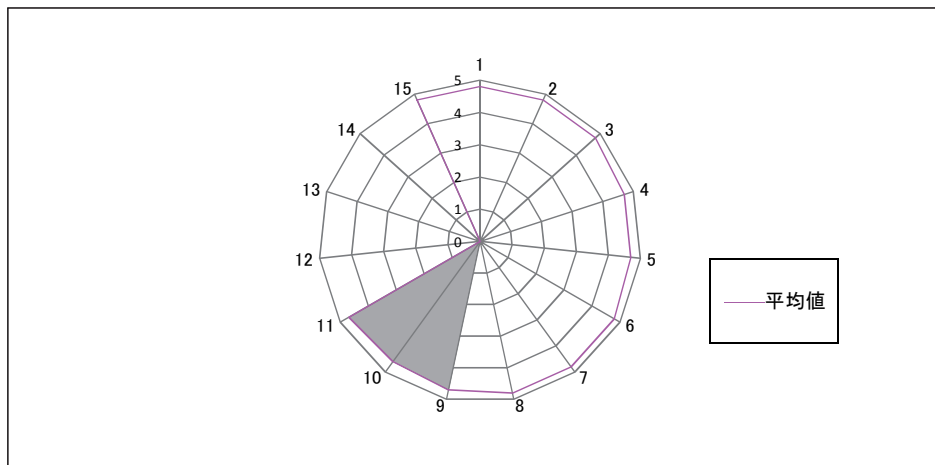
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 国文学特論Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 小島 明子

回答者数 15名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	5	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	3	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	3	1	0	0	1	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	3	0	1	0	1	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	2	1	0	0	2	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	4	0	0	0	0	4.8



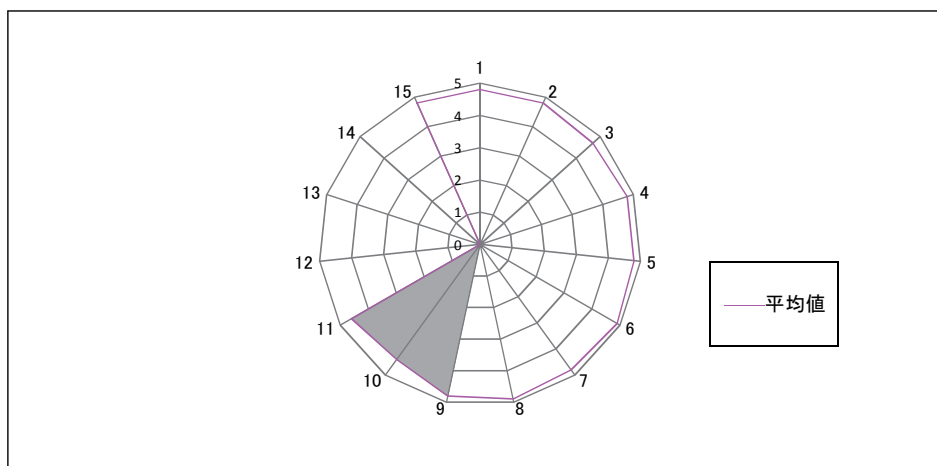
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写 I
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 45名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



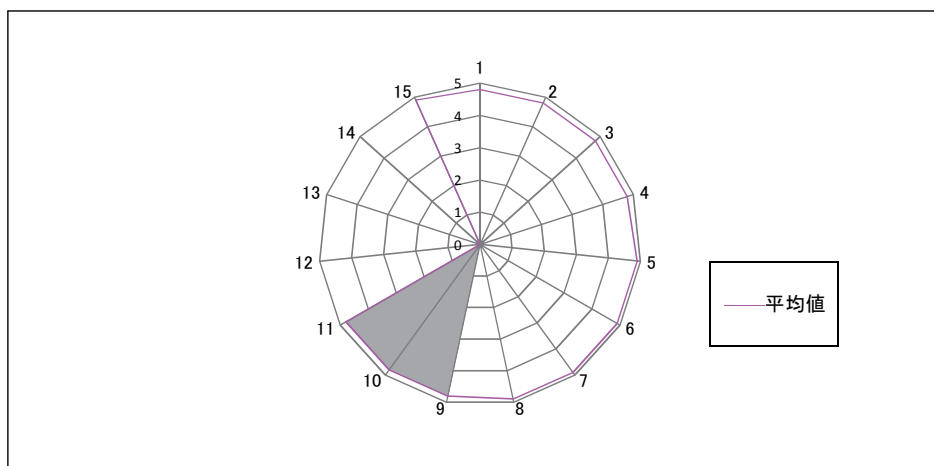
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 語学・文学総合演習Ⅲ(漢文学)
 評価実施日 平成29年8月27日
 担当教員名 高西 成介

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)					
		5	4	3	2	1	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9



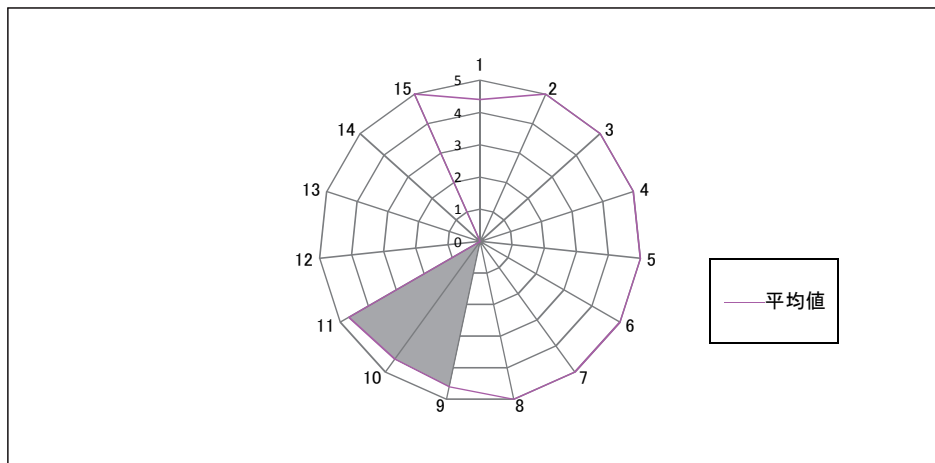
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅱ
 評価実施日 平成30年1月31日
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	0	1	0	1	1	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	3	1	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	4	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	0	0	0	0	0	5.0



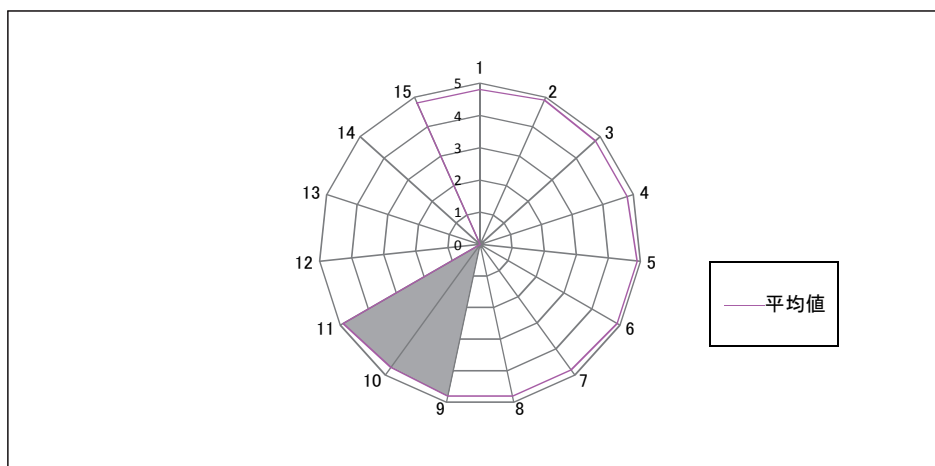
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 書写Ⅲ
 評価実施日 平成29年8月2日
 担当教員名 黒橋 由加里

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



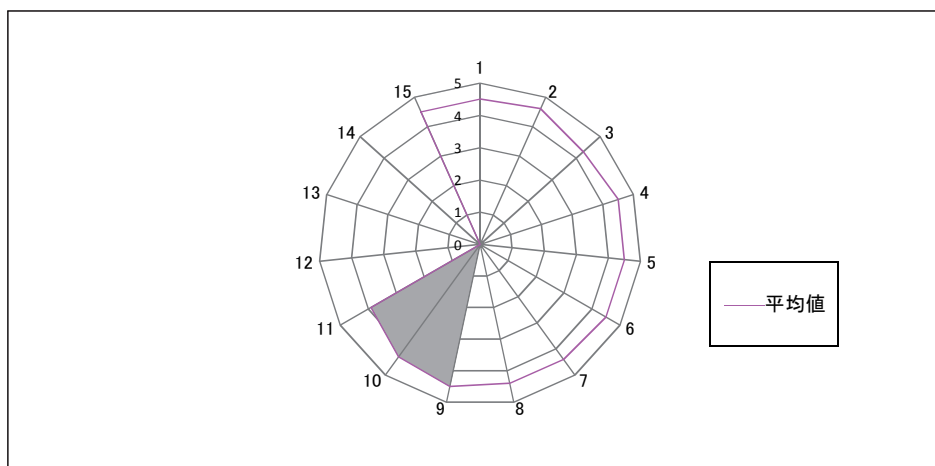
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文講読
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 前田 一平

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.5



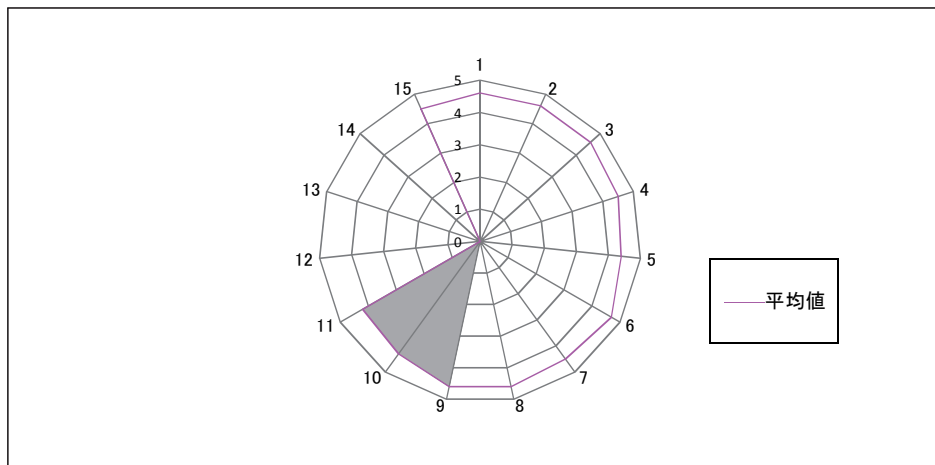
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語基礎研究
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 喜多 容子, 眞野 美穂

回答者数 32名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	19	11	2	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	20	10	2	0	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	13	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	17	13	2	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	16	11	5	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	22	8	2	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	19	9	4	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	19	12	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	22	8	1	1	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	12	16	3	1	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	13	12	6	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	18	12	2	0	0	0	4.5



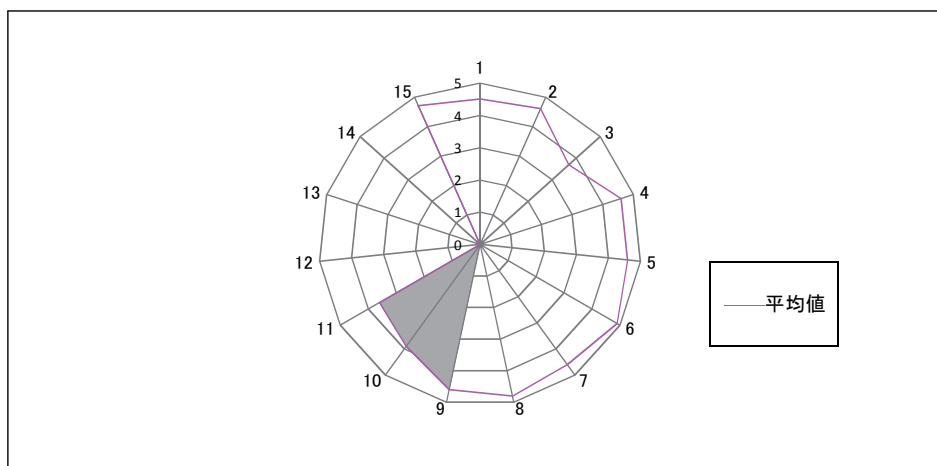
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 米文学史
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 前田 一平

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



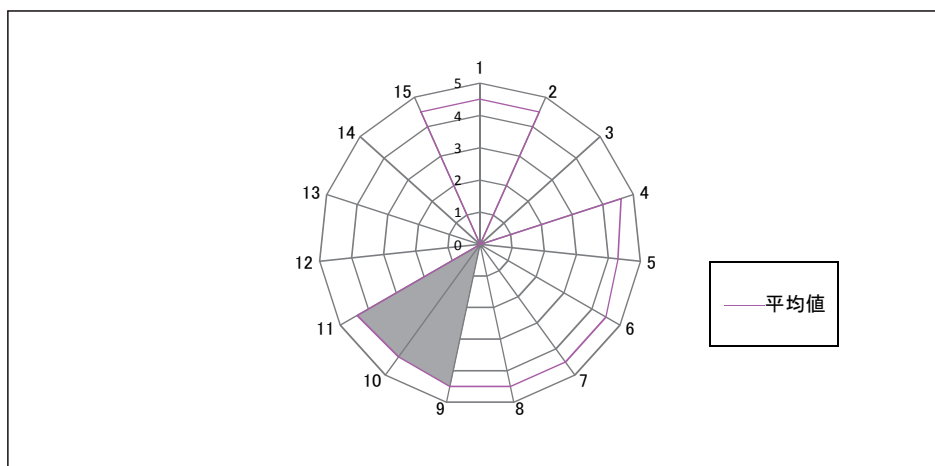
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学概論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 32名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	17	13	2	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	13	2	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。							
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	20	9	3	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	15	12	4	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	10	4	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	19	9	4	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	11	4	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	18	12	2	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	14	5	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	16	11	4	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	19	7	4	1	0	1	4.5



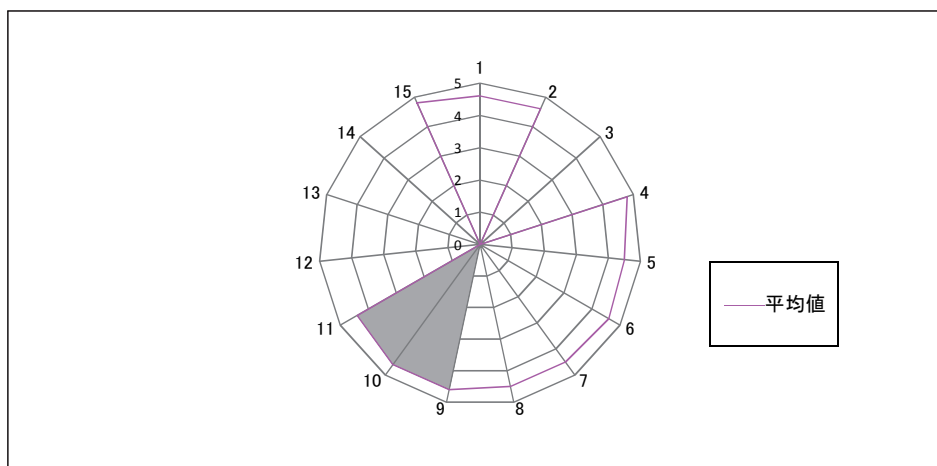
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学習英文法
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 31名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



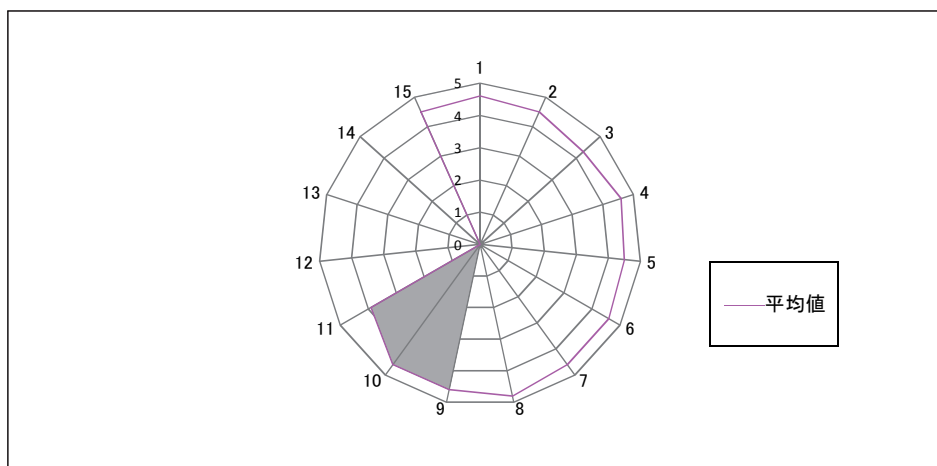
総合評価	4.6
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究 I
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 宮崎 隆義

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	2	0	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	1	4.5



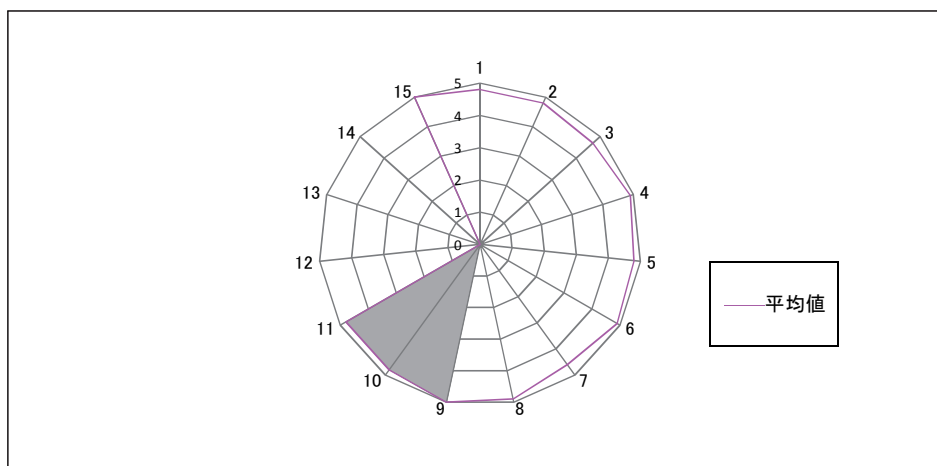
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語音声学
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						5.0



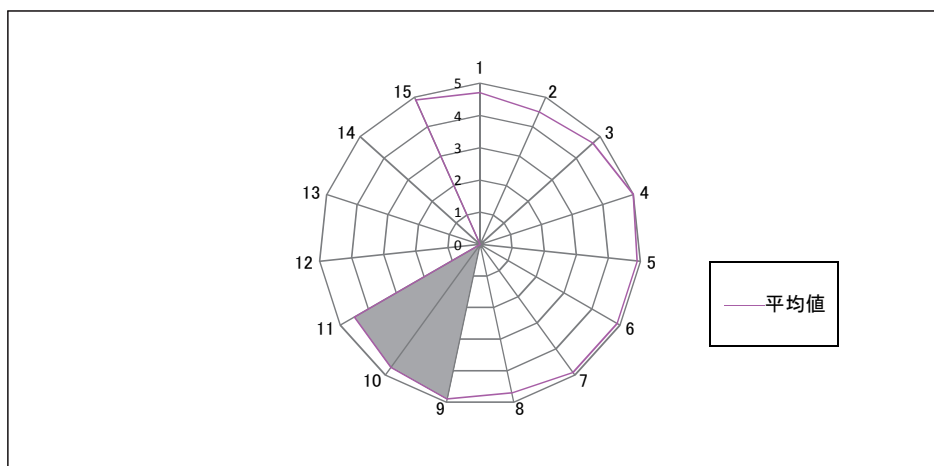
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究 I
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 藪下 克彦

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	1	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	0	4.9



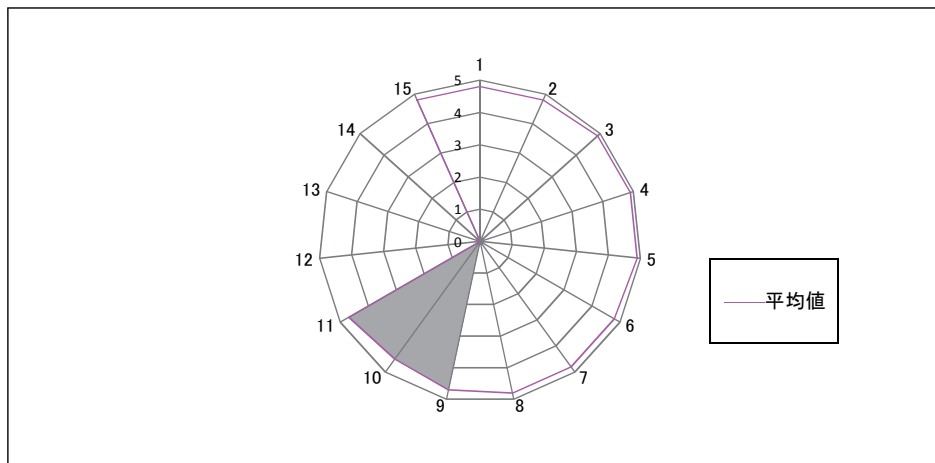
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語学研究Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 眞野 美穂

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	1	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



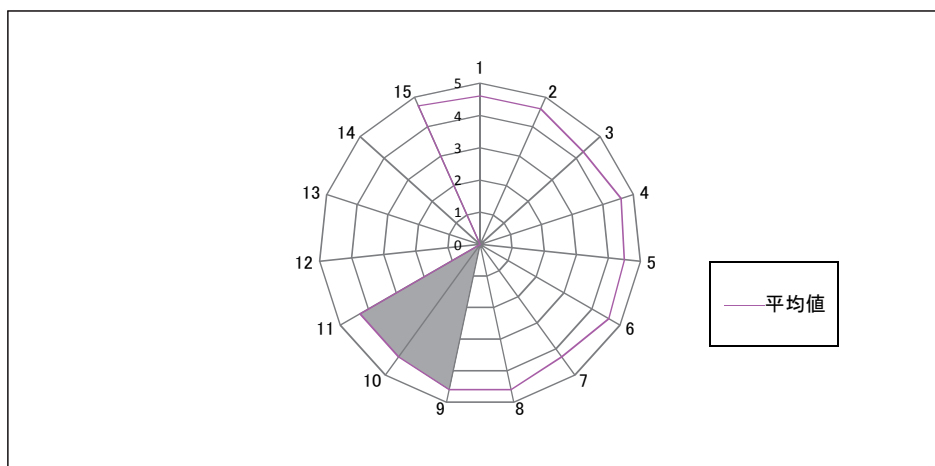
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英文学史
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 宮崎 隆義

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



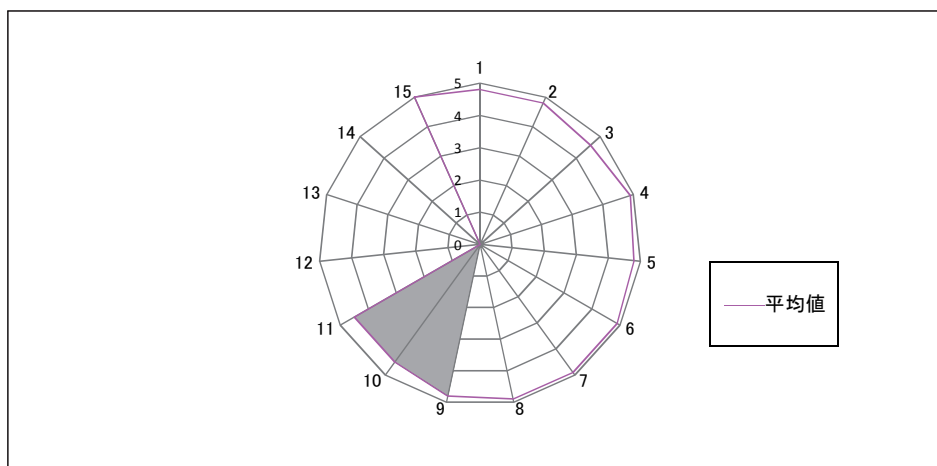
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英米文学研究Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 前田 一平

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	2	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	3	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	7	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	6	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	0	5.0



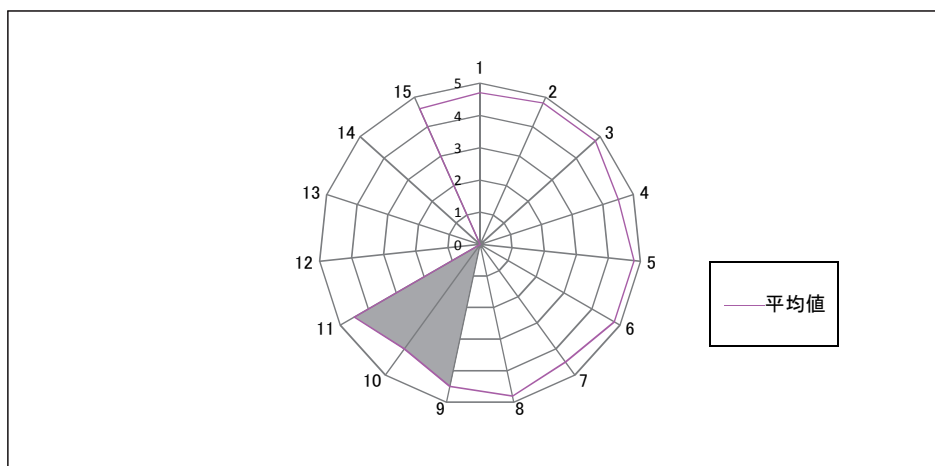
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語オーラルコミュニケーションⅡ
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 吉川 エリザベス

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.6



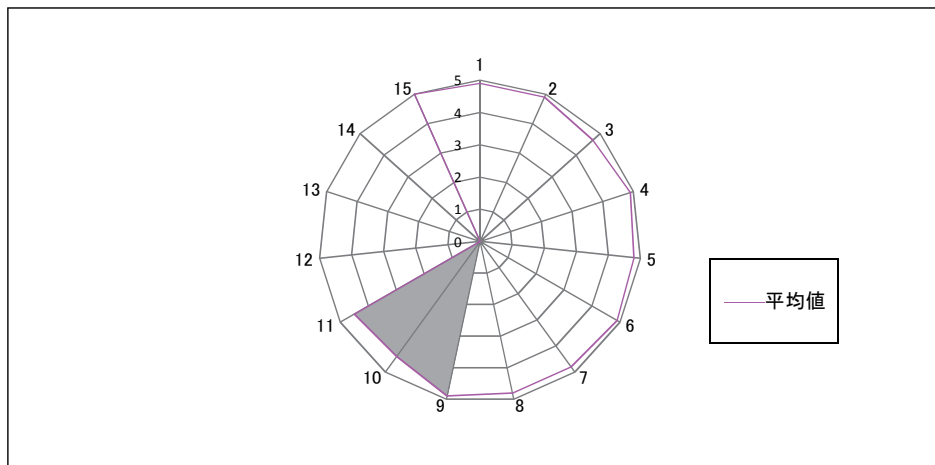
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 外国史特論
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 原田 昌博

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



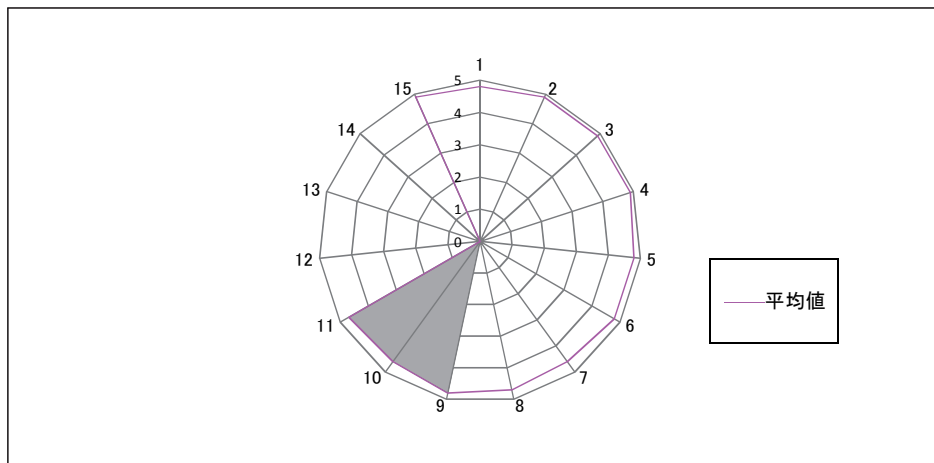
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 英語オーラルコミュニケーション I
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 山森 直人

回答者数 38名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	31	6	1	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	5	1	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	34	1	3	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	32	5	1	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	31	5	2	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	31	6	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	22	14	2	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	29	6	3	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	31	6	1	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	25	11	0	2	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	27	8	2	1	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	33	5	0	0	0	0	4.9



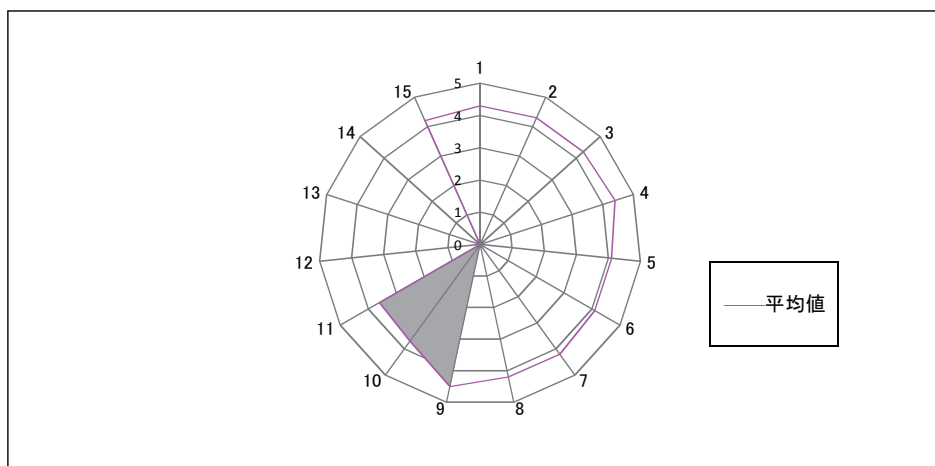
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 考古学
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 菅原 康夫

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	10	3	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	9	4	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	6	3	0	1	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	6	4	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	7	7	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	7	7	0	0	0	4.1
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	10	7	4	1	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	7	3	2	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	11	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	8	8	2	0	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	7	6	3	1	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	7	3	2	0	0	4.2



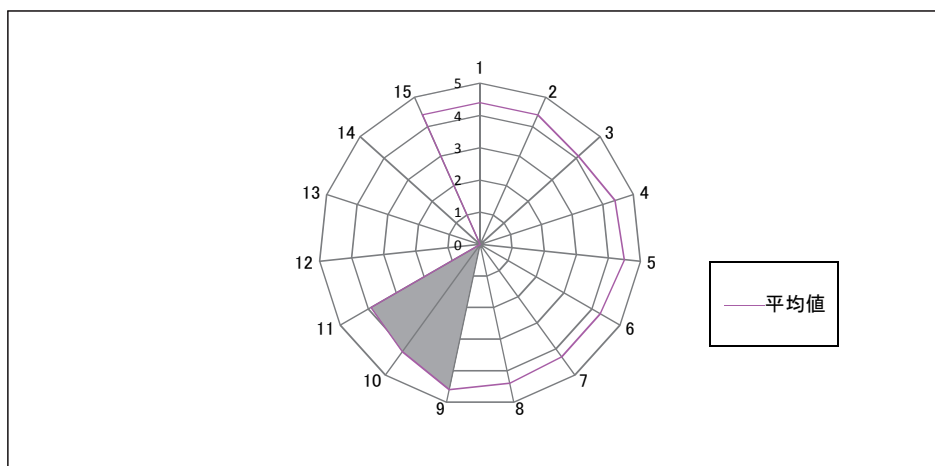
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学概論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 町田 哲

回答者数 23名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



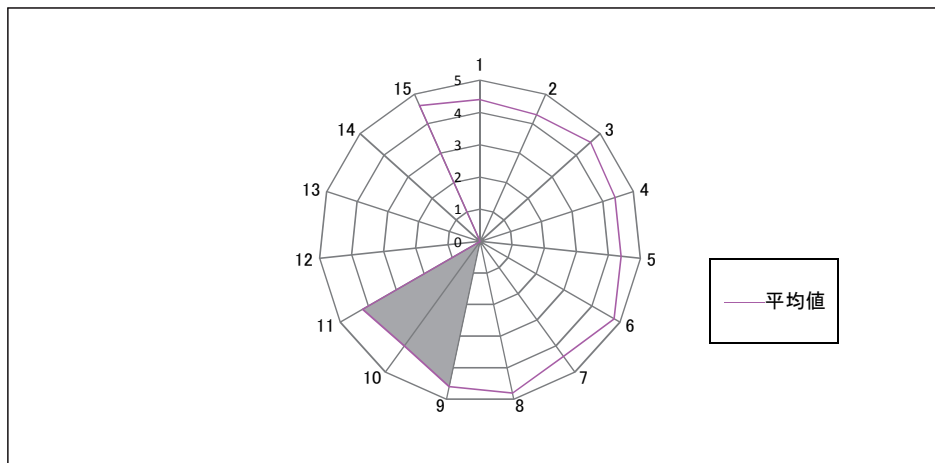
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論 I (古代・中世)
 評価実施日 平成29年8月31日
 担当教員名 衣川 仁

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	7	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	7	2	0	0	0	4.3
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	5	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	6	2	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	7	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	4	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	6	2	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	7	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	9	3	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	10	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	6	0	0	0	0	4.6



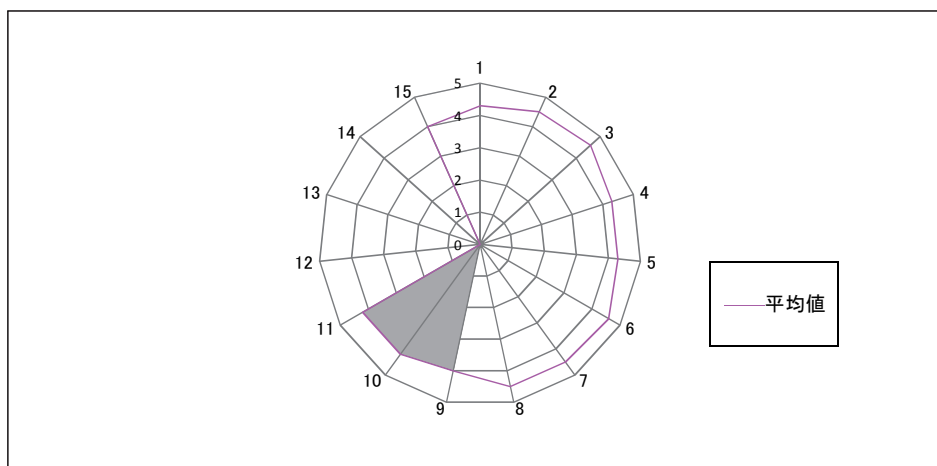
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 史料講読
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 町田 哲, 原田 昌博

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	5	1	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	2	4	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	4	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	3	2	0	0	0	4.0



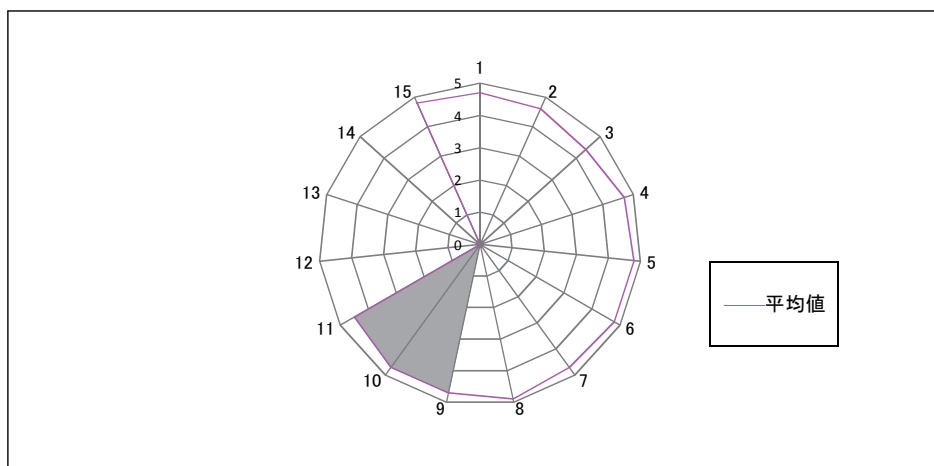
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 人文地理学特論
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



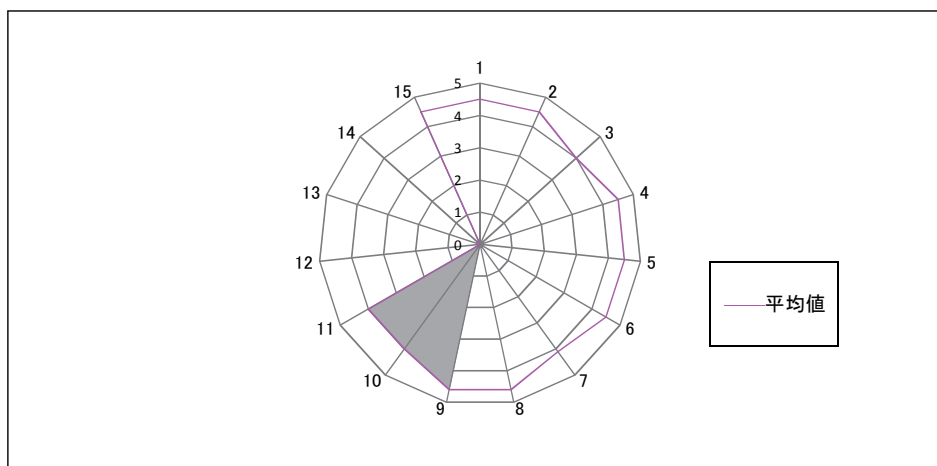
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本史学特論Ⅱ(近世・近代)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 町田 哲

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	5	1	2	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	2	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	5	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	3	1	0	0	4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	4	3	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	5	4	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	4	1	0	0	0	4.5



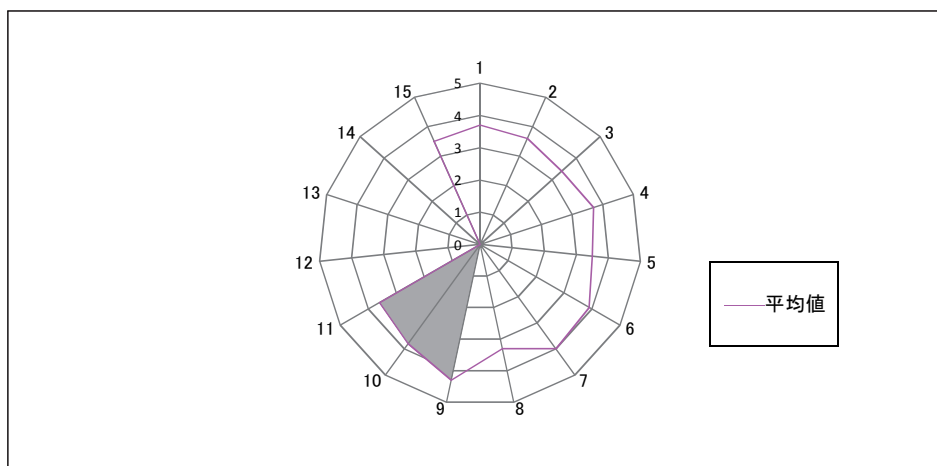
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 自然地理学特論
 評価実施日 平成30年2月5日
 担当教員名 古田 昇

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	7	5	2	0	0	3.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	5	3	3	1	0	3.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	7	4	3	1	0	3.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	6	7	1	0	0	3.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	6	6	3	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	10	3	1	0	0	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	6	3	2	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	6	4	4	1	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	6	3	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	9	5	1	0	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	8	4	3	0	0	3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	8	5	3	0	0	3.5



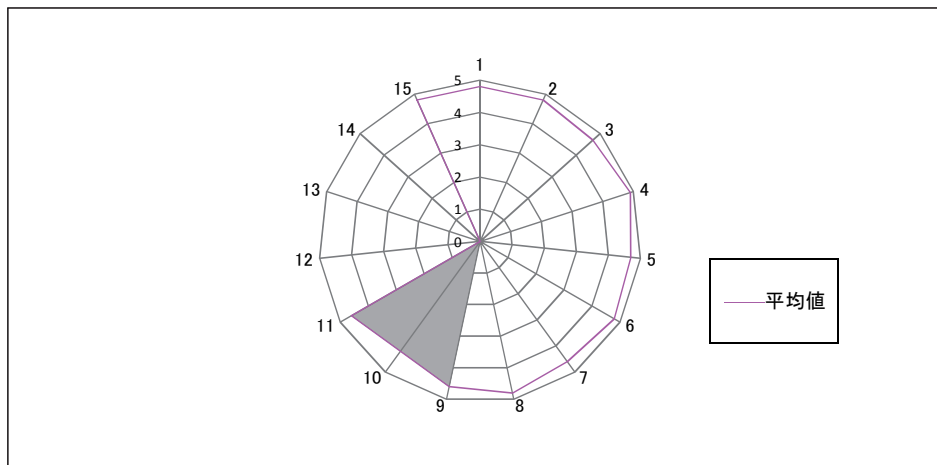
総合評価 **3.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学概論
 評価実施日 平成30年2月21日
 担当教員名 畠山 輝雄

回答者数 31名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	23	8	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	23	7	1	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	21	10	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	6	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	23	6	2	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	22	9	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	18	12	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	7	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	21	7	3	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	11	7	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	18	11	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	23	7	0	0	0	1	4.8



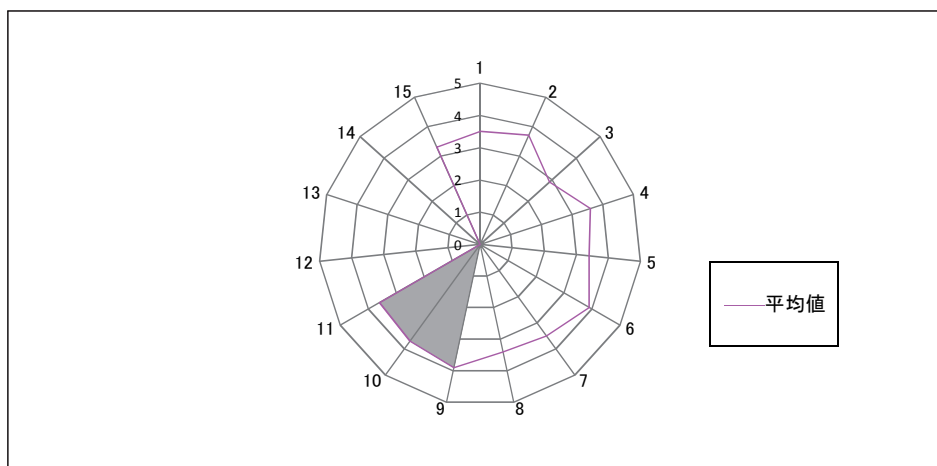
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学概論
 評価実施日 平成29年11月23日
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 48名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						3.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						3.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						2.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						3.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.3



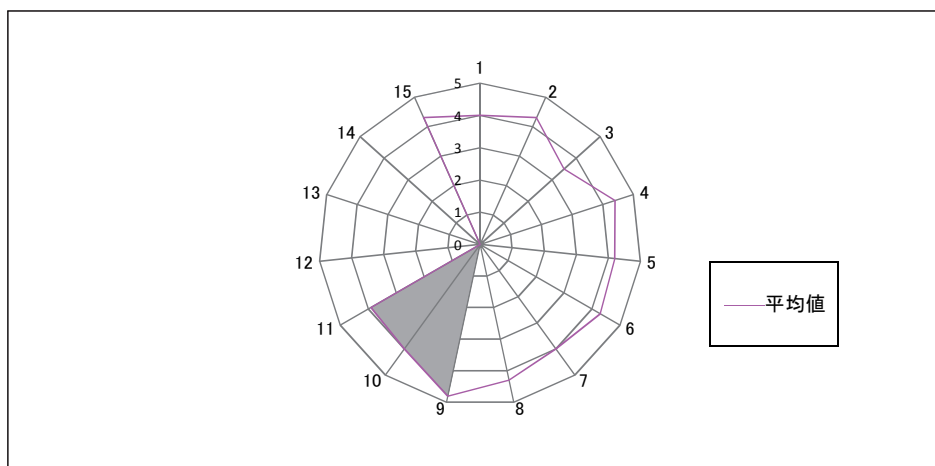
総合評価 **3.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地誌学特論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	3	1	1	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	1	1	0	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	1	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	3	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	1	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	3	0	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	2	0	0	0	4.3



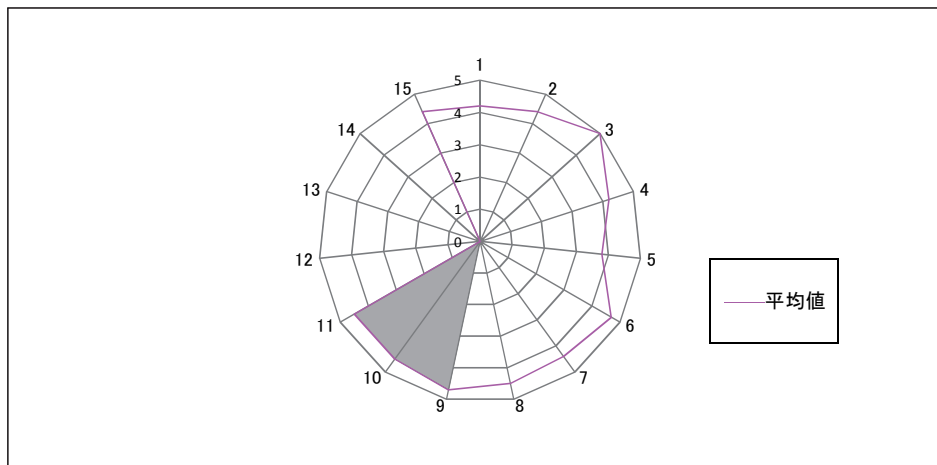
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地理学演習
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 畠山 輝雄, 立岡 裕士

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	4	1	0	0	1	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	3	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	2	1	0	0	0	4.4



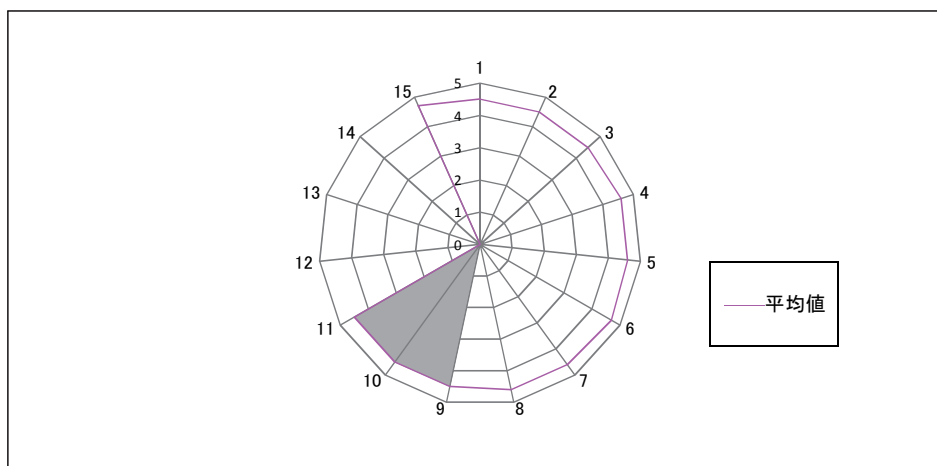
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 法律学特論
 評価実施日 平成29年8月4日
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



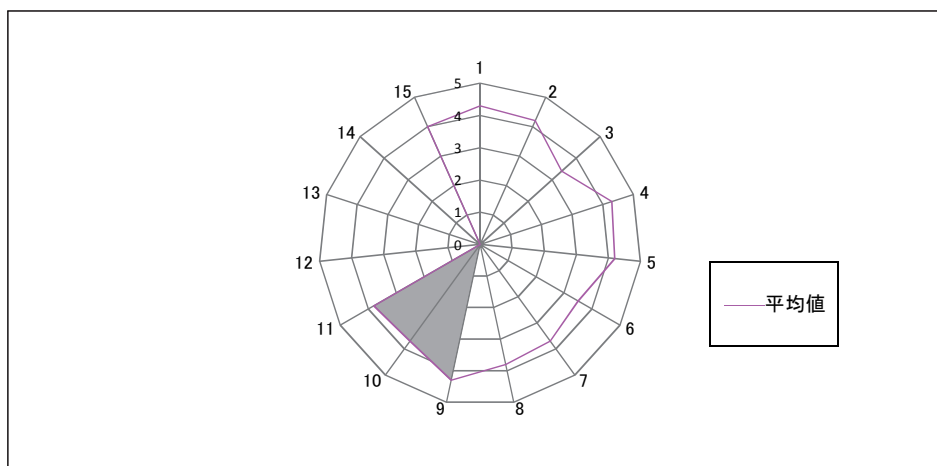
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 哲学・倫理学概論
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 齋木 哲郎

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



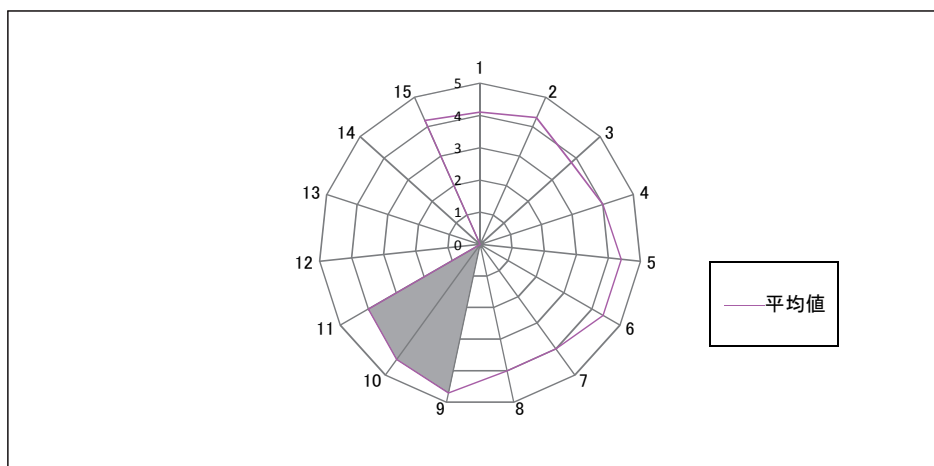
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 23名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	9	6	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	12	1	1	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	8	4	3	1	0	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	10	4	2	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	9	3	0	0	1	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	9	3	0	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	8	6	1	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	8	8	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	9	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	10	3	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	11	4	0	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	12	4	0	0	0	4.2



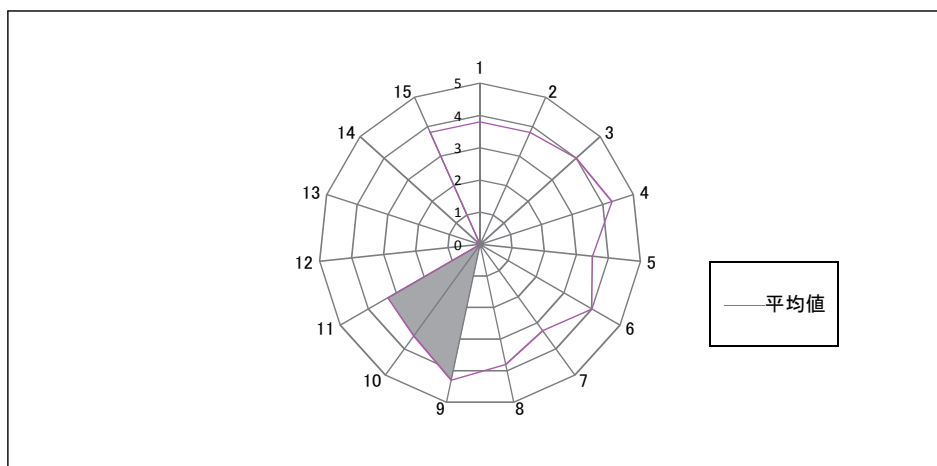
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地図学概論
 評価実施日 平成30年2月20日
 担当教員名 立岡 裕士

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	0	2	2	0	0	0	3.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	2	1	1	0	0	3.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	3	1	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	2	0	0	0	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	2	1	1	0	0	3.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	3	1	0	0	0	3.8



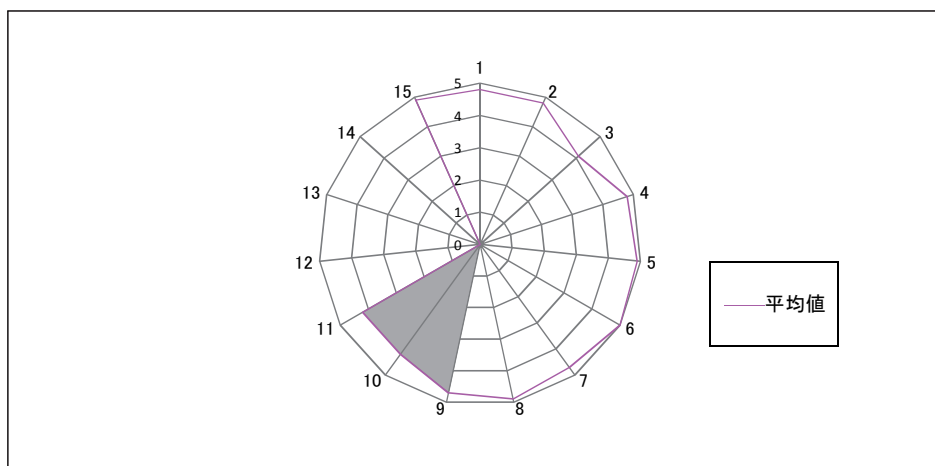
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学概論(国際法を含む。)
 評価実施日 平成30年2月7日
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 22名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



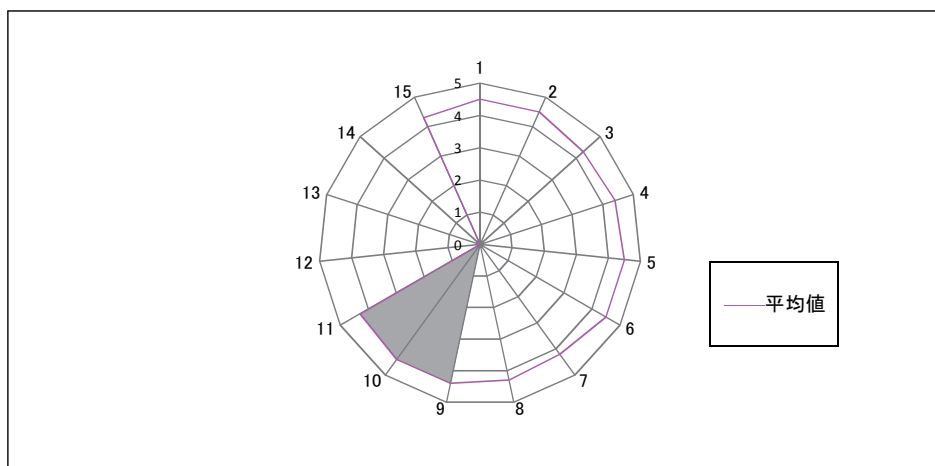
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 代数学Ⅲ
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 19名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	8	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	9	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	9	1	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	9	2	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	7	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	8	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	3	1	0	1	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	9	2	0	0	1	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	8	2	0	0	1	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	6	3	0	0	1	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	6	1	2	0	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	8	2	0	0	2	4.3



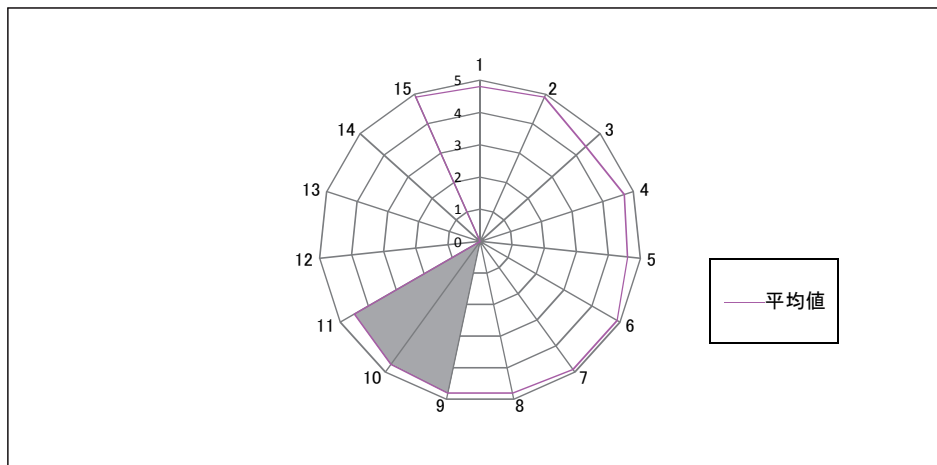
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 法律学演習
 評価実施日 平成30年2月2日
 担当教員名 麻生 多聞

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	2	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	0	4.9



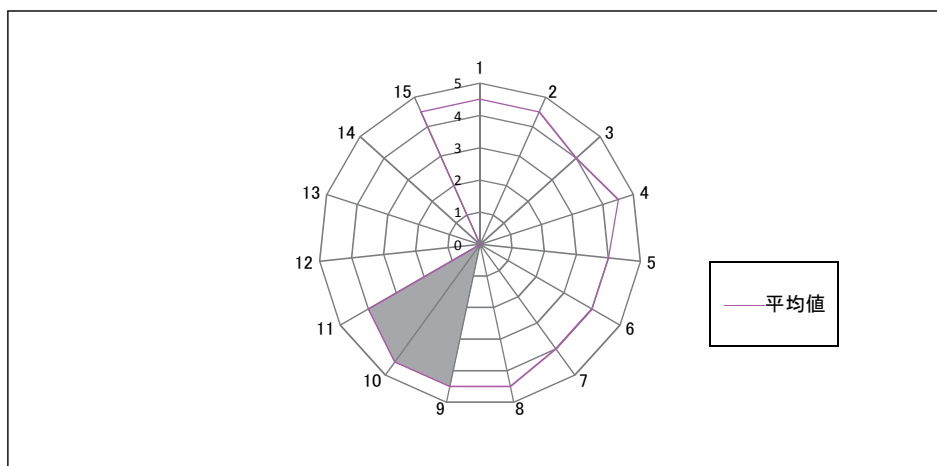
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 哲学・倫理学特論
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 齋木 哲郎

回答者数 2名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	0	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	1	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	0	4.5



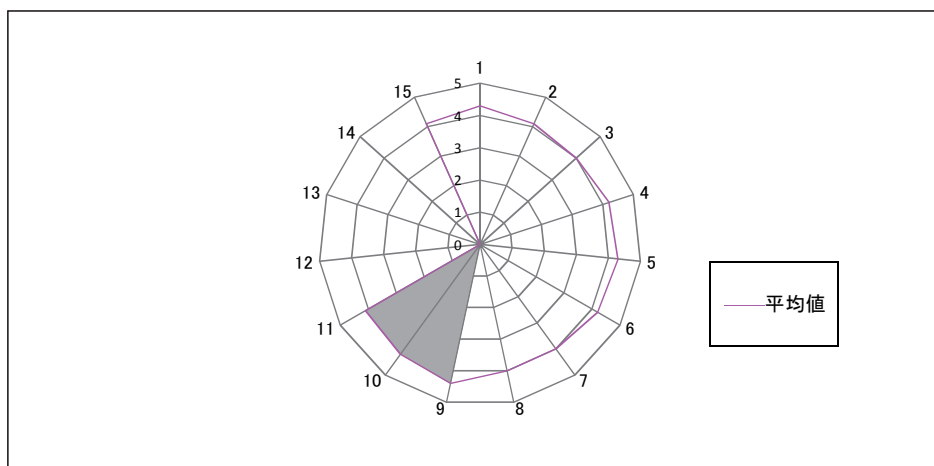
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学 I
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 28名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



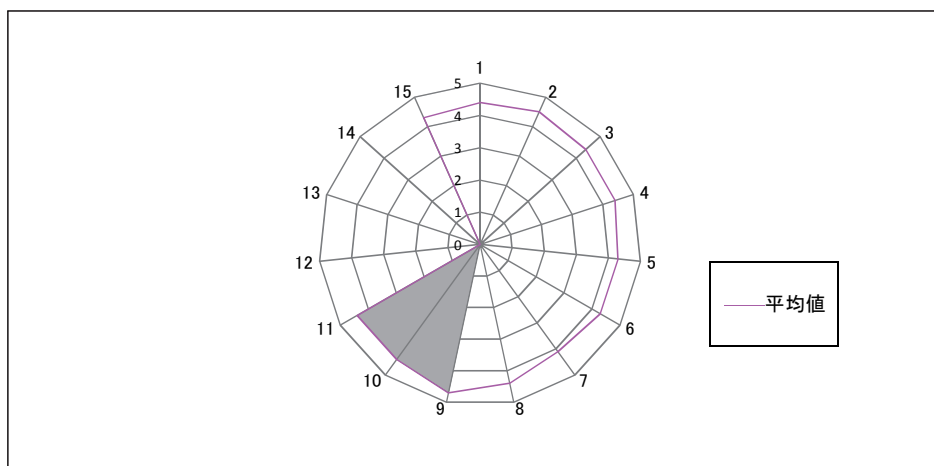
総合評価 4.1

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学 I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



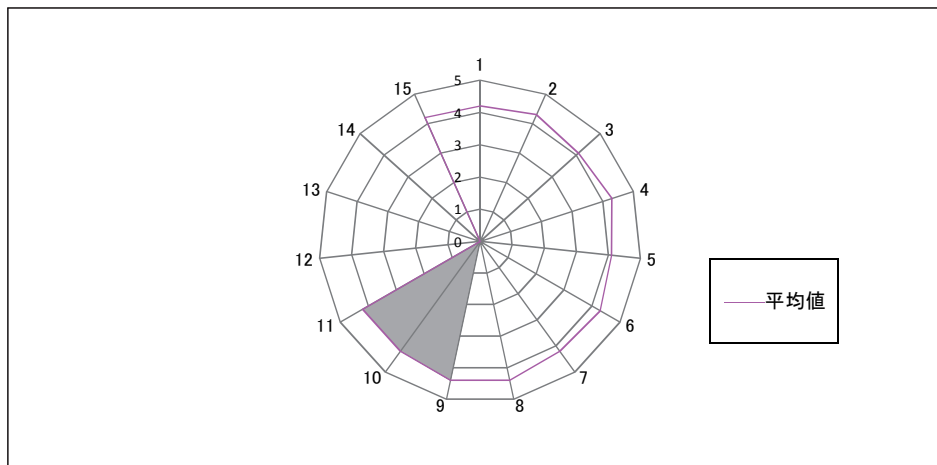
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学Ⅲ
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



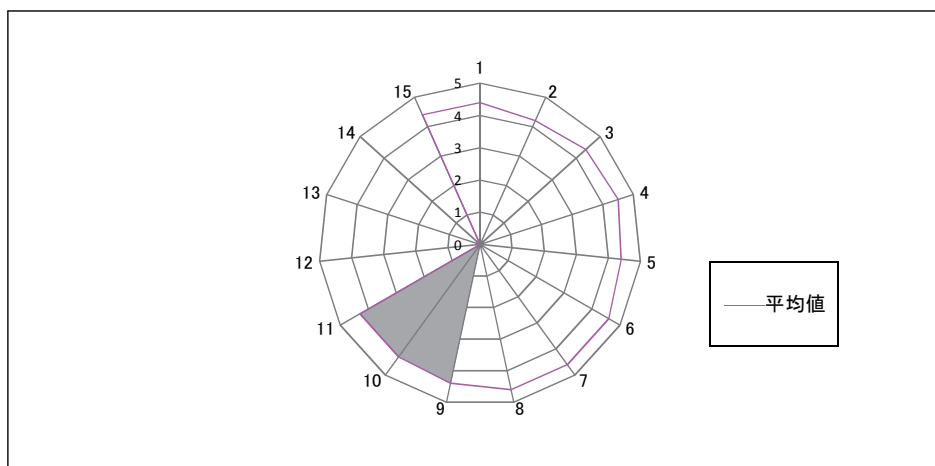
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学特論
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



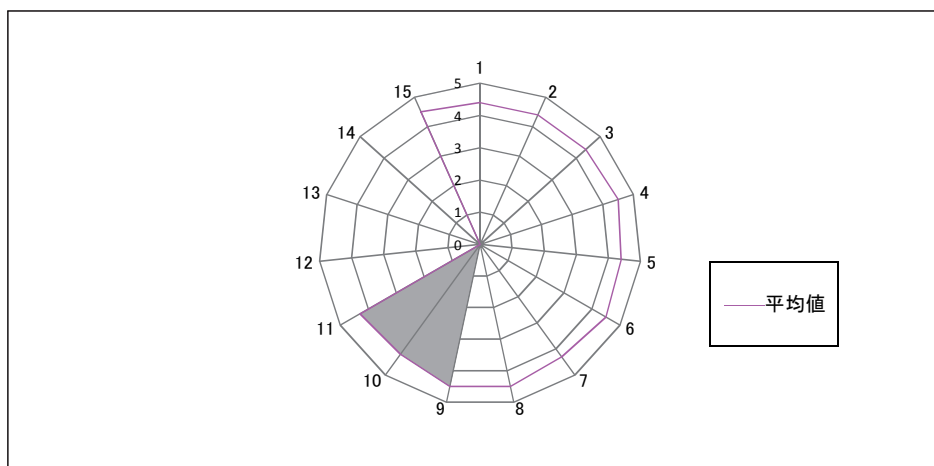
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 計算数学特論
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



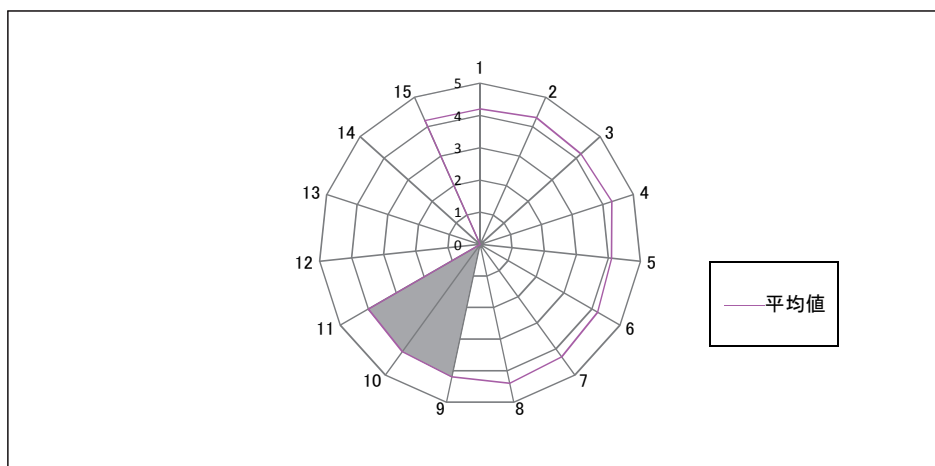
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(物理学分野)
 評価実施日 平成29年11月20日
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	5	2	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	5	2	0	0	0	4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	7	2	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	5	2	0	0	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	4	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	5	3	0	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	5	4	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	4	2	0	0	2	4.2



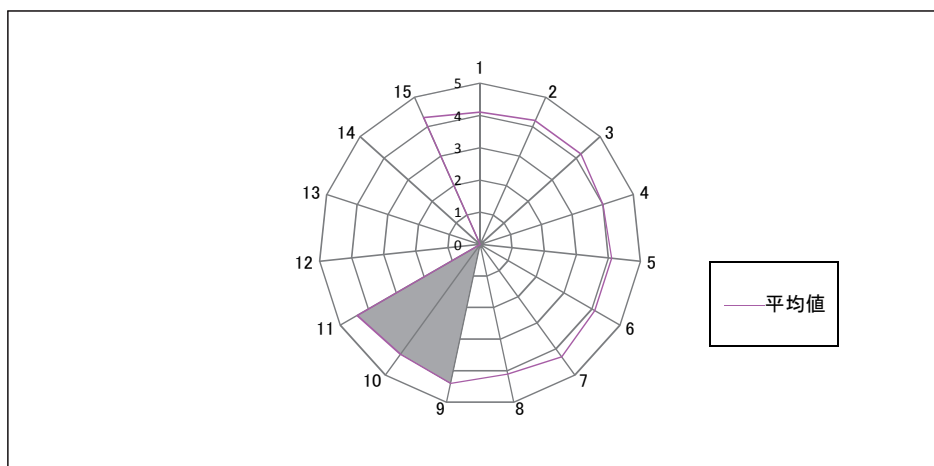
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学実験 I
 評価実施日 平成29年11月30日
 担当教員名 粟田 高明, 本田 亮, 寺島 幸生

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	14	2	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	15	1	0	0	0	4.2
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	14	1	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	13	3	0	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	11	3	0	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	10	4	0	0	0	4.1
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	10	2	0	0	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	12	3	0	0	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	11	1	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	4	13	2	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	11	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	11	2	0	0	0	4.3



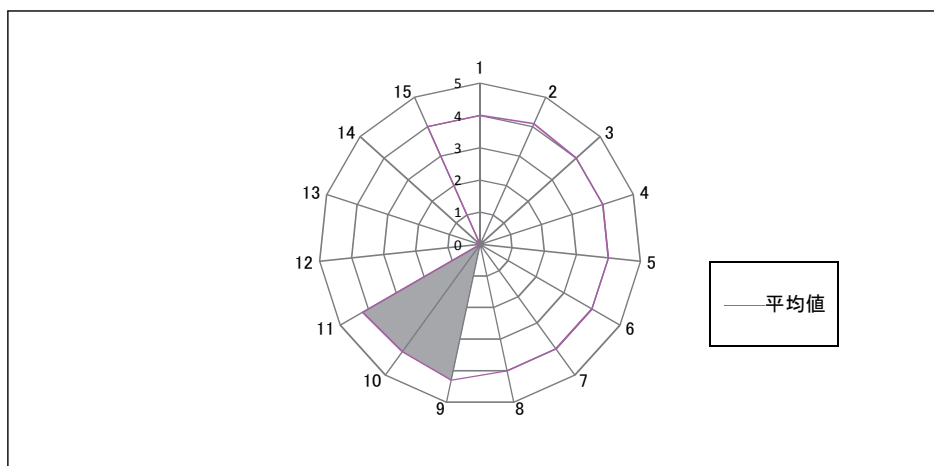
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 物理学実験Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 粟田 高明, 本田 亮, 寺島 幸生

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	8	0	1	0	0	4.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	8	1	0	0	0	4.1
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	8	0	1	0	0	4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	8	0	0	1	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	8	0	1	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	2	8	0	1	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	6	1	0	1	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	7	0	0	1	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	8	0	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	3	7	0	1	0	0	4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	6	0	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	8	0	1	0	0	4.0



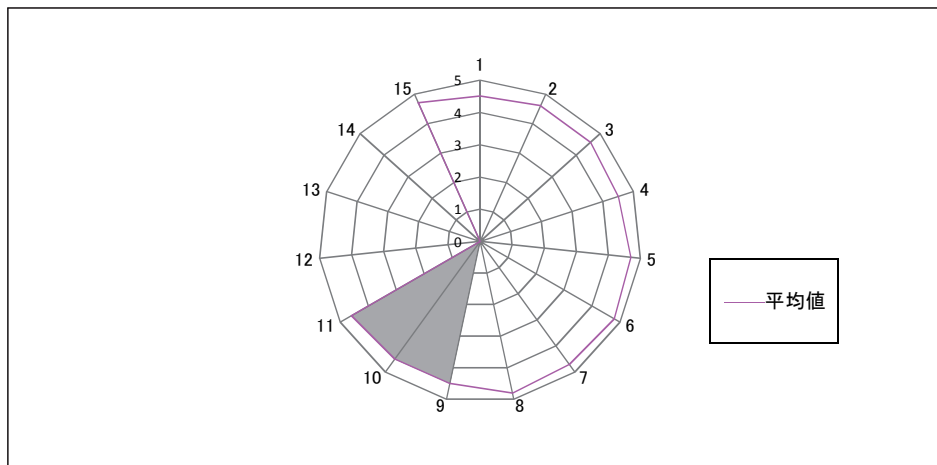
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 幾何学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



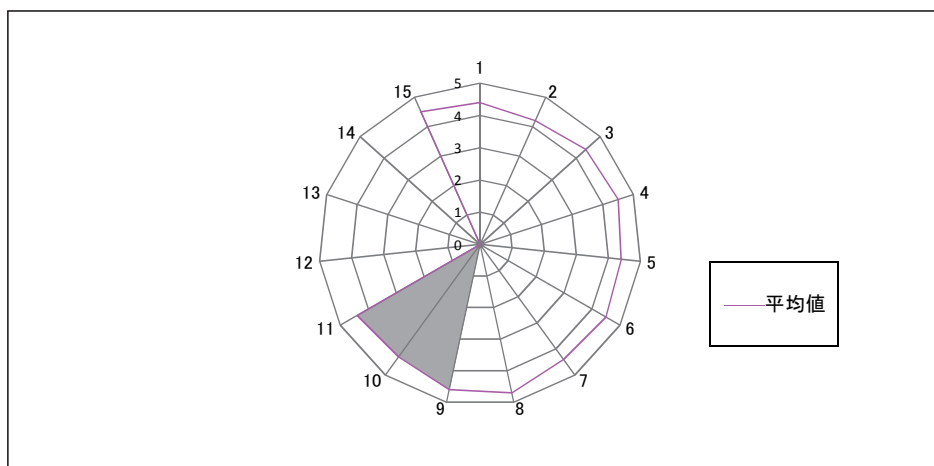
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(化学分野)
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 武田 清

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	4	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	4	4	0	0	0	4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	2	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	2	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	6	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	3	2	0	0	1	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	7	1	0	0	1	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	1	0	0	2	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	1	0	0	1	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	5	3	0	0	1	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	5	2	0	0	1	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	2	0	0	1	4.5



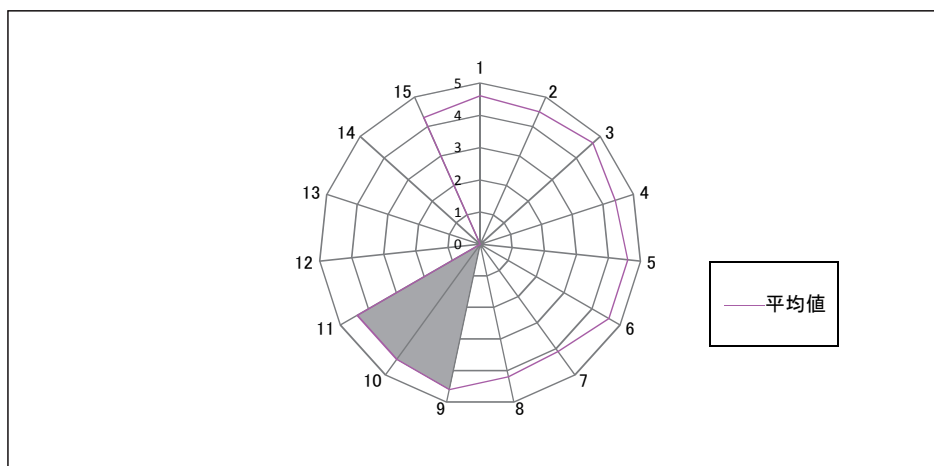
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 幾何学Ⅲ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 20名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



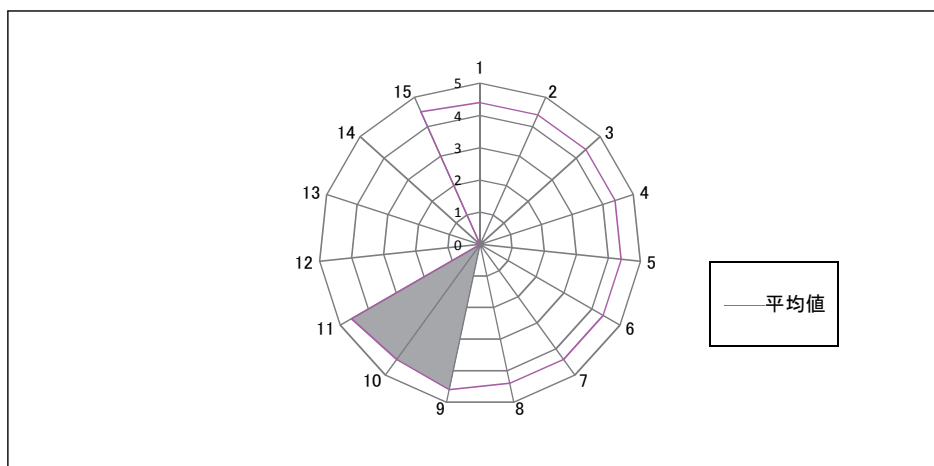
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学 I
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 胸組 虎胤, 早藤 幸隆

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	8	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	8	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	8	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	8	0	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	8	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	4	9	0	0	0	0	4.4
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	7	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	7	1	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	6	5	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	6	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	7	0	0	0	0	4.5



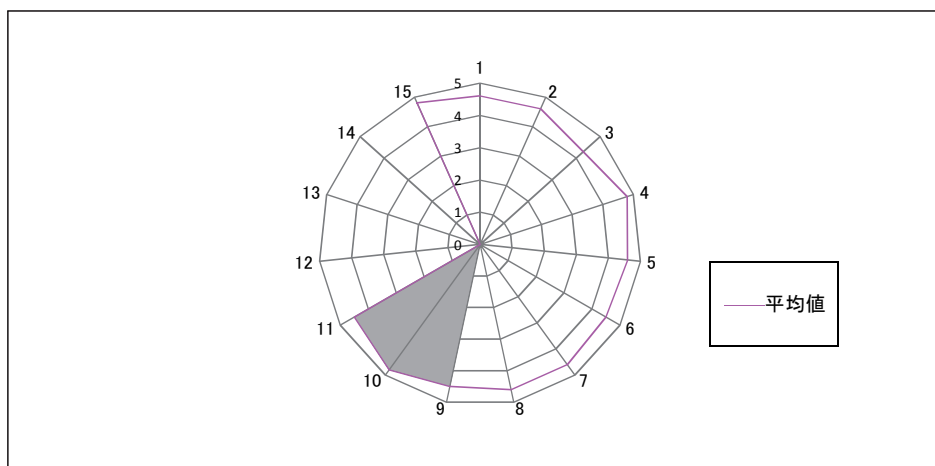
総合評価 4.4

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 化学Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 胸組 虎胤, 早藤 幸隆

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	2	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	5	0	2	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	1	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	0	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	1	0	0	0	4.8



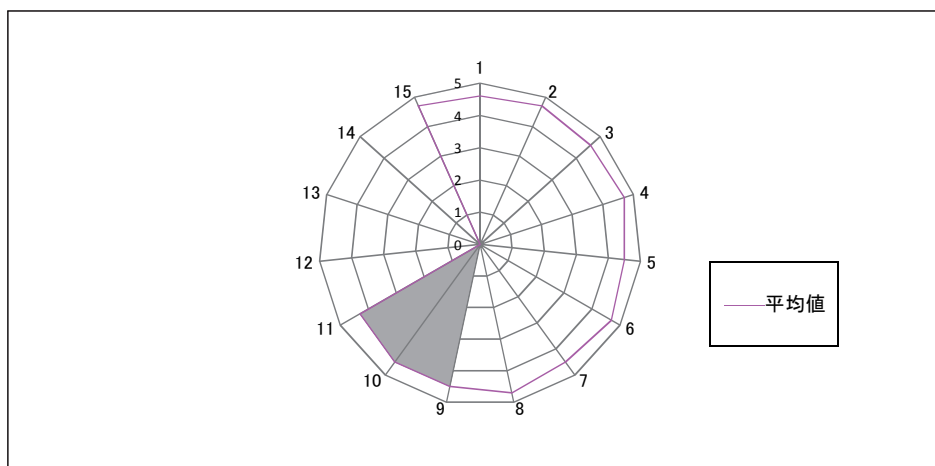
総合評価 4.6

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 幾何学特論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 松岡 隆

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



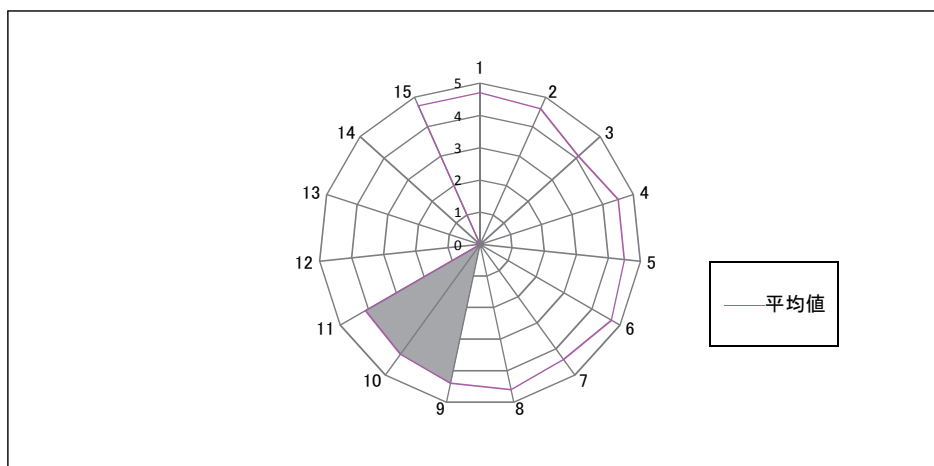
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(生物学分野)
 評価実施日 平成29年12月4日
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	4	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	5	1	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	4	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	7	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	7	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	3	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	2	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	5	1	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	7	2	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	7	2	1	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	8	2	1	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	4	1	0	0	0	4.7



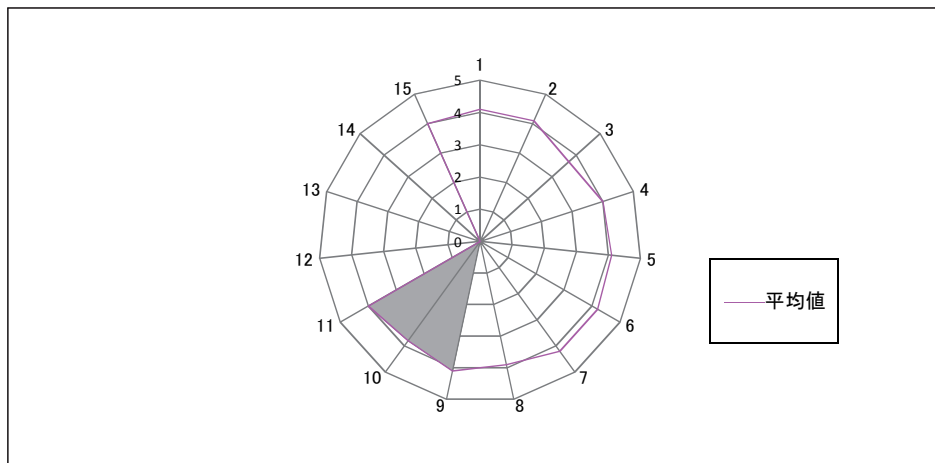
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 解析学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 成川 公昭

回答者数 22名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	14	3	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	13	4	0	0	0	4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	9	4	4	0	0	3.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	15	4	0	0	0	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	14	3	0	0	0	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	13	3	0	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	13	3	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	12	4	2	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	10	5	0	0	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	12	5	2	0	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	13	4	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	14	4	0	0	1	4.0



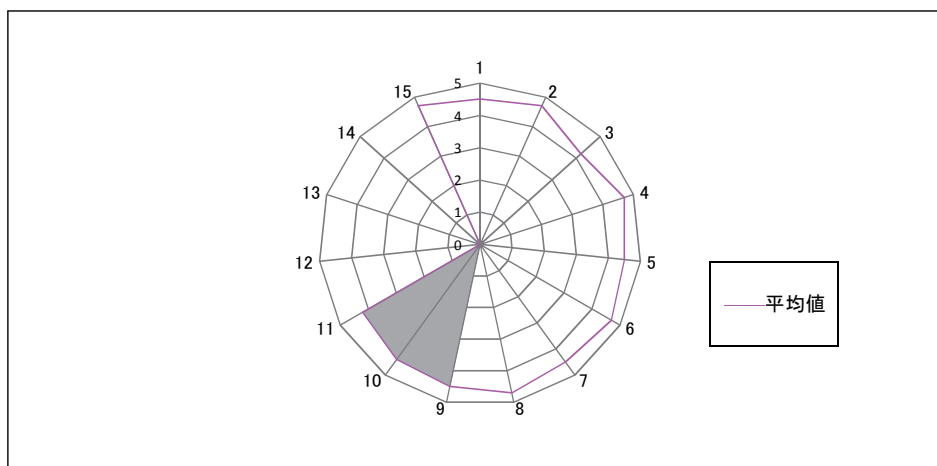
総合評価 4.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 工藤 慎一

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	3	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	1	0	0	0	4.7



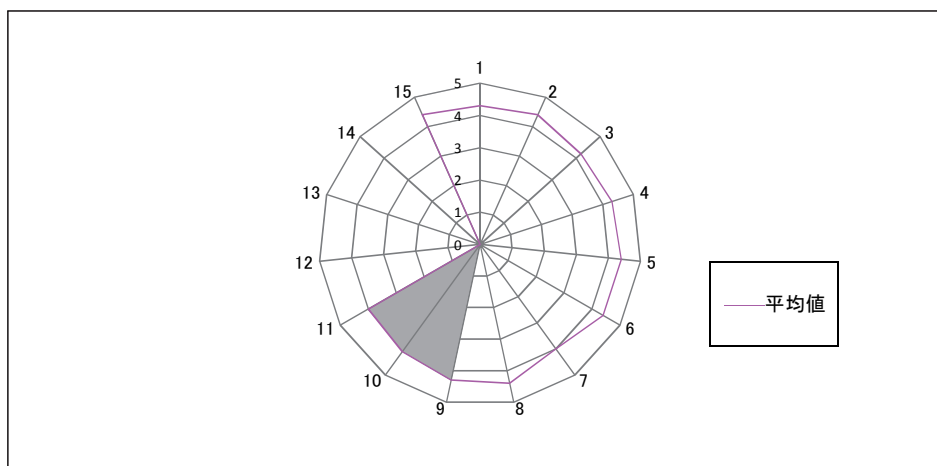
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 確率・統計学
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



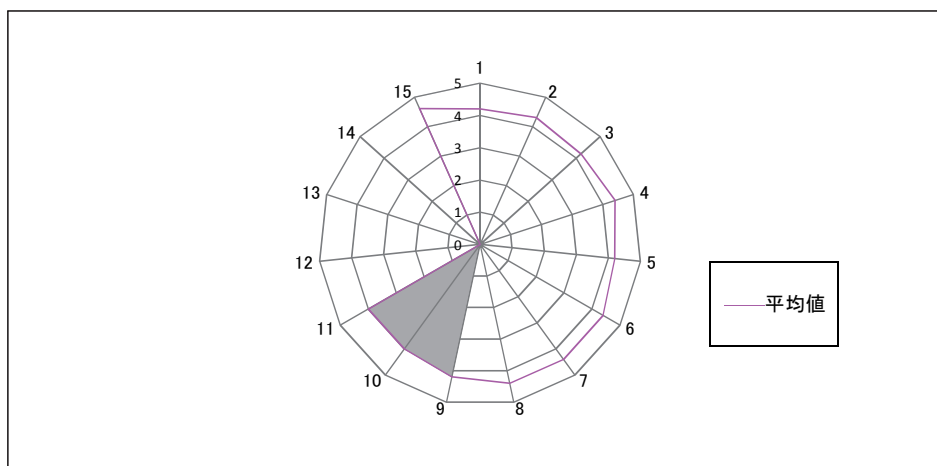
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 中等理科(地学分野)
 評価実施日 平成29年12月22日
 担当教員名 足立 奈津子

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	10	2	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	8	2	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	8	3	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	7	2	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	9	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	6	2	0	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	7	2	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	7	2	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	7	3	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	10	3	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	10	3	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	4	1	0	0	1	4.6



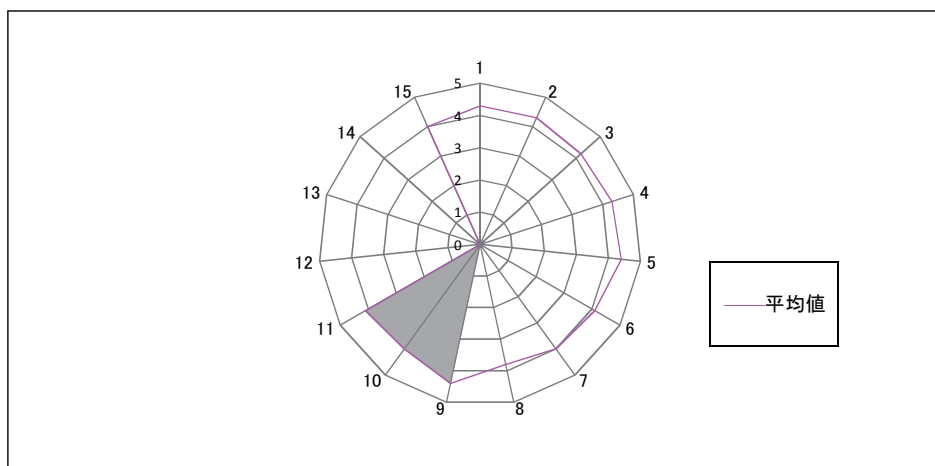
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学 I
 評価実施日 平成30年1月29日
 担当教員名 足立 奈津子, 村田 守

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)					
		5	4	3	2	1 N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	10	0	0	0	4.3
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	10	0	0	0	4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	9	1	0	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	8	1	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	9	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	3	8	2	0	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	6	4	0	0	4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	6	2	2	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	8	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	4	5	3	1	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	5	3	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	7	3	0	0	4.0



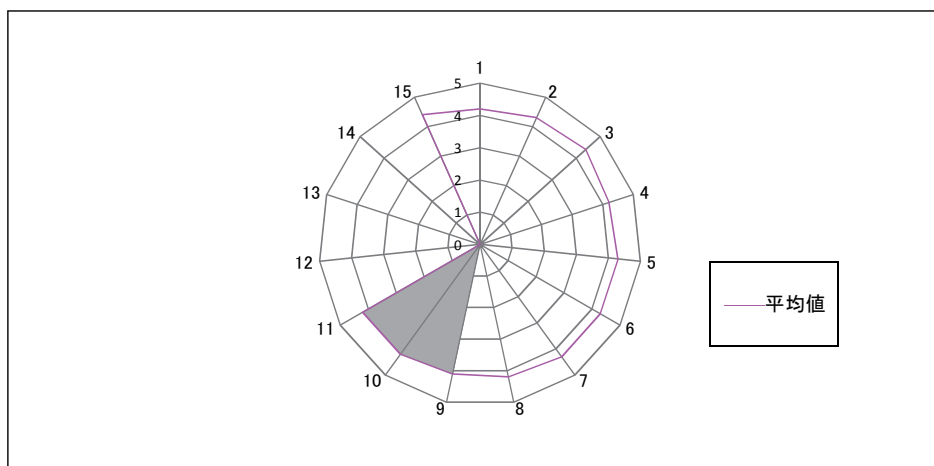
総合評価 4.2

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 地学実験 I (野外実習)
 評価実施日 平成29年12月7日
 担当教員名 村田 守, 小澤 大成, 足立 奈津子

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。						4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。						4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.4



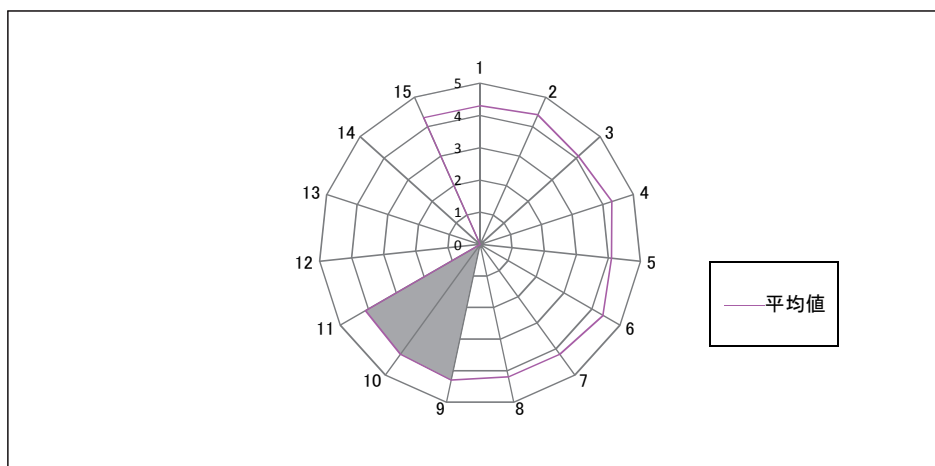
総合評価 4.3

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 計算数学
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 32名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



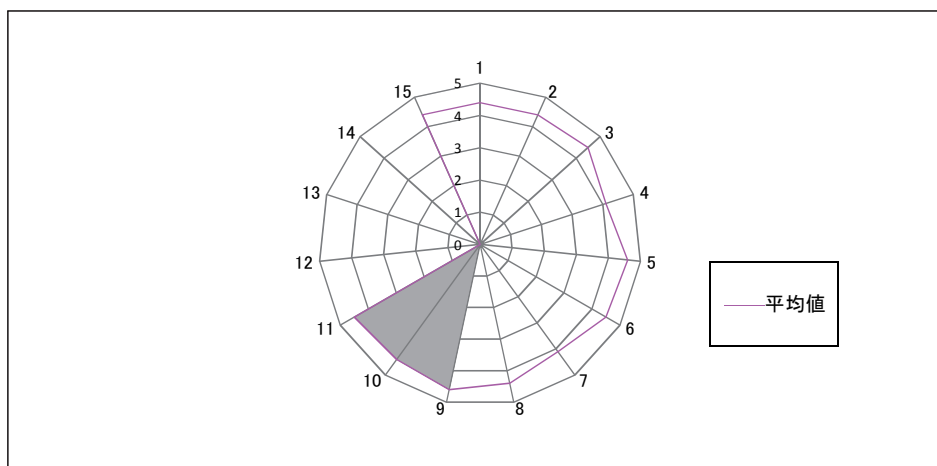
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 基礎数学 I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 平野 康之

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	9	0	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	8	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	6	3	0	0	0	4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	6	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	6	3	0	0	0	4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	8	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	4	1	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	7	1	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	5	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	8	0	0	0	0	4.4



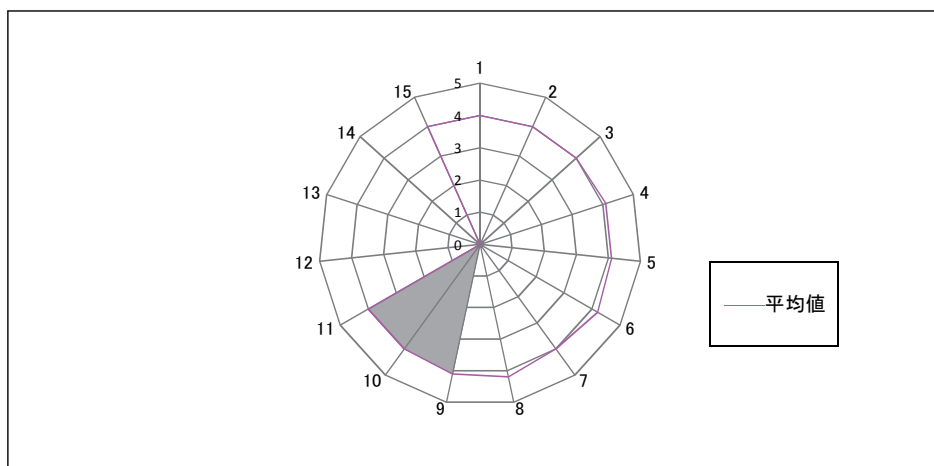
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学実験Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月20日
 担当教員名 村田 守, 小澤 大成, 足立 奈津子

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.0
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.1
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.0



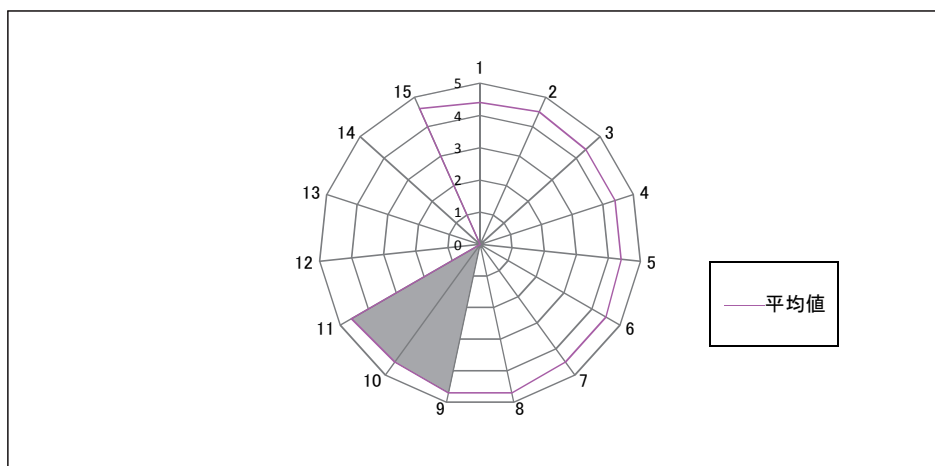
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 基礎数学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 宮口 智成

回答者数 16名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	11	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	9	1	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	10	0	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	8	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	6	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	8	0	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	6	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	6	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	9	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	7	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	6	0	0	0	1	4.6



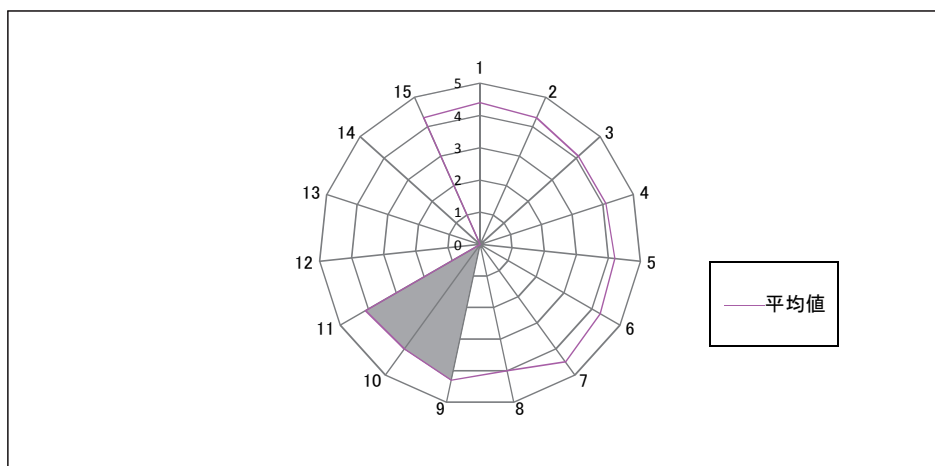
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 物理学 I
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 粟田 高明

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



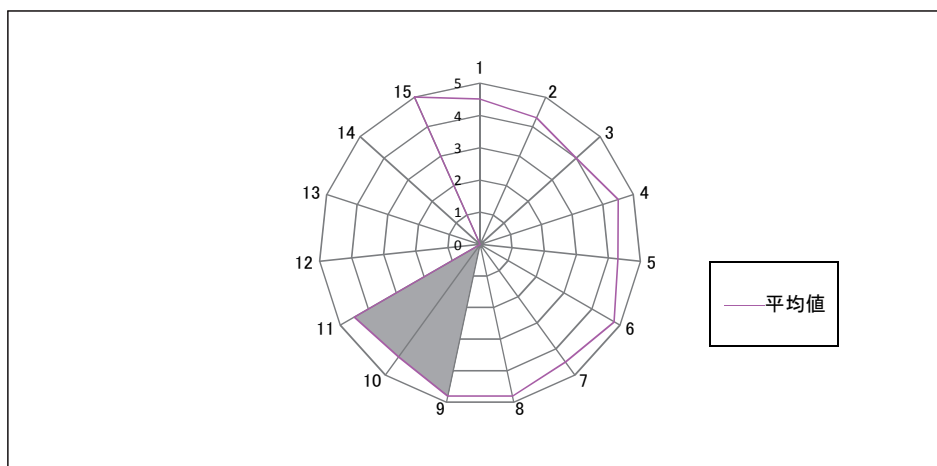
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学の基礎
 評価実施日 平成29年5月29日
 担当教員名 武田 清

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	3	0	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	1	0	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



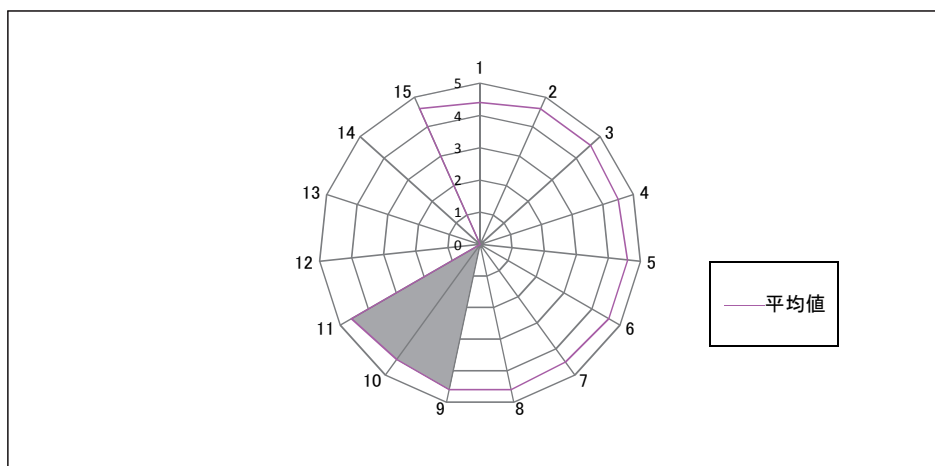
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 化学実験Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月20日
 担当教員名 胸組 虎胤, 武田 清, 早藤 幸隆

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。						4.6



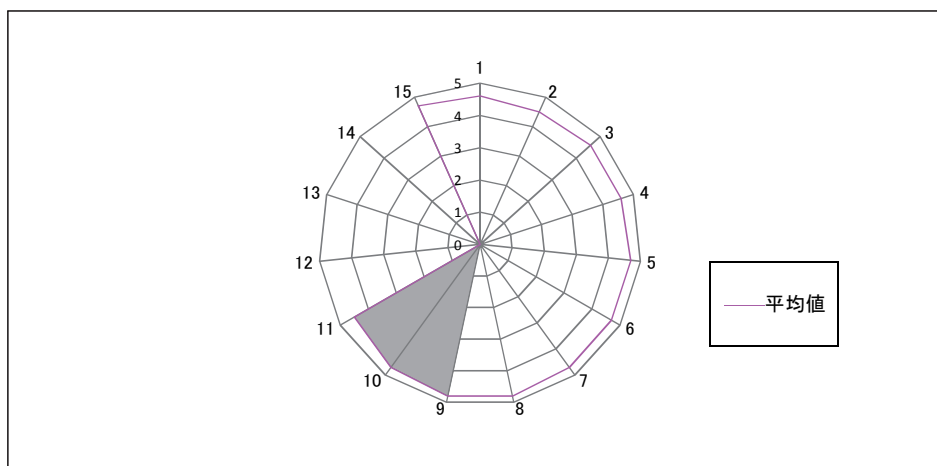
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 声楽基礎 I
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	5	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	3	0	0	0	0	4.7



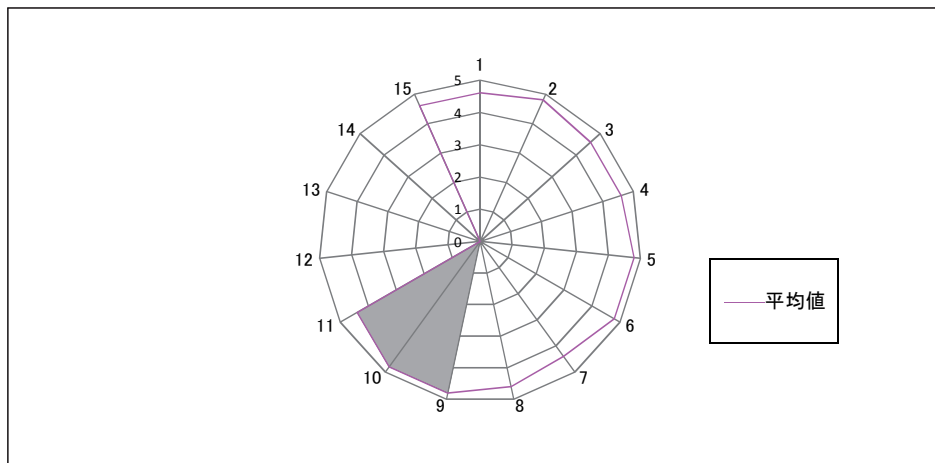
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学の基礎
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 小汐 千春

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1 N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	4.6



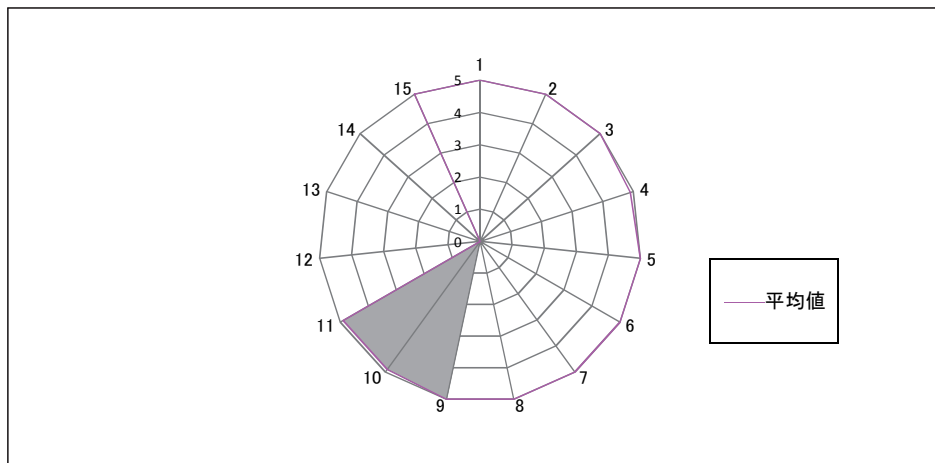
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 歌唱法 I
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



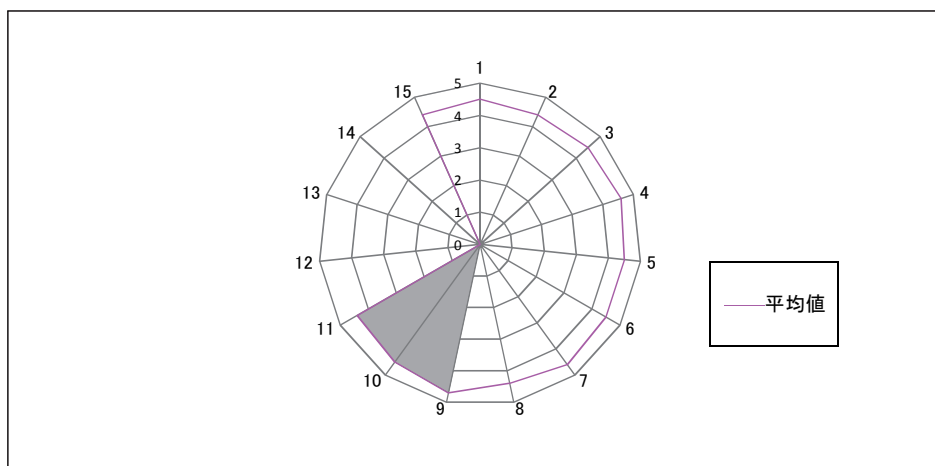
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 日本の伝統音楽(和楽器)
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 横山 佳世子

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	8	0	0	0	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	7	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	8	0	0	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	5	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	6	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	8	0	0	0	0	4.4



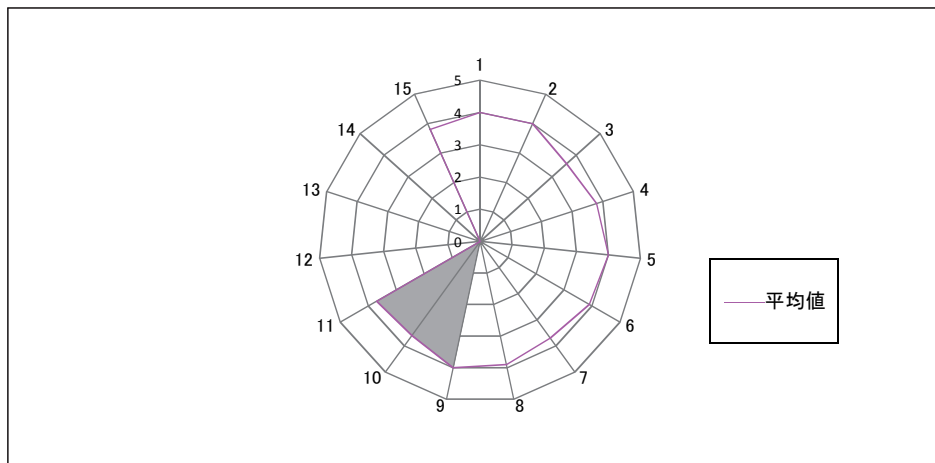
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学 I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 米澤 義彦

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	9	3	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	9	3	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	6	3	3	0	0	3.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	8	5	0	0	0	3.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	10	3	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	8	3	1	0	0	3.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	7	5	1	0	0	3.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	6	4	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	8	4	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	5	7	1	0	0	3.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	7	5	1	0	0	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	6	5	0	0	2	3.8



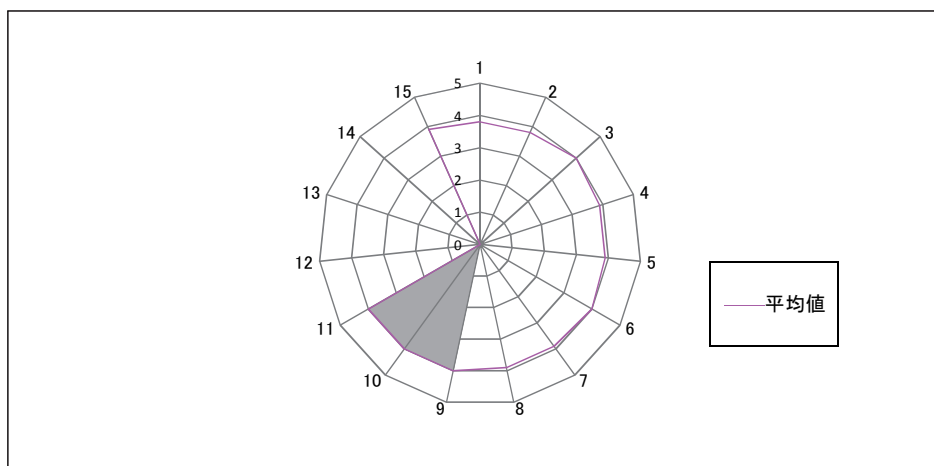
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生物学実験Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月20日
 担当教員名 佐藤 勝幸, 工藤 慎一, 小汐 千春

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	3	2	1	0	0	3.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	3	1	0	0	3.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	2	1	0	0	3.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	2	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	2	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	2	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	2	2	1	0	0	3.9



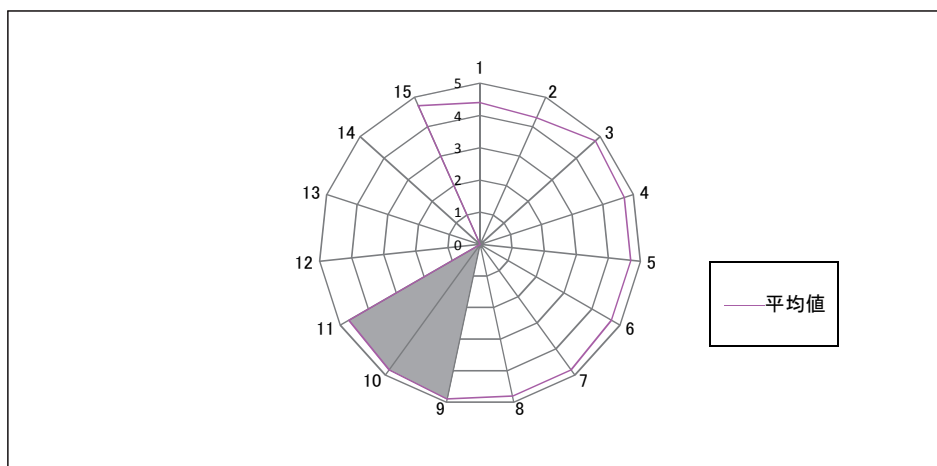
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ基礎 I
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 森 正, 米田 佳子

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	3	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	0	4.7



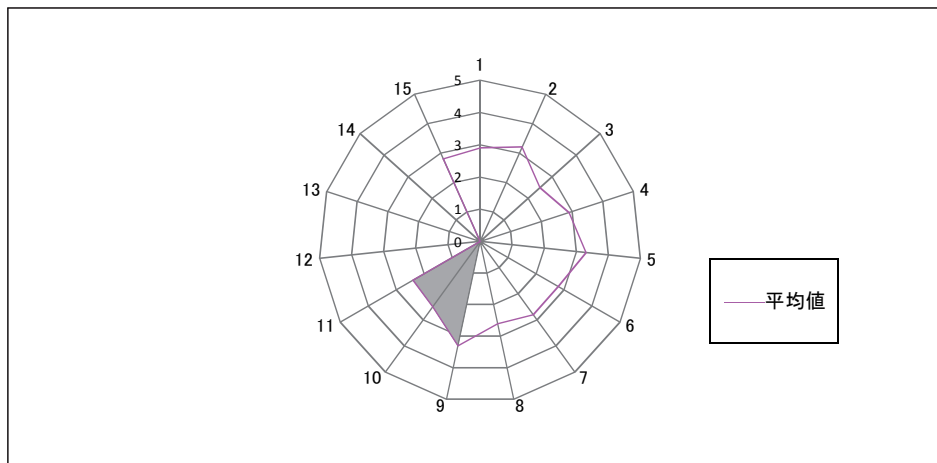
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学の基礎
 評価実施日 平成29年8月3日
 担当教員名 村田 守

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	2	3	1	2	0	2.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	4	0	2	0	3.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	1	1	4	0	2.5
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	2	0	3	0	2.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	3	0	2	0	3.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	1	4	1	2	0	2.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	4	1	2	0	2.8
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	5	0	3	0	2.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	2	1	2	0	3.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	3	1	3	0	2.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	4	1	3	0	2.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	3	2	2	0	2.8



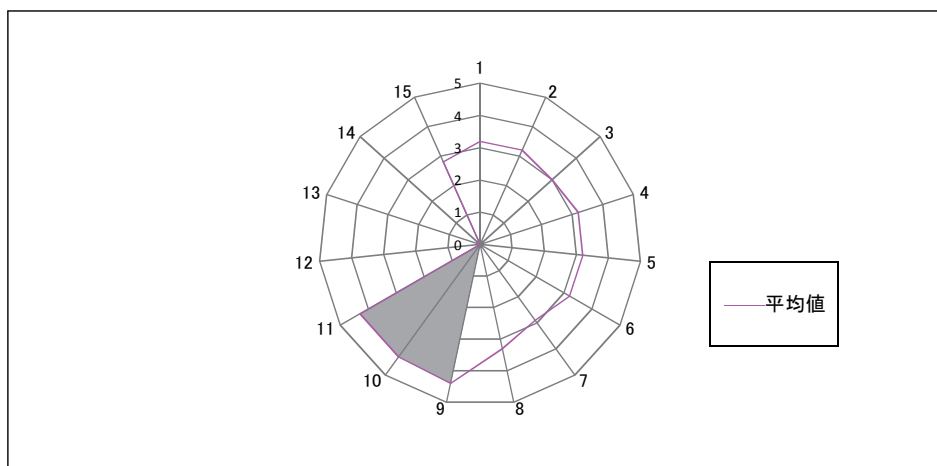
総合評価 **2.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 地学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月21日
 担当教員名 村田 守, 足立 奈津子

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	1	1	2	0	3.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	4	1	1	0	3.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	4	0	2	0	3.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	2	2	1	0	3.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	4	1	1	0	3.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	1	1	2	0	3.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	0	3	1	2	0	2.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	4	2	0	0	3.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	2	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	0	3	0	3	0	2.8



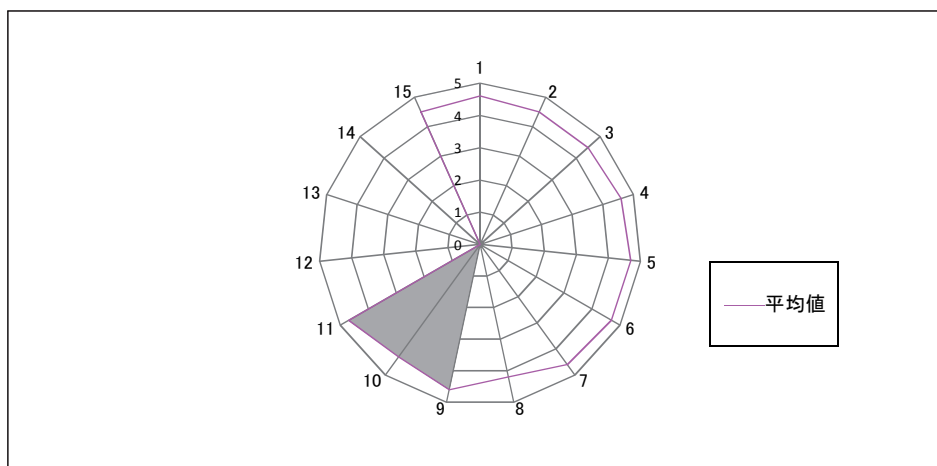
総合評価 **3.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソルフェージュ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



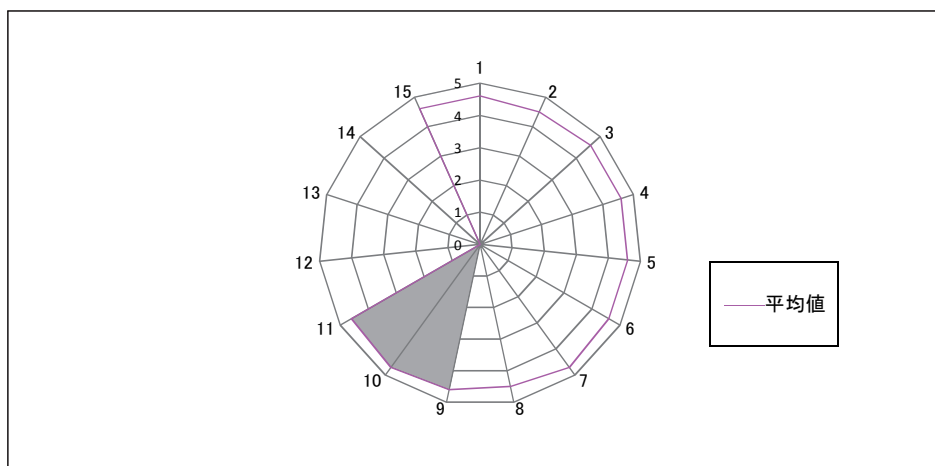
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ I
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	1	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	4	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	4	0	0	0	0	4.6



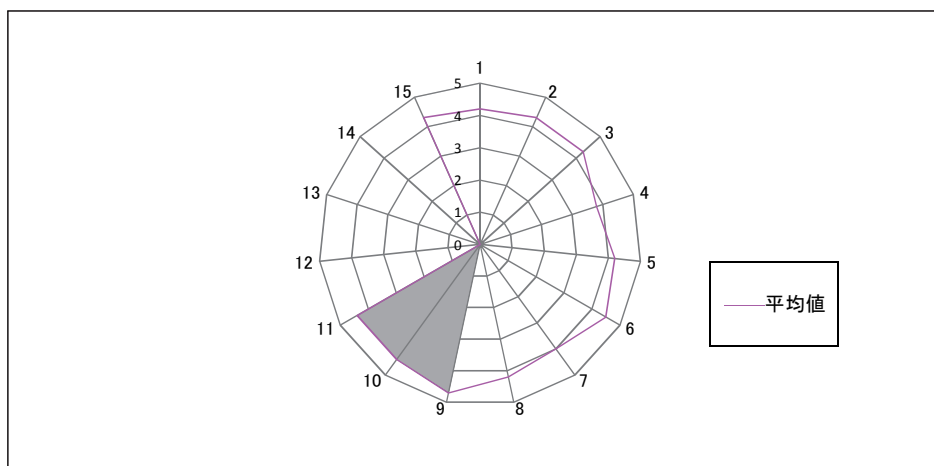
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽(合唱を含む。)
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 頃安 利秀, 真鍋 美恵

回答者数 14名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	9	0	1	0	0	4.2
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	10	0	0	0	0	4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	10	0	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	8	1	1	1	0	3.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	11	0	0	0	1	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	7	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	9	1	0	1	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	7	1	1	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	3	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	7	5	2	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	7	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	6	0	0	1	0	4.3



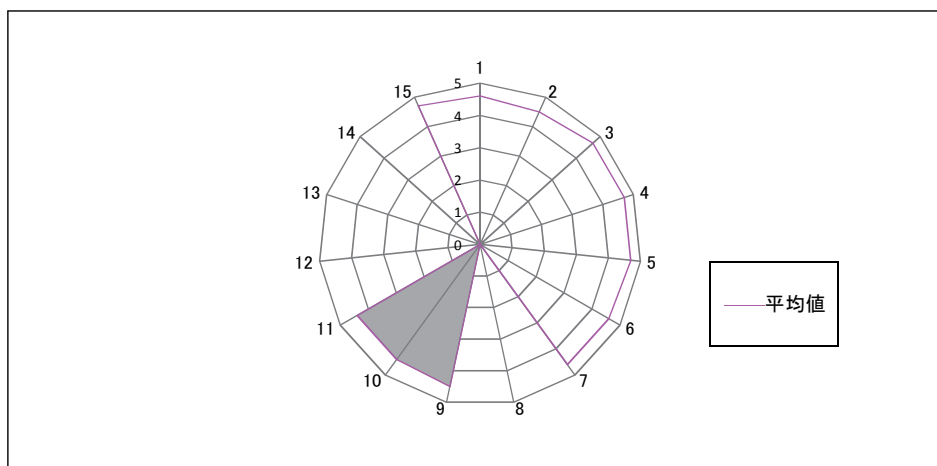
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 管弦打楽器基礎 I
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	7	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	5	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	5	2	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	6	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	4	0	0	0	0	4.7



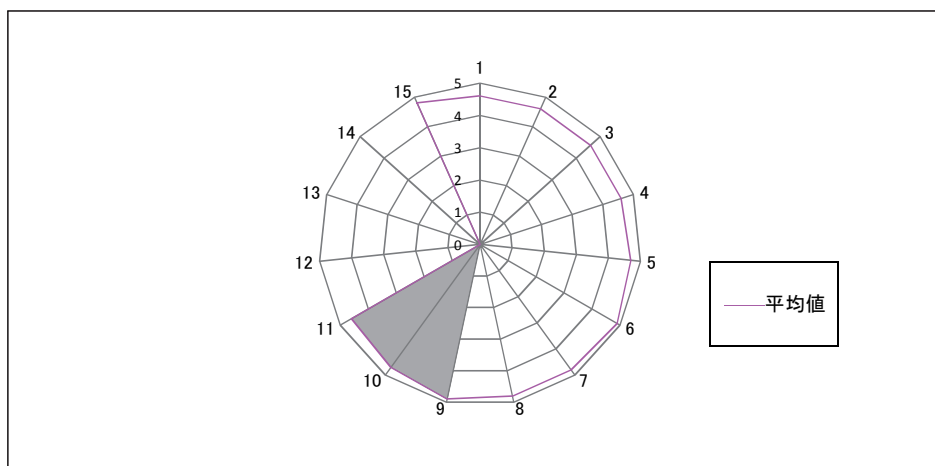
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 声楽基礎Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 頃安 利秀

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	1	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



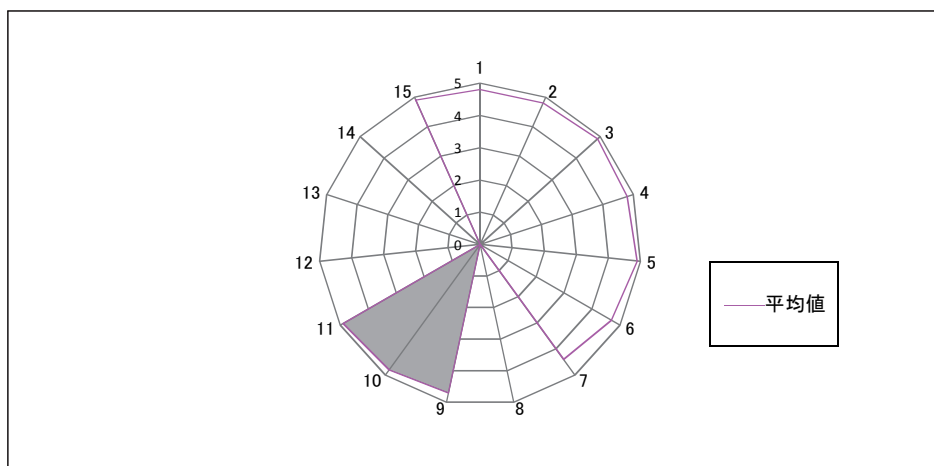
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 管弦打楽器 I
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 山根 秀憲

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	3	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。							
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	1	1	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



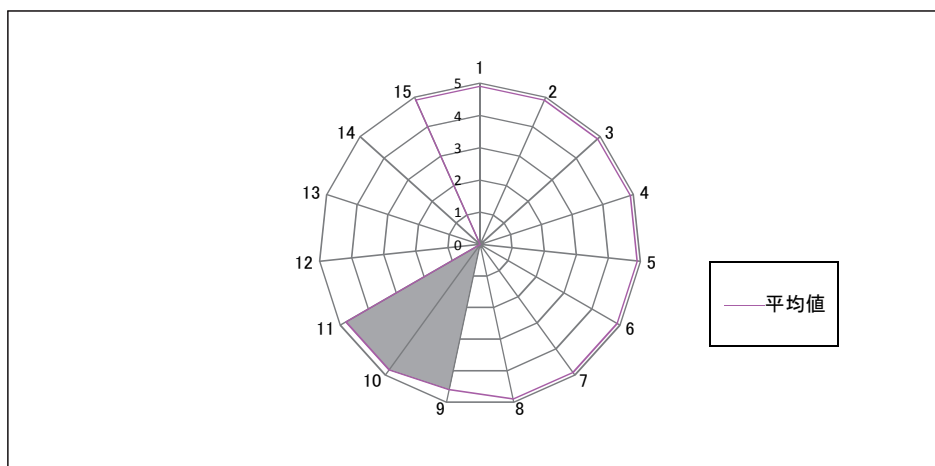
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



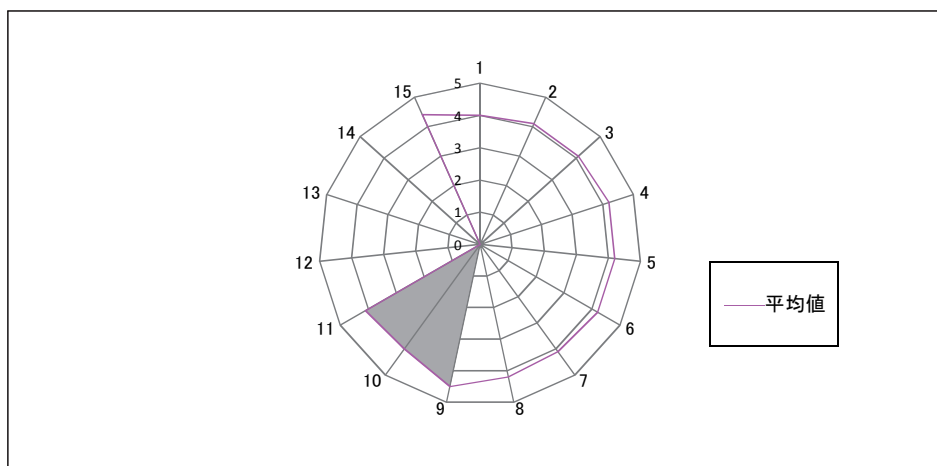
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 器楽(合奏及び伴奏を含む。)
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 森 正, 山根 秀憲, 米田 佳子

回答者数 12名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	5	4	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	7	2	0	0	0	4.1
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	5	3	0	0	0	4.1
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	8	1	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	8	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	6	2	0	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	5	3	0	0	0	4.1
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	6	2	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	4	0	1	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	3	1	2	0	1	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	4	2	1	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	6	1	0	0	0	4.4



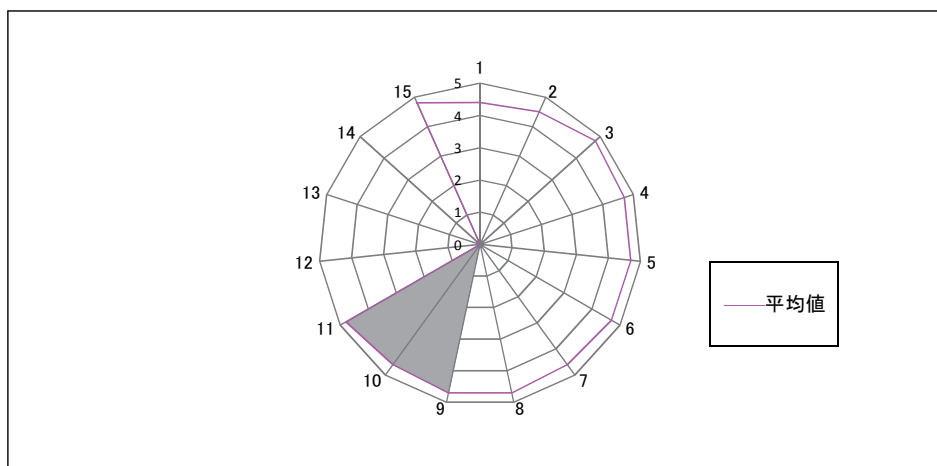
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 音楽通論 I
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	4	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	3	0	0	0	0	4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	0	4.8



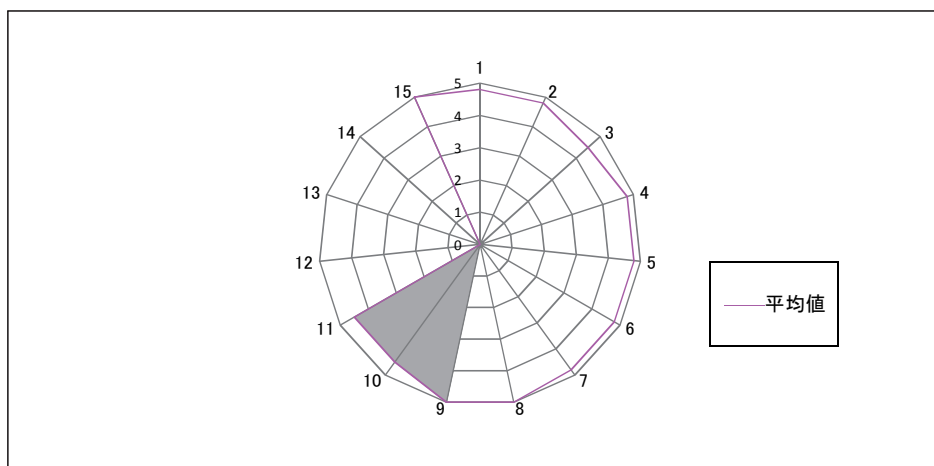
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



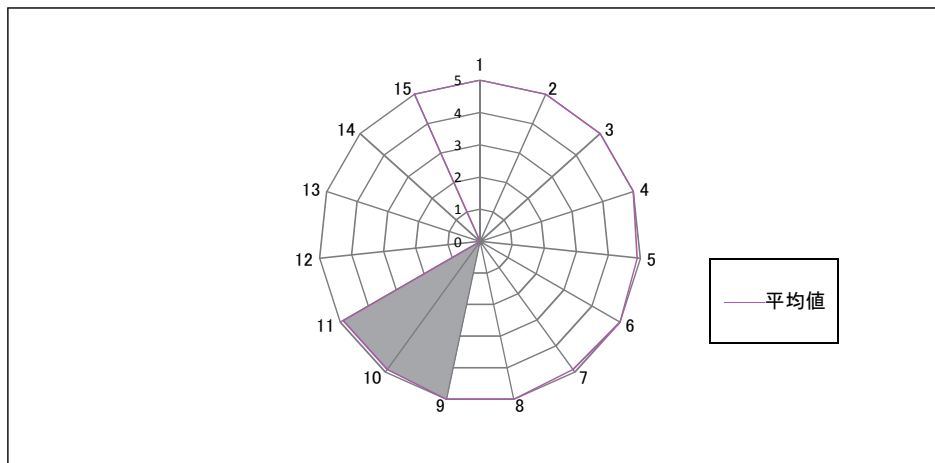
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画材料研究
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



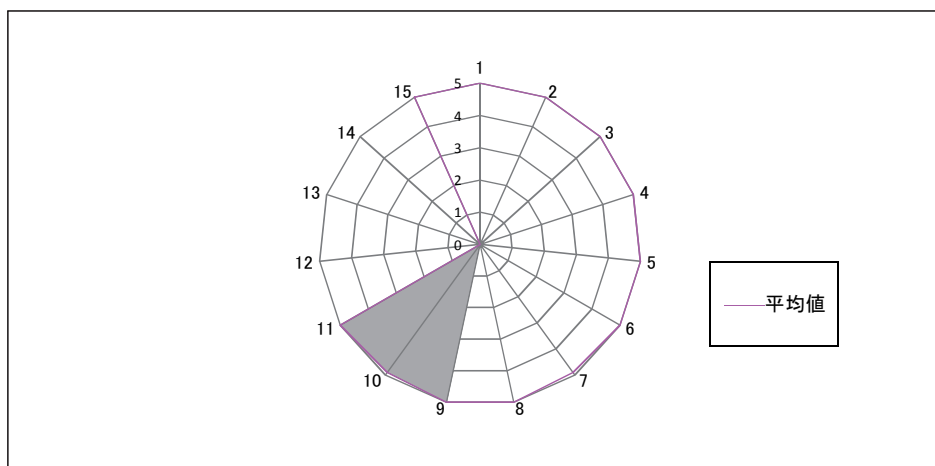
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画特別演習 I
 評価実施日 平成29年12月25日
 担当教員名 森本 玄

回答者数 6名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	0	0	0	0	4.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	0	5.0



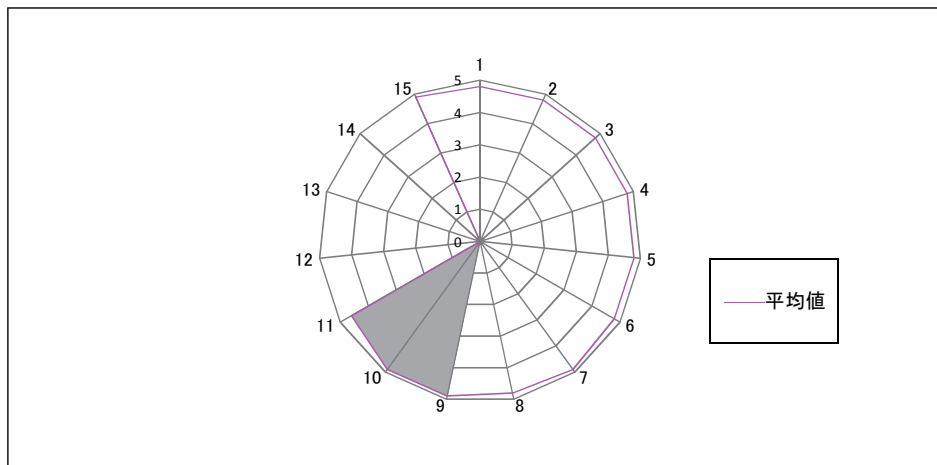
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノ基礎Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 森 正, 田中 巳穂

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	2	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	1	0	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	2	1	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	0	4.9



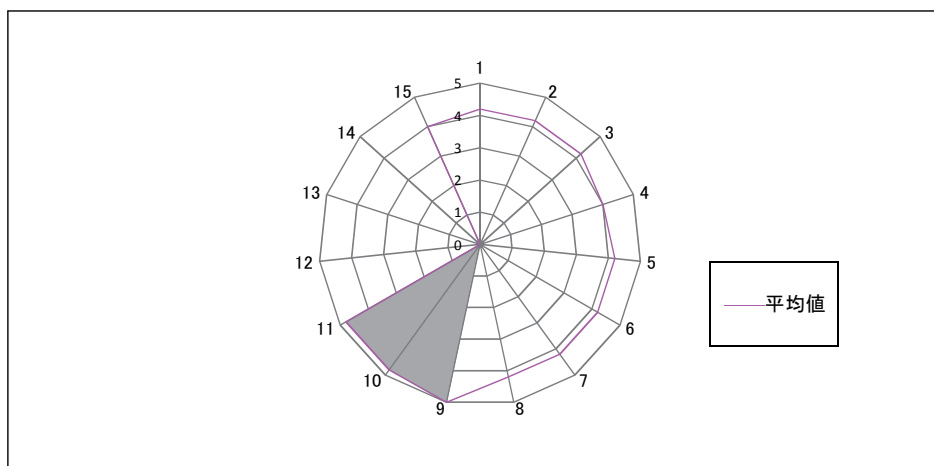
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ピアノⅡ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 森 正

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	2	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	2	0	0	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	2	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	1	1	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	2	0	0	0	4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	2	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	2	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	1	1	0	0	4.0



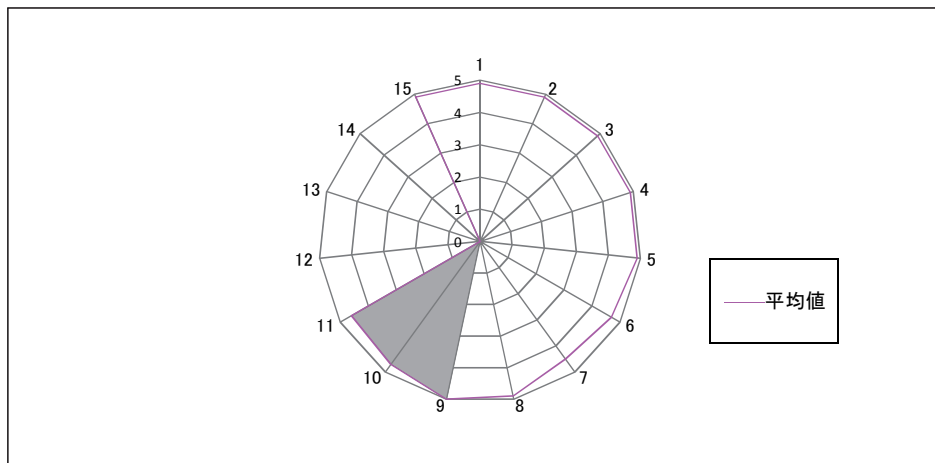
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 素描
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	2	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	0	2	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	0	4.9



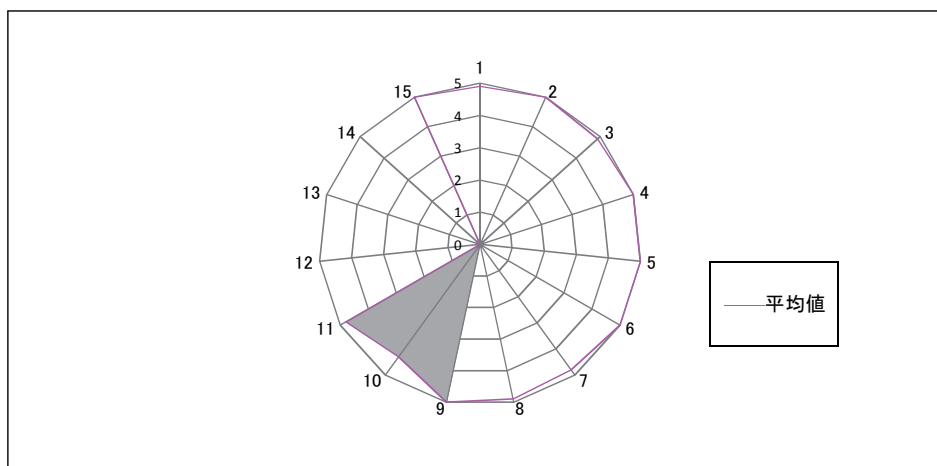
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻 I
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	1	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	0	0	0	1	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	1	5.0



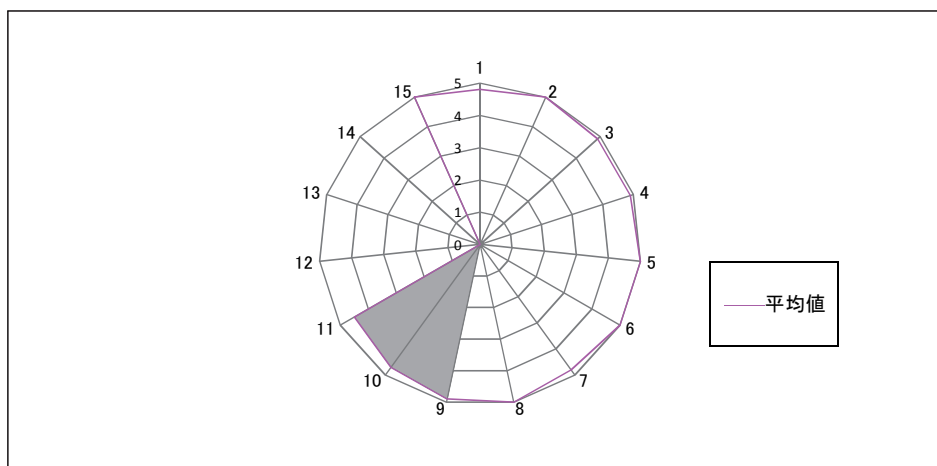
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮法
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 11名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	1	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	2	2	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	0	5.0



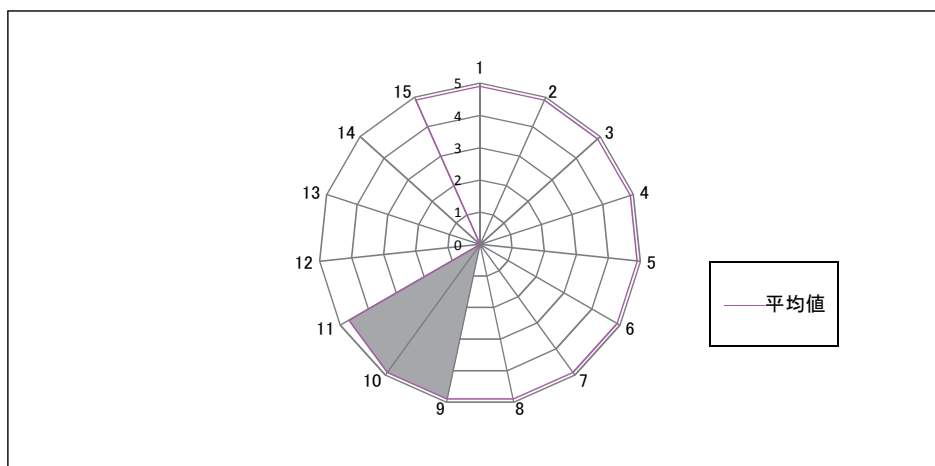
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 指揮 I
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



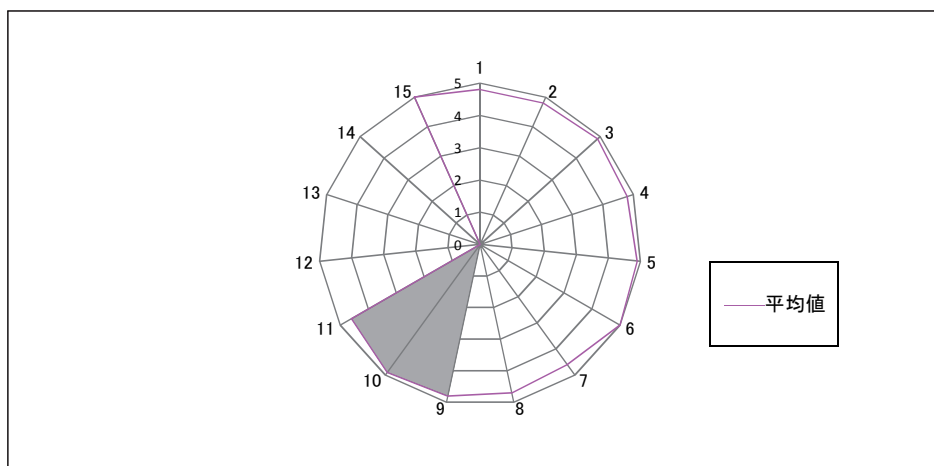
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 合唱
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

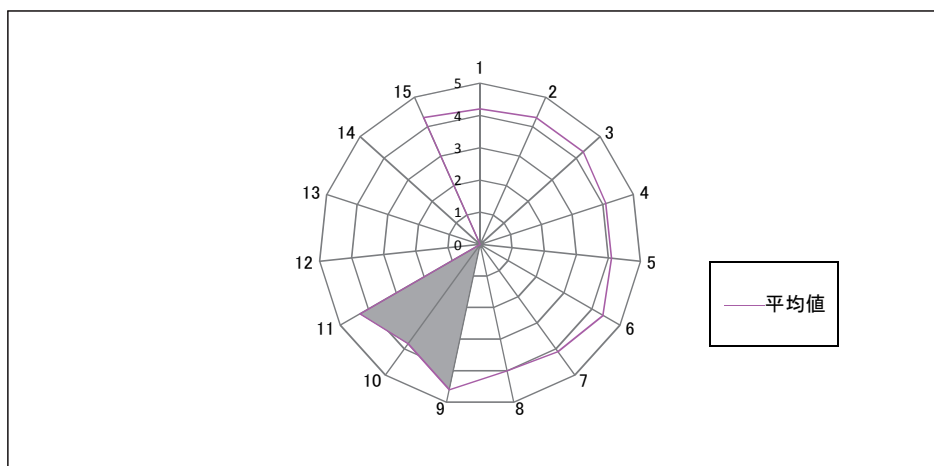
授業科目名 音楽の理論と歴史(作曲法・編曲法及び日本伝統音楽・諸民族音楽を含む。)

評価実施日 平成29年8月25日

担当教員名 松岡 貴史, 片桐 功

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.3
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。						4.1
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。						4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。						4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。						3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。						4.3



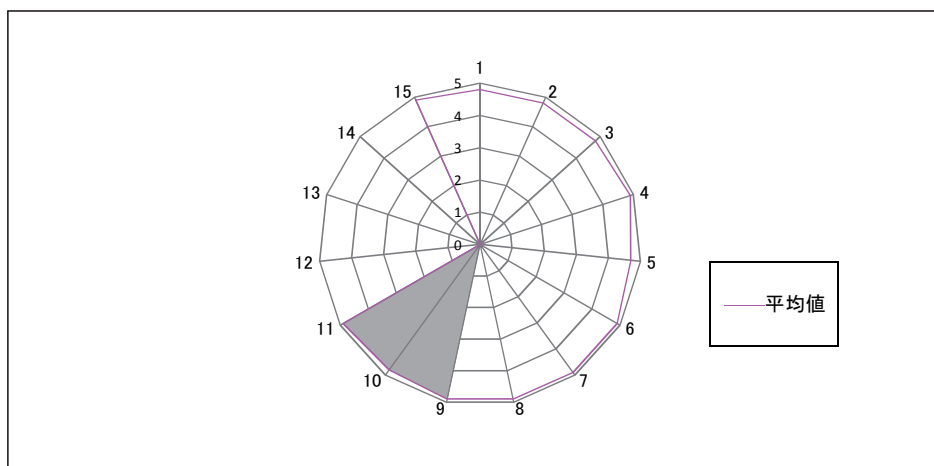
総合評価 4.2

※上記項目の平均値(大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値

授業科目名 音楽通論Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 山田 啓明

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	0	4.9



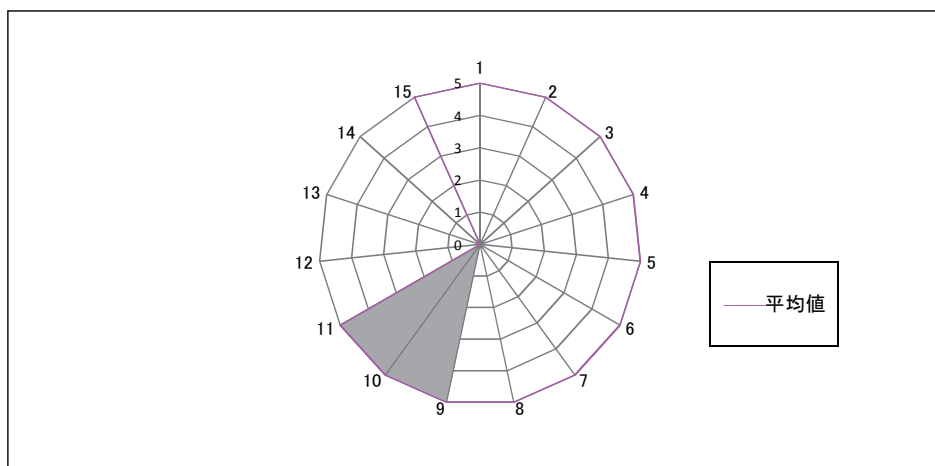
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザインⅡ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 5名

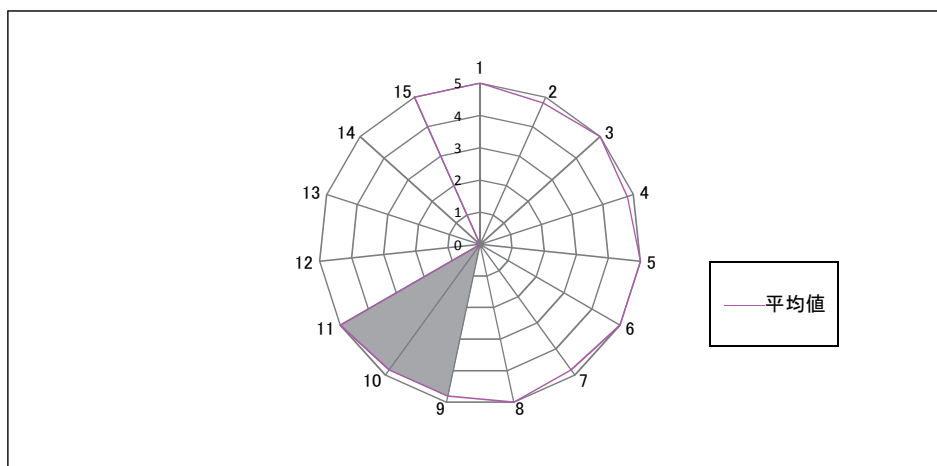
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



授業科目名 構成・デザイン特別演習
 評価実施日 平成30年2月14日
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



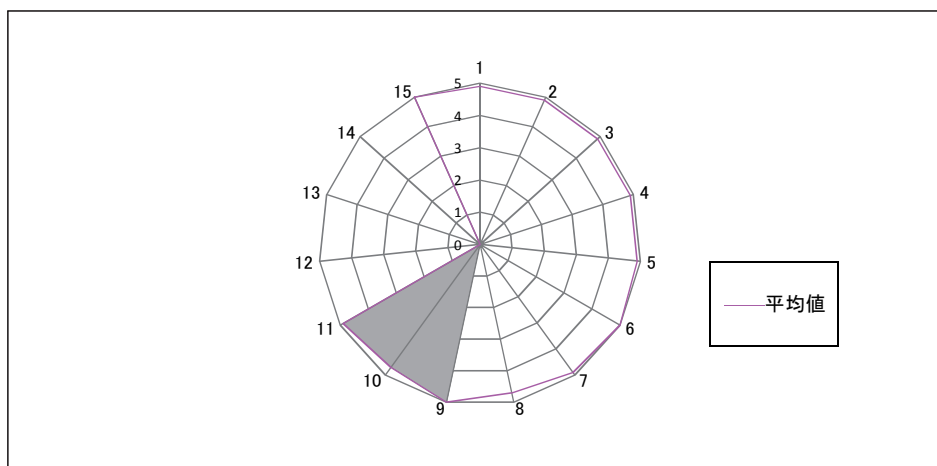
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 作曲法 I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 松岡 貴史

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



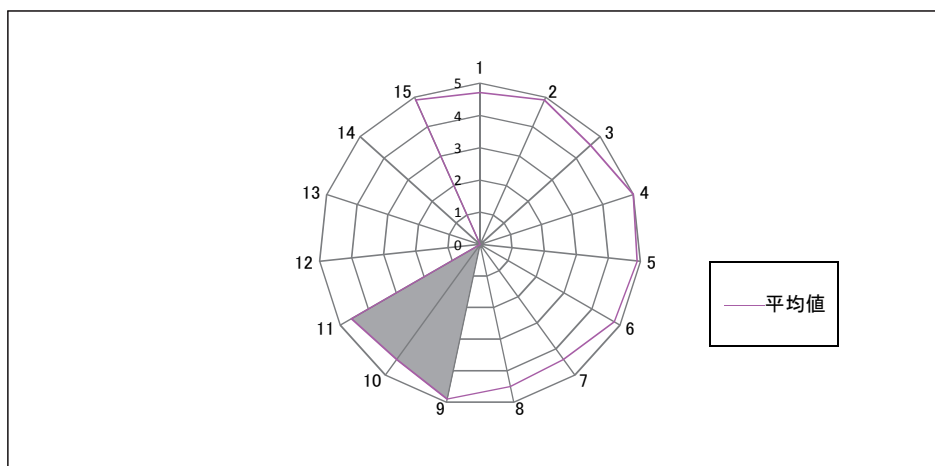
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画 I
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 鈴木 久人

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



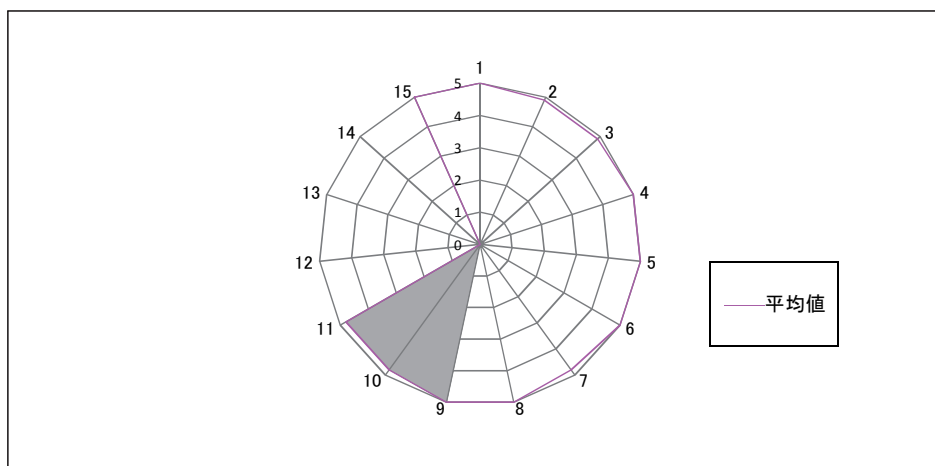
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸 I
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	0	5.0



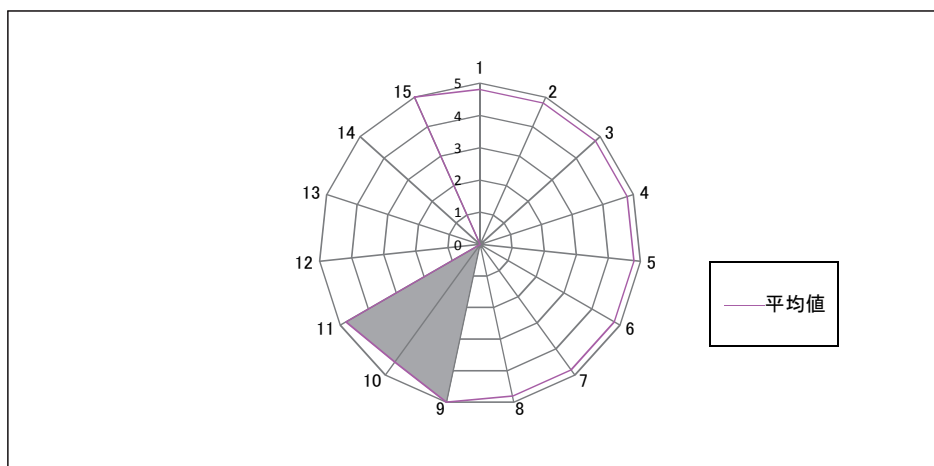
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸材料研究
 評価実施日 平成29年12月24日
 担当教員名 福井 一真

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



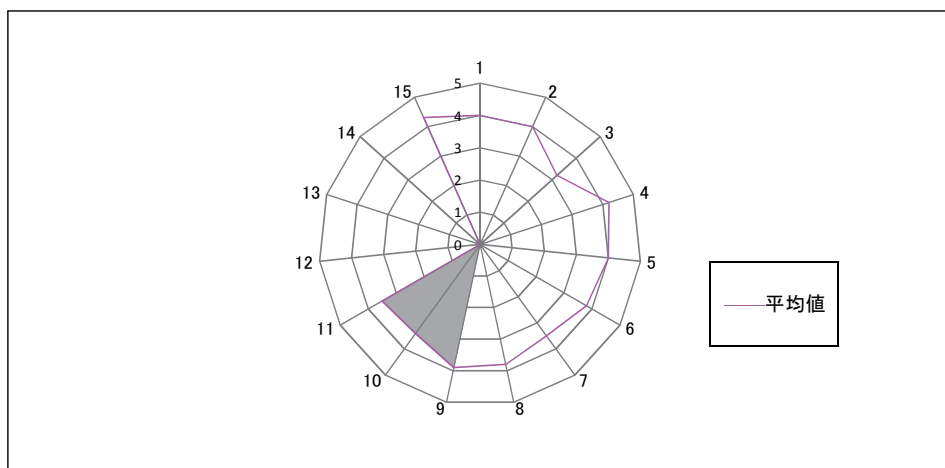
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 美術理論・美術史 I
 評価実施日 平成30年2月20日
 担当教員名 小川 勝

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	6	1	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	6	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	3	1	1	0	3.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	5	1	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	2	0	0	0	4.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	3	2	1	0	0	3.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	3	1	0	0	3.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	4	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	0	2	0	0	3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	0	5	1	0	0	3.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	2	1	1	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	2	0	0	0	4.3



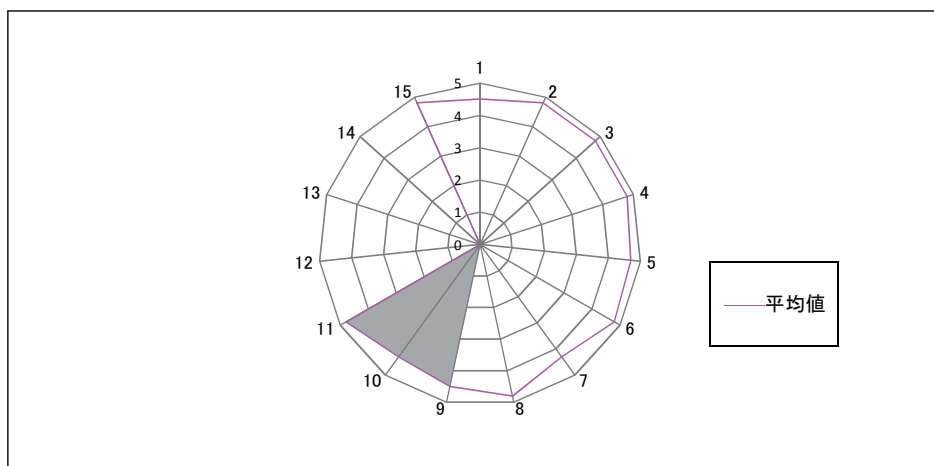
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 絵画特別演習Ⅱ
 評価実施日 平成29年8月3日
 担当教員名 鈴木 良治

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	0	0	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



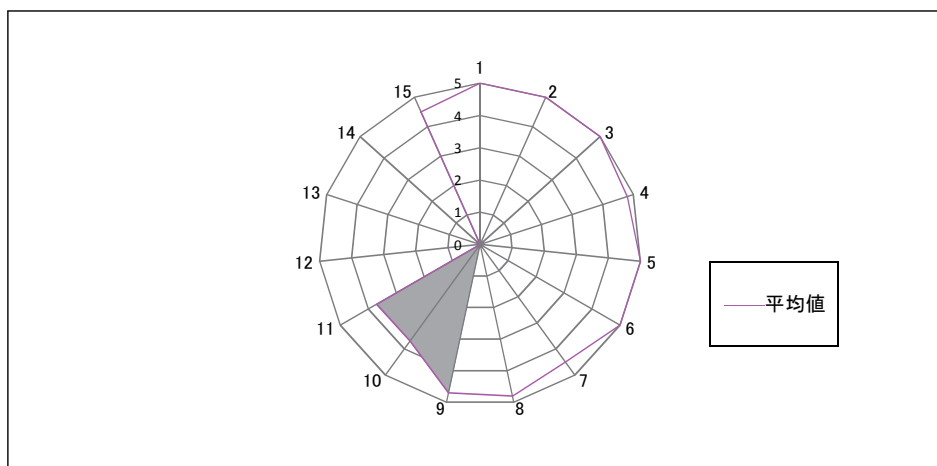
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	1	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	1	0	1	0	1	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	2	0	0	1	3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



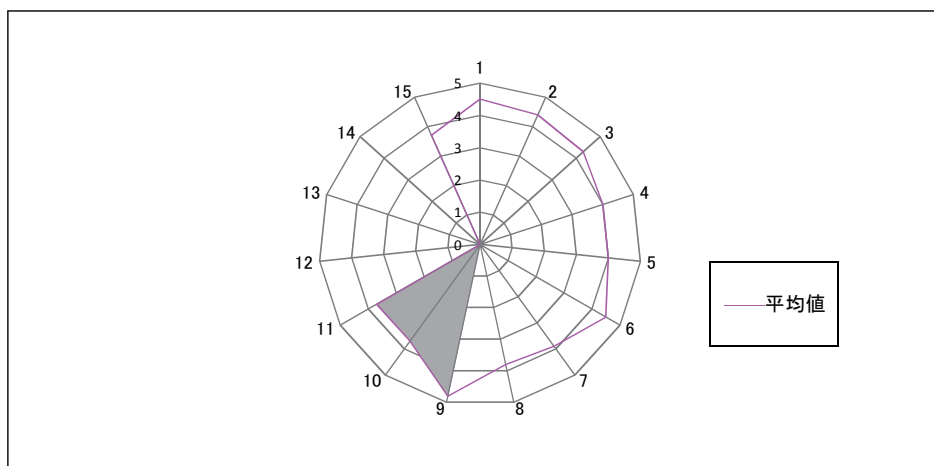
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育社会学Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 木原 資裕

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.7



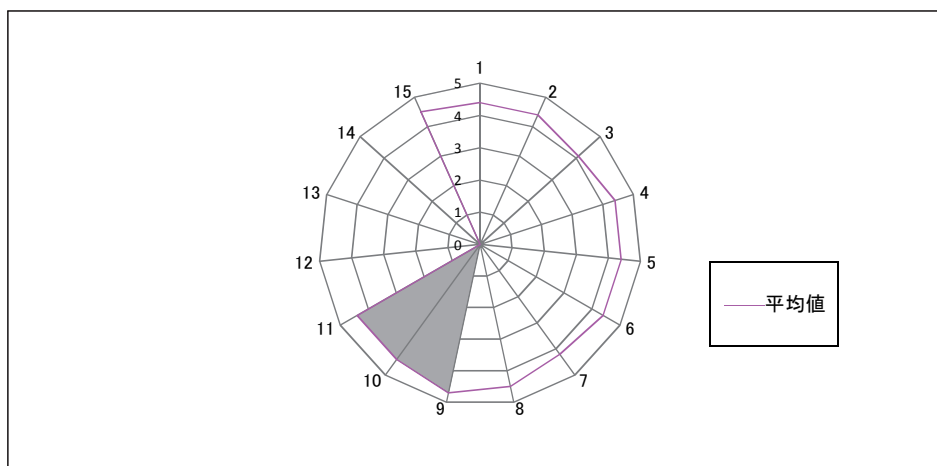
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 運動学 I・II
 評価実施日 平成30年1月22日
 担当教員名 乾 信之

回答者数 16名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	8	0	1	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	5	1	0	1	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	4	2	1	1	0	4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	5	1	0	1	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	5	1	0	1	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	10	3	2	1	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	5	0	3	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	6	0	1	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	5	0	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	8	1	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	5	1	1	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	5	0	1	0	0	4.5



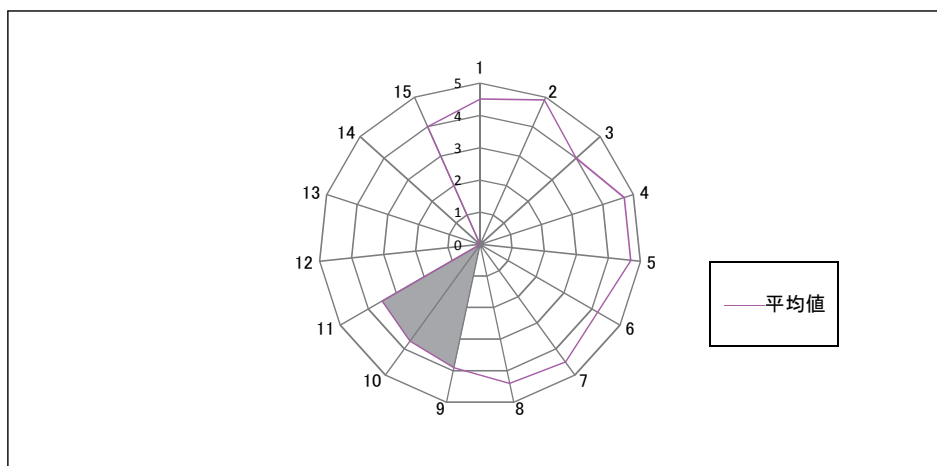
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻材料研究
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 三原 敏文

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



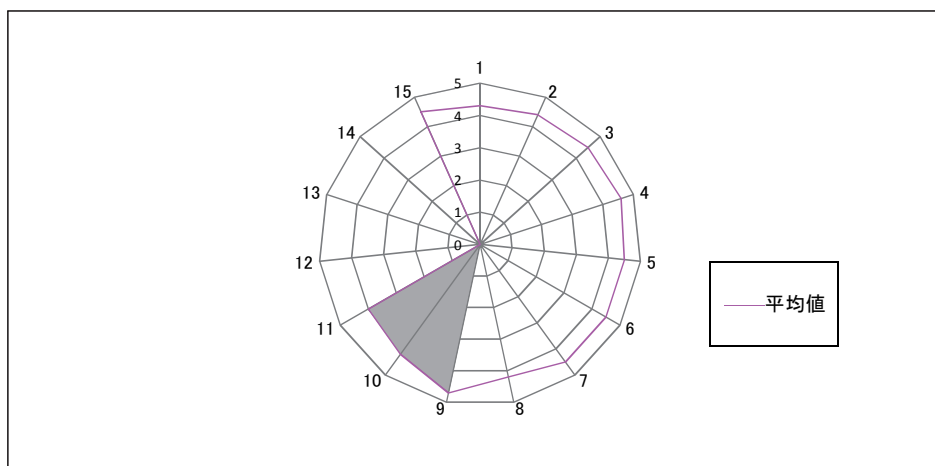
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 生理学 I・II
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 田中 弘之

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



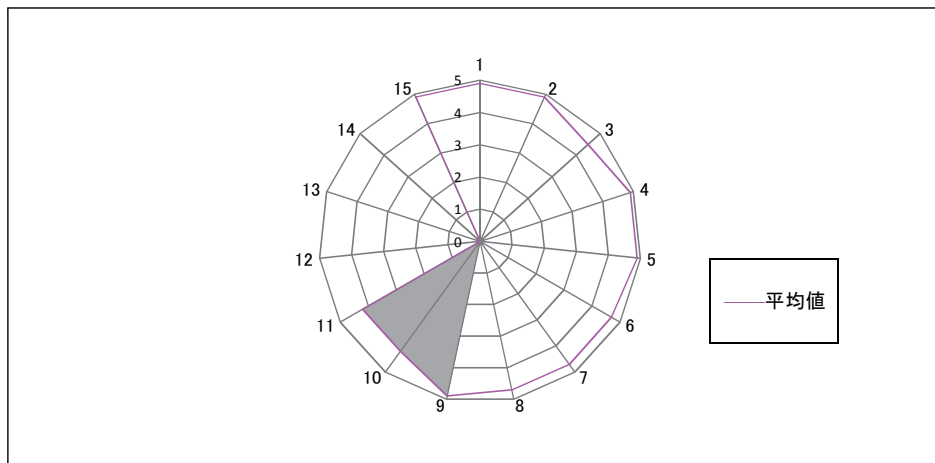
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 彫刻特別演習
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 野崎 窮

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



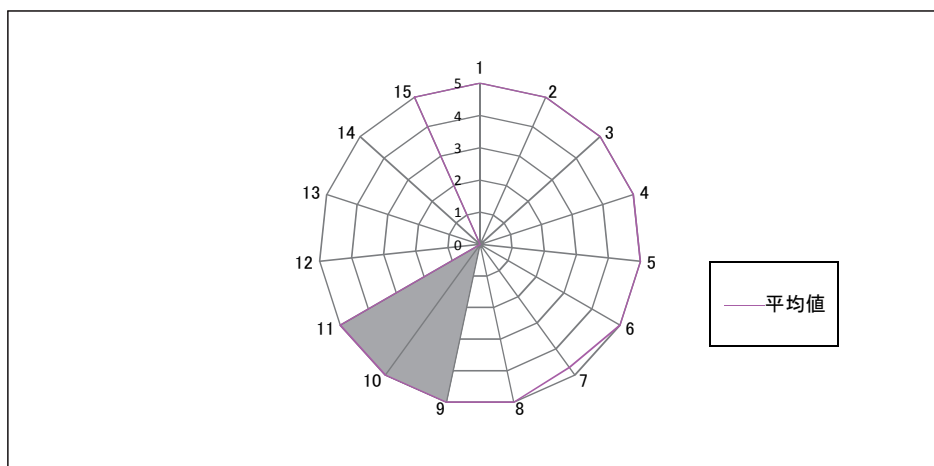
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 内藤 隆

回答者数 11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	11	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	4	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	1	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	1	5.0



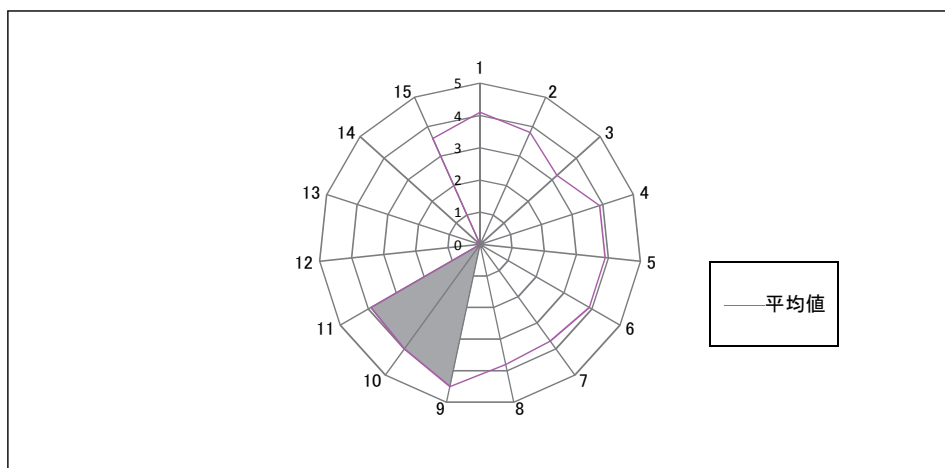
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 15名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	10	2	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	7	4	1	0	0	3.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	6	2	3	2	0	3.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	7	2	2	0	0	3.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	7	3	1	0	1	3.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	7	3	1	0	1	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	6	3	1	1	1	3.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	5	5	1	0	1	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	4	2	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	7	4	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	4	5	1	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	5	5	2	0	0	3.6



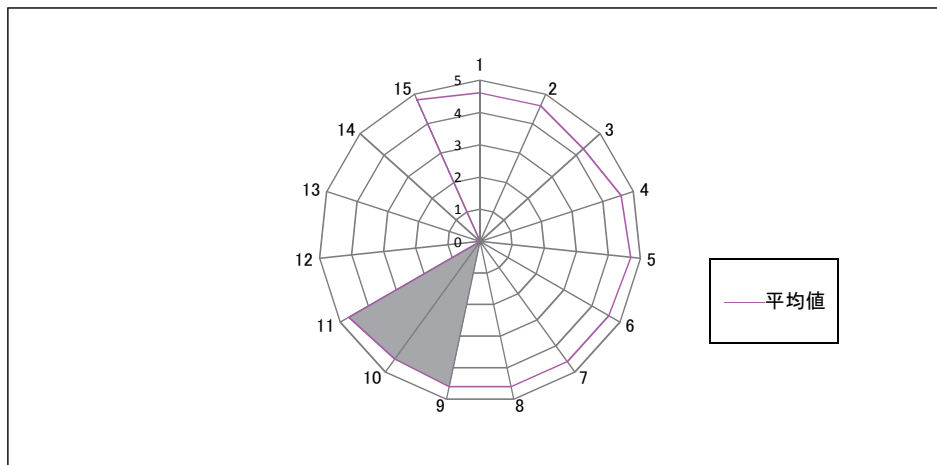
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工業材料概論
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



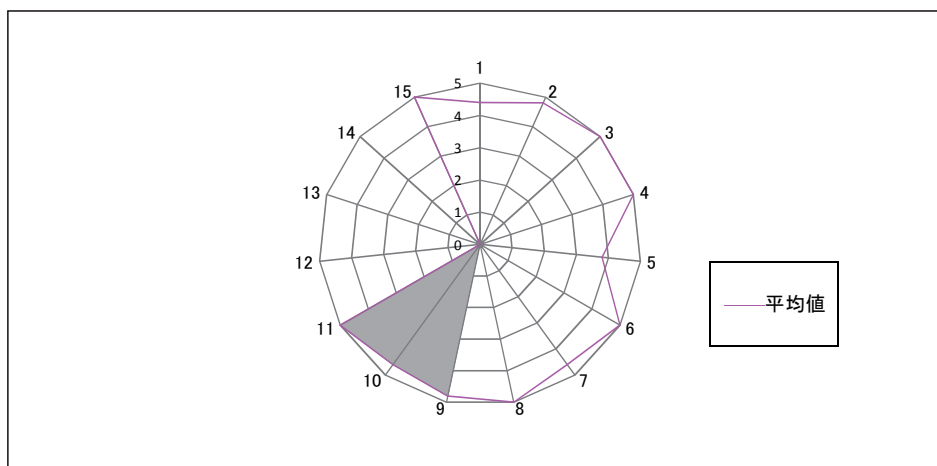
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 構成・デザイン材料研究
 評価実施日 平成29年7月18日
 担当教員名 岡田 実

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	3	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



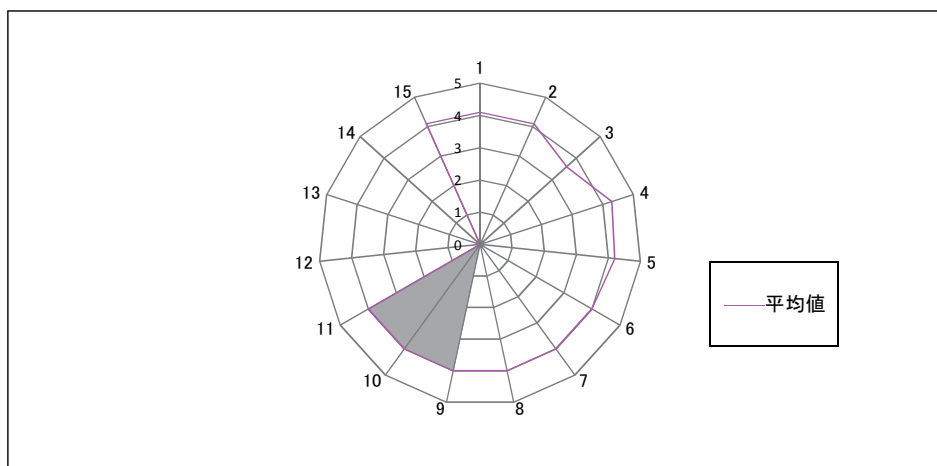
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械基礎(実習を含む。)
 評価実施日 平成30年2月8日
 担当教員名 宮下 晃一

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	5	2	0	0	0	4.1
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	2	0	0	0	4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	4	5	0	0	0	3.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	2	0	0	0	4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	2	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	4	3	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	4	3	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	4	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	4	3	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	4	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	6	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	3	3	0	0	0	4.1



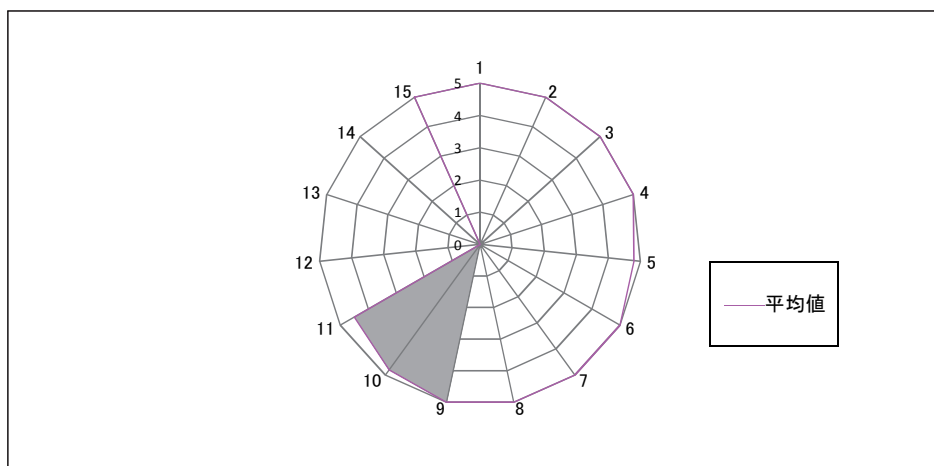
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 工芸Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	0	5.0



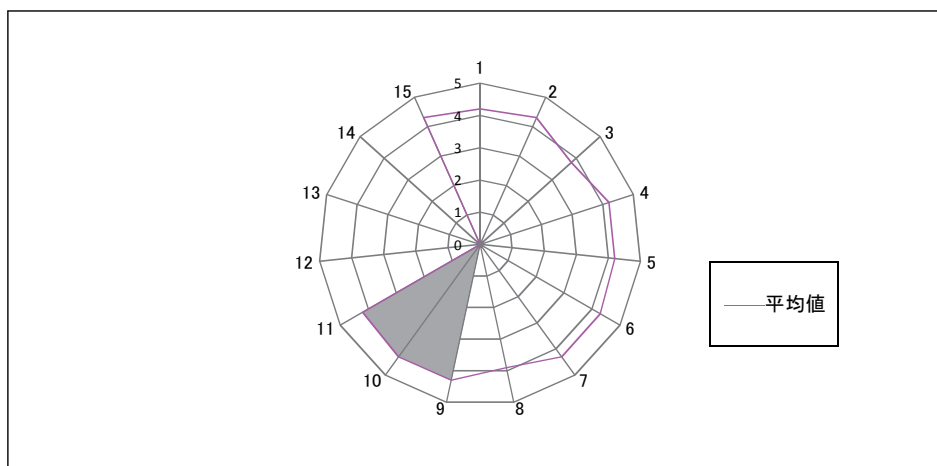
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械の力学 I
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 宮下 晃一, 米延 仁志

回答者数 9名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	6	1	0	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	1	0	0	0	4.3
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	4	0	0	0	3.8
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	2	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	6	1	0	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	4	3	2	0	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	5	1	0	0	0	4.3
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	3	2	1	0	0	3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	3	2	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	4	3	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	8	0	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	6	0	0	0	1	4.3



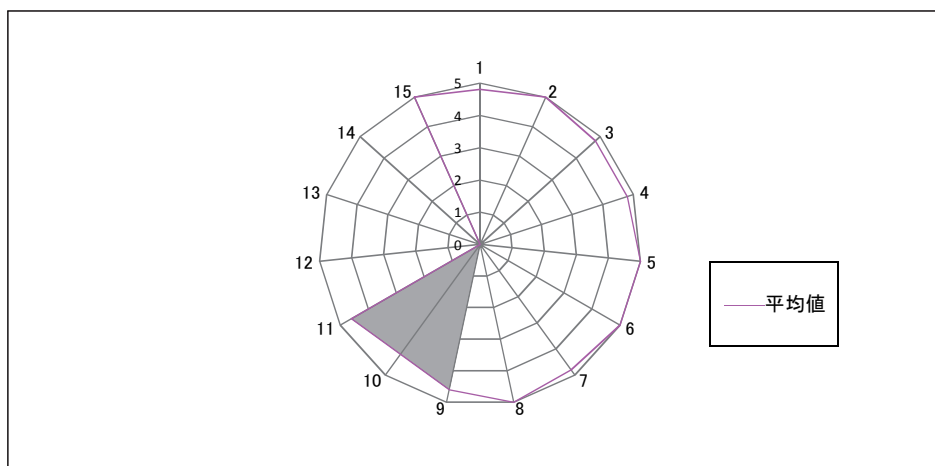
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 工芸特別演習
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 栗原 慶

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



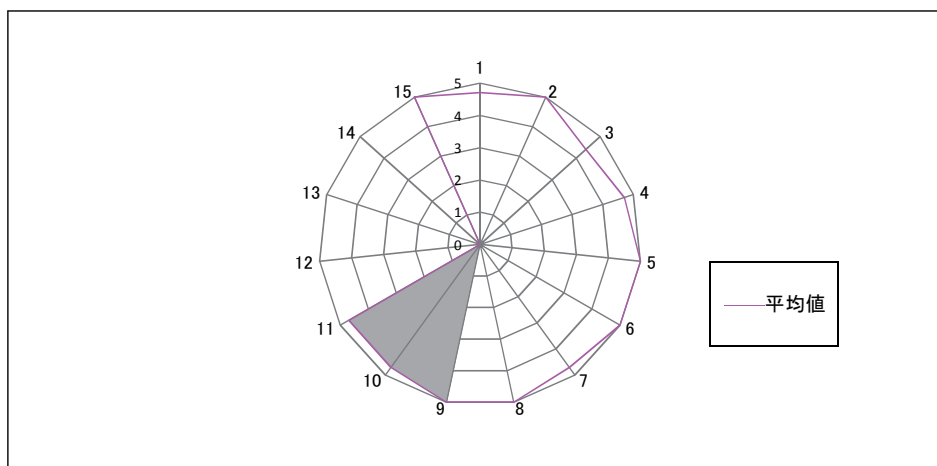
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械工学演習
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 長谷崎 和洋, 草野 剛嗣

回答者数 3名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	2	1	0	0	0	0	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	0	5.0



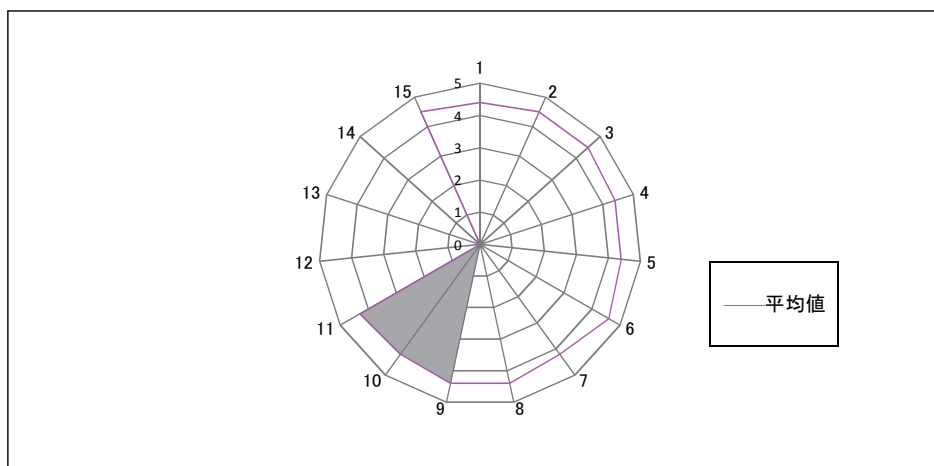
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 電気基礎(実習を含む。)
 評価実施日 平成30年2月5日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 18名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.5



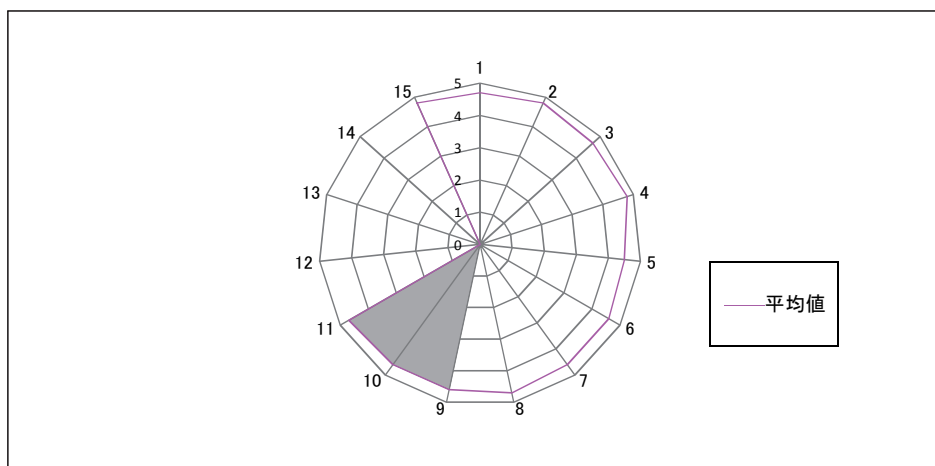
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 武道実習 I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 木原 資裕

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	2	1	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	1	0	0	1	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	4	0	0	0	1	4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	0	0	1	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



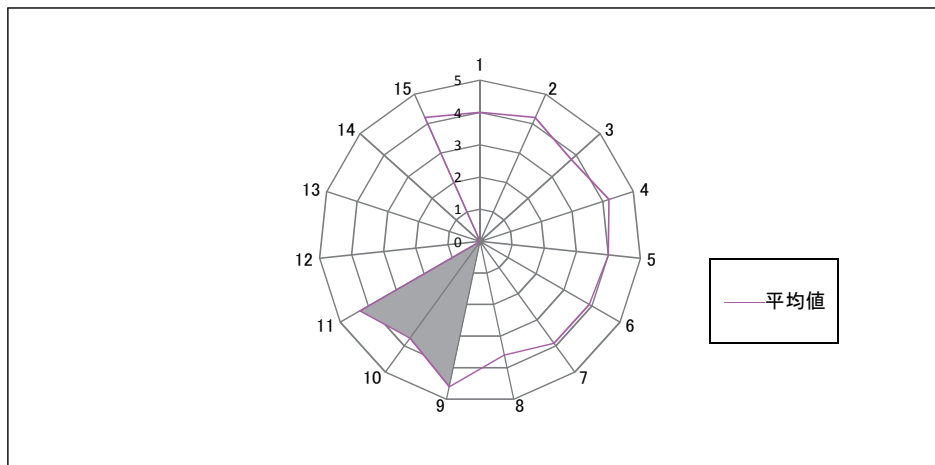
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 体育心理学 I・II
 評価実施日 平成29年7月6日
 担当教員名 乾 信之

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.2



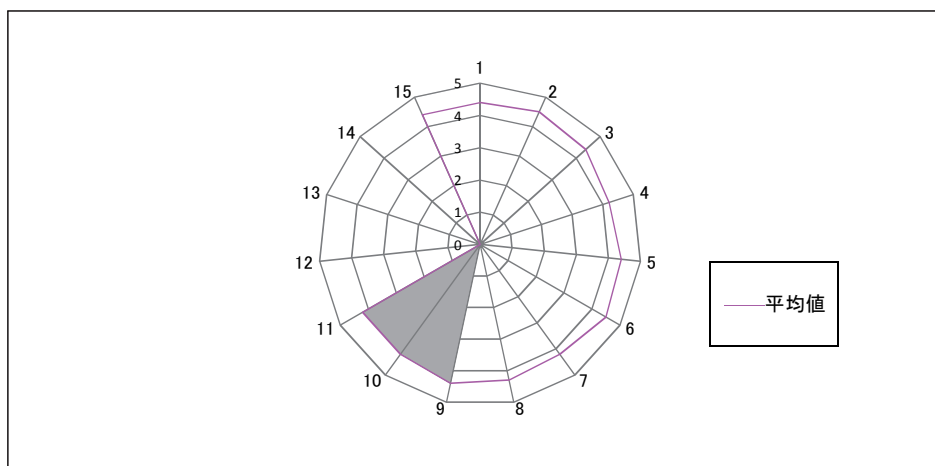
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 バイオメカニクス
 評価実施日 平成29年7月20日
 担当教員名 松井 敦典

回答者数 13名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	4	2	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	5	2	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	7	2	0	0	0	4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	8	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	5	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	6	1	1	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	4	1	0	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	4	1	1	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	5	3	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	5	3	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	7	1	0	0	0	4.4



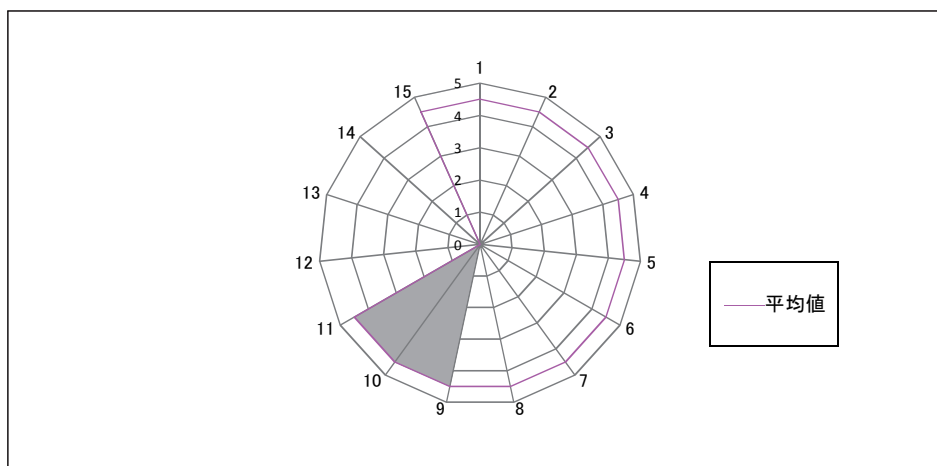
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 職業指導
 評価実施日 平成29年12月25日
 担当教員名 城 仁士

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



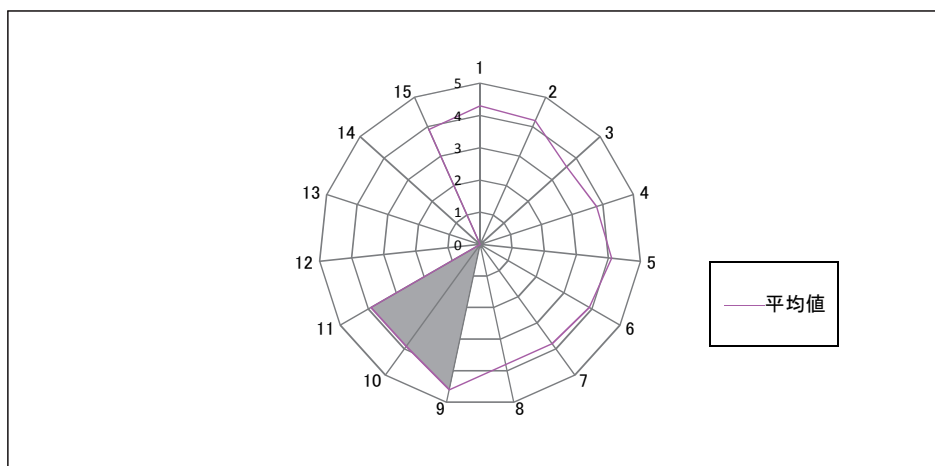
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健 I
 評価実施日 平成29年8月29日
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.9



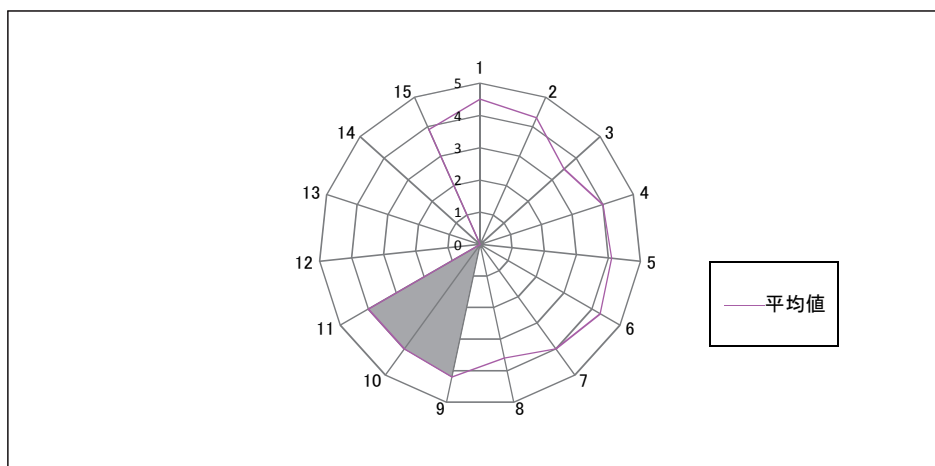
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校保健Ⅱ
 評価実施日 平成29年8月31日
 担当教員名 宮本 賢作

回答者数 14名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	5	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	7	2	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	3	3	1	0	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	5	0	0	1	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	3	1	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	4	2	1	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	6	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	3	1	2	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	4	2	0	1	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	6	1	1	1	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	5	1	1	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	4	2	0	0	3.9



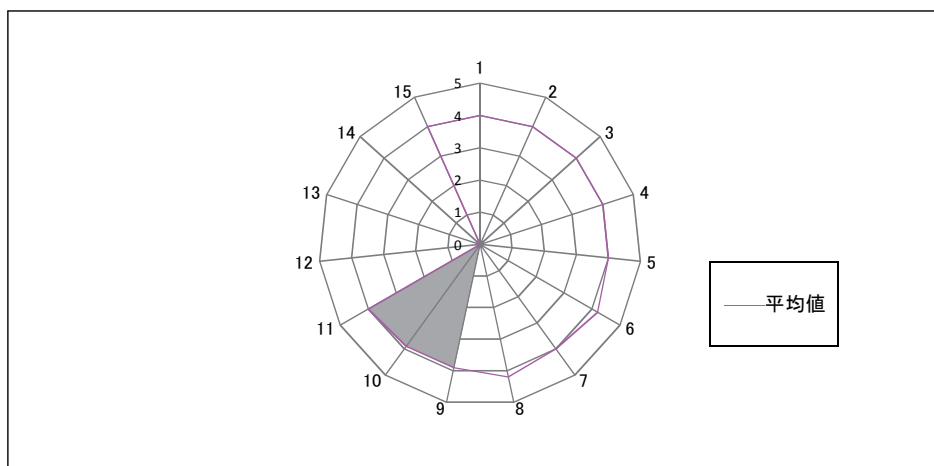
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 ソフトウェア演習(実習を含む。)
 評価実施日 平成30年2月23日
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						3.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



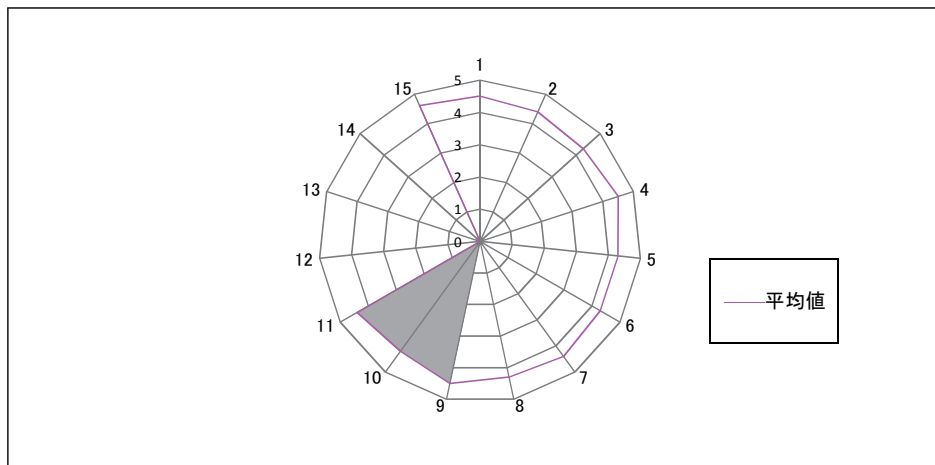
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 材料加工学 I
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 尾崎 士郎, 米延 仁志

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	10	8	1	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	9	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	9	3	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	10	7	2	0	0	0	4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	6	4	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	8	8	3	0	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	8	1	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	6	3	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	11	7	0	1	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	5	12	1	1	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	5	1	1	0	3	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	12	5	2	0	0	0	4.6



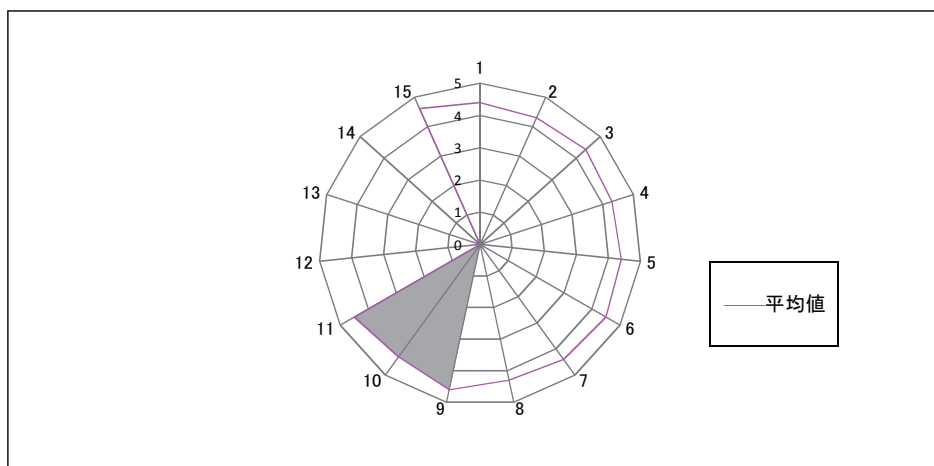
総合評価 4.4

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 材料加工学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月29日
 担当教員名 米延 仁志

回答者数 19名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	8	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	3	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	9	2	0	0	0	4.4
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	8	3	0	0	0	4.3
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	9	2	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	9	1	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	10	1	0	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	10	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	9	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	10	2	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	9	0	0	0	1	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	11	7	1	0	0	0	4.6



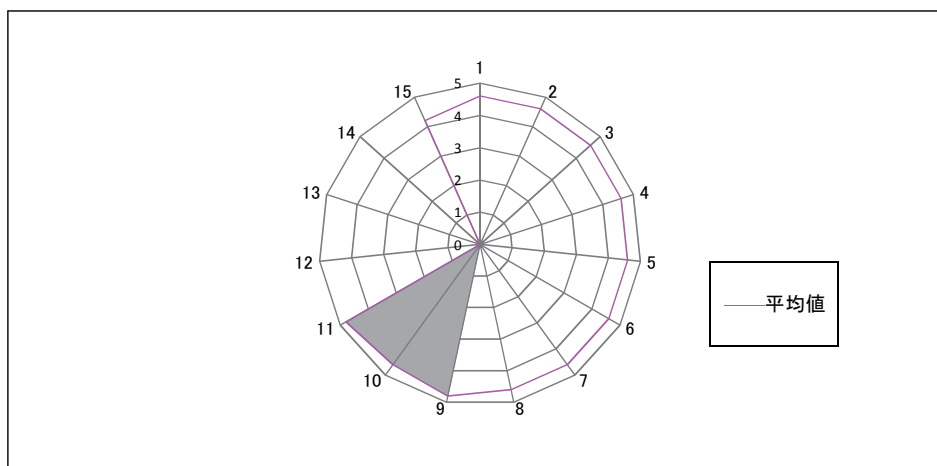
総合評価 4.4

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 制御情報処理(実習を含む。)
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	1	1	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	1	0	4.2



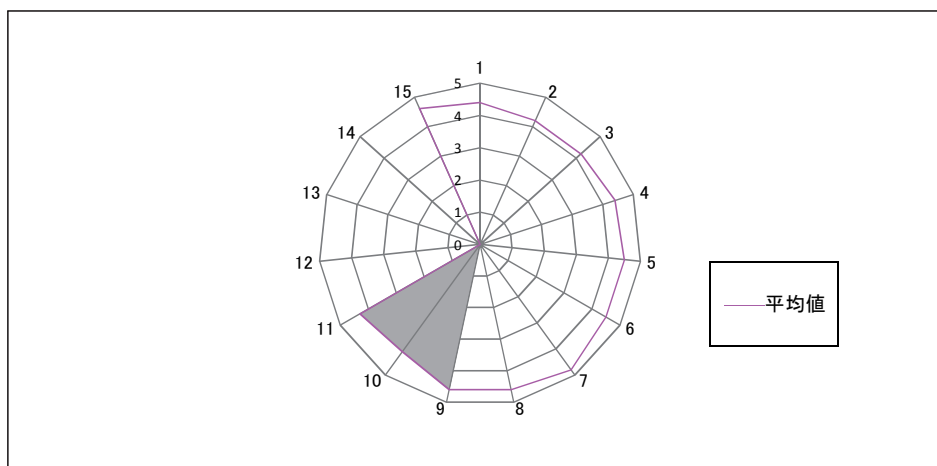
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 機械の力学Ⅱ
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 長谷崎 和洋, 草野 剛嗣

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	6	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	6	1	0	0	0	4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	6	1	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	6	0	0	0	1	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	5	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	5	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	1	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	4	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	3	0	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	5	1	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	0	0	0	0	4.6



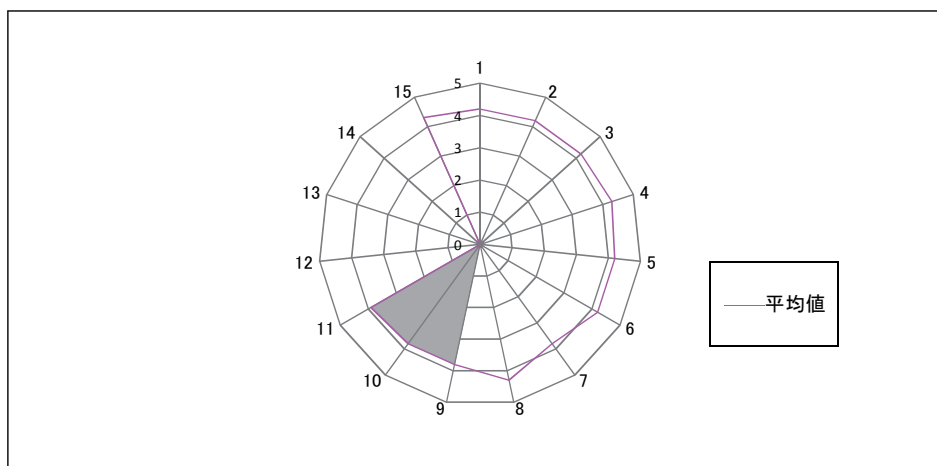
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報システム(実習を含む。)
 評価実施日 平成30年2月23日
 担当教員名 伊藤 陽介, 宮本 賢治

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1		N.A
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	4	0	1	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	0	1	0	0	4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	4	0	1	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	1	0	0	4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	0	1	0	0	4.2
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	4	0	1	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	0	2	0	0	3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	1	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	3	2	1	0	0	3.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	5	1	1	0	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	5	2	0	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	3	0	1	0	0	4.3



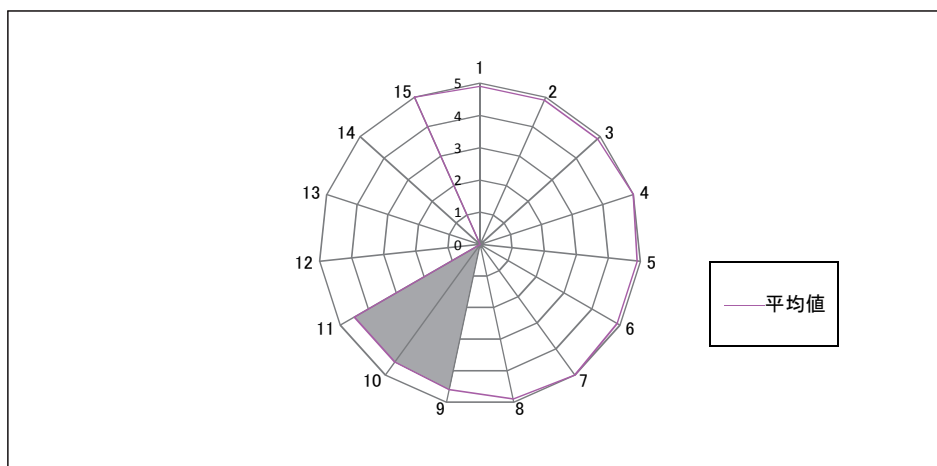
総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報ネットワーク演習(実習を含む。)
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 曾根 直人

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	2	1	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

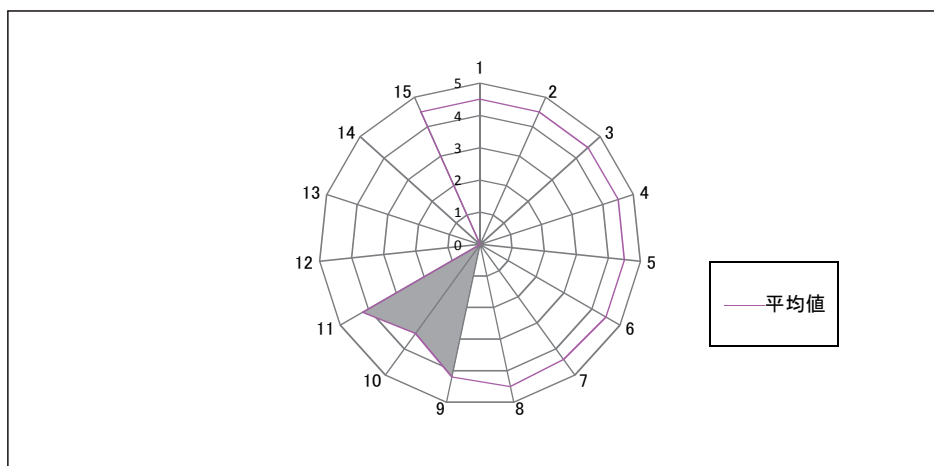
授業科目名 マルチメディアと教育技術(実習を含む。)

評価実施日 平成29年12月21日

担当教員名 宮崎 英一

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	3	0	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	0	1	1	0	3.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	0	4.5



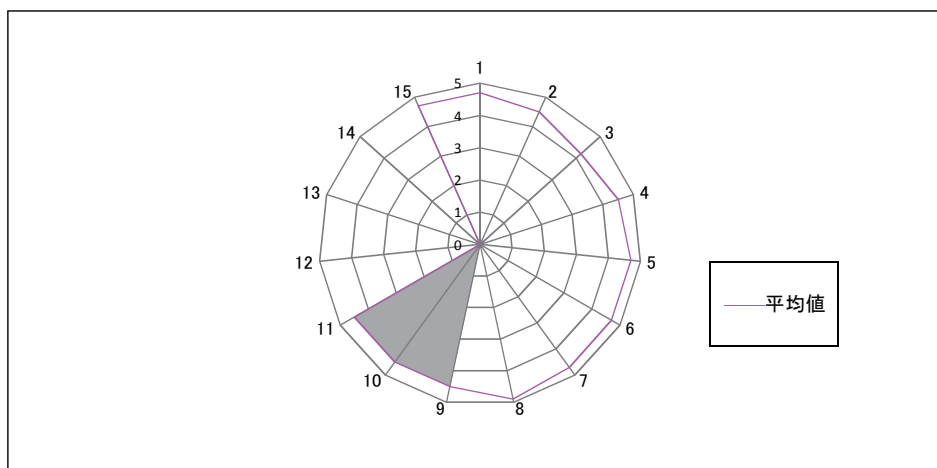
総合評価	4.5
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電気工学
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	0	4.7



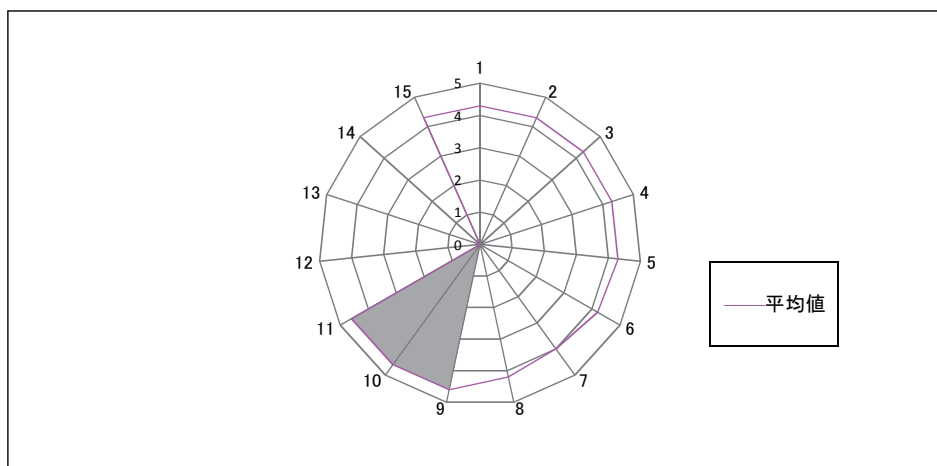
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 マルチメディアとシミュレーション
 評価実施日 平成30年2月5日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	0	0	1	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	3	0	0	1	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	1	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	2	0	1	0	0	4.3



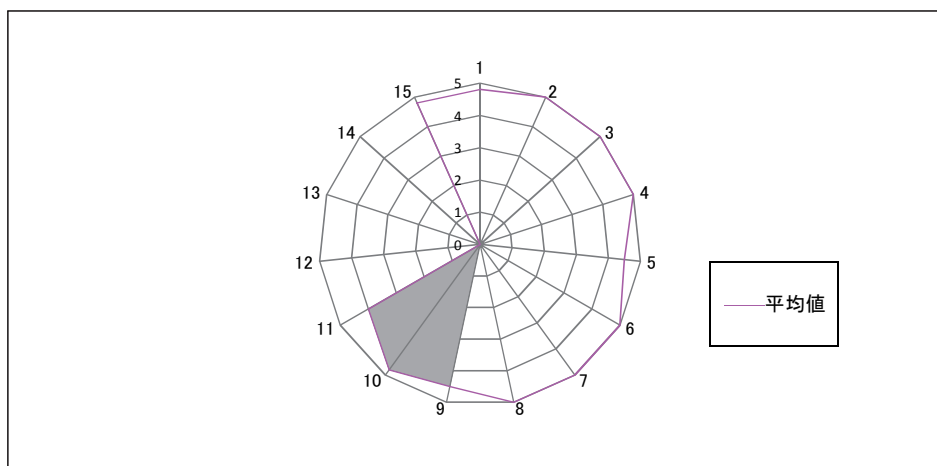
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 消費者経済学
 評価実施日 平成30年2月6日
 担当教員名 坂本 有芳

回答者数 4名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	0	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	0	4.8



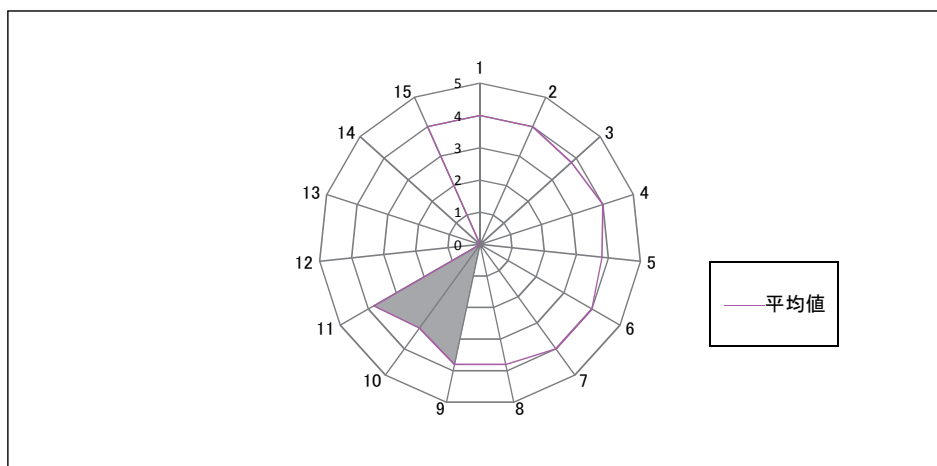
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 電子工学
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 宮本 賢治

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	2	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	2	2	0	0	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	4	1	0	0	0	3.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	2	2	1	0	0	3.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	4	1	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	3	1	0	0	0	4.0



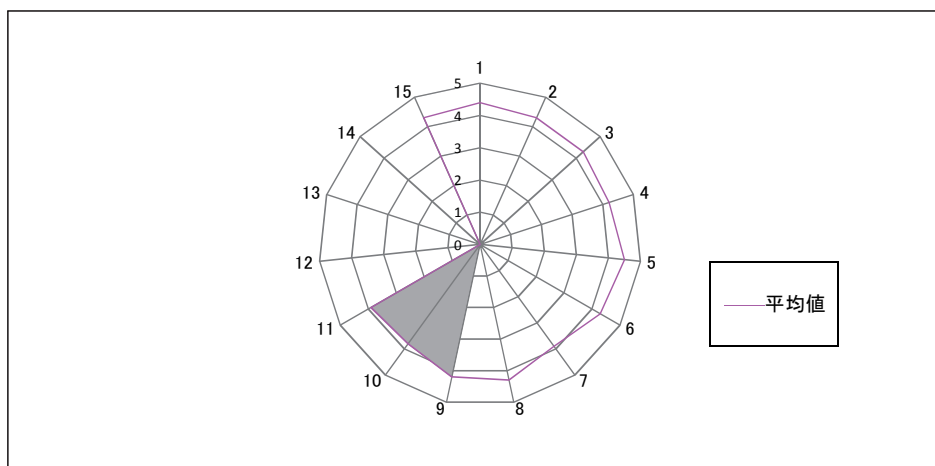
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報技術基礎(実習を含む。)
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 17名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	7	2	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	9	2	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	5	4	0	0	0	4.3
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	10	2	0	0	0	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	3	0	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	6	3	0	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	7	2	3	0	0	3.9
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	8	2	0	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	6	3	1	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	7	7	0	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	6	7	0	0	0	3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	8	2	0	0	0	4.3



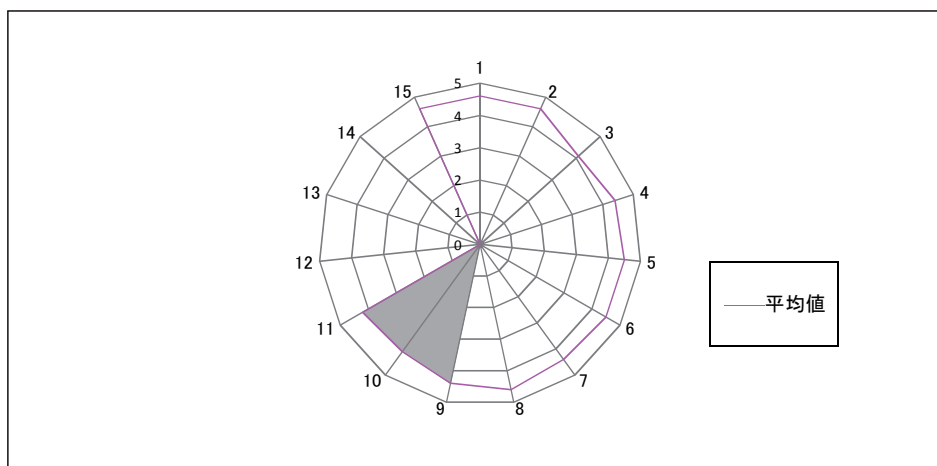
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報処理
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 13名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	6	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	5	2	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	4	2	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	2	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	2	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	4	2	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	0	1	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	5	2	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	5	2	1	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	6	1	1	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	4	1	0	0	0	4.6



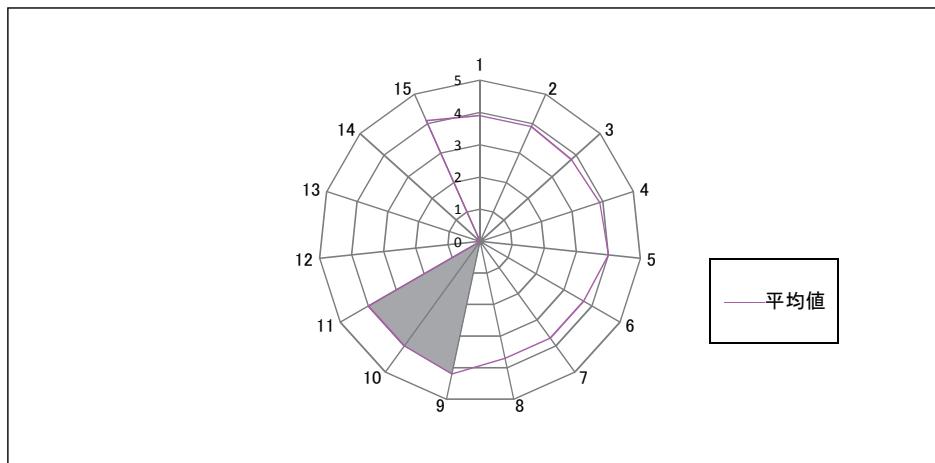
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 栽培(実習を含む。)
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 金磯 泰雄

回答者数 23名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	8	3	0	3	0	3.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	9	3	0	3	0	3.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	10	3	0	3	0	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	10	2	0	3	0	3.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	10	7	3	0	3	0	4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	5	5	1	3	0	3.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	8	3	2	3	0	3.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	7	4	1	3	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	8	4	1	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	9	8	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	9	6	1	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	8	3	0	2	0	4.1



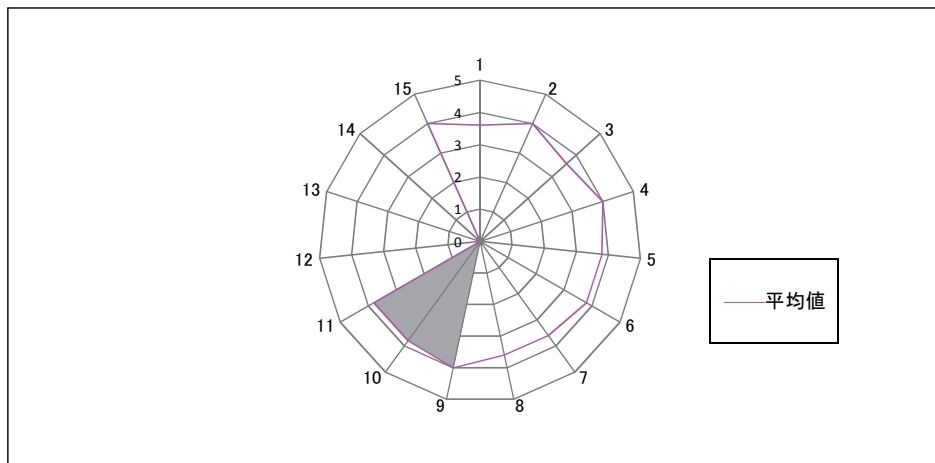
総合評価 3.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報社会と情報倫理
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 金西 計英

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	3	2	0	0	0	3.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	3	2	0	0	0	3.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	3	0	0	0	3.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	3	0	0	0	3.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	3	0	0	0	3.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	2	0	0	0	4.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	2	2	0	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	1	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	1	2	0	0	0	4.0



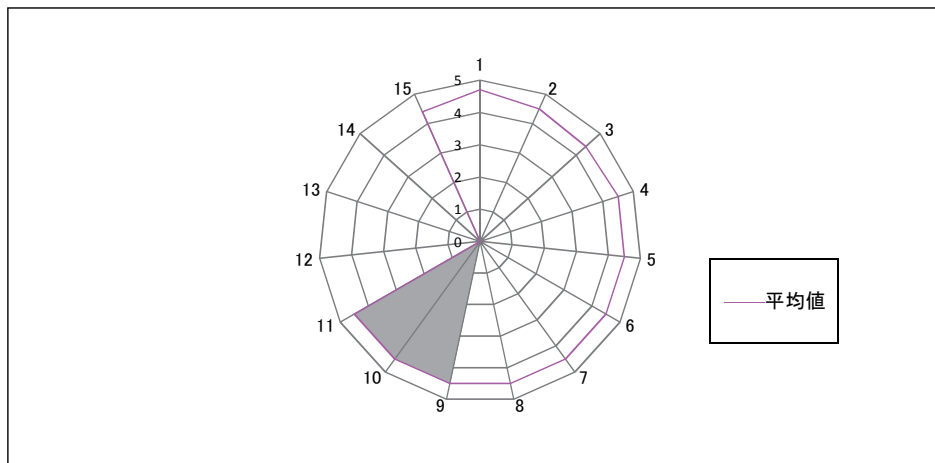
総合評価 **3.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭経営学演習
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 坂本 有芳

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	4	0	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	6	1	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	5	1	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	5	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	2	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	6	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	7	0	0	0	0	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	2	0	0	0	4.4



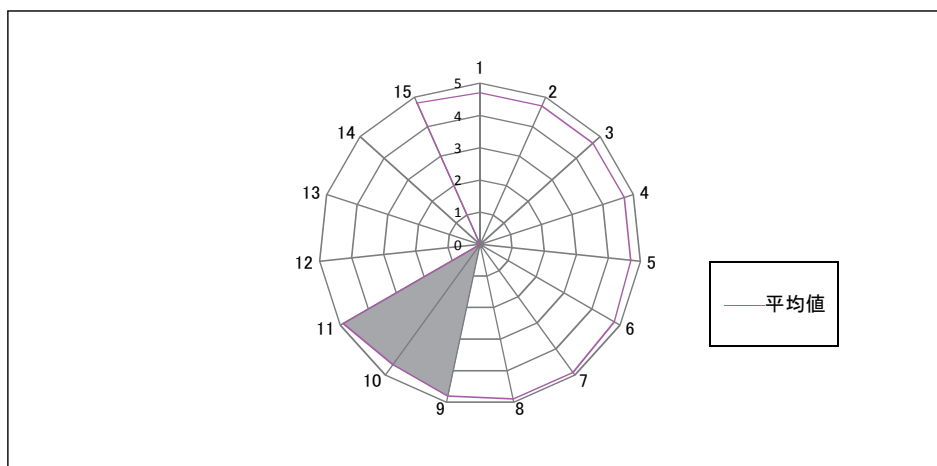
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 衣生活学
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 10名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	1	0	0	0	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	9	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	0	1	0	0	0	4.8



総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

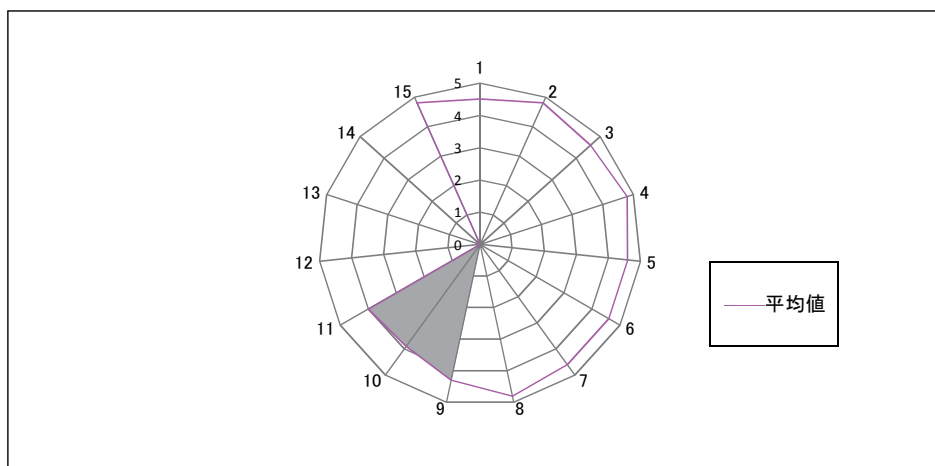
授業科目名 情報エレクトロニクスとコンピュータ

評価実施日 平成29年7月24日

担当教員名 宮本 賢治, 伊藤 陽介

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	2	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	2	3	1	1	0	0	3.9
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	1	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	2	4.8



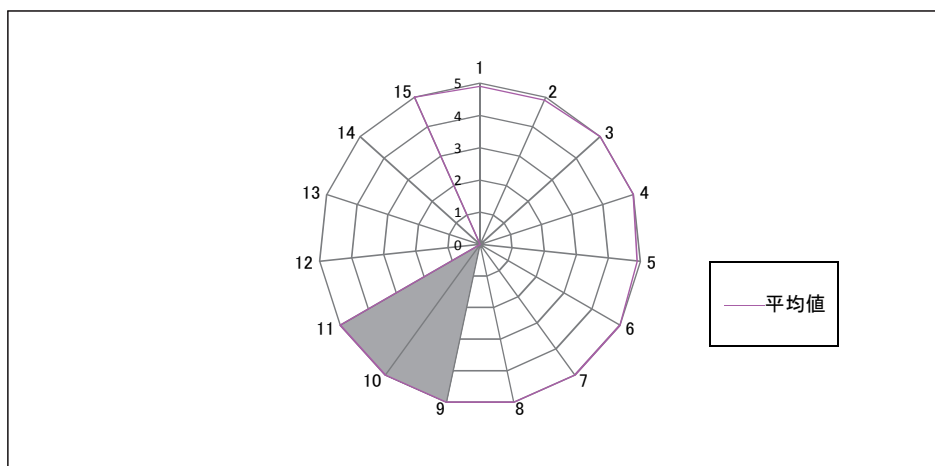
総合評価	4.7
------	-----

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 被服学実験
 評価実施日 平成30年1月31日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



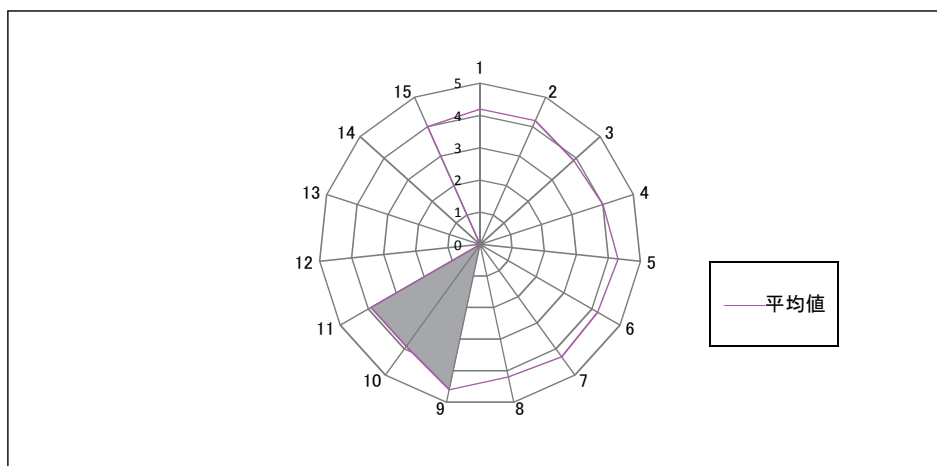
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報回路(実習を含む。)
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



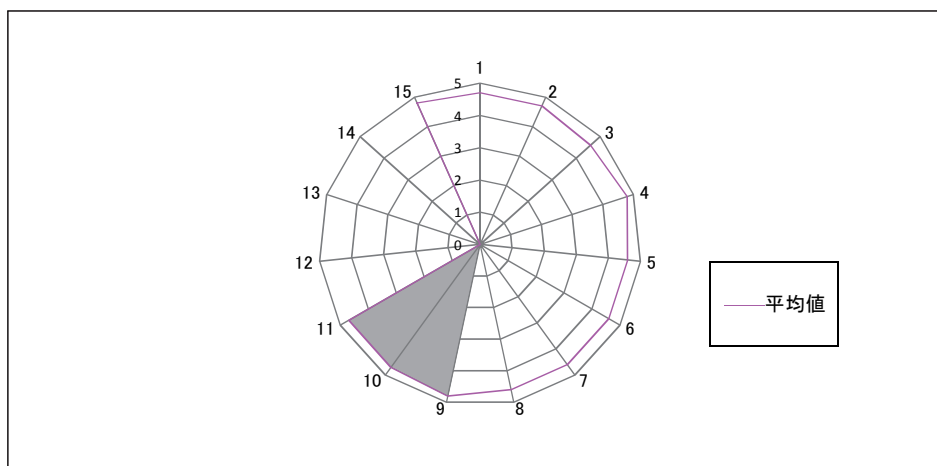
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住居学概論(製図を含む。)
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 金 貞均

回答者数 10名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	8	1	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	6	4	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	0	2	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	4	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	3	0	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	1	0	0	0	4.7
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	0	4.8



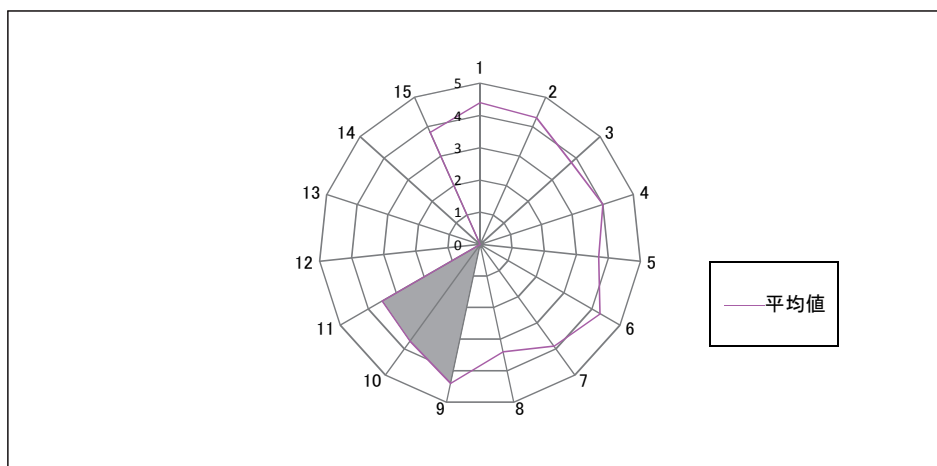
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭電気・機械及び情報処理
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 山本 耕司

回答者数 8名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	2	0	1	0	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	2	0	0	1	4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	1	4	2	1	0	0	3.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	2	2	0	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	2	1	0	0	3.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	3	2	2	0	0	3.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	1	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	4	0	0	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	5	0	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	4	0	2	0	0	3.8



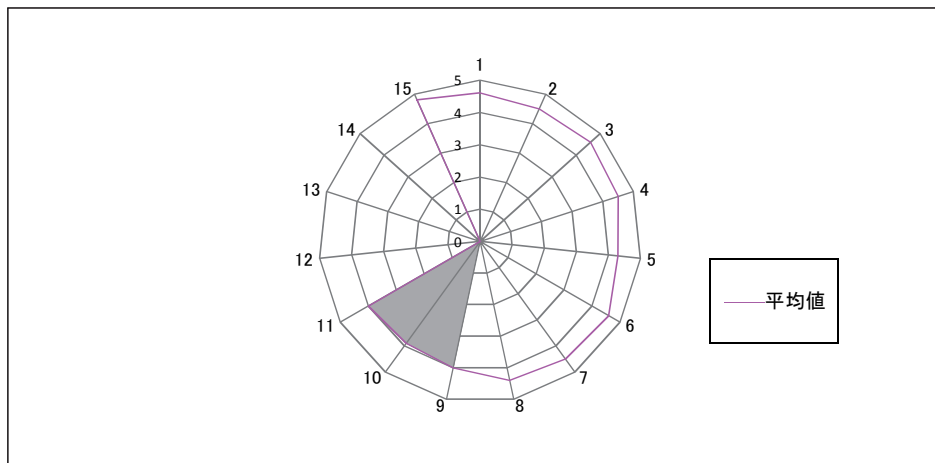
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報技術(実習を含む。)
 評価実施日 平成29年7月25日
 担当教員名 伊藤 陽介

回答者数 9名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	1	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	1	0	0	4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	0	1	0	0	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	4	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	2	0	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	1	0	0	4.4
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	5	2	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	4	3	0	0	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	5	2	0	0	0	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	1	4.8



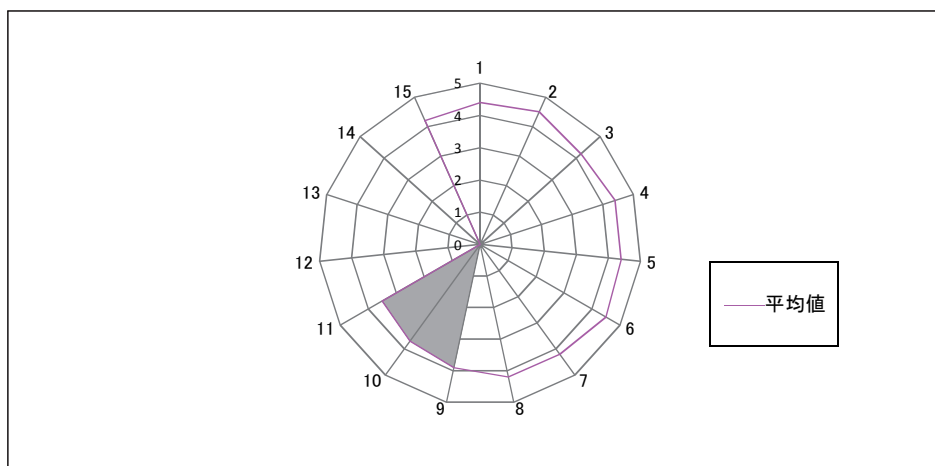
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報通信(実習を含む。)
 評価実施日 平成29年7月4日
 担当教員名 菊地 章

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	5	0	0	0	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	4	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	5	0	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	3	2	0	0	0	3.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	1	1	0	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	2	1	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	5	0	0	0	0	4.2



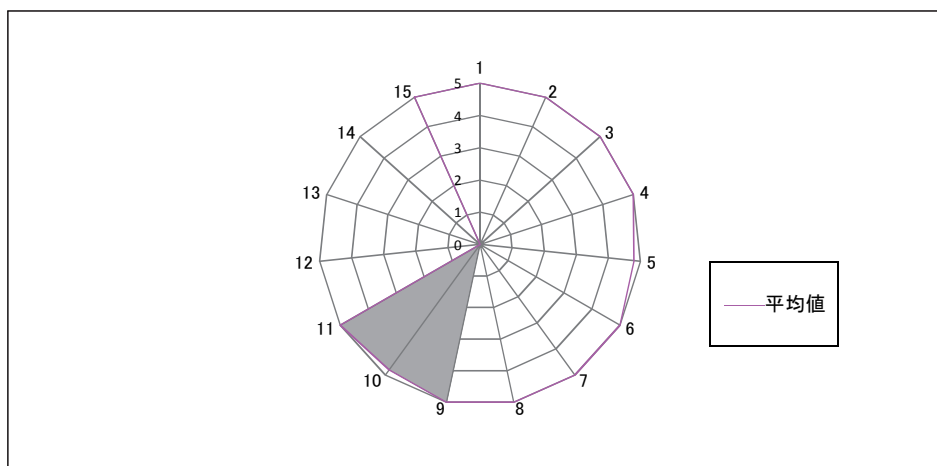
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育原論
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 湯地 宏樹

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



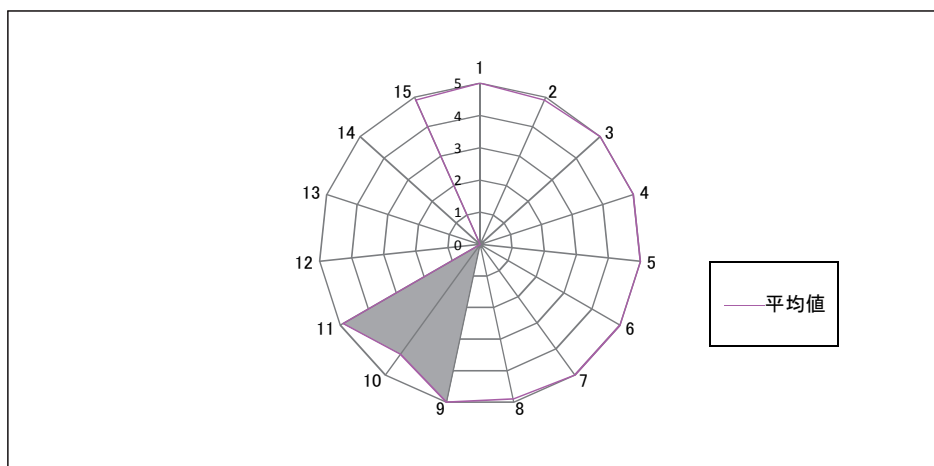
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護
 評価実施日 平成30年1月31日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.9



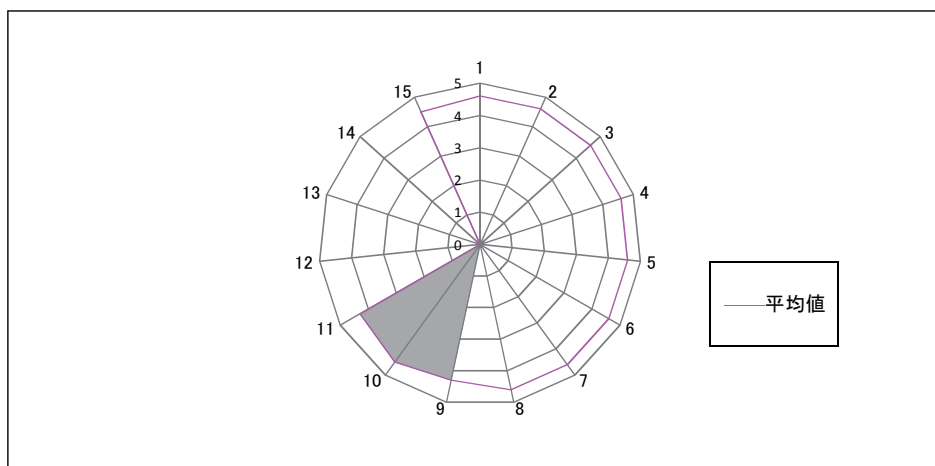
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報と職業
 評価実施日 平成29年8月27日
 担当教員名 豊永 昌彦

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	3	1	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	4	0	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	5	0	0	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	1	4.5



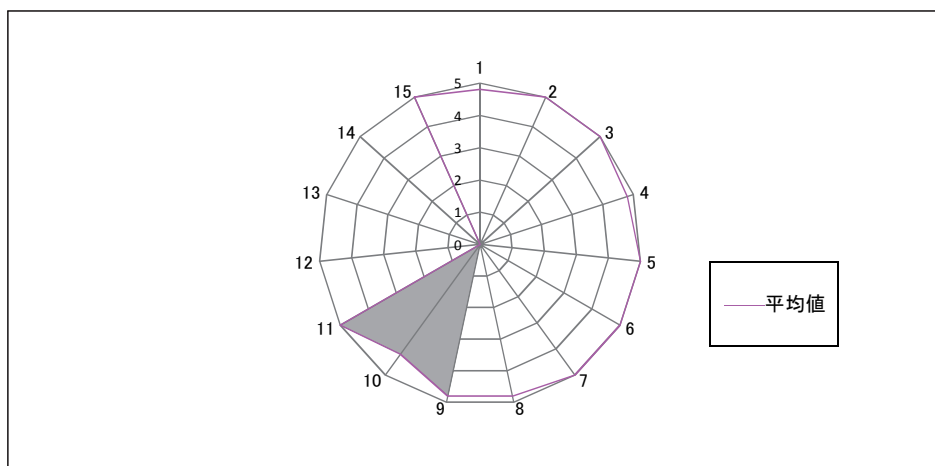
総合評価 **4.6**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 相談援助・保育相談支援
 評価実施日 平成30年1月31日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



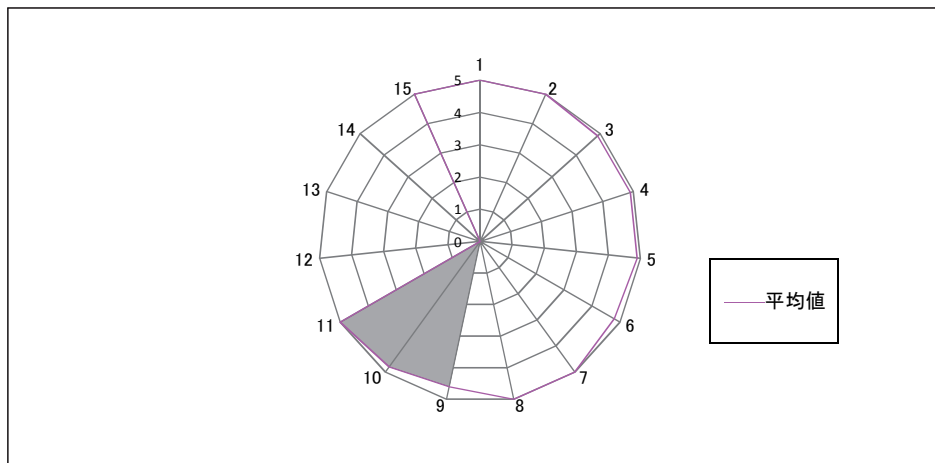
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家族論
 評価実施日 平成29年8月4日
 担当教員名 黒川 衣代

回答者数 7名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	5	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 被服学概論(被服製作実習を含む。)

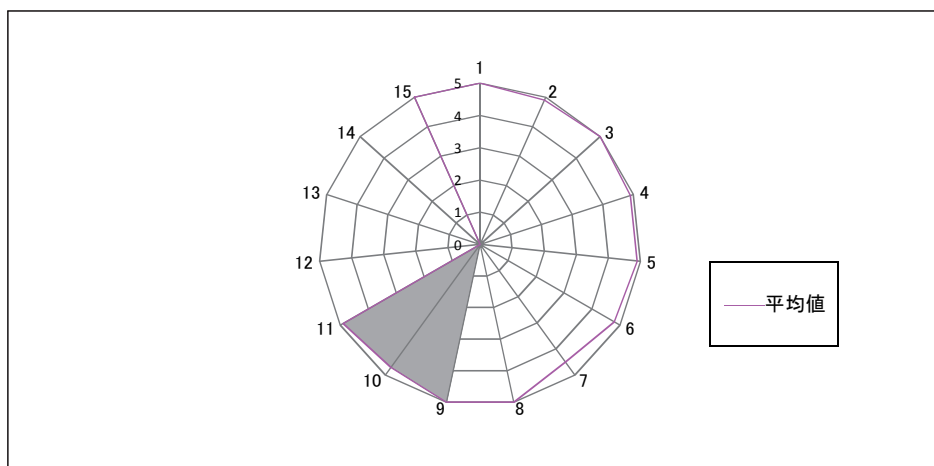
評価実施日 平成29年7月31日

担当教員名 福井 典代

回答者数

10名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	1	0	0	0	4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	0	4.5
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	1	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	3	0	0	0	1	4.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	1	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	2	5.0



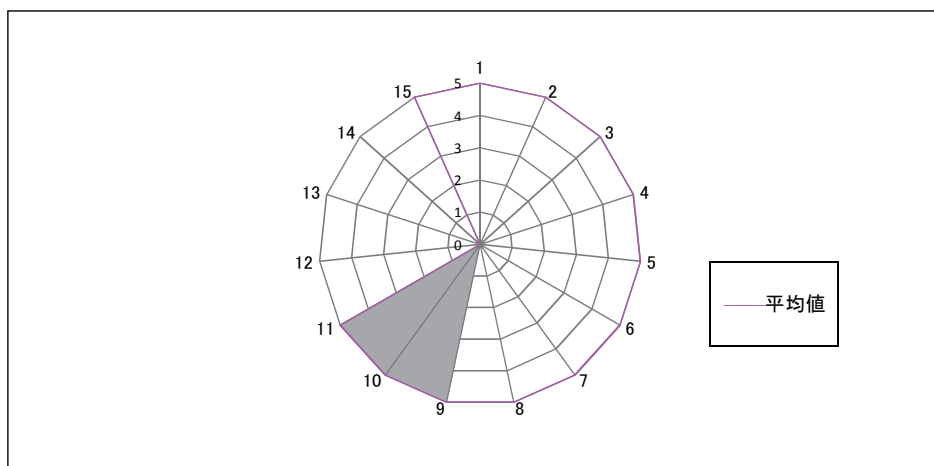
総合評価 4.9

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 被服構成実習
 評価実施日 平成29年6月8日
 担当教員名 福井 典代

回答者数 7名

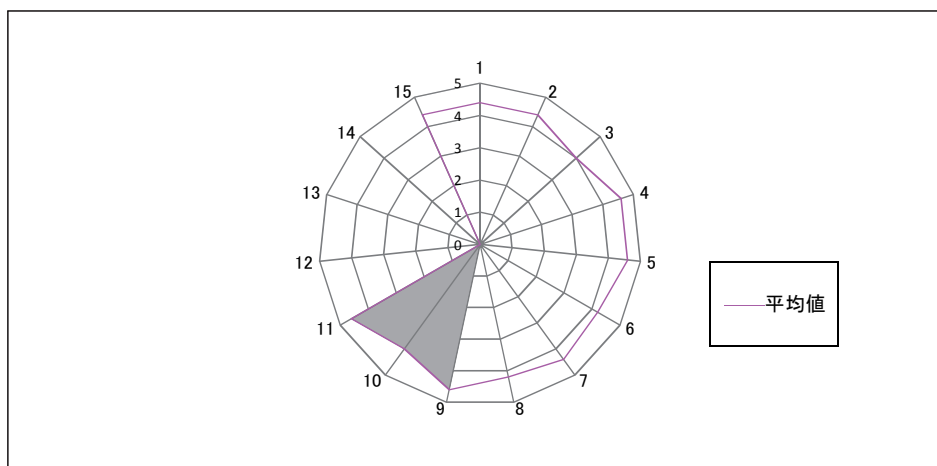
質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



授業科目名 子どもの保健 I
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.4



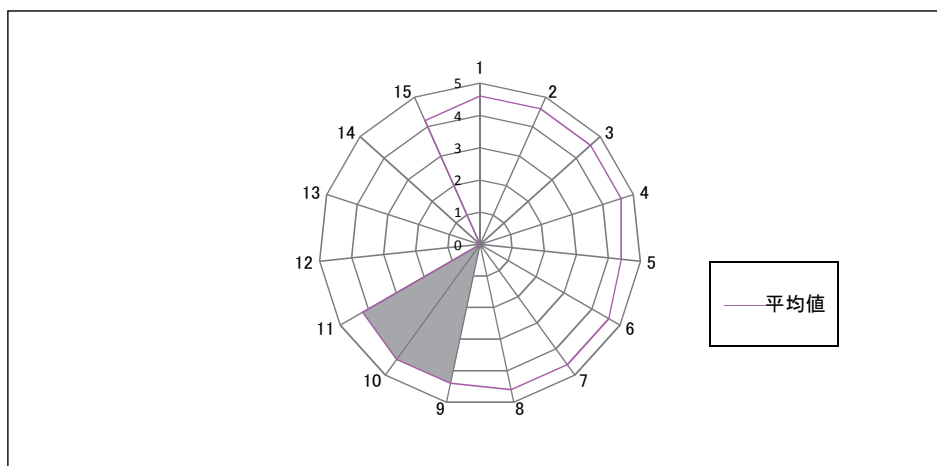
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの地域保健
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 廣瀬 政雄

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	0	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	0	4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	3	0	0	0	0	4.4
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	2	1	0	0	0	4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	2	1	0	0	0	4.2



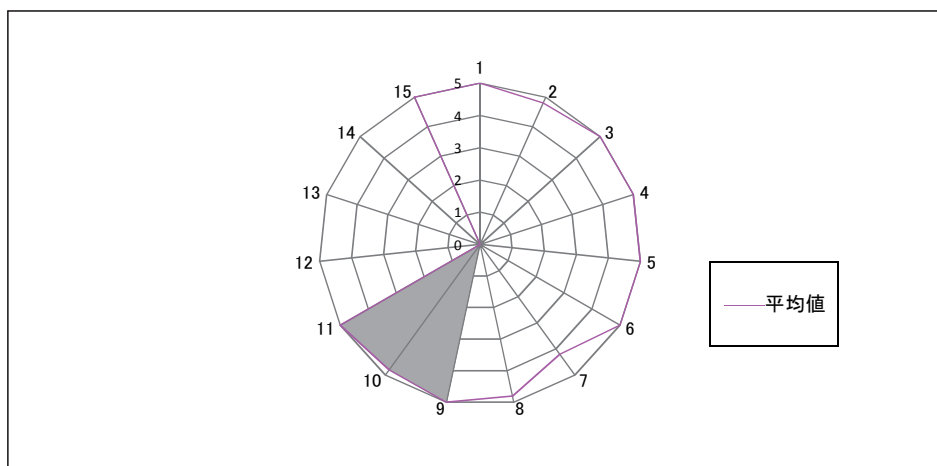
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの食と栄養
 評価実施日 平成29年12月22日
 担当教員名 馬場 公恵

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



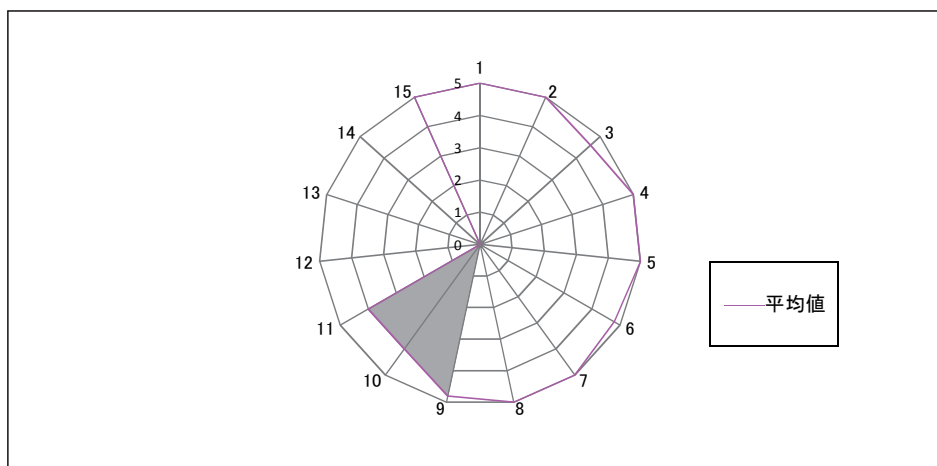
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会的養護内容
 評価実施日 平成29年12月25日
 担当教員名 吉田 耕平

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



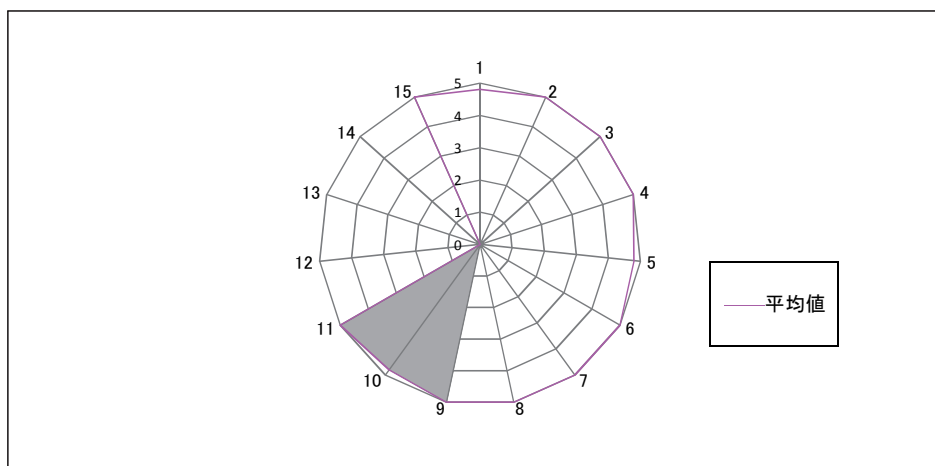
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳幼児教育研究法 I
 評価実施日 平成30年2月3日
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	0	5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



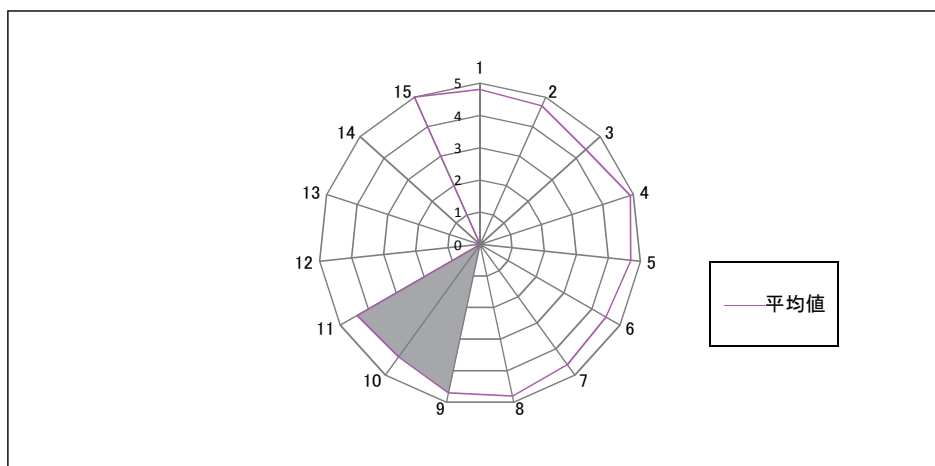
総合評価 5.0

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 食物学概論
 評価実施日 平成29年7月20日
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 12名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	3	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	1	4.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	1	0	0	1	4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	3	2	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	3	9	0	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	4	2	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	1	5.0



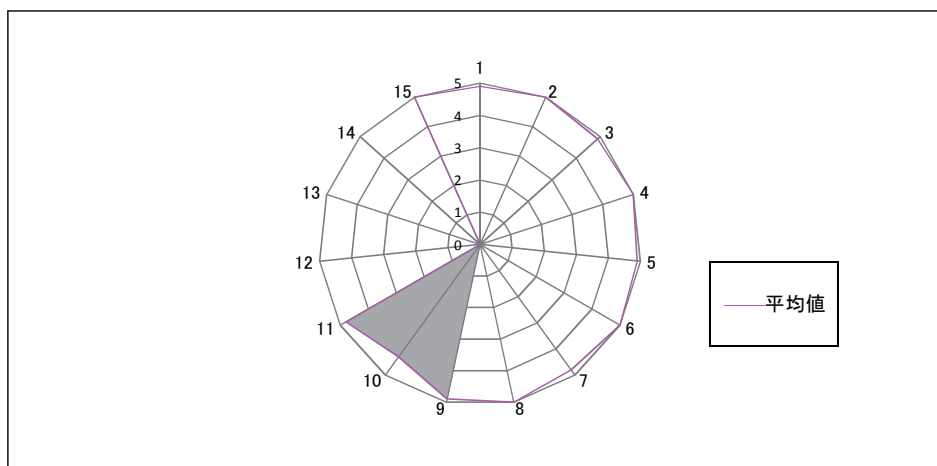
総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 食品学
 評価実施日 平成29年8月27日
 担当教員名 松永 哲郎

回答者数 7名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	0	4.9
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	0	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	2	0	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	0	4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	0	5.0



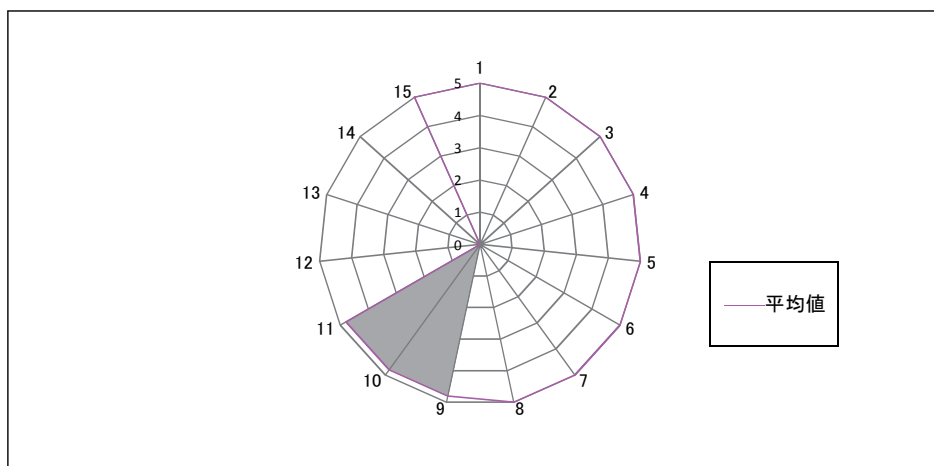
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 調理実習
 評価実施日 平成29年6月8日
 担当教員名 西川 和孝

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						5.0



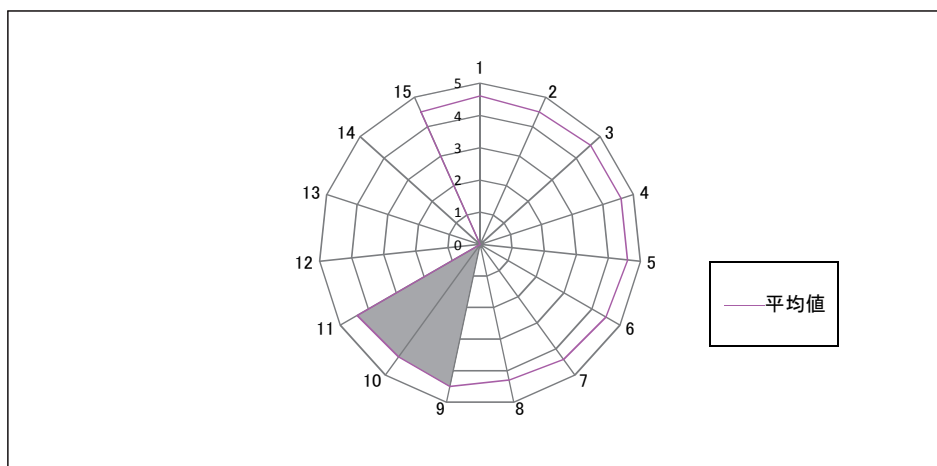
総合評価 **5.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説 I
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 高橋 真琴

回答者数 35名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	24	9	1	1	0	0	4.6
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	10	3	1	0	0	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	24	8	2	1	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	26	5	3	1	0	0	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	22	9	2	1	0	1	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	22	9	3	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	19	12	3	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	19	9	5	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	20	13	1	1	0	0	4.5
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	17	12	4	2	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	20	9	4	2	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	21	9	2	1	1	1	4.5



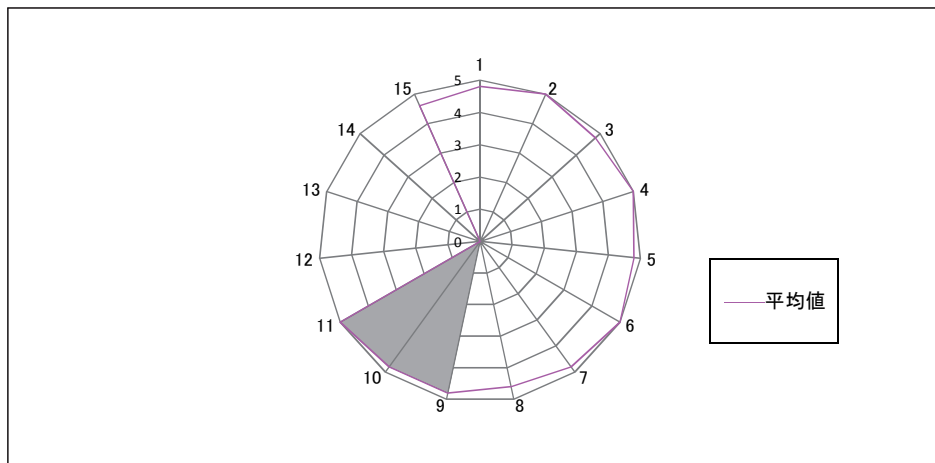
総合評価 4.5

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 障害児教育概説Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.8
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						5.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.6



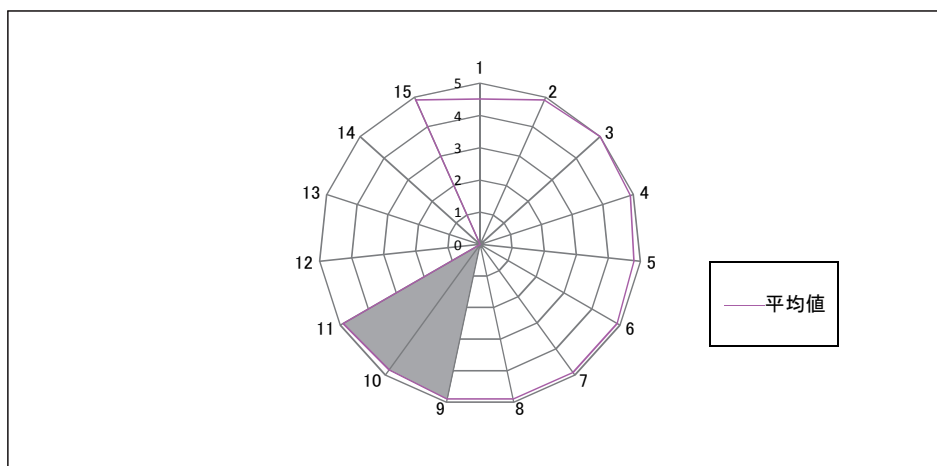
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 住生活学
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 金 貞均

回答者数 8名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	4	0	0	0	0	4.5
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	1	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	0	4.9
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	6	2	0	0	0	0	4.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	0	4.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	1	4.9



総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 保育学(実習及び家庭看護を含む。)

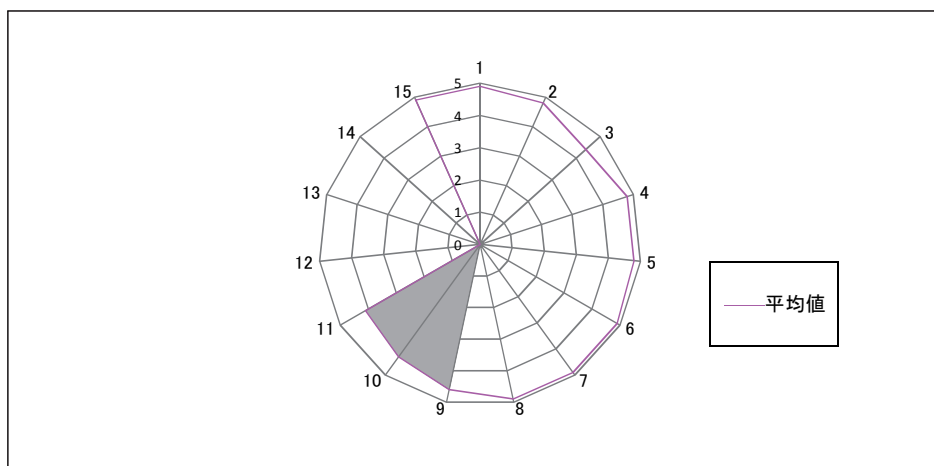
評価実施日 平成29年7月25日

担当教員名 黒川 衣代

回答者数

11名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	5	1	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	8	3	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	1	0	0	0	4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	2	0	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	0	4.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	5	0	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	6	1	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	6	2	0	0	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	1	4.9



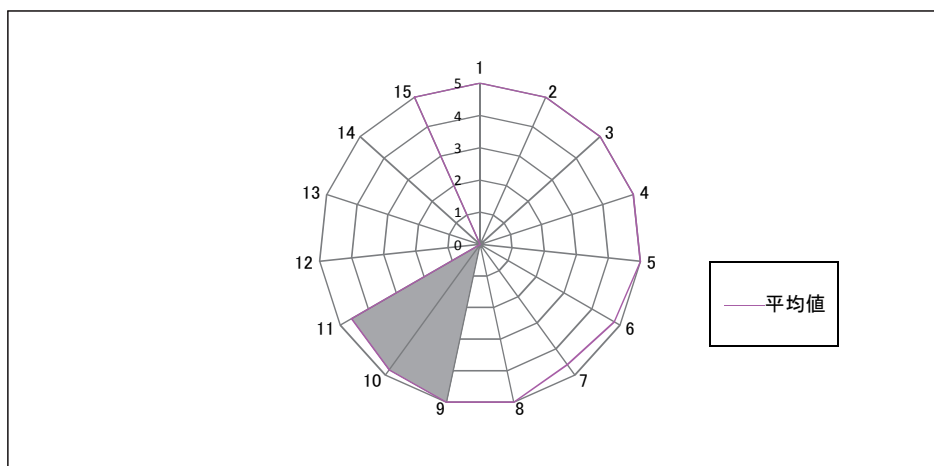
総合評価	4.8
------	-----

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 社会福祉論
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	0	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	0	4.6
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



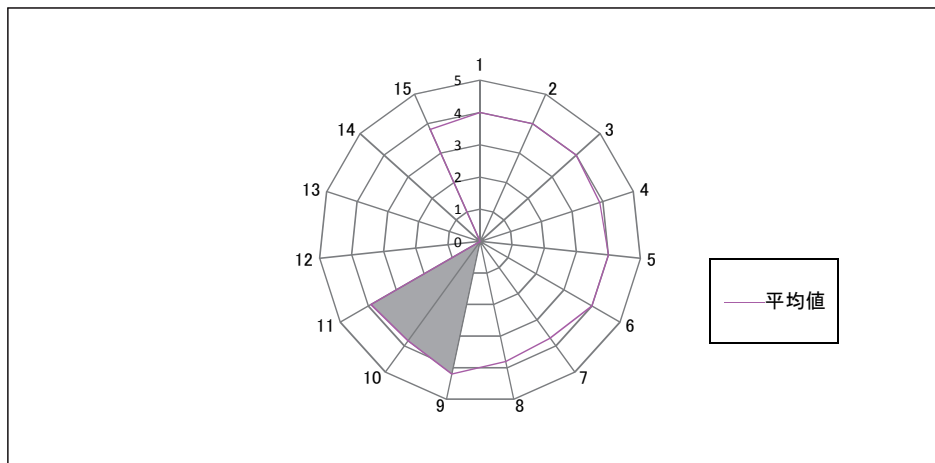
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の心理
 評価実施日 平成30年2月22日
 担当教員名 島田 恭仁

回答者数 36名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						3.9
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						3.8



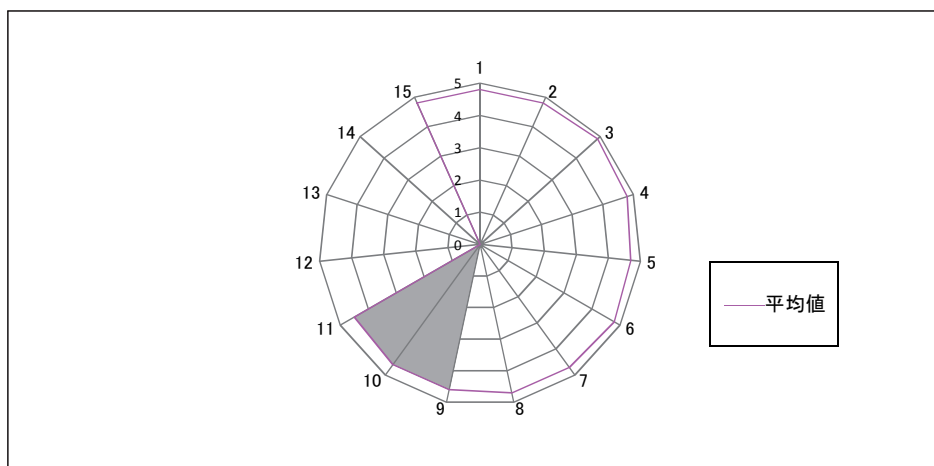
総合評価 **3.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育 I
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 大谷 博俊

回答者数 39名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.9
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.8
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.7
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.8



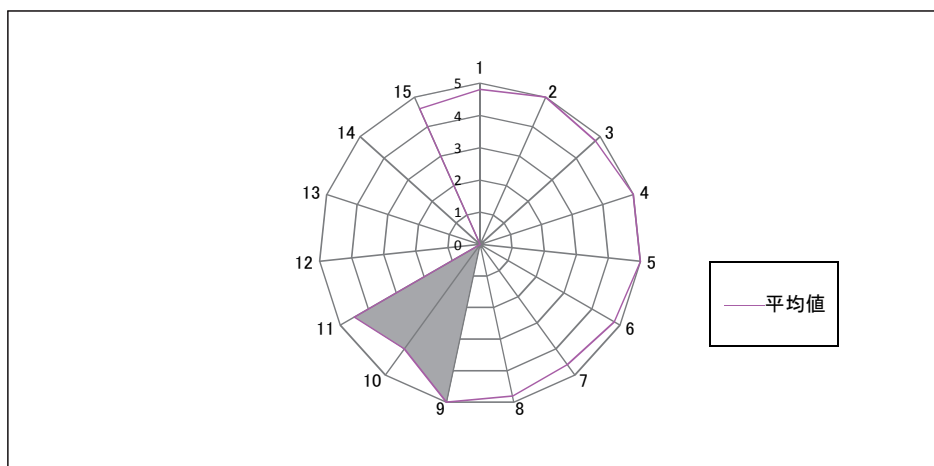
総合評価 4.8

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 児童家庭福祉論
 評価実施日 平成29年8月1日
 担当教員名 木村 直子

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	1	5.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	0	4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	1	4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	1	0	0	0	4.6



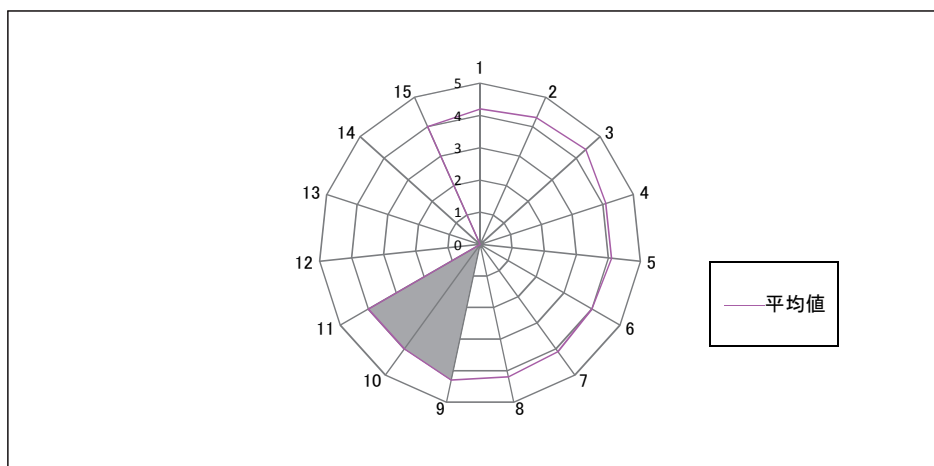
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害教育Ⅱ
 評価実施日 平成30年2月15日
 担当教員名 高橋 真琴

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	10	5	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	10	4	0	0	0	4.3
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	7	4	0	0	1	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	9	10	4	0	1	0	4.1
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	8	9	6	0	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	8	7	1	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	8	7	0	0	0	4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	9	6	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	11	4	0	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	7	10	7	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	7	8	8	0	0	1	4.0
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	9	6	0	1	0	4.0



総合評価 4.2

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

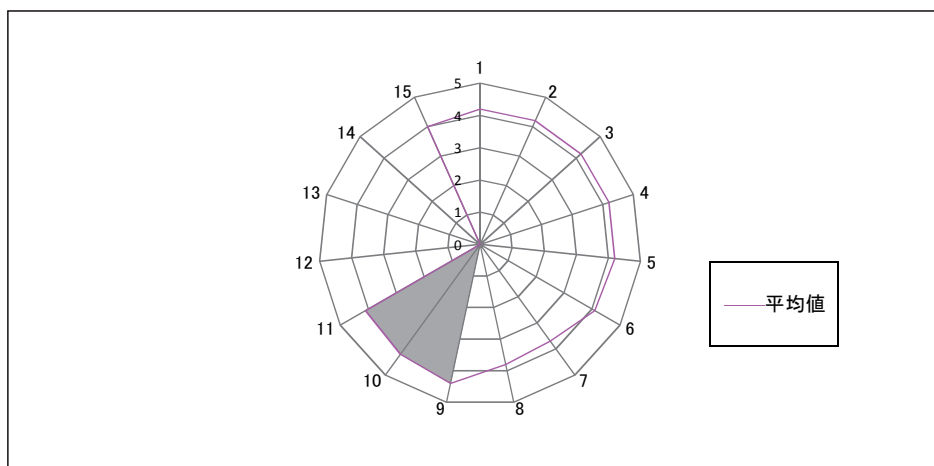
授業科目名 肢体不自由者の心理・生理・病理

評価実施日 平成30年2月9日

担当教員名 伊藤 弘道, 高原 光恵

回答者数 36名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	10	22	3	1	0	0	4.2
	(2) 授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	21	4	0	0	0	4.2
	(3) 授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	19	3	1	1	0	4.2
	(4) 授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	12	20	1	1	1	1	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	12	17	2	1	1	3	4.2
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢 (音声や熱心な態度等を含む) は, 適切なものだった。	12	16	6	1	1	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	17	5	4	2	1	3.7
	(8) 授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた (補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	18	6	2	2	0	3.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	14	19	3	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習 (課題への対応や参考文献の読書等を含む) をした。	12	18	5	0	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	10	17	7	1	0	1	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	18	3	1	2	2	4.0



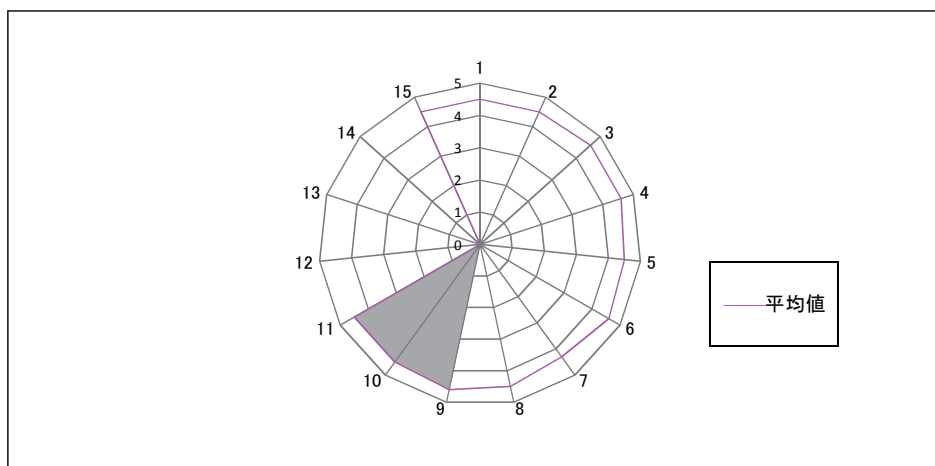
総合評価	4.1
------	-----

※上記項目の平均値 (大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く) の平均値

授業科目名 肢体不自由教育
 評価実施日 平成30年3月2日
 担当教員名 須田 正信

回答者数 49名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.3
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.5



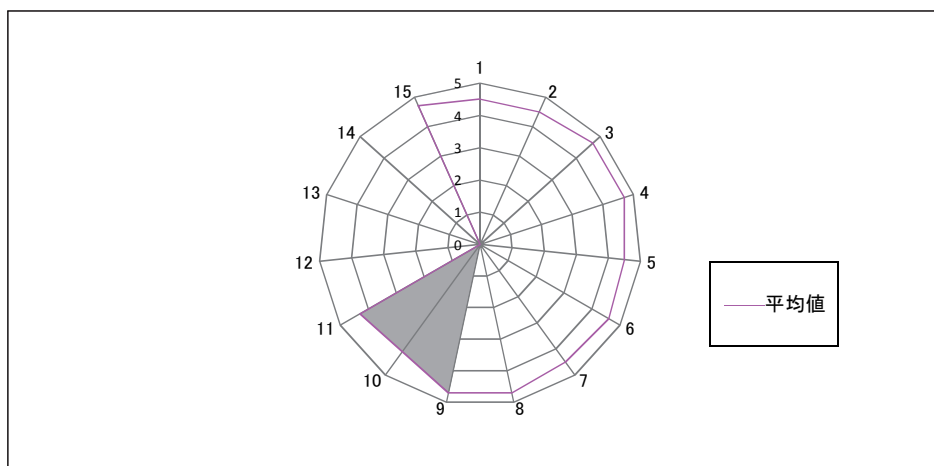
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱教育
 評価実施日 平成29年12月20日
 担当教員名 武田 鉄郎

回答者数 55名

質問項目	評価選択人数	平均値						
		5	4	3	2	1	N.A	(項目別)
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	31	18	6	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	32	18	5	0	0	0	4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	37	15	3	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	37	16	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	30	19	6	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	35	17	3	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	33	17	4	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	37	16	2	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	40	11	3	0	0	1	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	22	19	10	4	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	27	19	7	2	0	0	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	42	10	2	1	0	0	4.7



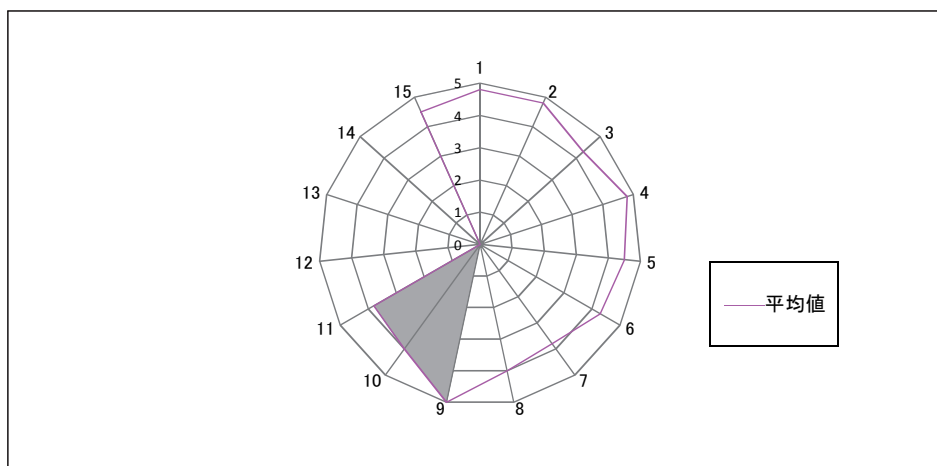
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 子どもの保健Ⅱ
 評価実施日 平成29年5月9日
 担当教員名 小川 由紀子

回答者数 4名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	0	4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	0	0	0	0	4.5
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	1	0	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	3	1	0	0	0	3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	4	0	0	0	0	4.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	0	4	0	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	3	1	0	0	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	0	4.5



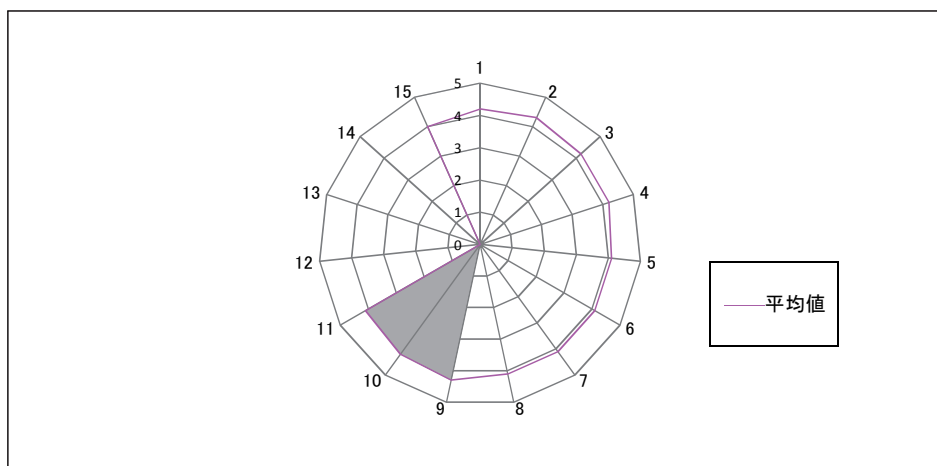
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等の特性
 評価実施日 平成30年2月9日
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 24名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	14	2	1	0	0	4.2
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	11	3	0	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	13	2	0	1	0	4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	13	1	0	1	1	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	7	11	4	1	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	11	4	0	1	0	4.1
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	13	3	0	1	0	4.1
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	12	3	0	1	0	4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	11	3	0	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	10	10	3	0	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	11	2	1	1	0	4.1
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	12	3	1	1	0	4.0



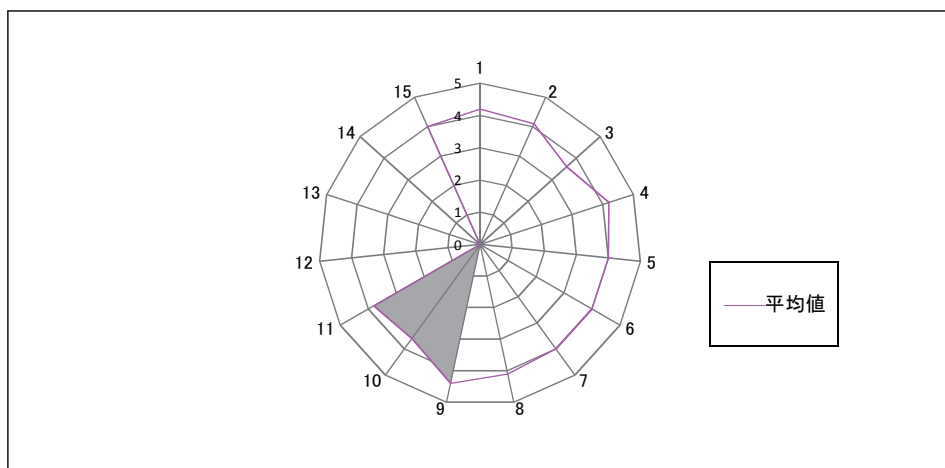
総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者教育論
 評価実施日 平成29年12月25日
 担当教員名 加藤 哲則

回答者数 50名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.2
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.1
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



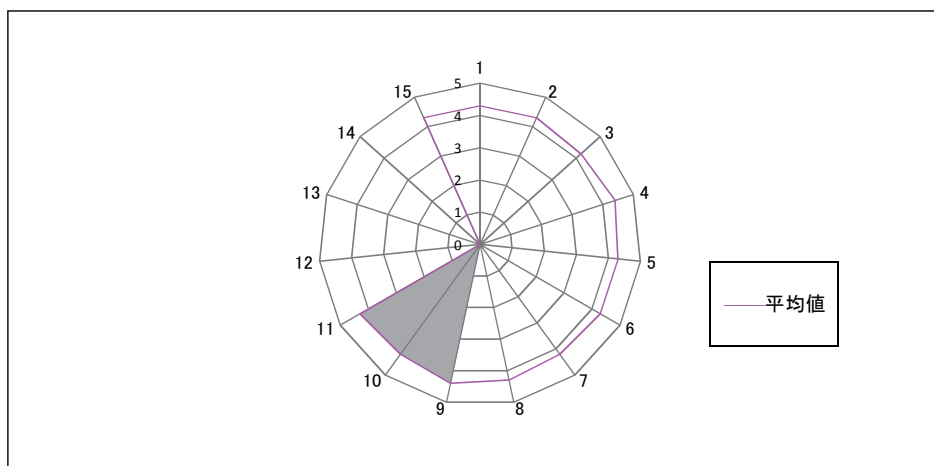
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学習指導と学校図書館
 評価実施日 平成30年2月13日
 担当教員名 谷木 由利

回答者数 68名

質問項目	評価選択人数	平均値 (項目別)						
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	30	26	10	1	1	0	4.3
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	22	13	2	0	0	4.3
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	30	24	10	2	1	1	4.2
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	35	22	9	2	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	31	21	13	2	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	33	21	10	4	0	0	4.3
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	29	26	10	3	0	0	4.2
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	34	20	9	4	1	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	34	25	9	0	0	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	28	25	13	1	1	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	30	23	13	0	1	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	33	20	10	3	0	2	4.3



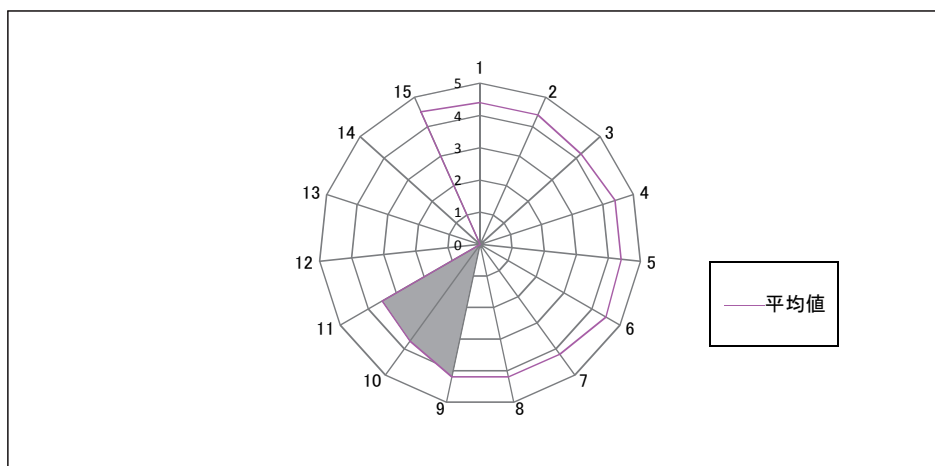
総合評価 **4.3**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 博物館経営論
 評価実施日 平成30年2月19日
 担当教員名 辻野 泰之

回答者数 6名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)	
	5	4	3	2	1	N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	4	0	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	1	0	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	1	0	0	0	4.4
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	3	0	0	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	2	0	0	0	4.2
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	2	0	0	0	4.2
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	2	3	1	0	0	0	4.2
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	1	3	1	1	0	0	3.7
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	2	2	1	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	0	4.5



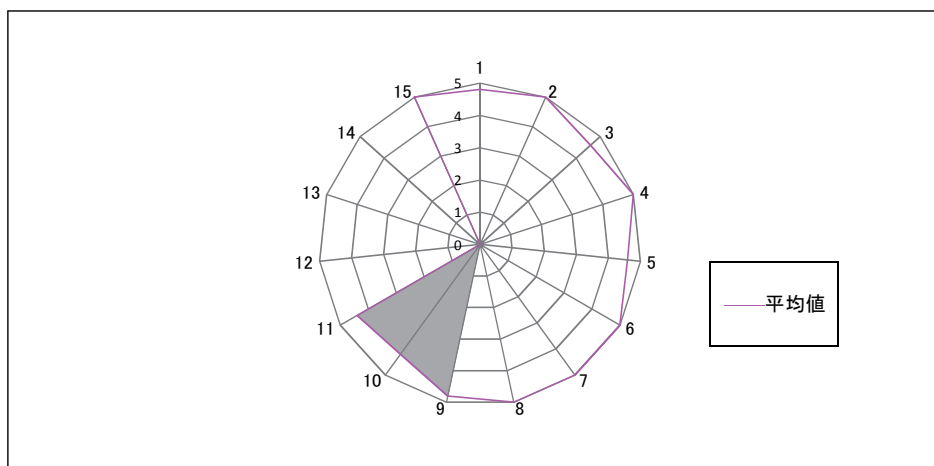
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 家庭支援論
 評価実施日 平成29年8月27日
 担当教員名 田辺 昌吾

回答者数 5名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	0	4.6
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	0	4.6
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	0	5.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	0	5.0
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	0	4.8
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	2	2	1	0	0	0	4.2
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	0	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	0	5.0



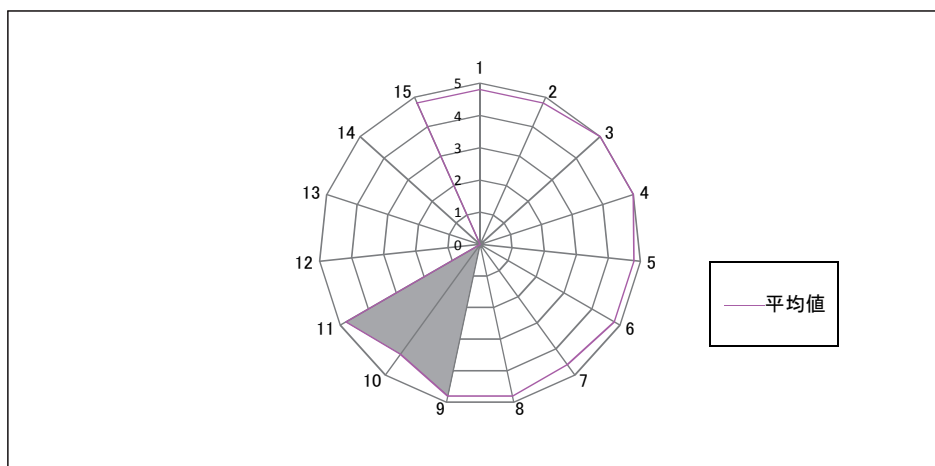
総合評価 **4.9**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 乳児保育
 評価実施日 平成29年7月26日
 担当教員名 塩路 晶子

回答者数 5名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						5.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.8
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.8
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



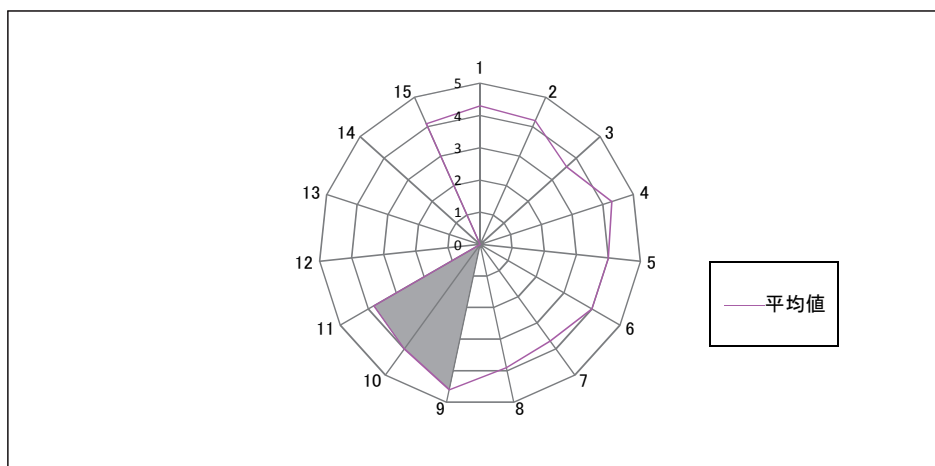
総合評価 **4.8**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 知的障害者の生理・病理
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 田中 淳一

回答者数 27名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.3
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						3.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.3
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.0
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.1



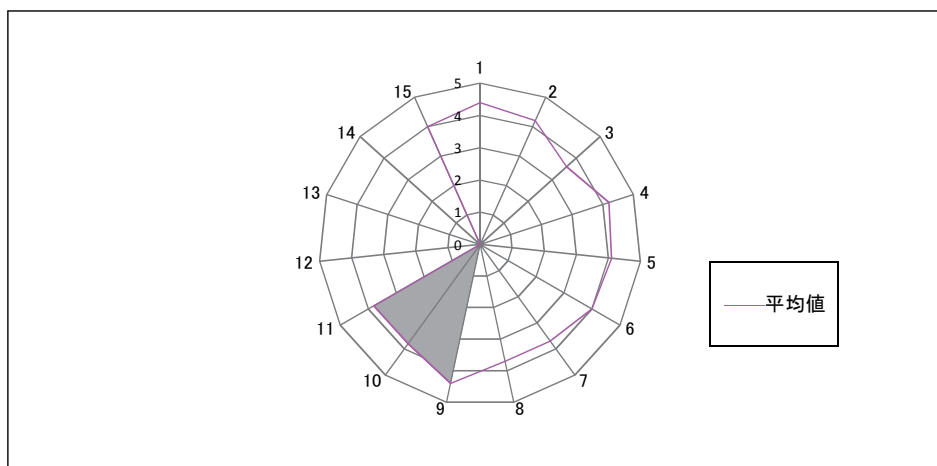
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 病弱者の心理・生理・病理
 評価実施日 平成29年7月28日
 担当教員名 伊藤 弘道

回答者数 56名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	23	30	1	1	1	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	26	6	1	1	0	4.2
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	18	13	8	3	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	25	20	6	3	1	1	4.2
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	17	29	6	2	1	1	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	18	24	9	4	1	0	4.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	14	19	12	9	2	0	3.7
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	20	9	9	2	0	3.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	25	26	3	1	1	0	4.4
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	13	25	13	3	2	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	15	21	14	5	1	0	3.8
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	15	29	6	4	1	1	4.0



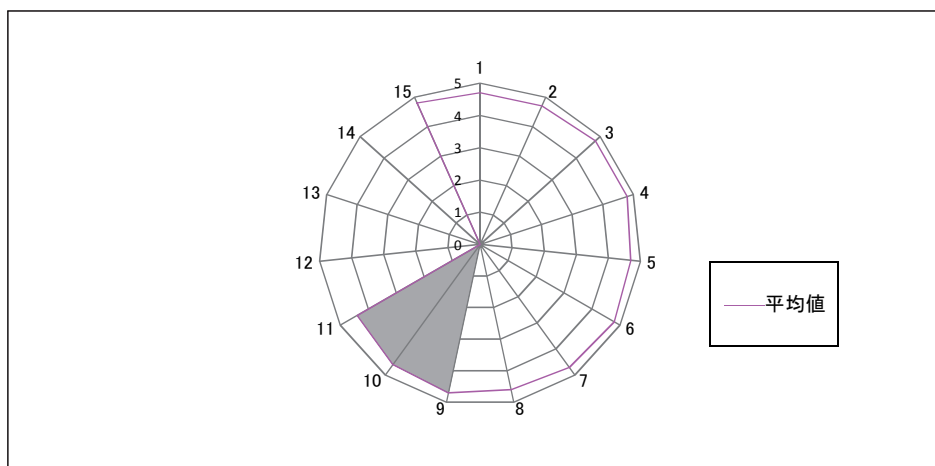
総合評価 **4.0**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 重複・LD等教育総論
 評価実施日 平成29年7月27日
 担当教員名 井上 とも子

回答者数 25名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.8
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.8



総合評価 **4.7**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

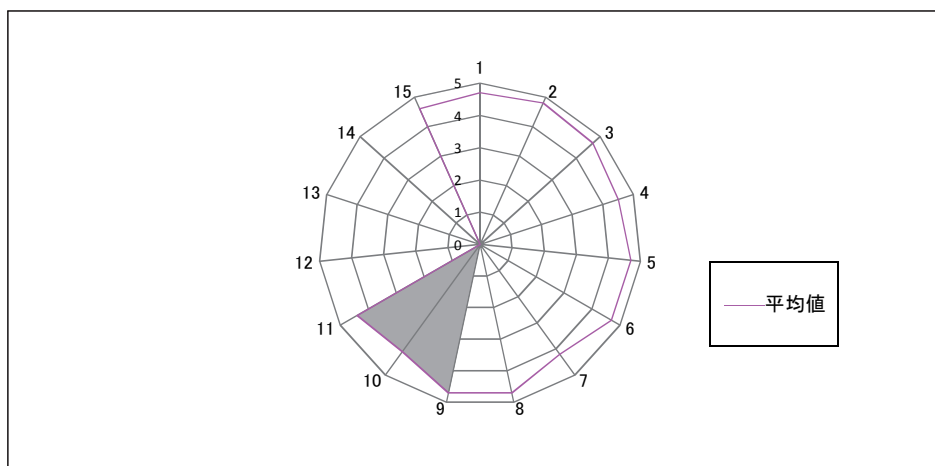
授業科目名 視覚障害者の心理・生理・病理

評価実施日 平成29年7月27日

担当教員名 高原 光恵

回答者数 29名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。						4.7
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.7
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.7
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。						4.7
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。						4.2
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。						4.7
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.1
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。						4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。						4.6



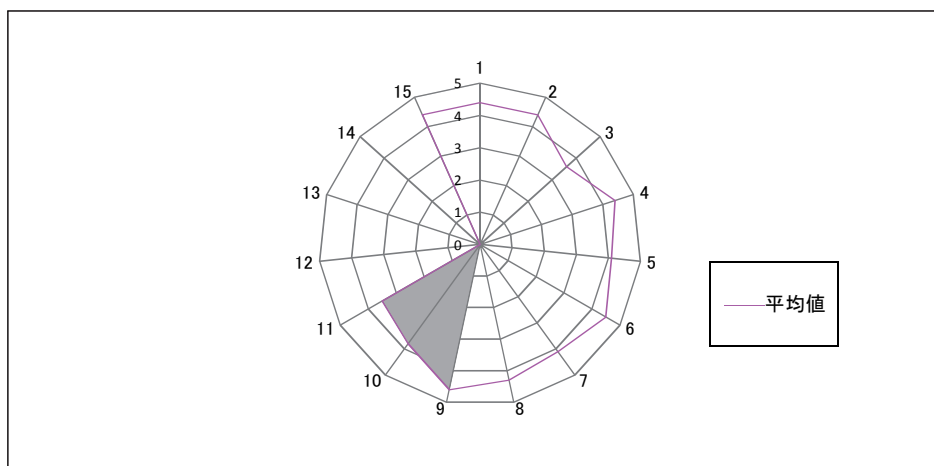
総合評価 4.6

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 聴覚障害者の心理・生理・病理
 評価実施日 平成29年8月27日
 担当教員名 宇高 二良

回答者数 36名

質問項目	評価選択人数	評価選択人数					平均値 (項目別)	
		5	4	3	2	1 N.A		
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	18	12	5	1	0	0	4.4
	(2) 授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	18	2	0	0	0	4.4
	(3) 授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	8	8	9	0	0	3.6
	(4) 授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	19	11	4	2	0	0	4.4
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	13	11	11	0	0	1	4.1
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	21	11	3	1	0	0	4.5
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	12	15	7	2	0	0	4.1
	(8) 授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	16	3	2	0	0	4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	26	5	5	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	9	12	11	4	0	0	3.8
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	8	8	12	8	0	0	3.5
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	17	12	5	0	0	2	4.4



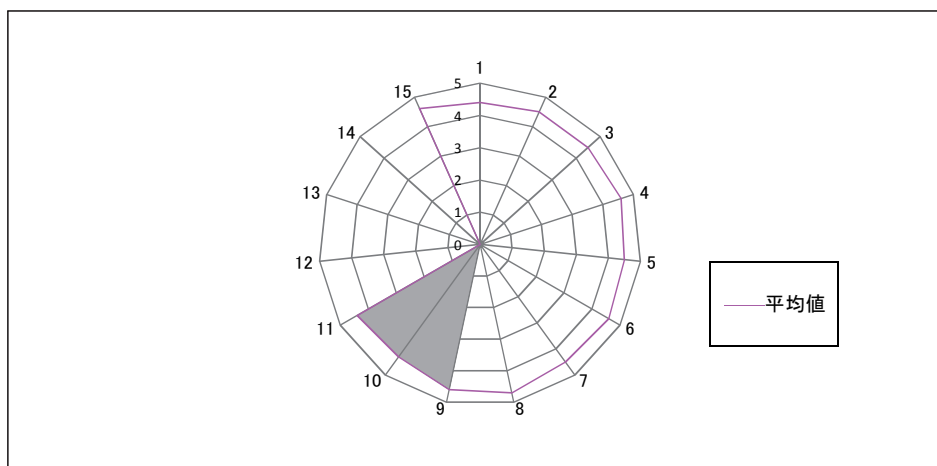
総合評価 **4.2**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 視覚障害者教育論
 評価実施日 平成29年8月31日
 担当教員名 牟田口 辰巳

回答者数 47名

質 問 項 目		評価選択人数						平均値 (項目別)
		5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1) シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	21	22	3	0	0	1	4.4
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	18	3	0	0	1	4.5
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	24	19	3	0	0	1	4.5
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	25	20	1	0	0	1	4.6
	(5) シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。	24	18	4	0	0	1	4.5
2 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	29	16	2	0	0	0	4.6
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	26	17	3	1	0	0	4.5
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	30	16	1	0	0	0	4.7
3 あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	30	14	3	0	0	0	4.6
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。	22	16	9	0	0	0	4.3
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	21	19	6	0	0	1	4.4
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。							
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。							
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。							
5 授業に対する総合的評価	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	29	16	2	0	0	0	4.6



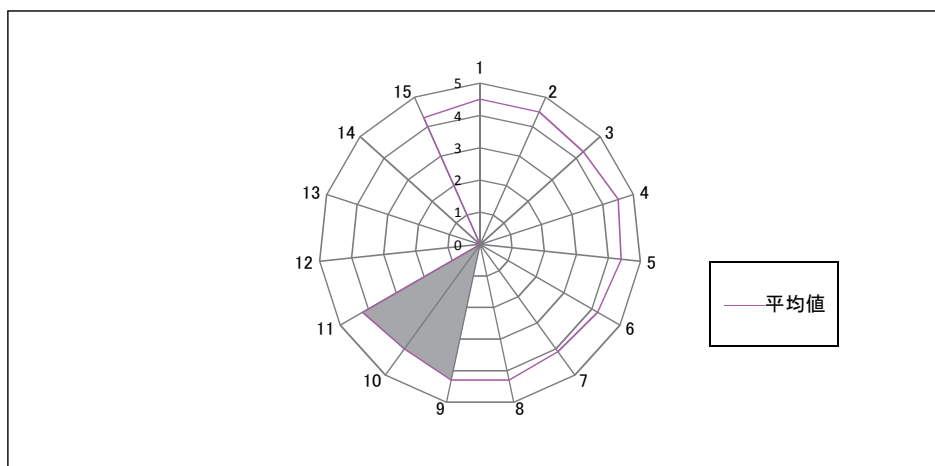
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校経営と学校図書館
 評価実施日 平成29年8月2日
 担当教員名 谷木 由利

回答者数 49名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.5
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.4
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.3
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.3



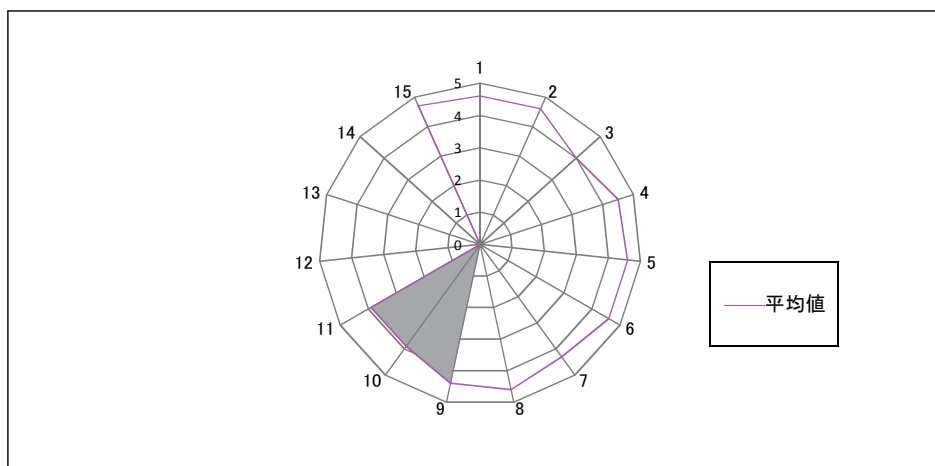
総合評価 4.3

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 学校図書館メディアの構成
 評価実施日 平成29年8月3日
 担当教員名 平川 恵実子

回答者数 21名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.6
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.5
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.6
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						4.3
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						4.6
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						3.9
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.7



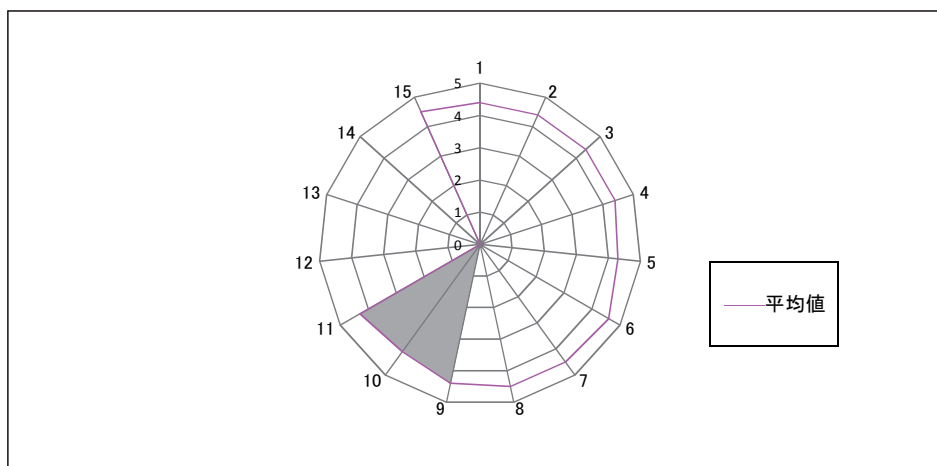
総合評価 **4.5**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 読書と豊かな人間性
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 余郷 裕次

回答者数 53名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)						
	5	4	3	2	1	N.A							
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						26	19	8	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						26	20	7	0	0	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						29	17	6	0	1	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						27	20	6	0	0	0	4.4
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						22	22	8	0	0	1	4.3
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						35	14	4	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						29	19	5	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						30	18	5	0	0	0	4.5
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						29	18	4	2	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						21	20	8	4	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						24	21	4	2	1	1	4.3
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。												
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。												
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。												
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						27	20	5	0	0	1	4.5



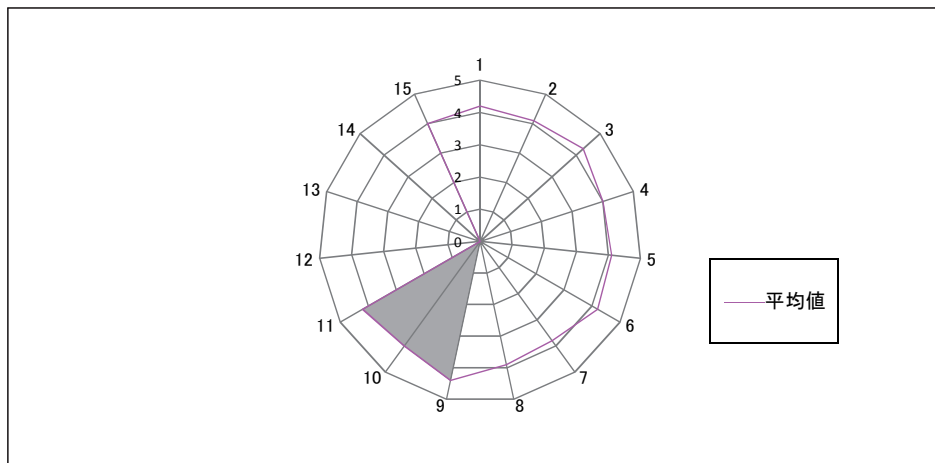
総合評価 **4.4**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

授業科目名 情報メディアの活用
 評価実施日 平成29年7月24日
 担当教員名 金西 計英

回答者数 62名

質問項目	評価選択人数						平均値 (項目別)
	5	4	3	2	1	N.A	
1 授業の計画と内容について	(1)シラバスには到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。						4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。						4.1
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。						4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。						4.0
	(5)シラバスによって示された評価方法が適切に実施された。						4.1
2 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。						4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。						3.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。						3.9
3 あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。						4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。						4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。						4.2
4 教育実践コア科目について (コア科目以外の場合は(15)へ)	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5 授業に対する総合的評価	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。						4.0



総合評価 **4.1**

※上記項目の平均値（大項目「3あなたの授業への取り組みについて」を除く）の平均値

あとがき

学生による授業評価を分析した結果、次のことが明らかになった。

「教養基礎科目」、「教育実践コア科目」、「教職共通科目」、「専修専門科目」の総合評価の平均値は順に 4.3, 4.5, 4.3, 4.4 であり、前年度とほとんど同じ数値であった。どの種類の授業科目の平均値も 4.0 以上であることから、本学のカリキュラムにおいて 4 つの種類の授業科目のいずれも、学生から総合的には肯定的な評価を得たことが分かった。

4 つの種類の授業科目について大項目の平均値を見ると、全ての種類の授業科目について「3 あなたの授業への取り組みについて」の質問項目の平均値は、他の 4 つの大項目の「1 授業の計画と内容について」、「2 授業の進め方について」、「4 教育実践コア科目について（コア科目のみ回答）」、「5 授業に対する総合的評価」の質問項目の平均値に比べると、0.2～0.4 程度平均値が低い。これは、例年の傾向ではあるが、本年度は前年度同様に平均値の差が小さく、特に評価が低い傾向にある質問項目「(9) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした。」と「(10) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。」の平均値がどの大項目においても 4.0 以上となり、授業改善の結果が表れ始めたのではないかと推測される。

また、シラバスにおいて授業でどのようなアクティブ・ラーニングを行っているか具体的な方法をチェックするようになり、その点も授業評価の対象として新たに質問項目になったことから、教員の授業におけるアクティブ・ラーニングの実施に対する意識の高まりも影響していることが考えられる。

次年度の授業に向けた課題として、例年の報告書の場合と同様であるが、学生が自ら学ぶ意識を高めることができるようにそれぞれの授業者がさらに授業の改善を進めること、将来教員を目指している学生に授業や専門に関する文献を含めて読書を習慣化させること等がある。また、大項目「4 教育実践コア科目について」や「5 授業に対する総合的評価」では、各質問項目についての無回答者が今回も多い。何故、大項目 4・5 の質問項目には無回答者が特に多いのか、原因を探ることが必要である。あくまでも推測だが、大項目「4 教育実践コア科目について」の無回答者数が目立つのは、各質問項目が「学習指導要領をふまえ」「観察する視点」「評価する視点」「目標・内容・方法をつなげて」など、回答者にとってにはわかには理解あるいは回答しにくい表現があることが原因ではないかと思われる。

各教員は授業評価を利用して、幅広い視野と高度の専門的知識・技能を兼ね備えた質の高い指導者を育成するために一層効果の高い授業を設計することを目指して、日々改善を

続けることが大切である。

平成 29 年度学校教育学部教務委員会
学生による授業評価専門部会 主査
前田 一平

鳴門教育大学学校教育学部教務委員会 委員名簿

(平成29年度)

委員長	大石雅章	副学長	
	中津郁子	臨床心理士養成コース	教授
	葛上秀文	教員養成特別コース	准教授
	木村直子	幼年発達支援コース	准教授
	佐藤長武	特別支援教育専攻	講師
	余郷裕次	言語系コース (国語)	教授
	前田一平	言語系コース (英語)	教授
	麻生多聞	社会系コース	准教授
	秋田美代	自然系コース (数学)	教授
	武田清	自然系コース (理科)	教授
	曾根直人	生活・健康系コース (技・工・情)	准教授
	坂本有芳	生活・健康系コース (家庭)	准教授
	山田啓明	芸術系コース (音楽)	准教授
	山田芳明	芸術系コース (美術)	准教授
	梅野圭史	生活・健康系コース (保健体育)	教授
	藤井伊佐子	教職キャリア支援センター	所長
	湯口雅史	教職キャリア支援センター	准教授
	中野宏栄	教務企画課長	

平成29年度 学生による授業評価実施報告書

平成31年3月発行

編集 鳴門教育大学学校教育学部教務委員会
発行 鳴門教育大学
〒772-8502 鳴門市鳴門町高島字中島748
電話 088-687-6093
FAX 088-687-6107